

Helper機能利用の手引き



- ■Windows, Windows Server, Microsoft Azure, Microsoft Excel, Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■UNIX は、The Open Group が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。
- ■HP-UX は、米国 HP Hewlett Packard Group LLC の商標です。
- ■AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
- ■Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■Oracle Linux, Oracle Clusterware および Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米 国およびその他の国における登録商標です。
- ■Red Hat は、Red Hat,Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■SUSE は、SUSE LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■NQS は、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
- ■SAP ERP, SAP NetWeaver BW および ABAP は、SAP AG の登録商標または商標です。
- ■Amazon Web Services およびその他の AWS 商標は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の米国および その他の国における商標です。
- ■iPad, iPadOS および Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- ■iOS は、Apple Inc. のOS名称です。IOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の 国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ■Docker は、米国およびその他の国で登録された Docker, Inc. の登録商標または商標です。
- ■Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ■UiPath は、UiPath 社の米国およびその他の国における商標です。
- ■Box, boxロゴは、Box, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ■その他、本書に記載されているソフトウエア製品およびハードウエア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。
- なお、本書内では、R、TM、cの記号は省略しています。

|--|

略称	製品名・サービス名
Office	Microsoft Office
Excel	Microsoft Excel
Azure	Microsoft Azure
Internet Explorer	Internet Explorer 11
Firefox	Mozilla Firefox
AWS	Amazon Web Services
EC2	Amazon Elastic Compute Cloud
EBS	Amazon Elastic Block Store
S3	Amazon Simple Storage Service
ELB	Elastic Load Balancing
CloudFormation, CF	AWS CloudFormation
CloudWatch, CW	Amazon CloudWatch
RDS	Amazon Relational Database Service
Glue	AWS Glue
Lambda	AWS Lambda
EKS	Amazon Elastic Kubernetes Service
ECS	Amazon Elastic Container Service
STS	AWS Security Token Service
CloudWatch Logs	Amazon CloudWatch Logs
SNS	Amazon Simple Notification Service

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウエア)は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当 いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等 必要な手続きをお取りください。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な 場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

はじめに

本書はJob Directorの各Helper機能について説明しています。なお、本書内に記載されている画面例と実際の 画面とは異なることがありますので注意してください。

本書の内容は将来、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

1. Job Director R16.1における制限事項

Job Director R16.1と各マニュアルにおける制限事項を以下にまとめました。各マニュアルにおいて以下の制限事項・非対応機能に該当する記述が存在した場合、本項の内容を優先してください。

■Job Director R16.1の機能制限について

- 1つのJob Director MG/SVに登録できるジョブネットワーク数は、最大で50件です。
- ジョブネットワーク1件について、配置できる単位ジョブの上限は50個までです。
- 複数のJob Director MGを使用してジョブを管理することはできません。
- 対応言語は日本語のみです。英語、中国語には対応しておりません。
- NQSフレームボタンおよび、NQSフレーム画面は使用できません。



NQSフレーム画面に含まれる「キュー一覧」および「リクエスト一覧」は、マネージャフレー ムの「マシン一覧」から対象のマシンを選択して開くことで表示できます。

- UNIX OS(HP-UX、AIX、Solaris)には対応しておりません。
- IPF(Itanium Processor Family、IA-64)には対応しておりません。
- クラスタソフトウェアはCLUSTERPROおよび、Windows Server Failover Cluster(WSFC)に対応します。
 HP Serviceguardおよび、IBM PowerHA、Oracle Clusterwareには対応しておりません。
- SAPの各サービスとの連携機能には対応しておりません。
- WebOTX Batch Server(WOBS)との連携機能には対応しておりません。
- iOS、iPadOS、Safariには対応しておりません。
- コンテナ環境での動作は対応しておりません。
- ACOSとの連携および、ACOS監視機能には対応しておりません。
- SUPER-UXおよび、SUPER-UX NQSとの連携には対応しておりません。
- WebSAM SystemManager Gとの連携機能には対応しておりません。
- Micro Focus Operations Manager softwareおよび、OPCMSG連携機能には対応しておりません。
- UCX Singleジョブ機能には対応しておりません。

■マニュアル内のバージョンの表記について

- 本製品以前に一般販売されたJob Directorは以下のバージョンのみです。本製品(R16.1)および、下記の バージョン以外は提供しておりません。マニュアル内における製品バージョンを限定した記載について は、指定されたバージョンの範囲にこれらのバージョンが含まれている場合のみが該当します。
 - Job Director R12.10
 - Job Director R13.2
 - Job Director R15.1

■ Job Director JD Assistをご利用になる際、Job Director MG/SV が対応する動作モードは以下のとおりです。

動作モード	対応Job Director MG/SVバージョン
Definition 3.0	Job Director MG/SV R12.10
Definition 5.0	Job Director MG/SV R13.2
Definition 7.0	Job Director MG/SV R15.1
Definition 9.0	Job Director MG/SV R16.1

■マニュアルで使用される画像について

マニュアル中で使用されている画面画像について、実際の画面と異なる場合は、実際の表示を正として読み替えてください。

2. マニュアルの読み方

- ■本バージョンにおける新規機能や変更事項を理解したい場合
 - → <リリースメモ>を参照してください。
- ■Job Director を新規にインストール、またはバージョンアップされる場合
 - → <インストールガイド>を参照してください。
- ■Job Director を初めて利用される場合
 - → <クイックスタート編>を参照してください。
- ■Job Director の基本的な操作方法を理解したい場合
 - → <基本操作ガイド>を参照してください。
- ■環境の構築や各種機能の設定を理解したい場合
 - → <環境構築ガイド>を参照してください。
- ■Job Director の操作をコマンドラインから行う場合
 - → <コマンドリファレンス>を参照してください。
- ■Job Director の運用方法を理解したい場合
 - → <運用・構築ガイド>を参照してください。
- ■運用中のJob Director を新環境に移行する場合
 - → <移行ガイド>を参照してください。
- ■クラスタ環境で運用中のJob Director をバージョンアップする場合
 - → <クラスタ環境でのバージョンアップ・パッチ適用ガイド>を参照してください。
- ■その他機能についてお知りになりたい場合
 - → 関連マニュアルの内容をお読みいただき、目的のマニュアルを参照してください。

3. 凡例

本書内での凡例を紹介します。

	気をつけて読んでいただきたい内容です。
	本文中の補足説明
ğ	本文中のヒントとなる説明
注	本文中につけた注の説明
_	Linux版のインストール画面の説明では、部分(下線部分)はキーボードからの入力を 示します。

4. 関連マニュアル

Job Director に関するマニュアルです。Job Director メディア内に格納されています。

資料名	概要
Job Director インストールガイド	Job Directorを新規にインストール、またはバージョンアップす る場合の方法について説明しています。
Job Director クイックスタート編	初めてJob Directorをお使いになる方を対象に、Job Directorの 基本的な機能と一通りの操作を説明しています。
Job Director 基本操作ガイド	Job Directorの基本機能、操作方法について説明しています。
Job Director 環境構築ガイド	Job Directorを利用するために必要な環境の構築、環境の移行や 他製品との連携などの各種設定方法について説明しています。
Job Director NQS機能利用の手引き	Job Directorの基盤であるNQSの機能をJob Directorから利用す る方法について説明しています。
Job Director 操作・実行ログ機能利用の手 引き	Job Director CL/Winからの操作ログ、ジョブネットワーク実行 ログ取得機能および設定方法について説明しています。
Job Director コマンドリファレンス	GUIと同様にジョブネットワークの投入、実行状況の参照などを コマンドラインから行うために、Job Directorで用意されている コマンドについて説明しています。
Job Director クラスタ機能利用の手引き	クラスタシステムでJob Directorを操作するための連携方法につ いて説明しています。
Job Director Helper機能利用の手引き	Excelを用いたJob Directorの効率的な運用をサポートするJob Director JD Assist (定義情報のメンテナンス)、Job Director Report Helper (帳票作成)、Job Director Analysis Helper (性能 分析)の3つの機能について説明しています。
Job Director Web機能利用の手引き	Webブラウザ上でジョブ監視を行うことができるJob Director CL/Webについて説明しています。
Job Director テキスト定義機能の利用手引 き	Job Directorの定義情報をテキストファイルで定義する方法につ いて説明しています。
Job Director クラスタ環境でのバージョン アップ・パッチ適用ガイド	クラスタ環境で運用しているJob Directorのアップデート、パッ チ適用手順を説明しています。
Job Director 拡張カスタムジョブ部品利用 の手引き	拡張カスタムジョブとして提供される各部品の利用方法について 説明しています。
Job Director 運用・構築ガイド	Job Directorの設計、構築、開発、運用について横断的に説明し ています。
Job Director 移行ガイド	運用中のJob Directorを別の新環境に移行する手順について横断 的に説明しています。
Job Director R16.1 リリースメモ	バージョン固有の情報を記載しています。

5. 改版履歴

版数	変更日付	項目	形式	変更内容
1	2022/11/20	新規作成	—	第1版

目次

はじめに	iv
1. Job Director R16.1における制限事項	v
2. マニュアルの読み方	vii
3. 凡例	viii
4. 関連マニュアル	ix
5. 改版履歴	х
1. はじめに	1
1.1. Helper機能について	
1.2. ライセンスについて	
1.3. 動作環境	
1.4. Fxcelのセキュリティレベル設定	
15 田語一覧	6
7 ID Δscist	7
21 50 人3551 加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加	, α
2.1.1%安	0 Q
2.1.1.	0 0
2.1.2. 母人の刈未	
2.1.5. 用語一見	
$2.2.19XF - \mu \cdot \gamma 219XF - \mu$	
2.2.1. インストール	11
2.2.2. アンインストール	12
2.3. 開発・編集操作の流れ	13
2.3.1. 定義情報の新規開発	13
2.3.2. 定義情報の編集	13
2.4. 基本操作	15
2.4.1. サーバから定義情報をダウンロードする	15
2.4.2. JPFファイルを定義編集ツールに読み込む	17
2.4.3. ジョブネットワーク定義を編集する	21
2.4.4. ジョブネットワークを新規作成する	25
2.4.5. スケジュール定義を編集する	30
2.4.6. 起動トリガ・監視対象テキストログ定義を編集する	34
2.4.7. カレンダ定義を編集する	39
	44
249 スケジュール・カレンダを確認する	47
24.10 定義編集ツールから IPF ファイルを出力する	48
2.4.10 定義編集シールから511シアイルで出力する	51
2.4.11. 定我情報を後数の517クティアルに力引出力する	51 50
2.4.12.51 ファールセン バビアシンロードする	59
2.3. 刀取用光の天心于順	61
2.3.1. 刀取用光切幌女	01 62
2.5.2.	02
2.5.5.	64
2.0.	69
2.6.1. ショノイツトワークの作成(jnwシート)	69
2.6.2. スケシュールの作成(schedシート)	101
2.6.3. 起動トリガ・監視対象テキストロクの作成(trgシート)	108
2.6.4. カレンダの作成(calシート)	113
2.6.5. ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ(の
シート共通操作	122
2.6.6. カスタムジョブの参照	130
2.6.7. 定義情報の読み込み(inputシート)	130
2.6.8. 定義情報を出力する(outputシート)	134
2.6.9. 分割出力情報を設定する(mapシート)	140
2.6.10. ジョブネットワークのフローを確認する(flow-viewシート)	142
2.6.11. 稼働日を確認する(date-viewシート)	145
2.6.12. 動作モードの変更(versionシート)	147

	2.7.	注意事項・制限事項	150
		2.7.1. 注意事項	150
		2.7.2. 制限事項	151
3.	Report	Helper	152
	3.1.	概要	153
		3.1.1. 機能概要	153
		3.1.2. 導入の効果	153
		3.1.3. 用語一覧	154
	3.2.	インストール・アンインストール	155
		3.2.1. インストール	155
		3.2.2. アンインストール	155
	3.3.	帳票印刷の流れ	157
	3.4.	基本操作	158
		3.4.1. サーバからJPFファイルをダウンロードする	158
		3.4.2. JPFファイルを印刷帳票ツールに読み込む	158
		3.4.3. 帳票シートを作成する	159
		3.4.4. 帳票シートを印刷する	162
		3.4.5. 帳票シートを削除する	165
		3.4.6. ブック保護の解除をする	167
	3.5.	帳票シート	171
		3.5.1. ジョブネットワーク一覧(簡易)	171
		3.5.2. ジョブネットワーク一覧	171
		3.5.3. フロー出力	172
		3.5.4. スケジュール一覧	173
		3.5.5. カレンダー覧	174
		3.5.6. 起動トリガー覧	174
		3.5.7. キュー設定	175
		3.5.8. NQS設定	176
		3.5.9. ユーザ環境設定	177
		3.5.10. システム環境設定	177
		3.5.11. パーミッション設定	178
		3.5.12. マシン一覧	179
		3.5.13. マシングループ	180
		3.5.14. デフォルトパラメータ	180
		3.5.15. キュー複合体	181
		3.5.16. 管理者リスト	182
		3.5.17. デーモン設定	182
		3.5.18. イベント設定	183
		3.5.19. イベント定義	185
		3.5.20. エラーログファイルの設定	187
		3.5.21. jcdbs設定	188
		3.5.22. jnwschprtコンフィグレーション	188
		3.5.23. ユーザー覧	189
		3.5.24. jcres設定	190
		3.5.25. 言語環境	191
		3.5.26. 文字コード変換の設定	192
		3.5.27nsifrc	193
		3.5.28. 名前解決設定	194
		3.5.29. サイトリスト	195
		3.5.30. サイト設定	196
		3.5.31. LDAPサーバ設定	197
		3.5.32. ジョブ実行環境設定	197
		3.5.33. サーバ環境のマッビング情報	198
		3.5.34. envvars	199
		3.5.35. レジストリ情報	200
	3.6.	汪怠事項・制限事項	202

	3.6.1. 注意事項	202
	3.6.2. 制限事項	202
4. Analy	sis Helper	203
4.1	概要	204
	4.1.1. 機能概要	204
	4.1.2. 導入の効果	204
	4.1.3. 用語一覧	205
4.2	インストール・アンインストール	206
	4.2.1. インストール	206
	4.2.2. アンインストール	206
	4.2.3. バージョンアップ	206
4.3	基本操作	208
		208
	4.3.2. サーバからトラッカデータを収集する(jdh trkget)	208
	4.3.3. ローカルのdataフォルダを更新する(idh trkupdate)	210
	4.3.4. Excelを利用してトラッカデータを分析する	211
4.4	機能詳細	219
	4.4.1. inputシート	219
	4.4.2. jnwdataシート	221
	4.4.3. jobdataシート	224
	4.4.4. トラッカ数データ・グラフシート	227
	4.4.5. 開始時刻差データ・グラフシート	229
	4.4.6. トラッカ数・開始時刻差(2軸)データ・グラフシート	230
	4.4.7. ジョブ数データ・グラフシート	232
4.5	分析の指針	234
	4.5.1. 単位時間あたりのジョブネットワーク実行数について確認する	234
	4.5.2. 特定日のジョブネットワーク実行数についてユーザ別に確認する	234
	4.5.3. スケジュール実行されたジョブネットワーク数について日毎の推移を確認する	235
	4.5.4. 単位時間あたりのジョブネットワークの起動遅延について確認する	236
	4.5.5. 単位時間あたりのスケジュール実行数と起動遅延の依存性について確認する	237
	4.5.6. 単位時間あたりのジョブ実行数について確認する	238
	4.5.7. 日毎のサーバ別のジョブ実行数を確認する	239
	4.5.8. (参考)ジョブの実行時間を確認する	240
	4.5.9. ピボットテーブルの詳細データを確認する	242
4.6	トラッカデータの見積り	243
	4.6.1. jdh_trkupdate実行時に必要になるサイズ	243
	4.6.2. dataフォルダのサイズを見積もる	243
	4.6.3. dataフォルダのトラッカデータを削除する	244
4.7	注意事項・制限事項	246
	4.7.1. 注意事項	246
	4.7.2. 制限事項	246

表の一覧

1.1.	Helper機能の一覧	2
2.1.	動作モードの対応関係	148
3.1.	帳票のパラメータ名とサイトのプロパティの項目名の対応表	185
3.2.	帳票のSEVとセベリティの対応表	185

1. はじめに

本書はJob Directorの各Helper機能について説明したドキュメントです。

1.1. Helper機能について

Helper機能はJob Director JD Assist、Job Director Report Helper、Job Director Analysis Helperの三つ のJob Directorの製品機能の総称です。Helper機能を用いることで、Job Directorを用いた運用をExcelを用い て効率化することができます。

各Helper機能についての概要は以下のとおりです。

機能	概要
JD Assist	Job Directorの定義情報(ジョブネットワーク、スケ ジュール、起動トリガ、監視対象テキストログ、カレ ンダ)のメンテナンスをExcelを利用して行う機能で す。
Report Helper	Job Directorの定義情報(ジョブネットワーク、スケ ジュール、起動トリガ、監視対象テキストログ、カレ ンダ)、および構成情報(キュー、システム環境設定、 ユーザ環境設定、マシン一覧等の環境を構成する設定 情報)の印刷帳票の生成をExcelを利用して行う機能で す。
Analysis Helper	Job Directorのジョブネットワークの実行実績情報(ト ラッカ)の分析をExcelを利用して行う機能です。

1.2. ライセンスについて

Job Director JD Assistは、Job Directorのオプションとして有償ライセンスにて提供されています。 本機能 を利用したい場合は、Job Director JD Assistのライセンスの購入が必要となります。

Job Director Report HelperおよびJob Director Analysis HelperはJob Director MGに付随する標準機能であり、個別のライセンスは必要ありません。

1.3. 動作環境

各機能の動作環境については、 <リリースメモ>の「3.1.4 JD Assist、Analysis Helper、Report Helperの対応OS・Excel詳細」を参照してください。

1.4. Excelのセキュリティレベル設定

各種Helper機能で共通のExcelのセキュリティレベルの設定について説明します。

■Excel 2010 ~ Excel 2019のセキュリティレベル設定

Excel 2010 ~ Excel 2019でHelper機能を使用する場合は、以下のどちらかの方法によりExcelのマクロ機能を有効にしてください。

■ [コンテンツの有効化] から設定する

Excel 2010 ~ Excel 2019では、デフォルトで [セキュリティセンター] – [マクロの設定] に「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」が設定されているため、Helper機能を実行した際に「セキュリティの警告 マクロが無効にされました」というメッセージバーが表示されます。この状態ではHelper機能の一部機能を利用できません。メッセージバー上の [コンテンツの有効化] ボタンをクリックしてマクロの実行許可を設定してください。

■ [セキュリティセンター] – [信頼できる場所] から設定する

各種Helper機能のインストールフォルダを [セキュリティセンター] – [信頼できる場所] に追加するこ とでマクロ機能を有効にします。 [セキュリティセンター] ダイアログから、 [信頼できる場所] に各種 Helper機能インストールフォルダパスを追加してください。

1.5. 用語一覧

Helper機能で共通で使用する用語について一覧を記載します。

用語	説明
Job Director JD Assist	3つあるHelper機能の製品名のひとつ。Job Director定義情報をExcelで 一括して定義・編集することを可能にします。
Job Director Report Helper	3つあるHelper機能の製品名のひとつ。Excelを利用してJob Directorの 定義情報、構成情報の印刷用帳票を作成する機能を提供します。
Job Director Analysisy Helper	3つあるHelper機能の製品名のひとつ。Excelを利用してJob Directorの ジョブネットワークやジョブの実行状況の性能分析を行う機能を提供し ます。
JPF(Job Director Portable Format)	Job Directorで定義情報、構成情報、実績情報を扱うファイル形式で拡 張子は「.jpf」になります。
定義情報	Job Director MGのジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・ 監視対象テキストログ・カレンダ・カスタムジョブテンプレートの定義 データやパラメータデータを指します。JPFファイル形式でMGからCL/ Winおよびコマンドを用いてダウンロード可能です。
構成情報	Job Director MG/SVのキュー設定、NQS設定、ユーザ環境設定、システ ム環境設定、マシン一覧、マシングループ、パーミッション等のJob Directorの環境を構成する設定情報を指します。JPFファイル形式でMG からCL/Winおよびコマンドを用いてダウンロード可能です。
実績情報	Job Director MG/SVのジョブネットワークおよびジョブの実行実績の情 報を指します。JPFファイル形式でコマンドで取得できます。
定義編集ツール	Job Director JD Assist の機能を提供するExcelファイルを指します。定 義情報を効率的に開発・編集するための機能を提供します。インストー ル時のデフォルト名は「jc_definition.xlsm」となります。
印刷帳票ツール	Job Director Report Helperの機能を提供するExcelファイルを指しま す。定義情報、構成情報の印刷帳票を作成するための機能を提供しま す。インストール時のデフォルト名は「jc_report.xlsm」となります。
性能分析ツール	Job Director Analysis Helperの機能を提供するExcelファイルを指しま す。実績情報の性能分析機能を提供します。インストール時のデフォル ト名は「jc_analysis.xlsm」となります。
ダウンロード	Job Director MGからJob Director定義情報、構成情報をJPFファイル形 式でリモート取得する機能を指します。CL/Winおよびjdh_downloadコ マンドを用いてダウンロード可能です。(実績情報はダウンロードには対 応しておりません)
アップロード	Job Director MGへJPFファイル形式の定義情報をリモートから格納・反映する機能を指します。CL/Winおよびjdh_uploadコマンドを用いて アップロード可能です。(構成情報および実績情報はアップロードには対応しておりません)

2. JD Assist

本章ではJD Assistの機能について説明します。

2.1. 概要

本章ではJob Director JD Assistの概要について説明します。

2.1.1. 機能概要

Job Director JD AssistはExcelの機能を活用して効率的にJob Director定義情報を作成・変更する機能を提供 します。従来のJob Director CL/Winで行っていたジョブネットワーク、スケジュール、起動トリガ、監視対象 テキストログ、稼働日カレンダの各種パラメータ定義作業を使い慣れたExcelで一括して編集することができま す。

Job Director JD Assistの基本機能は以下3つのフェーズに分けられます

■ダウンロード

ダウンロードとは、Job Director MG/SV上にある定義データをJob Director JD Assistで扱うこと ができるファイル形式で取得することを指します。ダウンロードを行うと、Job Director定義情報をJPF(Job Director Portable Format)というファイル単位で保存します。この「JPFファイル」は通常ファイルとして 扱えますので、定義情報の複製・保存が容易となります。ダウンロード機能は、定義情報の編集だけでなく バックアップや版管理を目的に利用することも可能です。

■Excelを用いた定義情報の編集

Job Director JD Assistは一覧表形式のExcelを使用してJob Director定義情報を編集します。定義情報の編 集には、オートフィルターやコピー&ペースト等のExcel固有機能を利用することが可能であるため、効率的 に定義情報の作成・編集を行うことができます。

■アップロード

アップロードとは、Job Director JD Assistで作成・編集した定義情報(JPFファイル)をJob Director MG/SVに配置することを指します。Excel編集時に「JPFファイル」へ操作設定を決定しておくことで、Job Director MG/SV上のデータを更新するだけでなく、新規定義情報の作成や既存定義情報の削除を行うことが可能です。

2.1.2. 導入の効果

Job Director JD Assistは従来Job Director CL/Winで行っていたジョブネットワーク、スケジュール、起動ト リガ、監視対象テキストログ、稼働日カレンダの各種パラメータ定義作業をExcelで効率的に実施することがで きます。サーバ上にある定義情報そのまま編集するのではなく、個別のExcelファイルとして一元的に管理・編 集できるので、Job Director定義情報のメンテナンスがより安全でより効率的になります。

■従来のようなJob Director CL/Winでサーバ上のJob Director定義情報を一つずつ編集する手間を省き、使い 慣れたExcelシート上で一覧表形式に対して編集作業ができるので、ジョブの効率的な編集を実現することが できます。



図2.1 導入の効果 例1

■ Job Director JD AssistならばExcelの便利な機能を利用しながら定義の編集が行えます。同じようなジョブ 定義を作成する際には、Excelのコピー&ペースト機能を利用することで、容易に作成することができます。 一覧表形式でパラメータを設定できますので、定義の一括修正や修正箇所の把握が容易になり、効率的な業 務バッチ作成を支援します。



図2.2 導入の効果 例2

■Job Director JD Assistはサーバー上のJob Director定義情報をExcelファイルに保存できますので、定義の バックアップや版管理として利用することもできます。





2.1.3. 用語一覧

JD Assistで使用する用語について一覧を記載します。

用語	説明
チェック(アップロード)	JPFファイル形式の定義情報が正当であるか確認する機能を指します。
jnwシート	Job Director JD Assistのジョブネットワーク定義を行うExcelシートを 指します。
schedシート	Job Director JD Assistのスケジュール定義を行うExcelシートを指しま す。
trgシート	Job Director JD Assistの起動トリガ・監視対象テキストログ定義を行う Excelシートを指します。
calシート	Job Director JD Assistのカレンダ定義を行うExcelシートを指します。
customjobシート	Job Director JD Assistのカスタムジョブ定義を行うExcelシートを指し ます。

用語	説明
inputシート	Job Director JD Assistで定義情報の読み込み処理を行うためのExcel シートを指します。
outputシート	Job Director JD Assistで定義情報の出力処理を行うためのExcelシート を指します。
mapシート	Job Director JD Assistで定義情報の分割出力機能を利用するための Excelシートを指します。
flow-viewシート	Job Director JD Assistでジョブネットワーク定義情報のフロー確認を行 うためのExcelシートを指します。
date-viewシート	Job Director JD Assistでスケジュール・カレンダ定義情報の稼働日確認 を行うためのExcelシートを指します。
versionシート	Job Director JD Assistで動作モードを決定するためのExcelシートを指します。

2.2. インストール・アンインストール

本章ではJob Director JD Assistのインストール・アンインストール手順について説明します。

2.2.1. インストール

Job Director JD Assistのインストール方法について説明します。

2.2.1.1. 新規インストール

- 1. Job Directorのメディアから、「NECJDpkg-jdh.zip」をローカルディスク上の任意の場所にコピーします。
- 2.「NECJDpkg-jdh.zip」を解凍してください。解凍先・フォルダ名は任意に決定することができます。な お、フォルダ名称の変更やフォルダの移動は後で随時可能です。
- 3. 解凍したフォルダが以下の構成であることを確認してください。

└──NECJDpkg-jdh	: インストールフォルダ ・ 空差炉集 いー !!!
bin	: 定義編集ツール各機能の実行環境
doc	: サンプルに関するドキュメント
└──sample_jpf	: サンプルJPFファイル

JD Assistは、OS言語環境に合わせてjpフォルダを選択して利用します。

フォルダ名	説明
јр	日本語OS環境向けJD Assist

以上でJob Director JD Assistのインストール作業は完了です。

2.2.1.2. Job Director JD Assistの運用方法

Job Director JD Assistの複数利用に際しては、以下の運用方法を採用してください。

■インストールフォルダ単位で複数利用する

Job Director JD Assist を複数利用する場合には、インストールフォルダまたは言語別フォルダをマスター テンプレートとして利用し、作業毎にフォルダのコピーを作成します。

Job Director JD Assist ではフォルダ単位で各機能の実行環境が用意されています。開発単位毎にフォルダ を用意することで独立した開発環境をそれぞれ確保できますので、効率的に成果物を管理できます。

■Excelファイル単位で複数利用する

Job Director JD Assist の定義編集ツールを複数利用したい場合には本体ファイル「jc_definition.xlsm」を マスターテンプレートとして利用します。「jc_definition.xlsm」をコピーし、ファイル名を変更した上で同 ーフォルダに格納してください。



同一フォルダ内に格納した複数のExcelファイルに対して同時編集(複数のExcelファイルの多重編 集)を行わないでください。機能の実行環境を共有するため、他ファイルの設定を反映してしまう 可能性があります。Excelファイルを同時編集する際には、インストールフォルダ単位で利用して ください。 Job Director JD Assist はインストール時のファイル・フォルダ構成のまま使用してください。ファイル名ま たはフォルダ名を変更できるのはインストールフォルダと言語別フォルダおよび本体ファイル 「jc_definition.xlsm」のみとなります。



2.2.2. アンインストール

Job Director JD Assistのアンインストール方法について説明します。

2.2.2.1. アンインストール方法

1. Job Director JD Assistを格納したフォルダを削除してください。



JD Assist はレジストリを使用しませんので、作業フォルダを削除することで関連ファイルすべてをシステムから削除することができます。

以上でJob Director JD Assistのアンインストール作業は完了です。

2.3. 開発・編集操作の流れ

この章では、Job Director JD Assistを初めて利用される方を対象に、基本的な操作方法と開発・編集作業の流 れについて説明します。

2.3.1. 定義情報の新規開発

Job Director JD Assistを利用して新規に定義情報を作成し、サーバ(Job Director MG/SV)へ新規定義情報を反映します。



図2.4 定義情報の新規開発

1. 定義編集ツール(Excelファイル)からジョブネットワーク定義情報を作成します。

必要に応じてスケジュール定義情報、起動トリガ・監視対象テキストログ定義情報、カレンダ定義情報を同 様の操作で作成してください。

- 2. 定義情報を「JPFファイル」に出力します。
- 3. JPFファイルをサーバ(Job Director MG/SV)へアップロードします。

2.3.2. 定義情報の編集

Job Director JD Assistを利用して既に運用している定義情報をメンテナンスします。



図2.5 定義情報の編集

- 1. サーバからメンテナンス対象となるジョブネットワーク、スケジュール、起動トリガ、監視対象テキストロ グ、カレンダ、カスタムジョブの定義情報をダウンロードします。
- 2. ダウンロードした定義情報「JPFファイル」を定義編集ツール(Excelファイル)で読み込みます。
- 3. Excelの機能を活用してジョブネットワークの作成・編集を行います。
- 4. Excelの機能を活用してスケジュールの作成・編集を行います。

必要に応じてカレンダの作成・編集を行います。

- 5. Excelの機能を活用して起動トリガ・監視対象テキストログの作成・編集を行います。
- 6. 定義編集ツールで編集した定義情報を「JPFファイル」に出力します。
- 7. メンテナンスを行ったジョブネットワーク、スケジュール、起動トリガ、監視対象テキストログ、カレンダの定義情報をサーバへアップロードします。

2.4. 基本操作

この章では、Job Director JD Assistの基本機能に対する操作方法について説明します。

2.4.1. サーバから定義情報をダウンロードする

JD Assist を利用して定義情報を編集するために、サーバ上の定義情報(ジョブネットワーク・スケジュール・ 起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ・カスタムジョブ)をローカルマシンにダウンロードします。ダ ウンロードした定義情報はJPFファイルという形式で保存されます。

各機能の詳細については <基本操作ガイド>の「12.1.1 定義情報のダウンロード」 を参照してください。



1. Job Director CL/Winから対象のJob Director MG/SVに接続し、メニューバーの[ファイル(F)]-[Helper機 能]-[ダウンロード(D)]-[定義情報(D)]を選択します。

CL/Win jobmanager:Administrator - []	
▲ ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(新規作成(N) ・ 名前の変更(M) □ピー先(T) 同・稼動先(M) JNWの削除(D) グループの削除(G) ・ ショートカットの作成(R) ショートカットの削除(K) ローディング中止(L)	 V) コマンド(A) SAP管理(M) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) _
Helper機能 ►	アップロード(U)
閉じる(C) 接続切断(I) 終了(X)	ダウンロード(D) 定義情報(D) チェック(C) 構成情報(C)
定義情報をダウンロードします。	UMS Mode at

図2.6 メニュー[ダウンロード]

2.「ダウンロード対象のユーザの指定」画面ではダウンロード対象とするユーザの範囲を指定します。

ダウンロード対象のユーザの指定								
 ・ ・ ・								
◎ 個別のユーザ								
ユーザの選択:	Administrator 👻							
ОК	キャンセル							

図2.7 ダウンロード対象のユーザ指定

ダウンロードする定義をジョブネットワーク、スケジュール、起動トリガ、カレンダ、カスタムジョブ定義 から選択します。グループ単位や個別でのダウンロードを行う場合は「詳細設定」ボタンを押します(カレ ンダは個別のみ)。

定義のダウンロード <administrator></administrator>	×
ダウンロード対象	
📝 ジョブネットワーク	詳細設定
*ALL	
🔲 スケジュール	詳細設定
*ALL	
🔲 起動トリガ	詳細設定
*ALL	
回 カレンダ	詳細設定
*ALL	
□ カスタムジョブ定義	詳細設定
*ALL	
□ カスタムジョブ定義アイコン	
ダウンロード	キャンセル

図2.8 定義のダウンロード

3.「ダウンロード」ボタンを押してJPFファイルの保存先を指定します。保存先フォルダとJPFファイル名を設 定してください。(JPFファイルの拡張子は「.jpf」となります。)

なお、ダウンロード実行時のデフォルトJPFファイル名は以下のルールで作成されます。

<Job Director MG/SVのホスト名>_<YYYYMMDDhhmmss形式の実行日時>.jpf

(
🤌 ダウンロード対象ファイ	イルの名前を付けて保存		— ×
	ラリ・ドキュメント・ 🔹 😽	ドキュメントの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォル	レダー		0
☆ お気に入り ↓	ドキュメント ライブラリ 対象フォルダー: 2か所	並べ替え: フォルダ	- •
📃 デスクトップ	名前	更新日時	種類
🗐 最近表示した場所	🍌 Notes	2009/10/19 9:05	ファイル
🍃 ライブラリ			
📑 ドキュメント			
🔤 ピクチャ			
📕 ビデオ			
🎝 ミュージック ,	III		Þ
ファイル名(N): def	_jcserver.jcg.local_20120823164243		-
ファイルの種類(T): Job	Center Portable Format(*.jpf)		•
● フォルダーの非表示		保存(S) キャン	・セル

図2.9 ダウンロード先の選択ダイアログ

4. ダウンロードが開始され、完了するとダウンロード結果画面が表示されます。ダウンロードが成功します と、以下のようにダウンロードに成功した定義数の情報が表示されます。

ダウンロード	×
定義のダウンロードに成功しました。	
ダウンロードするファイルを準備しています。 ファイルをダウンロードしています。 ファイルのダウンロードが完了しました。	*
User:Administrator Downloading successfully. JobNetworks:2 Schedules:1 Triggers(TRG):1 Triggers(TARGET_TEXTLOG):1 Working Calendars:1 CustomJob Templates:1 CustomJob Template Icons:Downloaded	
	Ŧ

図2.10 ダウンロード結果

2.4.2. JPFファイルを定義編集ツールに読み込む

Job Director定義情報を編集するために、JPFファイルを定義編集ツール(Excel)で読み込みます。各機能の詳細については「2.6.7 定義情報の読み込み(inputシート)」を参照してください。

1. 定義編集ツールを開いて「inputシート」を表示します。

	, 17	• (°" •) ∓				jc_det	inition [7	되換モード] — Microsoft Ex	xcel				s x	
	ホーム	挿入 🚿	ページ レイアウト	洗機	データ	校開	表示					0 -	⇒ x	
	A1	•	f _x										≈	1
	A	В			0)				D			-	1
2 3 4		定義ファイル	の読み込み		シート	に反映							- 1	
5	ł	重別		名前				ファイル名						L
6	L							表示するデータはあり:	ません					L
8														l
9														L
11														L
12														l
13														L
15													=	
10														l
18														l
20														l
21														l
22														L
24														l
25														L
27														l
28														L
30														1
31													-	
14 4 >	N jnw	schedcal	, customjob	input o	utput / n	nap / flow	∽view ∠	date-view / version /	/ t					
אעדב				_						••••• •••••••••••••••••••••••••••••••	5% 😑	- () I	- 🕀 .;	:

図2.11 inputシート

2.「定義ファイルの読み込み」ボタンをクリックすると「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。対象 となるJPFファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。なお、複数のJPFファイルを同時に(最大 255)読み込むことができます。

	🚽 19 v	(°I -) =					jc_det	finition [互換モード] -	Microsoft E	Excel						_	-	x
	ホーム	挿入	ページレイ	アウト	走破	データ	校閲	表示									0		x
	C16		- (0	f_{x}															≯
	A		В	_	_	C)							D					-
2		定義ファ	イルの読み這	⊾み		シート	に反映												
5	種	IJ		名	前				ファイル名										
6 7									表示する	データはあり	ほせん								- 11
8														_					
10				x 77	イルを開	<									×				
11				00)~ 🕒	∝ □-;	ייי אול 🕨	JobCer	nter-jpf-dat	a 🔻	4 7	JobCente	r-jpf-data	の検索	2				
13				整理	▼ 新	しいフォ	ルダー								2				
14				9	最近表示	した場所	▲	fi .	~		_	百余日	- -	(番米百					=
16			\rightarrow	100			10					34,7111	400	1±78					
18					ライブラリ			def_jcse	erver.jcg.loc	al_201208	231724.	2012/	08/23 17:	25 JPF	ファー				
20					К≠⊐×	ント													
21 22					ピクチャ	· [
23				B	ビデオ														
24				۵	ミュージ	ック	-												
26							-												
28				19	コンピュー	·9-													
30				- 4	ローカル	ディス													
31																			-
14 4 1	▶ jrw ∠	sched 🖌	cal 🗸 custo	i 🧌 7	ネットワー	ゥ									- F				I
אלאב						7	ァイル名(N):			- 1	obCenter	PortableFo	rmat •		Θ	-W-F	-(t) .::
							н(
										ツール(L)		閒<(0)	▼ 1	ヤンセル					
															at				

- 図2.12 定義ファイルの読み込み
- 3. JPFファイルの読み込みに成功すると「inputシート」に読み込んだ定義情報が表示されます。定義情報を編集シートに反映する前に、読み込みを行った定義情報を確認してください。

	9	· (° ·);	Ŧ			jc_de	finition 🖸	互換モード] - Microsoft Excel		-	x		
	ホーム	, 挿入	ページ レイアウト	选成	データ	校閲	表示		0 -		x		
	A1										¥		
	A		B		()		D			-2		
1 2 3		定義フォ	マイルの読み込み		シート	·IC反映	[,			Î		
4											_		
5		種別		名前				ファイル名			- 11		
6		JNW		OR分岐				C#JobCenter-jpf-data¥def_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-11		
1		JNW		sub001				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			- 11		
8		JNW		sub002				C.¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf					
9		JNW		TESTO				C#JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-11		
10	JNW			SAMPLE				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf					
11		JNW		1ES102				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt					
12		JNW			ECOVERY_	copy 1		C#JobCenter-jpt-data¥det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			-111		
13		JNW		continue				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			-111		
14		JNW						C#JobCenter-jpt-data¥det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			-111		
15		JNW		SEND_EVENT				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt					
16		JNW		subii				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt					
17		JNW		sub12				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt					
18		JNW		sub13				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			-11		
19		JNW		月次業務				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			_		
20		JNW		sub14				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			- 1		
21		JNW		月次業務	2			C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			- 1		
22		JNW		RECV_EVe	ent			C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			- 1		
23		JNW		TESTUUT				C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt			- 1		
24		JNW		SAMPLET				C#JobCenter-jpf-data#det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpf			- 1		
25		JNW		RootJNW				C#JobCenter-jpf-data#det_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf			- 1		
26		JNW		waitfile				C#JobCenter-jpf-data#def_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf			- 1		
27		JNW		TEST02_c	opy1_copy1			C#JobCenter-jpf-data#def_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf			- 1		
28		JNW		ERROR_R	ECOVERY			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-		
29		JNW		カレンダ分	岐			C#JobCenter-jpt-data¥det_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-1		
30		JNW		New Jnw0	3			C#JobCenter-jpt-data¥det_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-1		
31		JNW		New Jnw0	1			C#JobCenter-jpt-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf			-1		
32		JNW		[jnw1	/	/2		C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf					
I4 4 	M jnv	$v \swarrow \text{sched} \checkmark$	′ cal 🖌 customjob	inputc	output 📈 n	nap / flov	/~view /	date-view / version / 😲 /			11		
コマンド								🗰 🛄 85% 🕞 — 🔍	J+	e) .::		

図2.13 JPFファイル読み込み後の状態

Job Directorでは、同名のジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキスト ログ・カレンダ・カスタムジョブテンプレートを定義することはできません。複数のJPFファイ ルを読み込んだ際に、同名のジョブネットワーク・スケジュール起動トリガ・監視対象テキスト ログ・カレンダ・カスタムジョブテンプレートが存在している場合、警告メッセージの表示が表 示されるとともに表の該当項目の名前セルが赤く表示されます。

名前の重複が検知された場合には、「シートに反映」を行った後に名前変更を実施してください。

4.「シートに反映」ボタンをクリックすると、反映モードの選択ダイアログが表示されます。モードを選択して「OK」をクリックすることで、読み込みを行った定義情報が「jnwシート」、「schedシート」、「trgシート」、「calシート」、「customjobシート」それぞれに反映されます。

	🚽 L) - (L -	•			_ = =	x						
	ホーム 挿入	く ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示					@ _	σx
	A1	- () fx										¥
	A	B		(2					D		
1 2 3 4	定算	ラッイルの読み込み		シート	·IC反映]			
5	種別		名前				ファイ	ル名				
6	JNW		OR分岐				C:¥Jo	bCenter-jpf-data¥def	cserver.jcg.local_20120	0823172442.jpf		
7	JNW		sub001				C:¥Jo	bCenter-jpf-data¥def	cserver.jcg.local_2012(0823172442.jpf		
8	JNW		sub002			C#JobCenter-jpf-data¥def_cserver.jcg.local_20120823172442.jpf						
9	JNW		TEST01			UC#JobCenter-jpt-data¥def_icserver.jcg.local_20120823172442.jpf				-		
11	JNW		TESTON				C-¥ Joi	bCenter-jpt-data¥det bCenter-ist-data¥det	cserver.jcg.local_20120	0823172442.jpt 0899179449.jpt		
12	JNW		EBBOR B	FCOVERY	copy 1		C¥.Jo	bCenter-jpi-datardet bCenter-inf-data	icserver.jcg.local_20120	0020172442.jp1 0893179449.ipf	-	
13	JNW		continue		сорут		C:¥.00	Contor jpr data¥da,	icaci ver jeg local_2012(0020112442.jpf		
14	JNW		日次業務1				C¥ 3	ートへの反映		42.ipf		
15	JNW		SEND EVE	ENT			C:¥	Enter in		42.jpf		
16	JNW		sub11				C:¥	「 反映モード ―――		\$2.jpf		
17	JNW		sub12				C:¥			42.jpf		
18	JNW		sub13				C:¥	・ シートをクリア	して新規に反映する	42.jpf		
19	JNW		月次業務1				C:¥			42.jpf		
20	JNW		sub14				C¥	○ 編集中のシー	トヘ追加反映する	42.jpf		
21	JNW		月次業務。				C.¥			42.jpt		
22	JNW		REUV_EVE	nt			0.#			42.jpt		
20	INW		CAMPLE1				0.#		+	42.jpt		
24	INW		Boot INW				0.4		J <u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>		-	
26	JNW		waitfile				0.¥.10	bCenter-inf-data¥def	icserver icg local 2012	1823172442 inf		
27	JNW		TEST02 or	ny1.cony1			C:¥.10	bCenter-inf-data¥def	icserver.jcg.local_2012(0823172442 inf		
28	JNW		ERROR R	ECOVERY			C:¥Jo	bCenter-inf-data¥def	icserver.icg.local_20120	0823172442.jpf		
29	JNW		カレンダ分	岐			C:¥Jo	bCenter-jpf-data¥def	jcserver.jcg.local_20120	0823172442.jpf		
30	JNW		New Jnw03	}			C:¥Jo	bCenter-jpf-data¥def	jcserver.jcg.local_20120	0823172442.jpf		
31	JNW		New Jnw04				C:¥Jol	bCenter-jpf-data¥def	jcserver.jcg.local_20120	0823172442.jpf		
32	JNW		jnw1				C:¥Jo	bCenter-jpf-data¥def	jcserver.jcg.local_20120	0823172442.jpf		Y
14 4 F	▶ jnw / sche	d 🖌 cal 🖌 customjob j	_input / c	output 🖉 n	nap_/flow	∽view ∠	date-v	/iew 🖉 version 🖉 🖏	1/			
אלאב										🖽 🗆 🛄 85%		- 🕀 .;;

図2.14 メニュー[ダウンロード]

定義情報の反映動作には「シートをクリアして新規に反映する」と「編集中のシートへ追加反映する」の2 種類のモードがあります。以下のような場面において、それぞれのモードを利用します。

■「シートをクリアして新規に反映する」モード

読み込んだ定義情報に対して編集を実施する場面で利用します。通常の編集作業では、本モードを選択してください。

ダウンロードしたJPFファイルに対して定義情報を編集する場面や開発済み定義情報を参照・確認する場面などに選択してください。

■「編集中のシートへ追加反映する」モード

複数の定義情報を一つに統合することを目的に利用します。本モードを動作すると、編集シート上のデー タをクリアせずに追加分を反映します。

分散開発において複数の開発成果物を統合しなければならない場面などに選択してください。

シートへの反映	×
┌─ 反映モード ────	
④ シートをクリアして新き	現に反映する
○ 編集中のシートへ追	加反映する
ОК	キャンセル

図2.15 メニュー[ダウンロード]



定義情報の編集シート(「jnwシート」、「schedシート」、「trgシート」、「calシート」、 「customjobシート」)にデータが存在する場合に「シートをクリアして新規に反映する」操作 を行うと、既存のデータが削除されて復元(元に戻す [Ctrl + z])できませんので、十分注意して ください。

2.4.3. ジョブネットワーク定義を編集する

「jnwシート」を使ってジョブネットワーク定義情報を編集します。「jnwシート」の各機能やパラメータ設定 項目については「2.6.1 ジョブネットワークの作成(jnwシート)」を参照してください。

1.「jnw」シートを表示します。

	ic_definition [互換モード] - Microsoft Excel _ ロ X												
	木	ーム 挿	λ K	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示				🕜 _ 🗖 X		
		J26	• (f _x							*		
A	в	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L A		
1					- I								
2	2 全体のチェック 参昭モードの解除 部品コントロール シートプロパティ												
3	3 (F5) (F6) (F7) (F8)												
5													
6	0 6												
7	7												
15					1								
17			I	[D/種別			本						
10													
18		チェック		15 0.0			部品の関	連					
19		結木	ID	種別	名刖				所属クルーフ		テフォルト投入		
20						先行部品	分岐ID	分岐数					
21		-	id 🔽	type 💽	name 💽	pre_parts 🔽	branch_	branch_num	group 💽	comment 🔽	queue		
22			1	JNW	OR分岐				.case300				
23			2			1	1	5					
24			4			3							
26			5	UJOB	JOB2	2	2			1			
27			6	UJOB	JOB4	5				Ť			
28			7	DIA	DIA1	2	3						
29			8		JOB6	7							
30			10		JOB5	9	4						
32			11	EVTROV	EVENT ROVI	2	5						
33			12	UJOB	JOB7	11					•		
I4 4 F	M (jnw sche	ed / cal	/customjob / ir	nput / output / n	nap∕flow—v	iew 🗸 date-	view / version /	~to				
コマンド										ј 🔟 100% 🕞 –	Đ:		

図2.16 jnwシート

2. 定義編集ツールは、1つの部品を1行に定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセルを部品毎に選択して編集を行います。

入力値が範囲的なパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定されていますので、ルールに従ってパ ラメータを設定してください。

jc_definition [互換モード] - Microsoft Excel _ □ X													
5 *	マーム 挿	7 ~	ニジ レイアウト	数式 データ	校開	表示				0 -	σx		
	DC65	- (🤊 🦾 🔊	 າ							×		
AB	С	D	E	F	G	Н	I	DA	DB	DC			
1						-							
2 🕹	はのチェッ		参昭モードの角	211年 朝品った	к <u>п</u> – и –	シートプロ	1パティー						
3	(F5)			(F	7) /	(F8	i)						
4													
6	6												
7	7												
15													
17		I	D/種別		基	本		イベント受信					
10							\			受信タイムアウト			
19	ナエック 結里	10	種別	<i>2</i> 7 2 4		部品の関	連	異常	「終了				
10	바다 가지			作主力归	作主力リ	一日即	生纪中日	Aitto	公は新	\$\$ 7 つ、1"	タ.件		h.
20					70178000	万岐口	プ岐数	1-1-1%	*1	ダイムアントの有無	211		
21	•	id 🔽	type 💌	name 💌	pre_parts 💌	branch_ 🚬	branch_num 🝸	error_exit_value 💽	error_cond 🛛 💌	waitflag 💽 💌	waitti		
58		37	UJUB INBAZ	1後処理	36								
60		39	JNW	Continue 日次業務1									
61		40	UJOB	開始処理	39								
62		41	PARAB		40		2						
63		42	UJOB	処理A	41	1							
64		43	CALB	A HE L HE THE	42		2	· · ·					
66		44		<u>1ヘント処理 </u> オペレーク処理	43	1		1		on	· ·		
67		46			45		2			off	ᢖ		
68		47	UJOB	処理B	46	1							
69		48	JNW	SEND_EVENT							•		
	jnw / sche	ed 🗸 cal	/customjob /ir	nput / output / n	nap / flow-vi	ew / date-	view / version /	2					
אעקב										100% 😑 — 🔍	- 🕂 .::		

図2.17 jnwシートの編集

シートには入力補助機能が用意されています。「部品コントロール」ダイアログやダイナミックチェック機能を利用することで、パラメータを効率的に定義することができます。

シートの入力補助機能の詳細については、「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視 対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。
) - (° -	-			jc_det	inition 互換	モード] - Microso	oft Excel					x
•••,	ホーム 挿	入 ^	ページ レイアウト	数式 データ	校開	表示						0 -	σx
	I59	•	f _x										×
	3 C	D	E	F	G	Н	I	DA		BB	DC		
1			_				音	『品コントロール		23			
2 /	今休のチェッ		- 券昭エードの1				1157						
3	王 (F5) (F5)			(F	7)	(F8		≠R.巳./□,211世B/庙	(ቶ አ (E0)				
					· · ·		·		10/10.57				
4													
5						\mathbf{N}		JNWのコピー	(F10)				
7										-			_
15								JNWの削除	(F11)				
10			10.7番면		ti-	*							
1/	-			•		4			閉じる				
18	チェック					部品の関	連				受信	タイムア	ウト
19	結果	ID	種別	名前					_				
20					先行部品	分岐ID	分岐数	終了コード		条件	タイムアウトの	D有無	タイユ
21	-	id 🔽	type Inform	nation				83	erro	or_cond	waitflag		waitti
58		37	UJOB						\vdash				
59		38	JNW	_									
61		<u> </u>		2 現在のセルが	ある行の部品の	D初期値を代	入します。よろ	しいですか?					
62		41	PARAE										
63		42	UJOB										
64		43	CALB				140.00						
65		44	EVTRC				(*)(35)	(N)	1		on		
67		45			45		0		⊩				
68		40	UJOB		40	1	2						
69		48	JNW	SEND_EVENT									
II I F FI	jnw / sch	ed 🗸 cal	🖉 customjob 🖉 i	nput /output / r	nap ∕flow−vi	ew 🗸 date-	view 🖉 version	2			1 4		•
אעקב											I I 100% 😑 📃	-0	- 🕂 .::

図2.18 部品コントロール実行例

4. 編集作業が終了しましたら「全体のチェック」ボタンをクリックして、編集したジョブネットワーク定義の パラメータチェックを行ってください。

パラメータチェックでエラーが発見されると、ボタン下のウィンドウ内にエラーとなった部品数等が表示されます。エラーとなった部品が定義されている行は、"パラメータチェック結果"欄に"×"が表示され、エラーとなったパラメータのセルが赤色で表示されますので、対象のパラメータを正しく設定してください。

	jc_definition [互換モード] - Microsoft Excel _ □ ★													
	木	ーム 挿,	λ×	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示					(0 _ = :	ĸ
	ŀ	-194	•	(• <i>f</i> ∗ 1										×
	٩Β	С	D	E	F	G	Н	I	GE	GF	GG	GH	GI	
1	\frown			_		L								
2	<u></u>	体のチェッ		表昭モードの創		<u>кп-</u> ц	シートプロ	11377						
3	-	(F5)	· _		(F	7) //	- (F8							
4	201.2	/09/23.17	7-33-09	1部只のバラッ	ノークエラーを拾り	+1.=1.7-								
6	.012/	/00/231.	0.00.00			TOYOL'								
7														
15	_													
17]	ID/種別		基	本					SAF	・BIジョブ	Ċ.
18		チェック					如日の賜	二 市	ジョブバラメータ	1		BIジョブバラメー	ج	
19		結果	סז	種別	名前							言念 理 インマユ		
20						先行部品	分岐ID	分岐数	超過警告	事前設定	BI接続先名	imu ロックォージID	BIジョブ	
21		•	id 🔽	type 💌	name 💽	pre_parts 💌	branch_	branch_num	etimewarn 💌	inithold 💽	bidest 🛛 💌	biipkgname 💌	bijobname	
85		<u> </u>	64	UJOB	JOB1	63								
86		<u> </u>	65	JNW	SAMPLE1									
8/			65 67		争刖処埋	65								
89		ŏ	68	JNW	RootJNW	00								
90		ŏ	69	UJOB	A	68								
91		Ô	70	PARAB		69		4						
92		0	71	ERPJOB	В	70	1							
		\cap	72	IPARAB		71	L	2						
93			72		-									
93 94	¢	X	73	BIJOB	C	72		<u> </u>	off	off				
93 94 95	4		73 74 75	BIJOB UJOB	C D	72 73 79			off	off				
93 94 95 96	- FI		73 74 75	BIJOB UJOB WJOB	C D nput /output /r	72 73 72 72	1 2 iew ∕ date→	view / version /	off	off				-

図2.19 全体チェック

5.「全体のチェック」を実行した結果、編集した定義情報が正しい場合にはボタン下のウィンドウ内に「全てのチェックに成功しました。」と表示されます。さらに「参照モードに移行しますか?」というダイアログが表示されます。

参照モードに移行する場合は「はい」ボタン、移行しない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

	- 10 -	(21 -	•			jc_de	finition [互換	ŧモード] – M	icrosof	ft Excel			-	= x
	ホーム	挿入		ニジ レイアウト	数式 データ	校閲	表示						(0 _ 🖛 x
	GH1 01		- (● f _x										×
A	вс	;	D	E	F	G	Н	I		GD	GE	GF	GG	GH 🔺
1 2 3 4	全体の ⁻ (F	チェッ? 5)		参照モードの) (F6)		パロール 7)	シートプロ (F8	コパティ })						
6 7	127087	24 9:3	0:39 ;	主てのチェック	に成りしました。									=
15														
17			Ι	D/種別		基:	本							
18 19	チュ 結	ック 果	ID	種別	名前		部品の関う	連	汝	- 予想実行時 間	ジョブバラメータ 超過警告	, 事前設定	BI接続先名	3Iジョブパ: 論理イン パッケー:
20		💌 i	d 🔽	type 💌	n			h_n	um 🔽	exptime 💌	etimewarn 💌	inithold 💌	bidest 💌	biipkgnam
62	6		40	PARAB		夏モードに移行	テレますか?		2					
63	ŏ		42	UJOB 🔪	8 🔍				-					
64	0		43	CALB					2					
65	0		44		4 –									
67	R		45		H _	はい(Y)	いいえ(ト	V)	2					
68	ŏ		47	UJOB	久				2					
69	Ŏ		48	JNW	SEND_EVENT									
70	0		49	EVTSND	イベント送信	48								
71	0		50	JNW	sub11									
72	<u> </u>		51	JNW	sub12									
73	8		52		Isub13	E0								
74	<u>۲</u>		53			52	laure (alast	1	-1					×
	n jnw /	sched	ı∕cal	Customjoti / I	riput / output / r	nap∠now=v	iew / date=\	view / ver	sion				x 🖨 🔤 🗸	· ·

図2.20 参照モードへの移行

編集した定義情報をJPFファイルとして出力する際には「jnwシート」を参照モードに移行する必要があります。



2.4.4. ジョブネットワークを新規作成する

定義編集ツールを使ってジョブネットワークを新規に作成するには、フローの依存関係を手動で定義する必要 があります。このため、あらかじめフローの完成図を想定し、それを元に順に依存関係を定義していくことを 推奨します。

ここでは以下のようなジョブネットワークを定義編集ツールで定義する場合の例を説明します。



図2.21 サンプルジョブネットワーク

使用する部品の種別と名前は以下の通りです。

部品名	説明	種別
jnw1	ジョブネットワーク	JNW
JOB1	単位ジョブ	UJOB
(なし)	並列分岐	PARAB
JOB2	ERPジョブ	ERPJOB
DIA1	ダイアログ部品	DIA
jnw2	サブジョブネットワーク	SJNW
(なし)	ファイル待ち合わせ	WFILE
JOB3	プロセスチェーン・ジョブ	PCJOB
(なし)	条件分岐	CONDB
(なし)	コンティニュー部品	CONT
send1	イベント送信部品	EVTSND

以下の説明では定義編集ツールへの入力例として、その手順で新しく入力したセルを水色で表示します。

- 1. 定義編集ツール「jc_definition.xlsm」を開いて「jnwシート」を表示します。
- 2. ID、種別、名前を以下のように入力し、各部品のパラメータに必要な値を入力します。部品パラメータについては「2.6.1 ジョブネットワークの作成(jnwシート)」を参照し、適切な値を入力してください。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1			
30	PARAB				
40	ERPJOB	JOB2			
50	DIA	DIA1			
60	SJNW	jnw2			
70	WFILE				
80	PCJOB	JOB3			
90	CONDB				

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

3. フローの先頭は単位ジョブJOB1なので、ID=20(JOB1)の先行部品としてID=10(jnw1)を指定します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB				
40	ERPJOB	JOB2			
50	DIA	DIA1			
60	SJNW	jnw2			
70	WFILE				
80	PCJOB	JOB3			
90	CONDB				
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

4.単位ジョブJOB1の後ろには並列分岐部品を配置するので、ID=30(並列分岐)の先行部品にID=20(JOB1)を 指定します。またこの並列分岐は3つの分岐をもつので、分岐数に3を入力します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2			
50	DIA	DIA1			
60	SJNW	jnw2			
70	WFILE				
80	PCJOB	JOB3			
90	CONDB				
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

5. 並列分岐の各分岐の先頭には、それぞれ単位ジョブJOB2、サブジョブネットワークjnw2、ファイル待ち合わせ部品を配置します。これら3つの部品の先行部品には全てID=30(並列分岐)を指定しますが、どの分岐に配置するかを指定するために分岐IDを指定します。分岐IDは上から順に1,2,3,…と指定するので、それぞれ以下のように入力します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1			

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3			
90	CONDB				
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

6. ERPジョブJOB2の次にはダイアログ部品DIA1を配置するので、ID=50(DIA1)の先行部品として ID=40(JOB2)を指定します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1	40		
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3			
90	CONDB				
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

- 7. 並列分岐の後ろにはプロセスチェーン・ジョブJOB3を配置するので、ID=80(JOB3)の先行部品にID=30(並 列分岐)を指定します。このとき分岐IDは指定しないようにします。
 - 先行部品が分岐部品で分岐IDを指定していない場合、分岐したパスではなく分岐部品全体の後ろに配置されます。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1	40		
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3	30		
90	CONDB				
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

8. プロセスチェーン・ジョブJOB3の後ろに条件分岐を配置するので、ID=90(条件分岐)の先行部品に ID=80(JOB3)を指定します。条件分岐は2つに分岐するので、分岐数に2を入力します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1	40		
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3	30		
90	CONDB		80		2
100	CONT				
110	EVTSND	send1			

9.条件分岐の下パスにはコンティニュー部品を配置するので、ID=100(コンティニュー部品)の先行部品に ID=90(条件分岐)を指定します。このとき分岐IDとして2を指定します。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1	40		
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3	30		
90	CONDB		80		2
100	CONT		90	2	
110	EVTSND	send1			

10. 条件分岐の後ろにイベント送信部品send1を配置するので、ID=110(send1)の先行部品にID=90(条件分岐) を指定します。このとき分岐IDは指定しません。

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
10	JNW	jnw1			
20	UJOB	JOB1	10		
30	PARAB		20		3
40	ERPJOB	JOB2	30	1	
50	DIA	DIA1	40		
60	SJNW	jnw2	30	2	
70	WFILE		30	3	
80	PCJOB	JOB3	30		
90	CONDB		80		2
100	CONT		90	2	

ID	種別	名前	先行部品	分岐ID	分岐数
110	EVTSND	send1	90		

11.全ての入力が完了したら「全体のチェック」ボタンをクリックして、入力した値に問題がないことを確認し ます。

部品パラメータや部品依存関係に問題がある場合、ボタン下のウィンドウ内にエラーの内容が表示されますので、内容を確認して修正を行います。

依存関係に問題がなく、参照モードに移行できたらジョブネットワークの作成は完了です。

2.4.5. スケジュール定義を編集する

「schedシート」を使ってスケジュール定義情報を編集します。「schedシート」の各機能やパラメータ設定項目については「2.6.2 スケジュールの作成(schedシート)」を参照してください。

1.「schedシート」を表示します。

	J 🖬 19 - (N +) -			jc_definition	[互換モード] - M	licrosoft Excel			_	= x
	ホーム	挿入	ページレイ	アウト 数式 データ	校閲 表示					۲	_ = x
	A1		- ()	f _x							×
A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L 🔺
1 2 3 4	全体のチェッ: (F5)	>	参照モード(解除(F6)	⑦ 部品コントロール (F7)	ンートプロパティ (F8)						
5 6 7											
8	パライーク	I	D/種別	基本		スケジュール	設定				
10 11	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID	適用カレンダ	所属グループ	有効/無効	コメント	登録/除 外	ルール種
12		id 💌	type 💌	name 💌	relation 💽	apply_cal 💽	group 💌	enable 💽	comment 💽	regist 💌	rule_type _ ≡
13		1	SCHED	毎週土曜日	1			on		1	un alch i
14		2	RULE		1					1	weekly thementicles
16			SCHED	ロンクフケジュール	1			on			unnoruny
17		5	RULE		4					1	daily
18		6	SCHED	NewSch1			NewGroup	on	スケジュールの	コメント設定	
19		7	RULE		6		•			1	special
20		8	SCHED	NewSch2			.NewGroup	on			
21		9	RULE		8					1	weekly
22		10	SCHED	月初週末				off	運用開始日		
23		12	SCHED	週/八(週末) 日次(日本)				on			
25		13	SCHED	エラーリカバリ				on			
26		14	RULE		13					1	daily
27											
28											
29											
30		_									
31		_									
33											
14 4		chod		hipput /output /mon	flower iow d	ato-adove / an	rion / 🐑	+	1		Y
- 177		oneu	car / custo	mpo z mput z output z map		ate view / ver					
									EL 60%	- Wi	.::

図2.22 schedシート

2. 定義編集ツールは、1つのスケジュール定義およびスケジュールルールを1行に定義するフォーマットとなり ます。設定・変更を行うパラメータのセルを部品毎に選択して編集します。

入力値が範囲指定になるパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定されていますので、ルールに 従ってパラメータを設定してください。

	🚽 L) - (u •) •			jc_definition	[互換モード]	- Microsoft	Excel					_	= x
B	ホーム	挿入	ページレイ	アウト 数式 データ	校閲 表示								0	_ = x
	Q18		- (9	f _x										×
A	В	С	D	E	F	0	Р	Q	R	S	Т	U	V	W 🔺
1 2 3	全体のチェッ [、] (F5)	7	参照モード 解除(F6)	の 部品コントロール (F7)	シートプロパティ (F8)									
5 6 7														
9	バラメータ		D/種別		•				1		時刻		ルール	
10	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID		唐 雅	曜日	開始	時刻	周期	終了	時刻	休止日
12		· id ·	tvpe 💌	name	relation	dav 🔻	/가맛있 ordinal 💌	week ▼	s hour	்ற் smin 🔻	period 🔻	e hour 💌	in (⊐	pause 1
13		1	SCHED	毎週土曜日										
14		2	RULE		1			6	0	0				NONE
15		3	RULE		1		1	4	10	0				NONE
16		4	SCHED	日次スケジュール										
1/		5	RULE		4				22	U U				
18		0	SUHED	NewSchl		15					100			
19			SOUED	NewSehl	0	10		ĩ	12	0	120	24	0	
20		0	BULE	Newocriz	8			2	13	0	180	24	0	NONE
22		10	SCHED	月初调末				4	10	Ů	100	27	Ů	
23		11	SCHED	週次(週末)				ĕ						
24		12	SCHED	月次(月末)										
25		13	SCHED	エラーリカバリ										
26		14	RULE		13				15	0				
27		_												
28		_												
29		-												
31		-		+										
32		-												
33		1												_
14 4 F	▶ inw ⊂	ched 4	ral / custo	mint / input / output / mer	flow-view /d	i ate=view -/	version /	Ŷコ /	-		1	14		
		und 1	Can & Oubto	The second second second second	A Hold Hold A	and thomy	vor olority.							

図2.23 schedシートの編集

シートには入力補助機能が用意されています。「部品コントロール」ダイアログやダイナミックチェック機能を利用することで、パラメータを効率的に定義することができます。

シートの入力補助機能の詳細については、「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視 対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

	() - (2					jc_definition	[互換:	モード]	- Microsoft	Excel					-	= x
9	ホーム 打	春 入	ページレイ	Pウト 数式	データー:	校閲 表示									0	_ = x
	Q18		- ()	fx												¥
A	B	0	D	F		F		n	Р	0	R	2	т	11	V	W A
1	U		U			-		0			IX.	0		0	×	
2	今休のチェック		差限エード/													
3	(F5)		解除(F6)	(F7)	· //	(F8)		±10-								
								-004A	ויישיועו	/						
4					$ \rightarrow $											
									部品の初期	順値代入 (F9)						
						\mathbf{N}		-			1					
6									7.521	L (C 10)	1					
7					-				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
8	バラマータ	1	D/種別		基本						1 H		時初日		ルール	
10	チェック結果	ID	種別	名前		関連ID			スケジュー	ルの削除 (F11)	l li	貼時刻		終了	時刻	休止日
11											' 🗆	分	同期	時	分	
12	•	id 💌	type 💌	name 伝達工作日	*	relation	day		ſ	閉じる	1	💌 s_min 💌	period 💌	e_hour 💌	e_min 💌	pause [🔤
13		2	RULE	母迴工曜日		1	$+ \mathbf{N}$		<u></u>		' F	0 0				NONE
15		3	RULE			1			1	4		10 0				NONE
16		4	SCHED	日次スケジュール	Infor	mation						2	x			
1/		6	SCHED	NewSch1	_											
19		7	RULE	incondenti		_							120	24	0	
20		8	SCHED	NewSch2		🧿 現在のセル	がある	行の部	品の初期値	を代入します。	よろしぃ	いですか?				
21		9	RULE	日如调士		•							180	24	0	NONE
23		11	SCHED	週次(週末)	-											
24		12	SCHED	月次(月末)												
25		13	SCHED	エラーリカバリ						はい(0	いいえ(N)				
20		14	RULE													
28																
29																
30																
32							+				<u> </u>					
33																
14 A F	N jnw sol	hed 🔏	cal 🖉 custor	mjob / input / out	put 🗸 map	/flow-view /	date-v	riew 📈	version 🗶	2	·					•
コマンド												E		35% 😑 🗕	- U +	+ .::

図2.24 部品コントロール実行例

4. 編集作業が終了しましたら「全体のチェック」ボタンをクリックして、編集したスケジュール定義のパラ メータチェックを行ってください。

パラメータチェックでエラーが発見されると、ボタン下のウィンドウ内にエラーとなった部品数等が表示されます。エラーとなった部品が定義されている行は、"パラメータチェック結果"欄に"×"が表示され、エラーとなったパラメータのセルが赤色で表示されますので、対象のパラメータを正しく設定してください。

	9- (1	-)=			jc_definition	[互換モード]	- Microsoft	t Excel					-	= x
	ホーム 打	挿入	ページレイン	アウト 数式 データ	校閲 表示								0	_ = x
	F43		- (9	fx										×
A	В	С	D	E	F	0	Р	Q	R	S	Т	U	V	W 🔺
1 2 3	全体のチェック (F5)		参照モードの 解除(F6)	⑦ 部品コントロール (F7)	シートプロバティ (F8)									
5 20 6 7	12/08/24 10:26:	09 1音昂	晶のパラメー	タエラーを検出しました。)								
8	パーシーク	I)/種別	基本	•						時去山		ルール	
10	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID			曜日	開始	時刻	047%)	終了	時刻	休止日
11						В	序数	曜日	時	分	周期	時	分	
12	•	id 💌	type 💌	name	relation	🔹 day 💽	ordinal 💌	week 💌	s_hour 💌	s_min 💌	period 💌	e_hour 💌	e_min 💌	pause [🔳
13	0	1	SCHED	母週土曜日		1		6	0	0				NONE
15	K	2	RULE			1	1	0	10	0				NONE
16	K	4	SCHED	日次フケジュール		<u> </u>	<u> </u>	+	10	- ·				NONE
17	X	5	BULE						22	0				
18	G	6	SCHED	NewSch1						, i i i i i i i i i i i i i i i i i i i				
19	Õ	7	RULE			6 15			12	0	120	24	0	
20	0	8	SCHED	NewSch2										
21	0	9	RULE			3		2	13	0	180	24	0	NONE
22	0	10	SCHED	月初週末										
23	0	11	SCHED	週次(週末)										
24	<u>k</u>	12	SCHED	月次(月末)										
25	K	13	SUHED	エフーリカハリ	1.				15					
20	Υ	14	RULE			5			15					
27						-								
29					-									
30														
31														
32														
33														
	H jnw sol	ned / a	al / custor	mjob / input / output / ma	p / flow-view /	date-view /	version /	2				14		•
コマンド										6		5% 🕞	U 1	+

図2.25 全体チェック

5.「全体のチェック」を実行した結果、編集した定義情報が正しい場合にはボタン下のウィンドウ内に「全てのチェックに成功しました。」と表示されます。さらに「参照モードに移行しますか?」というダイアログが表示されます。

参照モードに移行する場合は「はい」ボタン、移行しない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

	- l - l	₩ +) +			jc_definition	[互換モード] - Mic	rosoft	Excel					-	= x
	ホーム	挿入	ページレイ	アウト 数式 デー	ター校開 表示								0	_ = x
	O15		- ()	f _x										¥
A	В	C	D	E	F	O F		Q	R	S	Т	U	V	W 🔺
1 2 3 4	全体のチェッ (F5)	2	参照モード(解除(F6)	の 部品コントロール (F7)	/ シートブロパティ (F8)									
5 20 6 7	112/08/24 10:	6:55 全7	てのチェックに	成功しました。										
8	パーパーク	I	D/種別	麦	参照モード		83	<u> </u>	1		時去山		ルール	
9 10 11 12	チェック結果	ŧ ID ▼id ▼	種別 type 、	名前 name		- 移行しますか?		瞿日 □曜日 veek ▼	開始 時 shour ▼	時刻 分 s:min ▼	■ 可 刻 「周期 period ▼	終了 時 e hour ▼	時刻 分 emin マ	休止日 pause 、=
13	0	1	SCHED	毎週土曜日		0.01100.007		6	- 0	- 0		-		NONE
15	ŏ	3	RULE					4	10	Ů				NONE
17	0	4	RULE	日次スクシュール	(まい())) いいえ(n		22	0				
18	0	6	SCHED	NewSch1			·		12	0	120	24	0	
20	ŏ	8	SCHED	NewSch2										
21	0	10	SCHED	月初週末	8		_	2	13	U	180	24	U	NONE
23	0	11	SCHED	週次(週末) 日:約(日末)										
24	ŏ	13	SCHED	エラーリカバリ										
26	0	14	RULE		13				15	0				
28														
30		-					_							
31														
33														
14 4 1	▶ jnw _	sched /	cal / custo	mjob / input / output	/map/flow-view/d	ate-view / versi	on Z	2						
コマンド										6		15% 😑 —		+ .;

図2.26 参照モードへの移行

編集した定義情報をJPFファイルとして出力する際には「schedシート」を参照モードに移行する必要があり ます。また、参照モードに移行すると「date-view」シートでスケジュールを確認することができます。



「date-view」シートでスケジュールを確認したい場合、「cal」シートも参照モードに移行する 必要があります。

2.4.6. 起動トリガ・監視対象テキストログ定義を編集する

「trgシート」を使って起動トリガ定義や監視対象テキストログを編集します。「trgシート」の各機能やパラ メータ設定項目については「2.6.3 起動トリガ・監視対象テキストログの作成(trgシート)」を参照してくださ い。

1.「trgシート」を表示します。

XII ファイル		プ	レイアウト 数式 デー	jú 夕 校閲	c_definition.xl 表示 アドイ	sm - Excel ン チーム			? 🕅 — 🛛	
A1	- -	: X 🗸 .	fx							~
1 A	В	D	E	F	Н	I	J	К	L	
2 3 4	è体のチェック (F5)		* 部品コントロール シ (F7)	ートプロバティ (F8)						
5										
7			種別	基本		設定				
9	パラメータ チェック結果	種別	起動トリガ種別	名前	有効/無効		関連JNW	定義名	監視キーワード	-1
10 11 12	-	type TRG TARGET_TEXTLOG	trg_type ~ TEXTLOG	name ~ TRG1 LOG1	enable ~ on	comment 👻	launch 🚬	filename - LOG1	keyword 🗾 🔽	set_ on
14 15 16										
17 18 19 20										
21 22 23										
24 25 26 27										
28 29 30										Ħ.
32	•	jnw sched	trg cal customj	ob input	output	map flow-vie	w date-viev	v version 🕂	: 4	
準備完	7								+	80%



2. 定義編集ツールは、起動トリガ定義および監視対象テキストログを定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセルを部品毎に選択して編集します。

入力値が範囲指定になるパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定されていますので、ルールに 従ってパラメータを設定してください。

x∎	5.0			j	c_definition.xlsm - E	ixcel			? 🗹 — 🗆
ファイル	ルーム	挿入 ページ	レイアウト 数式 デー	夕 校閲	表示 アドイン	₹−L			7
Q12	~	: × < .	fx ASCII						
A	В	D	E	F	N	0	Р	Q	R
2 4	全体のチェック (F5)		除 部品コントロール シ (F7)	/一トプロパティ (F8)					
6									
8			種別	基本				 監視対象テキスト	ПŰ
9	パラメータ チェック結果	種別	起動トリガ種別	名前	正規表現を利用する	部分一致した文字列を 環境変数に設定する	ファイルパス	エンコーディング	ローテーションルール
10	-	type ~	trg_type ~	name T	use_regexp ~	set_env_regexp 🗠	filepath 🗠	encoding 🗠 🗠	rotation 🗠
12		TARGET_TEXTLOG	TEATLOG	LOG1		on	c:¥a.txt	ASCII	-
13								ASCII SHIFT-JIS	
15								EUC UTF-8	
16								GB18030	
18									
19									
21									
22									
23									
25									
26									
28									
29									
30									
32									
1	•	jnw sched	trg cal customj	job input	output map	flow-view d	ate-view ve	rsion (+	: 4
淮儘宗	7						H	a n	P0%

図2.28 trgシートの編集

シートには入力補助機能が用意されています。「部品コントロール」ダイアログやダイナミックチェック機能を利用することで、パラメータを効率的に定義することができます。

シートの入力補助機能の詳細については、「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

N □ □ ○ · · · · · · · · · · · · · · · · ·	? 🗹 – 🗆 X
ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン チーム	M
	• • • • • •
A A B D E F H I J K	
2 全体のチェック 参照モードの意味 部品コントロール シートプロバフォー	
3 (F5) (F5) (F7) (F8) 御品コントロール	
5 年8月の支付期後後代入(FQ)	
10 - type tretype name na 11 TRO TEXTOO TOO TOO	<u>keyword</u> set
12 TARGET_TEXTLOG LOG1	
15 Information 23	
18	
20 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	
22	
29	
30 31 31 32 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33	
🔾 🔸 🛛 jnw sched trg cal customjob input output map flow-view date-view version 🤅	• • • •
	+ 80%

図2.29 部品コントロール実行例

4. 編集作業が終了しましたら「全体のチェック」ボタンをクリックして、編集した起動トリガ定義、監視対象 テキストログのパラメータチェックを行ってください。

パラメータチェックでエラーが発見されると、ボタン下のウィンドウ内にエラーとなった部品数等が表示されます。エラーとなった部品が定義されている行は、"パラメータチェック結果"欄に"×"が表示され、エラーとなったパラメータのセルが赤色で表示されますので、対象のパラメータを正しく設定してください。

X∎				j	c_definition.xlsm - Exce	<u>.</u>		? [ā — • ×
ファイル	レホーム	挿入 ページ	レイアウト 数式 デー	-夕 校閲	表示 アドイン チー	4			М
K20	-	: X 🗸	fx						×
- A	В	D	E	F	K	L	M	N	
2 4	全体のチェック (F5)	ー - 参照モードの解 - (F6)	除 部品コントロール ジ (F7)	ノートプロパティ (F8)					
5 201	7/05/22 10:19	36 1部品のバラメー	タエラーを検出しました。						
7			種別	基本			テキストログ監視		
9	パラメータ チェック結果	種別	起動トリガ種別	名前	定義名	監視キーワード	一致した行を環境変 数に設定する	正規表現を利用する	部分一致したず 環境変数に設
10	-	type ~	trg_type ~	TRG1	filename	keyword -	set_env ~	use_regexp ~	set_env_regexp
12	ŏ	TARGET TEXTLOG	TEXTEOR	LOG1	Loai	entor	on		
13 🚺	×	TRG	TEXTLOG	TRG2	LOG2	warning		0 ^f	off
14	<u>o</u>	TARGET_TEXTLOG	70,7100	LOG2	1.000				
16	8	TARGET TEVTIOG	TEXTLOG	1863	LUG3	error	on	off	off
17	<u> </u>	TANGET_TEXTLOG		1003					
18									
19									
20						 			
21									
22				-					<u> </u>
24				1				1	<u>├</u> ───┤
25									
26									
27									
28									<u> </u>
29			1			-			tL
31									
32									
		inw sched	tra cal customi	ich input		A		·	
		Jiiii oonea	trg car custom	Job input	output map	now-view date	e-view version	🐨 : 🖣	

図2.30 全体チェック

5.「全体のチェック」を実行した結果、編集した定義情報が正しい場合にはボタン下のウィンドウ内に「全てのチェックに成功しました。」と表示されます。さらに「参照モードに移行しますか?」というダイアログが表示されます。

参照モードに移行する場合は「はい」ボタン、移行しない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

XII 🖬 ち・ ♂・ ÷	jc				? 🖸	8 – 0 ×
ファイル ホーム 挿入 ページレイア	やや 数式 データ 校閲 剥	- 表示 アドイン チーム				
$AI \rightarrow : A \rightarrow Jx$						~
	E F	K	L	M	N	0
2 全体のチェック 参照モードの解除	部品コントロール シートプロパティ					
(F6) (F6)	(F7) (F8)					
4 5 2017/05/22 10:27:01 全てのチェックに成功し	しました。					
6						
8 種別	3) 参照モード		83	テキストログ監視		
バラメータ チェッ ^フ 結果 種別 9	起動トリガ種別		キーワード	ー致した行を環境変 数に設定する	正規表現を利用する	部分一致したず 環境変数に設
10 type tre_t	type <mark>- na</mark> 🕜 🕏	照モードに移行しますか?	· ·	set_env 🔽	use_regexp	set_env_regexp
12 O TARGET TEXTLOG				00	off	off
14 O TARGET_TEXTLOG					-#	-#
16 O TARGET_TEXTLOG				on		
17						
20						
21 22 2						
23 24						
25 26						
27 28 2						
29 30						
31 32						
 ↓ jnw sched trg 	cal customjob input	output map flo	ow-view date	-view version	🕂 : 🖣	
 準備完了			I.		■+	+ 80%

図2.31 参照モードへの移行

編集した定義情報をJPFファイルとして出力する際には「trgシート」を参照モードに移行する必要がありま す。

2.4.7. カレンダ定義を編集する

「calシート」を使ってカレンダ定義情報を編集します。「calシート」の各機能やパラメータ設定項目については「2.6.4 カレンダの作成(calシート)」を参照してください。

1.「calシート」を表示します。

	- Cu	•) •			jc_definition	[互換モード]] - Microsoft E	xcel						×
	ホーム 推	私 べ	ージ レイアウト	数式 データ 校開	机 表示								0 -	- x
	E53	- (9 f _x											*
A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	М	N	0 🔺
1 2 3 4	全体のチェック (F5)		照モードの 解除(F6)	部品コントロール シー (F7)	トプロパティ (F8)									
5 6 7														
8	バラマータ	ID.	/種別	基本							1			
10	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID	登録/除 外	ルール種別	- 7	日付		吃逝	曜日	休止日	相:
12	•	id 💌	type 💌	name	relation 💌	regist 💌	rule_type 💽	year 💌	month 💌	day 💌	ordinal	week	pause 💌	relativ
13		1	WKCAL	multi03-cal										
14		2	RULE		1	1	weekly					5	NONE	
10		3 1	RULE	multio I-cai	2	1	thmonthly				1	5	NONE	
17		5	WKCAL	multi02-cal	, v		annonany				· · ·		NONE	
18		6	RULE		5	1	special	2012	8	24				
19														
20														
21														
22														
23														<u> </u>
24														
26					1									
27														
28														
29														
30														
31														
32														
34			1											-
4 4 ≯	▶ jnw ∕sch	red <u>Cal</u>	Customjob	/input /output / map / 1	flow-view / da	ate-view ₄	/version / 🐔					I 4 [ш	• •

図2.32 calシート

2. 定義編集ツールは、1つのカレンダ定義およびカレンダルールを1行に定義するフォーマットとなります。設 定・変更を行うパラメータのセルを部品毎に選択して編集を行います。

入力値が範囲指定になるパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定されていますので、ルールに 従ってパラメータを設定してください。

	- 1) - (° -	-) =			jc_definition	[互換モード] - Microso	ft Excel					-	= x
	ホーム 挿	入《	ージ レイアウト	数式 データ	校閲 表示								0	- 🔿 X
	L17	- (f _x											×
- A	В	С	D	E	F	I	J	K	L	М	N	0	Р	(🔺
2		-		-	·									
3	全体のチェック	参照	間モードの 7R全(FR)	部品コントロール	シートプロパティ									
	(1.0)	13	#P0((1-0)	10.07	(10)									
4						-								
0														
6														
8		ID/	種別	基本								ルール		
9	バラメータ	TD	1 美色日	之前	明治すび		日付			曜日	(#.LD	★日☆J	生玩生	
11	7177004	10	1里の1	-101	[英])至10	年	月	в	序数	曜日		1841	157245	ź
12	-	id 💌	type 💌	name	relation	year 💌	month 💌	day 💌	ordinal 💌	week 💌	pause 💌	relative 💌	extra 💽	start_ye
13		1		multi03-cal	1					5	NONE	0		
15		3	WKCAL	multi01-cal							NONE	0		
16		4	RULE		3					5	NONE	0		
17		5	WKCAL	multi02-cal						1-				
18		6	RULE		5	2012	8	24	1					
19									3					
20									5	-				
21									LAST					
22														
24										1				
25														
26														
27														
28														
29														
31														
32										1				
33														
34	NI have deale	and the set			. /		/				1			¥
	r ∟jrw ∠sch	ed <u>ca</u> l ⁄	customjob	/ Input / output / map	o∠ now=view ∠ d	ate-view	<u>version</u>							
1421												85% (-)		· · · · ·

図2.33 calシートの編集

シートには入力補助機能が用意されています。「部品コントロール」ダイアログやダイナミックチェック機能を利用することで、パラメータを効率的に定義することができます。

シートの入力補助機能の詳細については、「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視 対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

	🔒 L) - (L -) -				jc_definition	[互換モード] - Microsof	t Excel						-	= x
U	ホーム 挿,	λ <i>ペ</i> ·	ージ レイアウト	力残	データ 校開	期 表示									0	- = x
	F15	• (● f _x													×
A	В	С	D		E	F	Ι	J	K	L	М		N	0	Р	Ç 🗖
2		(A. 17)														
3	全1年のチェック (F5)		(モードの)(F6)	部品コンド (F7)	-v - v-	・トブロバティ (F8)		却归二	יחייגו	- <i>i</i> u	_ ×					
. –																
5					$\overline{}$				部品の	初期値代入	(F9)					
6									カレンタ	「のコピー	(F10)					
7		ID/	種別		基本						[ルール		
9	パラメータ	10	1201			EB., TIC		8 .	カレンタ	ずの削除	(F11)		410	+=++	****	
10	ナエック結果	ID	種历月	:	谷町	関理ID	年			(BB()	7	Н	体正日	个目X小	特殊	Ť
12	💌 io	±	type 💌	name		relation 💌	year 💌	mont			2	- 1	pause 💌	relative 💌	extra 💌	start_ye
13				multi03-cai		1			_		1	5	NONE	0		
15		Inform	nation					Σ	3	1		5		0		
17													NONE	, v		
18		- 6	〕 現在のt	フルがある行の	の部品の初期値	を代入します。	よろしいう	ですか?	24		-					
20																
21		-														
23						(+1)/	~	1.11.1.7760								
24		-				La Crit	<u> </u>	VIVIZ(N)								
26			-	-		+	1									
27																
29																
31																
32																<u> </u>
34	NI inu (melae		ountomists	linnut (tout / more /	four-vious /-1	atom dow	America	Ø7 /	1	1					+
אַעדב	···(·)nw / sune	ur <u>i</u> ual/	castonijob	ζ πιραί ζ Ου	αραίχ παρχ	now view / u	ate view,	version7_	6			E		85% 🕞		+ .:

図2.34 部品コントロール実行例

4. 編集作業が終了しましたら「全体のチェック」ボタンをクリックして、編集したカレンダ定義のパラメータ チェックを行ってください。

パラメータチェックでエラーが発見されると、ボタン下のウィンドウ内にエラーとなった部品数等が表示されます。エラーとなった部品が定義されている行は、"パラメータチェック結果"欄に"×"が表示され、エラーとなったパラメータのセルが赤色で表示されますので、対象のパラメータを正しく設定してください。

	19 - CI	•) •			jc_definition	[互換モード]	- Microsoft Ex	cel				_ = x	
	ホーム 打	■入 ペ	ージ レイアウト	数式 データ 校開	閲 表示							🕜 🗕 📼 🗙	×
	F47	- (● ƒ _×									2	¥
A	В	С	D	E	F	Р	Q	R	S	Т	U	V	
1 2 3 4	全体のチェック (F5)	参照 	景モードの 彈除(F6)	部品コントロール シー (F7)	-トプロパティ (F8)								
<u> 5 201</u> <u> 6</u> 7	12/08/24 10:34:3	16 1部品の	バラメータエラ	ラーを検出しました。									
8		ID,	/種別	基本					·*==#	388			
10	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID	特殊		開始日	週用馬	161	終了日		
11			1201				年	月	В	年	月		
12		id 💌	type	name	relation 💽	extra 💌	start_year 💽	start_month 💽	start_day 💌	end_year 💽	end_month 💽	end_day 💽	
13	8	2		multi03-cal	1		2012	8	24	2013	12	21	
15	ŏ	3	WKCAL	multi01-cal			2012		24	2010	16		
16	×)	4	RULE		3		2016	8	24	2013	12	31	
17	0	5	WKCAL	multi02-cal									
18	0	6	RULE		5								
19													
20												++	
21												<u> </u>	
22												<u>+</u> +	
24													
25													
26													
27													
28												<u> </u>	
29												├─── ┤	
31					-							├ ┦	
32			1									tt'	
33												<u>├───</u> ┤.	
34			L										
		ned <u>cal</u>	customjob	/input/output/map/	riow-view / d	ate-view ₄	version 🖉 💝						
コマンド											5% 😑 🔍	· • .	

図2.35 全体チェック

5.「全体のチェック」を実行した結果、編集した定義情報が正しい場合にはボタン下のウィンドウ内に「全てのチェックに成功しました。」と表示されます。さらに「参照モードに移行しますか?」というダイアログが表示されます。

参照モードに移行する場合は「はい」ボタン、移行しない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

	jc_definition [互換モード] - Mi	crosoft Excel		_ = X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲	表示			0 _ = X
F15 ▼ f _x				*
A B C D E	F P	Q R	S T	U V 🔺
1 2 3 全体のチェック (F5) 4 5 2012/08/4 1035.02 全てのチェックに成功しました。 3 3 3 4 5 2012/08/4 1035.02 全てのチェックに成功しました。	ブロパティ (F8)			
6				
8 ID/種別 参照モード	X]		
9 ハロメータ 10 チェック結果 ID 種別		開始日		
		年月	日年	Я
12 · Id · Itype · Iname 参照モ 13 〇 · I WKCAL multi03-cal ? 参照モ	:ードに移行しますか?	ear 💽 start_month 💽	start_day 💽 end_year 💽	end_month rend_day r
		2012 8	24 2013	12 31
15 O 3 WKCAL multi01-/31		2012 8	24 2013	10 21
17 O 5 WKCAL multi02-cal (#	ELIMY LILIZON	2012 0	24 2010	12 01
18 O 6 RULE				
20				+ + - +
21				
22				++
24				
25				++
27				
28				
30				++
31				
32				
34				
- is a set in the Coologie of Counterpart (uppert Counter the Counter $/$ the $/$	the second			

図2.36 参照モードへの移行

編集した定義情報をJPFファイルとして出力する際には「calシート」を参照モードに移行する必要があります。また、参照モードに移行すると「date-view」シートでカレンダ稼働日を確認することができます。

2.4.8. ジョブネットワークフローを確認する

「jnwシート」で編集したジョブネットワークのフロー図を確認します。「flow-viewシート」の各機能や描画 アイコン等については、「2.6.10 ジョブネットワークのフローを確認する(flow-viewシート)」を参照してく ださい。

1.「jnwシート」の全定義情報で部品IDの依存関係が正しいことを確認してください。



部品IDの依存関係が正しいことを確認する最良の手順は「全体のチェック」機能を成功させて、 参照モードにすることです。

「jnwシート」の定義情報において依存関係にエラーがある場合には、ジョブネットワークフローの描画が行われません。なお、定義情報の依存関係が正しければ、各部品定義でパラメータエラーの有無は関係なく、フローの描画は可能です。

2.「flow-viewシート」を表示します。

1 5 1/1 #	・ ぐ・ ム 挿	∓ ⊼ ^·	ージレイアウ	가 数	式 データ	校闘	表	jc_def 示 ♀∶	inition - E 実行したい	Excel 作業を入力してく	ださい				1	1 <u>–</u> ಕಗ:	= א <זא	Q. #
L	• =	× v	f _x															
A	в	С	D	E	F	G	н	I	J	к	L	м	N	0	Р	Q	R	
-	一括更新			一拍	銷喺		-	−括プレビュ	-									
							_											
	jnw	sched	trg	cal	customjol	b inp	ut	output	map	flow-view	date-	view	version	+)	E 4		1
完了											_		Ħ	E	₽ -	1	+	8

図2.37 flow-viewシート

「一括プレビュー」ボタンをクリックしてください。「プレビューするJNWの選択」ダイアログが表示されます。

プレビューするJNWの選択	\times
 「全て選択する 10 ジョブネットワーク名 グループ名 ロメ業務1 18 月次業務1 22 月次業務2 	
ОК ++>tz/レ	

図2.38 プレビューするJNWの選択ダイアログ

4.「プレビューするJNWの選択」ダイアログからジョブネットワークフローを確認したいジョブネットワーク を選択し「OK」ボタンをクリックします。「flow-view」シートの右側に選択したジョブネットワーク名の シートが作成され、ジョブネットワークフローを確認することができます。



図2.39 JNWフローの確認

- 5. フローシートに描画された「サブジョブネットワーク」アイコンをクリックします。サブジョブネットワー ク名のシートが作成され、サブジョブネットワークのフローを確認することができます。
- 6. サブジョブネットワークのフローシートで「親JNW参照」ボタンをクリックします。「親JNWの選択」ダイ アログが表示されます。

親JNW	/の選択		×
0	月次業務1	 	
	OK	キャンセル	

図2.40 親JNWの選択ダイアログ

7.「親JNWの選択」ダイアログからジョブネットワークフローを確認したい親ジョブネットワークを選択し 「OK」ボタンをクリックします。選択した親ジョブネットワーク名のシートに移動し、ジョブネットワーク フローを確認することができます。



2.4.9. スケジュール・カレンダを確認する

「schedシート」および「calシート」で編集したスケジュール・カレンダの稼働予定日時を確認します。 「date-viewシート」の各機能については、「2.6.11 稼働日を確認する(date-viewシート)」を参照してくだ さい。

1.「sched」シートおよび「cal」シートにおいて「全体のチェック」ボタンをクリックし、それぞれ参照モードに移行します。



カレンダ稼働日を確認する際には、参照モードへの移行は「calシート」のみ必要となります。ただし、スケジュール稼働日時を確認する際には「schedシート」と「calシート」が参照モードである必要があります。

2.「date-viewシート」を表示して、「更新対象の変更」ボタンをクリックして更新対象の設定画面を表示します。

jc_definition [互換モード] - Microsoft Excel	x
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校開 表示	🕑 _ = 🛪 X
	*
ABC DE FGHIJK	L M 🚍
3 更新	
4 表示期間 5 対象スケジュール 表示期間	
6 更新対象の変更 1 2011/7/15 2012/7/15	
9 日 t 曜日 時刻	
10 表示するデータはありません。	
12	
14 15 15	
16	
	=
19 表示選択 対象ムケジュール ブ 対象ID 1	
24 表示終了出 2013 ÷ 年 8 ÷ 月 24 ÷ 日	
26	
27 OK キャンセル	
29 30	
8	
32 33	
34	
35	
37	•
Inv / sched / cal / customicb / input / output / map / flow-view (date-view) version / 🕲 /	
١ ١	€E

図2.41 date-viewシート

- 3. 以下の項目を入力して「OK」ボタンをクリックします。
 - ■"表示選択":カレンダを表示したい場合は"対象カレンダ"、スケジュールを表示したい場合は"対象スケジュール"を選択します。
 - ■"対象ID":表示したいカレンダ、スケジュールのIDを入力します。
 - ■"表示開始日"、"表示終了日":表示期間を入力します。この期間内の稼働日時が抽出されて「date-view シート」に出力されます。

4.「date-viewシート」に戻り「更新」ボタンをクリックすると、カレンダを選択した場合は稼働日を、スケジュールを選択した場合はスケジュール稼働日時を確認することができます。

	1 🖬 🤊	- (°I -) -				jc_	definition) [互換モード] - 	Microso	ft Excel									_		x
	ホーム	挿入 ^	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示												0	_ =	x
	E60	•	fx (00.00																	¥
	A R	0				F		F		G	ŀ	1	T		1	K		1		м	구문
1	m D	0	U			E		F		u	r	1	1		0	R		L		171	- -
2																					
3		更新		_					-		_										
4					対雾	けレンダ		表示	下期間	60-	_										
6		東新計会へ亦で	F I	_		1		開始	24												
7		更利利家の復興	e l					2012/0/	24	2010/0/2	4										
8	_		<u> </u>																		
9		日付	曜日			時刻															
10		2012/8/24	金			0:00		-													
11		2012/8/31	<u></u>			0:00		-													
12		2012/9/7	<u><u></u></u>			0:00		-													
13		2012/9/14	<u><u></u></u>			0:00		-													
14		2012/9/21	<u><u></u></u>			0:00		-													
10		2012/9/28	<u> </u>			0:00		-													
17		2012/10/5	<u>표</u> 순			0.00		-													
18		2012/10/12	 全			0.00		-													
19		2012/10/26				0:00															
20		2012/11/2				0:00															
21		2012/11/9				0:00															
22		2012/11/16	金			0:00															
23		2012/11/23	金			0:00															
24		2012/11/30	金			0:00															
25		2012/12/7	金			0:00		-													
26		2012/12/14	<u><u></u></u>			0:00		-													
27		2012/12/21	<u>金</u>			0:00		-													
28		2012/12/28	<u> </u>			0:00		-													
29		2010/1/4				0.00		-													
31		2013/1/18				0.00		-													
32		2013/1/25				0:00		-													
33		2013/2/1				0:00															
34		2013/2/8				0:00															
35		2013/2/15	金			0:00															
36		2013/2/22	金			0:00															
37		2013/3/1	金			0:00		1													-
14 4	▶ N inw	/sched /cal	/customich /	input /o	utput /m	ap / flow-	-view	date-view /ve	rsion .	/ 🐑 / 📃	_	_	_	_	_	 _					
ייקר	8				1	1.1.1.211									m	85%	O.	Π	1	6	÷.
1.12																0010	0	~		6	9

図2.42 スケジュール日時の出力例

2.4.10. 定義編集ツールからJPFファイルを出力する

定義編集ツールから定義情報をJPFファイルとして出力します。

- 1.「jnwシート」、「schedシート」、「trgシート」、「calシート」を全て参照モードに移行します。それぞ れのシートで「全体のチェック」ボタンをクリックし、定義情報のチェックを成功させてください。
- 2.「outputシート」を表示して「シートからの取り込み」ボタンをクリックします。

	, 17 -	(°1 -) =				jc	_definition	[互換モー	-ド] - Microsoft Exce	:						x	
	ホーム	挿入	ページ レイアウト	选楼	データ	校閲	表示								0 -	⊂ x	ζ
	A1	-	f _x													2	5
	A	В	C			D		E		F	G		Н	I		J	
2 3 4		シートから	うの取り込み]	定義ファイ	ルの出力										ſ	
5	IC	名前		種別		<u> 表示する=</u>	操作 しんしょう	ז ≠++∡	分割単位								
7						ತರಗಳಲ್	r — >(au95	ません									
8																	
10																	
12																	
13																	
15																	
17																	
18																=	
20																	
22																	
23																	
25																	
27																	
28																	
30																	
32																	
33																	
35																	
37																	
	N jnw	/sched / ca	l 🗸 customjob 🗸	inputo	utput / m	ap/flow	⊢view ⁄ d	ate-vie	w / version / 🞾 /	7							
אלאב												859	(-)	U	1	. 🕀	ii.

図2.43 outputシート

3. 「シートからの取り込み」ダイアログからJPFファイルへ出力する定義情報を選択します。出力する単位は ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガと監視対象テキストログ・カレンダとなります。

対象となる定義情報をチェックして「OK」ボタンをクリックして下さい。

「MAP分割出力」チェックボックスは定義情報を複数JPFファイルに分割して出力する機能を用 いる場合にのみ使用します。

分割出力機能については、「2.4.11 定義情報を複数のJPFファイルに分割出力する」を参照して ください。

シートからの取り込み	×
─ 出力対象	
▼ ジョブネットワーク	
□ MAP分割出力	出力対象の選択
🗖 スケジュール	
□ カレンダ	
□ カスタムジョブ定義	
□ 起動トリガ	
□ 監視対象テキストログ	
ОК	キャンセル

図2.44 出力対象の選択ダイアログ

4.「シートからの取り込み」が成功すると「outputシート」に各定義情報の一覧が出力されます。JPFファイ ルに出力される定義情報について確認してください。また、必要に応じてJPFファイルをJob Director MG/ SVにアップロードした時の操作を選択します。

操作項目の意味は「2.6.8.1 シートからの取り込み」を参照してください。

Ca	9	- (21 -)	÷			jc_defini	tion [互換モート	*] - Microsof	ft Excel					-		x
	ホーム	挿入	ページ レイアウト 一数	定	データ 校閲	表示	Ē.							0	-	∎ x
	E10		🔹 🧑 🖌 upda	ite												×
	A	В	C		D		F		F		G		Н	I		.1 =
1			Ű.		0		1				<u>u</u>			•		<u> </u>
2 3		シー	トからの取り込み		定義ファイルの出	ካ										
4		n L	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	14-F11				公剌甾语			1					
<u> </u>	1	10	石削 2月分岐	イ里カリ JNNM			ITT F	'기割뿌!꼬								
7	-	13 5	auh001	.INW			undate									
8		14 s	sub002	JNW			update									
9		15	TEST01	JNW			update				1					
10		21 8	SAMPLE	JN₩			update	-								
11		31	TEST02	JNW			update				1					
12		33 E	ERROR_RECOVERY_copy1	JN₩			delete									
13	L	38 c	continue	JNW			innore	J								=
14	L	39 [∃次業務1	JNW			update									
15		48 3	GEND_EVENT	JNW			update									
16		50 s	sub11	JNW			update									
17	-	51 s	sub12	JNW			update									
18	- F	52 s	sub13	JNW			update									
19	-	54,	月次業務1	JNW			update									
20	-	50 5	SUD 14	JNW			update									
21	-	0/), 50 / (月/次未務2 DEOU(Europh	JNW			update									
22	-	100	TEST001	INW			update									
20	-	65 3	RAMPLE1	INW			update									
25	-	1 88	Boot, INW	JINSW			undate									
26	-	92 1	waitfile	.INW			undate									
27	-	98	TEST02 copy1 copy1	JNW			update									
28		100 8	ERROR RECOVERY	JNW			update									
29		106 7	カレンダ分岐	JNW			update				1					
30		116	New Jnw03	JN₩			update									
31		117 1	New Jnw04	JNW			update									
32		120 j	nw1	JN₩			update									
33		122	ファイル集配信連携	JNW			update									
34		130 1	<u>エラーリカバリ_ダイアログ</u>	JNW			update									
35	L	137 j	nw2	JNW			update									վեր
36	L	139 j	nw3	JNW			update									U.
37	F	141 ji	nw4	JNW			update									-
	M inw	sched	cal customint / innu		tout man flo	w-view	lundate //date=view	version	/ •			_				
		<u>,</u>			space nup i no		<u></u>	<u></u>		1		85%				() .:
2121													0	V		S

図2.45 操作の選択例

5. 最後に「定義ファイルの出力」ボタンをクリックして、JPFファイルの出力先を選択して保存します。

	🖬 47 - (24 -) =		jc_definition [互換モード]- Microsoft Excel	-	- x	5
	ホーム 挿入 ページレイアウト 数	式 デー	ター校開 表示	0	_ = ;	x
	E10 To for under	to				×
				T		È.
1	M B U			1	J	
234	シートからの取り込み	定義	ファイルの出力			
5	ID 名前	種別	操作 分割単位 人割単位			
6	1 OR分岐	JNW				
7	13 sub001	JNW	○ 名前を付けて保存	×		
8	14 sub002	JNW				
9	10 1E3101 01 SAMPLE	UNW INW	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	2		
11	31 TEST02	JNW				
12	33 EBBOB BECOVERY copy1	JINW	整理 ▼ 新しいフォルダー 間王 ▼ (2		
13	38 continue	JNW		_		
14	39日次業務1	JNW	■ トキユメント ~ 名前 更新日時 種類			
15	48 SEND_EVENT	JNW				
16	50 sub11	JNW	def_jcserver.jcg.local_201208231724 2012/08/23 17:25 JPF 7	アイル		
17	51 sub12	JNW				
18	52 sub13	JN₩	▲ ミュージック			
19	54 月次業務1	JNW	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
20	56 sub 14	JNW				
21	57 月次業務2	JNW	▶ コンピューター			
22	58 RECV_Event	JNW				
23	63 TESTUUT	JNW	▲ ローカルティス			
24	60 Deet INW	JNW INW				
20	00 NOUTINW 02 waitfile	JNW JNW				
27	98 TEST02 conv1 conv1	JINW		•		
28	100 ERROR RECOVERY	JNW	フライルタ(N), JobContor 20120824172242			
29	106 カレンダ分岐	JNW	ノアイル(N); JUDCenter_20120624172343	•		
30	116 New Jnw03	JNW	ファイルの種類(T): JobCenterPortableFormat	-		
31	117 New Jnw04	JNW				
32	120 jnw 1	JNW	作成者: npxjc タグ: タグの追加			
33	122 ファイル集配信連携	JN₩				
34	130 エラーリカバリ_ダイアログ	JNW				
35	137 jnw2	JN₩				
36	139 jnw3	JNW				
37	141jnw4 149 janua E	NWW UNW		Ъ		-
14 4 I	🕨 📕 jnw / sched / cal / customjob / inpu	t output	/map/flow-view/date-view/version/🕲/			
ועדב	*			- U I	÷	:

図2.46 JPFファイルの出力

2.4.11. 定義情報を複数のJPFファイルに分割出力する

定義編集ツール上の定義情報をMAP情報(出力ルール)に従って複数のJPFファイルに出力します。

MAP情報はジョブネットワーク定義情報に対して設定します。分割出力を行う単位は「jnwシート」上のジョ ブネットワーク定義毎・「schedシート」の全スケジュール定義・「trgシート」の全起動トリガ定義・「trg シート」の全監視対象テキストログ・[calシート]の全力レンダ定義となります。

本機能は、Job Director MG/SVからダウンロードした定義情報を開発単位に分割・配布して、開発 拠点毎に分散開発を行う場合に利用します。

分散開発については「2.5.1 分散開発の概要」を参照してください。

- 1.「jnwシート」、「schedシート」、「trgシート」、「calシート」を全て参照モードに移行します。それぞ れのシートで「全体のチェック」ボタンをクリックし、定義情報のチェックを成功させてください。
- 2. 複数のJPFファイルに分割出力を行う場合、「mapシート」に出力ルールとしてMAP情報を定義します。 「mapシート」を表示してください。

	1	- (° -);	;			j	c_definitior	n [互換モー	S] - Microsoft E	xcel				-	= X	
	ホーム	、 挿入	ページ レイアウト	法残	データ	校閲	表示							0		x
	L37	7	\bullet f_x													×
	A	В	C	D		E		F			G		Н	Ι	J	
2		最親	所情報に更新		行の	削除										
5		存在 💌 ID	▼ 名前		■種別	I] 🔽	JNWグル	ーブ名		▼ 分割単位						
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 87																
28 I4 ◆ ▶	.⊌ jnv	v / sched /	cal / customjob /	input / oi	utput m	ap flov	w-view 📈	date-view	/version / 🕈]/						
אעדב												85%	0	- Ū I	•	

図2.47 mapシート

3.「最新情報に更新」ボタンをクリックして「jnwシート」のジョブネットワーク定義情報を「mapシート」 に反映します。「mapシート」の更新に成功すると、ジョブネットワーク定義情報が一覧表示されます。

なお各項目の意味については、「2.6.9.1 最新情報に更新」を参照してください。

	- 10 - CI -	÷		jc_definition [互換モード] - Microsof	ft Excel	- = ×
	ホーム 挿		-タ 校閲	表示		🔞 _ 🗖 X
	L37	▼ (?) f _x				*
	A B		F	F	ĥ	н т л 🖃
1		Ĵ			3	
2		最新情報に更新	行の削除			
3						
- 4		ID < 名前	▼種別	「NWグルーゴタ	▼ 分割単位	.
6	0	1 OR分岐	JNW	case300	7月十四	-
7	Ō	13 sub001	JNW	case300		
8	0	14 sub002	JN₩	case300		
9	<u>0</u>	15 TEST01	JNW			_
10	<u>0</u>	21 SAMPLE	JNW	case300		_
11	<u>o</u>	31 TEST02	JNW	000		-
12	8	29 continuo		Case300		-
1.0	×	30 COntinue 20 口:左葉歌1	JINW INSW	Dase300 日1年		-
15	ŏ	48 SEND EVENT	JINW	case300		-
16	ŏ	50 sub11	JNW			-
17	Ō	51 sub12	JNW			-
18	0	52 sub13	JN₩			
19	0	54 月次業務1	JN₩	月次		
20	0	56 sub14	JN₩			_
21	<u>o</u>	57 月次業務2	JNW	月次		_
22	0	58 REGV_Event	JNW	case300		-
23	8	65 COMPLE1		Case 300		-
24	ŏ	68 Boot INW	JINW	case300		-
26	ŏ	92 waitfile	JINW	case300		-
27	ŏ	98 TEST02 copy1 copy1	JNW	case300		-
28	Ō	100 ERROR RECOVERY	JNW	case300		
29	0	106 カレンダ分岐	JN₩	.GROUP1		
30	<u>0</u>	116 New Jnw03	JNW	case300		_
31	<u>0</u>	117 New Jnw04	JNW	case300		
32	<u>o</u>	120 jnw1	JNW	GROUP1		-
33	2	122 ノア1ル果能信連携 190 エニーリカバリ ダイマログ				
34	×-	130 エフーワルハリ_ダイアロク 137 jana 2	UNW INW	GBOUP1SubGroup1		-1
36	ŏ	139 inw3	JINW	GBOLIP1SubGroup1		-1
37	ŏ	141 jnw4	JNW	GROUP2		┨ ■
22		143 ipo 5	INIM	GROUP2SubGroup2		
	r i jnw∠sch	ed / cai / customjob / input / outpu	t_map/fic	w-view / date-view / version /		
- 172F						85% (=) (+) .::

図2.48 最新情報に更新

- 「最新情報に更新」を実行するためには「jnwシート」が参照モードである必要があります。
- 4.「mapシート」上の「分割単位」パラメータセルに定義情報の分割単位を設定します。分割単位とは、出力 する定義のグルーピング情報のことを指し、同一の「分割単位」に指定した定義情報毎にJPFファイルを作 成します。「分割単位」を指定しない(空欄にした)場合、その定義情報は出力されません。また、「分割単 位」に指定した文字列が出力先ファイル名として用いられます。

出力後のファイル名の命名規則は「<分割単位>_<YYYYMMDDhhmmss形式の実行日時>.jpf」のようになり ます。

) - (2 -	•		jc_definition [互換モード] - Micr	rosoft Excel	- = X
	ホーム 挿び	~ 入 ページレイアウト 数式 デ・	々 校閲	表示		🔞 _ 🗖 🗙
	633	- X X & 7741	2. 17074	90.11		×
	000 D		Г	Г	0	
1	m D		E	F	G	H I J
2		星新特期二面新	行の削除			
3		42(*/1日中部)こと(*)	T I O 2H IPAK			
4			- 144-011	- MORT - 42		
6		100B分岐	<u>* 作里方り</u> INI前	case300		
7	ŏ	13 sub001	JNW	case300		
8	Ō	14 sub002	JNW	case300		
9	0	15 TEST01	JNW			
10	0	21 SAMPLE	JNW	case300		
11	0	31 TEST02	JNW	000		
12	8	28 continuo		case300		
14	×	39 日次業務1	JNW	日次		
15	ŏ	48 SEND EVENT	JNW	case300		
16	Ō	50 sub 11	JNW			
17	0	51 sub12	JNW			
18	0	52 sub13	JNW			
19	0	54 月次業務1	JNW	.月次	月次処理開発1	
20	8	00 SUD 14 57 日:左葉歌9	JNW	日次	日: 午如 理問務 9	
22	ŏ	58 BEGV Event	JNW	case300	/1////////////////////////////////////	
23	ŏ	63 TEST001	JNW	case300		
24	Ō	65 SAMPLE1	JNW	case300		
25	0	68 RootJNW	JNW	case300		
26	0	92 waitfile	JNW	case300		_
27	0	98 TEST02_copy1_copy1	JNW Linu	case300		
28	8	100 ERROR_RECOVERT 106 中にこぶ分岐	JNW JNW	GROUP1		_
30	ŏ	116 New, Inw03	JNW	case300		_
31	ŏ	117 New Jnw04	JNW	case300		
32	Ō	120 jnw1	JNW	.GROUP1		
33	0	122 ファイル集配信連携	JNW	case300	<u>วิรา/ม</u>	
34	<u> </u>	<u>130 エラーリカバリ ダイアログ</u>	JNW	case300		_
35		13/ jnw2 190 jaw9	JNW INW	GROUP1SubGroup1		
30	K -	139 JNW3 141 inuu4	JNW	GROUP LSubaroup I		_
3.8	K	1/13/10/07		GROUP2SubGroup2		
H + +	📕 jnw 🖉 sche	d / cal / customjob / input / outpu	t map fl	ow-view / date-view / versi	on / 🖏 /	
編集					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□ □ ^{35%} ⊖

図2.49 mapシート

5. MAP情報を定義しましたら、定義情報をJPFファイルに出力します。「outputシート」を開いて「シートからの読み込み」ボタンをクリックし、出力対象の選択ダイアログで「ジョブネットワーク」をチェックした上で「MAP分割出力」をチェックして下さい。「出力対象の選択」ボタンが有効になりますので、クリックして下さい。

ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示	 Image: Image: Ima	×
		×
A B C D E F G H	I,	
1 2 3 シートからの取り込み 定義ファイルの出力		
* ID 名前 種別 操作 分割単位		
6 表示するデータはありません		
int int int int int int int int		
300 00 000 000 000 000 0000 0000 0000	Ū+(÷ .::

図2.50 シートからの読み込み(outputシート)

6. 「出力対象の選択」ダイアログでは「mapシート」で定義した分割単位が表示されます。出力する分割単位 にチェックして「OK」ボタンをクリックして下さい。出力対象が選択できましたら「シートからの読み込 み」ボタンの「OK」ボタンをクリックして、定義情報の出力準備を行って下さい。



「mapシート」で分割単位を設定していない項目は表示されません。存在しないジョブネット ワークに対して分割単位が設定された場合、本ダイアログに項目は表示または選択が可能ですが 出力対象とはなりません。

出力対象	家の選択		×
		全てON	全てOFF
 	月次処理開発1 月次処理開発2 ファイル	 	
,	ОК	キャンセル	,

図2.51 「出力対象の選択」ダイアログ

7.「シートからの取り込み」が成功すると「outputシート」に各定義情報の一覧が出力されます。定義情報毎の「分割単位」欄がJPFファイルへの出力先となりますので確認してください。

必要に応じてJPFファイルをJob Director MG/SVにアップロードした時の操作を選択します。操作項目の意 味は「2.6.8.1 シートからの取り込み」を参照してください。

出力対象にスケジュールを選択した場合、出力されるスケジュール定義情報は「sched」という 固定名の分割単位となります。 出力対象に起動トリガを選択した場合、出力される起動トリガ定義情報は「trq」という固定名の 分割単位となります。 出力対象に監視対象テキストログを選択した場合、出力される監視対象テキストログ情報は 「target_textlog」という固定名の分割単位となります。 出力対象にカレンダを選択した場合、出力されるカレンダ定義情報は「wkcal」という固定名の 分割単位となります。 MAP分割出力を実行する際には、これらの名前を変更することはできません。ジョブネットワー ク定義以外の定義の名前を指定したい場合には、該当の定義のみを出力するように出力対象の選 択ダイアログでチェックして下さい。

	9 - (° -) -	jc_defir	nition [互換モ~	- [4] - Microsoft Excel			-	= x
★一	ム 挿入 ページ レイアウト	数式 データ 校閲 表	示				0.	- = x
A	1 ▼ (* <i>f</i> _x							×
A	BC	D	E	F	G	Н	I	J
2 3 4	シートからの取り込み	定義ファイルの出力						Î
5	ID 名前	種別	操作	分割単位				
6	1 毎週土曜日	SCHED	update	sched				
7	4日次スケジュール	SCHED	update	sched	_			
8	6 NewSch1	SCHED	update	sched	_			
9	8 NewSch2	SCHED	update	sched	_			
10	10月初週末	SCHED	update	sched	_			
10	11週/天(週末)	SCHED	update	sched	-			
12		SCHED	update	sched	-			
14	1 multi03-cal	WKCAL	update	scried wkcal	-			
15	3 multi01-cal	WKCAL	undate	wkcal	-			
16	5 multi02-cal	WKCAL	update	wkcal				
17	137 ファイル集信1	JNW	update	ファイル				
18	80 月次業務1	JNW	update	月次処理開発1				
19	82 sub14	JNW	update	月次処理開発2				
20 21 22 23 24 25 26 26 27 28 29 30 31 32 33 33 34 35 36 37 38								
II I I II	w/sched/cal/customjob/inj	put _output / map / flow-viev	w / date-vie	w version 🖓				
אעקב					₩ © Ш 85%	9		÷.::

図2.52 outputシート

8.「定義ファイルの出力」ボタンをクリックして下さい。JPFファイルの出力先フォルダを選択するダイアロ グが表示されますので、任意のフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックして下さい。

	jc_definition [互換モー	8] - Microsoft Excel		- = X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式	データ 校閲 表示			0 _ = X
A1 - fx				¥
A B C	DE	F	G H	IJ
1 2 3 4	定義ファイルの出力			
5 ID 名前 種別 6 1 毎週+週日 SCUE	操作 D update	分割単位 sebed		
0 1 再過工場日 30111 7 4 日次スケジュール SCHE	D update	sched		
8 6 NewSch1 SCHE				
10 10 月初週末 SCHE				
11 11/週次(週末) SCHE 12 12目次(日末) SCHE	JobCenterPortableFormat			
13 13 エラーリカバリ SCHE				
14 1 multi03-cal WKCA 15 3 multi01-cal WKCA	📃 デスクトップ	<u>^</u>		
16 5 multi02-cal WKCA	▷ 🎘 ライブラリ	=		
17 18 18 17 17 18 17 137 ファイル集信1 JNW 18 JNW	Administrator			=
19 82 sub 14 JNW	▶ 🜉 コンピューター			
20	▷ 📬 ネットワーク			
22	▶ 💷 コントロール パネル			
23	1 ごみ箱	-		
25				
20 27	新しいフォルダーの作成(N)	OK キャンセル		
28				
30				
31				
33				
34				
36				
37				-
H ← → H jnw / sched / cal / customjob / input] ou	tput / map / flow-view / date-view	version / 😓		
אלדב				-V

図2.53 定義ファイルの出力

9. 指定したフォルダ配下にJPFファイルが出力されます。
| ◇ マ ▶ コンピューター ト ローカル | ディスク(C:) 🕨 JobCenter-jpf-data | | • | ₽ JobCente |
|----------------------|-------------------------------------|------------------|----------|------------|
| 整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ | 新しいフォルダー | | | := |
| 🚖 お気に入り | 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
| 🚺 ダウンロード | def_jcserver.jcg.local_201208231724 | 2012/08/23 17:25 | JPF ファイル | 7 KB |
| ■ デスクトップ | a) sched_20120828101432.jpf | 2012/08/28 10:14 | JPF ファイル | 4 KB |
| 「風 最近表示した場所 ■ | wkcal_20120828101432.jpf | 2012/08/28 10:14 | JPF ファイル | 3 KB |
| | 🚡 ファイル_20120828101432.jpf | 2012/08/28 10:14 | JPF ファイル | 4 KB |
| 😂 ライブラリ | 🛕 月次処理開発1_20120828101432.jpf | 2012/08/28 10:14 | JPF ファイル | 3 KB |
| | ▲〕月次処理開発2_20120828101432.jpf | 2012/08/28 10:14 | JPF ファイル | 3 KB |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ■ コンピューター | | | | |
| M ローカルディスク(C:) | | | | |
| | | | | |
| 📬 ネットワーク | | | | |
| N 031APGBK01 | | | | |
| A-WATANABE118 | | | | |
| I A-WATANABE153 | | | | |
| S DAILYBUILDER | | | | |
| 6 個の項目 | | | | |

図2.54 シートからの読み込み(outputシート)

2.4.12. JPFファイルをサーバにアップロードする

JPFファイル(定義情報)をサーバへアップロードします。アップロードの機能詳細については、 <基本操作ガイド>の「12.2 定義情報(JPFファイル)アップロード」 を参照してください。

Job Director MG/SV、およびJob Director CL/Winが未インストールの環境下において、Definiton Helperに同梱しているjdh_uploadコマンドを使用する場合、 以下の点にご注意ください。

■アップロード先のJob Director MG/SVの接続ポート(jccombase)がデフォルト値(611)以外の場合 は、 接続先ポート番号を明示的に指定する必要があります。

jdh_uploadコマンドの詳細については <コマンドリファレンス>の「3.15 jdh_upload 定義情報の アップロード」 を参照してください。



- 1. CL/Winから対象のJob Directorサーバに、定義データを所有させたいユーザで接続します。
- 2.メニューバーの[ファイル(F)]-[JD Assist]-[アップロード(U)]からアップロードしたいJPFファイルを選択 します。

- ##±F	(F) 編集(E) 設定(S) (A/5成(N))	表示(V) コマンド(A) SAP管理(M) ウィン
18 ^初 77 ———————————————————————————————————	/TFDX(N) iの変更(M)	× 🛃 🌫 🗛
38	先(T)	e 🖬 🖄
18 移動	l先(M)	↔ スケジュールー督 団 ユーザメニュー
JNW	/の削除(D)	lest
グル	,ープの削除(G)	GROUP1
2=	ートカットの作成(R)	GROUP2
ショ	ートカットの削除(K)	
0-	ディング中止(L)	C359300
Help	per機能	アップロード(U)
閉じ	√る(C)	ダウンロード(D) ▶
接続	切断(I)	チェック(C)
終了	(X)	
		アップロートユーザの指定
		ユーザの選択 Administrator 🔹
		OK ++>tell
	「アップロード	ド対象の指定 < Administrator>
	アップロード	ド対象の指定 <administrator></administrator>
	アップロード JPFへのパ	ド対象の推定 <administrator> 12 [</administrator>
	アップロート JPFへのパ マシンダ	ド対象の指定 <administrator> 12 [名変更を行う マジン名変更</administrator>
	アップロート JPFへのパ ママンパ マキュー1	 ド対象の指定 < Administrator> パス [名変更を行う マシン名変更] 情報のチェックを省略する



3.「定義のアップロード」ダイアログが表示され、しばらくするとアップロード処理の結果が表示されます。

定義のアップロード	×
定義のアップロードに成功しました。	
アップロードするファイルを準備しています。 ファイルをアップロードしています。 ファイルのアップロードが完了しました。	<u> </u>
==== Start Dependency check ====	E
Dependency check is successed.	
==== Start Updating Working Calendars ==== Update Success "祝日"	
Update:1 Create:0 Ignored:0	
==== Start Updating Working CustomJob Templates ==== Create Start "SLEEP" 	
	-
	閉じる

図2.56 アップロード結果

2.5. 分散開発の実施手順

この章では、Job Director JD Assist を利用して複数開発者・複数開発環境で分散開発する手順について説明 します。

2.5.1. 分散開発の概要

「分散開発」とは、単一のユーザ(Job Director登録ユーザ)が保持する定義情報を複数開発者(開発拠点)で開発・編集する場合に適用する開発形態です。



システム開発者C

図2.57 分散開発の適用ケース

Job Director JD Assist は定義情報をユーザ(Job Director登録ユーザ)単位で管理します。つま り、Job Director CL/Winでダウンロードする定義情報や定義編集ツールで開発・編集作業を実施する定義情報 は、ユーザを単位とする固有データとなります。

そのため、1ユーザが保持する定義情報に対して、複数の開発者がJob Director JD Assist を利用して開発・ 編集する場合には、開発単位をあらかじめ決定した上で定義情報を分割し、開発したそれぞれの定義情報をひ とつに統合する作業が必要となります。

定義情報を任意の開発単位に分割・統合するには、定義編集ツールを利用します。以下、定義編集ツールを利 用して複数開発者または複数開発環境で分散して開発作業を実施するシナリオについて説明します。

以下のような定義情報の分割を必要としない分散開発(Job Director CL/Winでダウンロードする際 に既に開発単位に分割できているケース)では、本項目を実施する必要はありません。

■開発者(開発拠点)がJob Directorユーザ単位に対応しているケース

例えばJob Directorをユーザ「user1」と「user2」のみで運用しており、「開発者1」が「user1」の定義情報を開発して「開発者2」が「user2」の定義情報を開発するという場合 は、Job Director CL/Winでダウンロードした定義情報を開発単位として扱うことができるため、 分散開発のために定義情報を分割する必要はありません。

■1ユーザが保持する定義情報が業務(開発単位)毎にジョブネットワークグループで分類されている ケース

Job Director CL/Winでダウンロードできる定義情報の最小単位は「ジョブネットワークグルー プ」となります。定義情報をダウンロードする際に、ジョブネットワークグループを指定するこ とでグループに所属するジョブネットワークのみを取得することができます。開発に必要な定義 情報のみ取得して開発者に配布してください。 分散開発を実施する場合には、業務ジョブ(定義情報)を開発する担当者、開発全体の取りまとめを行う担当 者、のように作業フェーズ毎に操作ユーザを明確化します。分散開発では操作ユーザの役割を三者に分類する ことができます。これから説明する利用シナリオにおいて、操作ユーザは以下に定義した役割を分担します。

■システム管理者

Job Director MG/SVに対してJob Director CL/Winで接続(または物理的にアクセス)可能であるユーザの ことを指します。サーバ上のJob Director定義情報に対してダウンロード・アップロードする権限を有しま す。

■ジョブ定義検査者

Job Director定義情報の開発計画を立案して、開発の取りまとめを担当するユーザを指します。「システム 管理者」と「ジョブ定義開発者」との調停を行うため、以下の作業を担当します。

- ■「システム管理者」からJPFファイル(編集対象とするJob Director定義情報全体)を受け取ります。これを 開発単位毎に分割し、「ジョブ定義開発者」に対して開発・編集担当範囲のJPFファイルを送付します。
- 「ジョブ定義開発者」からJPFファイル(開発済みのJob Director定義情報)を受け取り、定義情報を確認し ます。また、分散開発された複数のJPFファイルを一つのJPFファイルとして統合し、「システム管理者」 に送付します。

■ジョブ定義開発者

Job Director定義情報の作成・編集を担当するユーザを指します。定義編集ツールを利用して開発担当分の 定義情報(JPFファイル)を作成します。開発完了後には成果物であるJPFファイルを「ジョブ定義検査者」へ 送付します。

2.5.2. 複数開発者(分散拠点毎)による新規開発

複数のジョブ定義開発者(複数の開発拠点)がそれぞれ担当分定義情報を新規に開発・編集することを目的とし た利用シナリオを説明します。



図2.58 分散開発による新規開発

分散開発による新規開発シナリオで必要となる操作は、分類すると以下の3フェーズとなります。それぞれの フェーズで開発成果物として「JPFファイル」を作成し、それらを統合してアップロードする流れとなりま す。

- 1.「ジョブ定義開発者」がそれぞれ担当分の定義情報を開発します。
- 2.「ジョブ定義検査者」が定義情報を統合します。
- 3.「システム管理者」が開発した定義情報をサーバにアップロードします。

2.5.2.1. ジョブ定義開発者による定義情報の開発

「ジョブ定義開発者」はそれぞれ担当分の定義情報を開発します。

開発を実施する際には、定義情報の名前が一意に識別できるように事前に決定しておいてくださ い。例えば、定義情報名の先頭に業務名や開発名を付加するなどの対処を実施してください。

Job Directorでは、ジョブネットワークやスケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カ レンダ・カスタムジョブテンプレートなどの個別の定義情報の名前が一意に決められている必要が あります。定義情報に名前の重複がある場合、JPFファイルとして出力することができません。

- 1. 定義情報を新規に開発します。定義編集ツールを用いて以下の開発・編集作業を実施します。
 - ■「2.4.4 ジョブネットワークを新規作成する」
 - ■「2.4.3 ジョブネットワーク定義を編集する」
 - ■「2.4.5 スケジュール定義を編集する」
 - ■「2.4.6 起動トリガ・監視対象テキストログ定義を編集する」
 - ■「2.4.7 カレンダ定義を編集する」
- 2. 開発した定義情報の内容を確認します。
 - ■「2.4.8 ジョブネットワークフローを確認する」
 - ■「2.4.9 スケジュール・カレンダを確認する」
- 3. 開発・編集した定義情報を「ジョブ定義検査者」に送付するためにJPFファイルを作成します。
 - ■「2.4.10 定義編集ツールからJPFファイルを出力する」

4. JPFファイルを「ジョブ定義検査者」に送付します。

2.5.2.2. ジョブ定義検査者による定義情報の統合

「ジョブ定義検査者」は「ジョブ定義開発者」から受け取った成果物を統合・検査して、「システム管理者」 に送付します。

定義編集ツールで「ジョブ定義開発者」から受け取った複数のJPFファイルを同時に読み込むことで、定義情報をひとつに統合します。



定義編集ツールで同時読み込み可能な最大ファイル数は「255」となります。また、定義編集ツー ルで定義できる最大部品数は「60000」部品となります。この範囲に収まるようにひとつのJPF ファイルに定義情報を統合してください。

1. 定義編集ツールで対象のJPFファイルを複数同時に読み込み、定義情報をひとつに統合します。

- ■「2.4.2 JPFファイルを定義編集ツールに読み込む」
- 2. 開発全体の定義情報を確認します。
 - ■「2.4.8 ジョブネットワークフローを確認する」
 - ■「2.4.9 スケジュール・カレンダを確認する」
- 3. 開発した定義情報を「システム管理者」に送付するためにJPFファイルを作成します。
 - ■「2.4.10 定義編集ツールからJPFファイルを出力する」
- 4. JPFファイルを「システム管理者」に送付します。
- 2.5.2.3. システム管理者による定義情報のアップロード
 - 「システム管理者」は「ジョブ定義検査者」から受け取ったJPFファイルをサーバにアップロードします。
 - ■「2.4.12 JPFファイルをサーバにアップロードする」

2.5.3. 複数開発者(分散拠点毎)による既存定義の編集

既に運用しているJob Director定義情報に対して、複数のジョブ定義開発者(複数の開発拠点)がそれぞれ担当分 毎に開発・編集することを目的とした利用シナリオを説明します。



図2.59 分散開発による既存定義の編集

分散開発による運用中定義情報の編集シナリオで必要となる操作は、分類すると以下の5フェーズとなります。 それぞれのフェーズで開発成果物として「JPFファイル」を作成して、ダウンロードした定義情報を分割・開 発・統合してアップロードする流れとなります。

1.「システム管理者」が運用中の定義情報をサーバからダウンロードします。

- 2.「ジョブ定義検査者」が定義情報を開発単位に分割します。
- 3.「ジョブ定義開発者」がそれぞれ担当分の定義情報を開発します。
- 4.「ジョブ定義検査者」が定義情報を統合します。
- 5.「システム管理者」が開発した定義情報をサーバにアップロードします。

2.5.3.1. システム管理者による定義情報のダウンロード

- 1.「システム管理者」は編集を実施するJob Director定義情報をサーバからダウンロードします。
 - ■「2.4.1 サーバから定義情報をダウンロードする」

Job Director JD Assist では定義情報をJob Directorユーザ単位で管理します。Job Director CL/Winで編集 対象となる定義情報を保持するJob Directorユーザ毎にログインして、定義情報のダウンロード操作を実施 してください。JPFファイルは任意の名前を設定することができますので、ユーザ名および開発単位を名前 として付加することを推奨します。

ー回にダウンロードする定義情報の数は「10000部品」程度とすることを推奨しています。定義 編集ツールでは「JPFファイルの読込」処理や「全体のチェック」を実施する際の処理時間は定 義情報の部品数に比例して増加します。編集対象となる個々のJPFファイルにおいて部品定義数 を調整することで快適なパフォーマンスを得ることができます。

なお定義編集ツールの1シート当たりに定義可能な最大部品数は「60000部品」となります。これより多くの部品定義情報を持つJPFファイルを定義編集ツールで扱うことはできません。

2. ダウンロードしたJPFファイル(定義情報)を「ジョブ定義検査者」に送付してください。

定義情報は「JPFファイル」というファイル単位で扱うことができますので、コピーの作成を容易に行えます。ダウンロードしたJPFファイルをバックアップとして保存・管理されることを推奨します。

2.5.3.2. ジョブ定義検査者による定義情報の分割

「ジョブ定義検査者」は「システム管理者」より送付されたJPFファイルを開発単位に分割し、各開発担当者 (または開発拠点)に配布します。JPFファイルの定義情報を開発単位(業務毎または開発拠点毎)に抽出・分割す るには、定義編集ツールを利用します。

定義情報の分割を実施する際には、事前に開発単位やファイル・定義情報の命名規則について一定 の規則を設けてください。開発作業が完了した後に定義情報を統合した際に、例えば定義情報名が 重複しているためにJPFファイルを出力できない場合など、定義情報の不整合を発覚すると修正に多 大な労力が必要となる可能性があります。

定義情報の開発単位はできるだけ明確に分類されることを推奨します。例えば、スケジュールやカ レンダの定義情報は、単一の開発者(拠点)が開発を担当することを推奨します。多拠点でそれぞれ稼 働日ルールを作成してしまうと、不要なルールを誤って定義してしまうなど操作ミスが発生する可 能性があります。

1. 編集対象となるJPFファイルを定義編集ツールで読み込みます。

■「2.4.2 JPFファイルを定義編集ツールに読み込む」

2. 定義編集ツールの「mapシート」を利用して、定義情報を開発単位に分割してJPFファイルにそれぞれ出力します。

■「2.4.11 定義情報を複数のJPFファイルに分割出力する」



「mapシート」の「分割単位」パラメータを開発者名(または開発拠点や業務名など)を設定しますと、分割後の定義情報を誰に配布するべきかわかりやすく、管理が容易になります。

例えば、「分割単位」パラメータに「ジョブ定義開発者A」と設定した場合、分割出力を行った 後には「ジョブ定義開発者A_20100516150000.jpf」という名称でJPFファイルが出力されます ので、どのような開発単位で出力されたか確認することができます。

定義情報の分割操作を実施した定義編集ツールは、定義情報を統合するまで保存してください。 「mapシート」は定義情報を分割した記録として利用することができます。定義情報を統合する 際に、この定義編集ツールを利用することで分割した定義情報が正しく収集されていること、お よび定義情報の差分についてチェックすることができます。

定義情報の差分チェックについては、「2.5.3.4 ジョブ定義検査者による定義情報の統合」を参照してください。

3.「ジョブ定義開発者」にそれぞれ開発担当分のJPFファイルを配布します。

スケジュール・カレンダの定義情報はスケジュール・カレンダを開発する担当者以外には基本的 に配布する必要はありません。ただし、ジョブ定義開発者がジョブネットワーク内に「スケ ジュール分岐部品」を利用する場合のみ、稼働日の参照を目的としてスケジュールやカレンダを 配布することを推奨します。

起動トリガ・監視対象テキストログの定義情報は起動トリガ・監視対象テキストログを開発する 担当者以外には基本的に配布する必要はありません。

2.5.3.3. ジョブ定義開発者による定義情報の開発

「ジョブ定義開発者」はそれぞれ担当分の定義情報を開発・編集します。開発が完了した定義情報はJPFファ イルにして「ジョブ定義検査者」に送付します。

開発を開始する際には、定義情報の名前が一意に識別できるように事前に決定しておいてくださ い。例えば定義情報名の先頭に業務名や開発名を付加するなどの対処を行ってください。

Job Directorでは、ジョブネットワークやスケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カ レンダ・カスタムジョブテンプレートなどの個別の定義情報の名前は一意に決められている必要が あります。定義情報に名前の重複がある場合、JPFファイルとして出力することができません。

また、Job Director MG/SV上の定義情報と同名の定義情報をアップロードした場合には、Job Director MG/SV上の定義情報は上書きされます。定義情報を誤って修正してしまうことの無いよう に、プロジェクトとして命名規則を決定してください。

- 1.「ジョブ定義検査者」から受け取ったJPFファイルを編集するために、定義編集ツールに読み込みます。
 - ■「2.4.2 JPFファイルを定義編集ツールに読み込む」
- 2. 定義情報を開発・編集します。定義編集ツールを用いて以下の作業を実施します。
 - ■「2.4.3 ジョブネットワーク定義を編集する」
 - ■「2.4.5 スケジュール定義を編集する」
 - ■「2.4.6 起動トリガ・監視対象テキストログ定義を編集する」

- ■「2.4.7 カレンダ定義を編集する」
- 3. 開発した定義情報の内容を確認します。
 - ■「2.4.8 ジョブネットワークフローを確認する」
 - ■「2.4.9 スケジュール・カレンダを確認する」
- 4. 開発・編集した定義情報を「ジョブ定義検査者」に送付するためにJPFファイルを作成します。

■「2.4.10 定義編集ツールからJPFファイルを出力する」

5. JPFファイルを「ジョブ定義検査者」に送付します。

2.5.3.4. ジョブ定義検査者による定義情報の統合

「ジョブ定義検査者」は「ジョブ定義開発者」から受け取った成果物を統合・検査して、「システム管理者」 に送付します。



本操作は「2.5.3.2 ジョブ定義検査者による定義情報の分割」で使用した定義編集ツールを利用する ことで、分割した定義情報が正しく収集できていることおよび定義情報の差分をチェックすること ができます。

1. 定義編集ツールで「ジョブ定義開発者」から受け取った複数のJPFファイルを同時に読み込むことで、定義 情報をひとつに統合します。



定義編集ツールで同時読み込み可能な最大ファイル数は「255」となります。また、定義編集 ツールで定義できる最大部品数は「60000」部品となります。この範囲に収まるようにひとつの JPFファイルに定義情報を統合してください。

■「2.4.2 JPFファイルを定義編集ツールに読み込む」

- 2. 開発した定義情報を確認します。
 - ■「2.4.8 ジョブネットワークフローを確認する」
 - ■「2.4.9 スケジュール・カレンダを確認する」

定義情報の分割時に使用した定義編集ツールを利用している場合、「全体のチェック」を実行した上で、「mapシート」の「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。分割出力後に削除された定義情報については「存在」パラメータが空白となります。これにより、分割した定義情報が正しく収集できていることおよび定義情報の差分をチェックすることができます。

「最新情報に更新」については「2.6.9.1 最新情報に更新」を参照してください。

3. 開発済み定義情報を「システム管理者」に送付するためにJPFファイルを作成します。

■「2.4.10 定義編集ツールからJPFファイルを出力する」

4. JPFファイルを「システム管理者」に送付します。

2.5.3.5. システム管理者による定義情報のアップロード

「システム管理者」は「ジョブ定義検査者」から受け取ったJPFファイルをサーバにアップロードします。

1. JPFファイルをサーバにアップロードします。

■「2.4.12 JPFファイルをサーバにアップロードする」

2.6. 定義編集ツール機能詳細

本章では定義編集ツールの各機能について詳細に説明します。

2.6.1. ジョブネットワークの作成(jnwシート)

定義編集ツールでジョブネットワークを作成する機能について説明します。「jnwシート」を使用することで ジョブネットワークを作成することができます。

定義編集ツールは、1つの部品を1行に定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセル を部品毎に選択して編集を行います。入力値が範囲的なパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定さ れていますので、ルールに従ってパラメータを設定してください。

シートのボタン機能およびファンクションキーについては「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動 トリガ・監視対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

		1) - (1 -) =			jc_de	finition [互拶	キモード] - Microsof	ft Excel			-	= x	
	木	ーム 挿.	λ×	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示					(0 _ = x	c
	C	031	.	• f * C	>								*	5
	в	С	D	E	F	G	Н	I	GD	GE	GF	GG	GH 4	
1	1					L								
2	۵.	はのチーッ		参照エービの創			sL →r							ł
3	±	(E5)				7)	2 - F 76 (F8							
		(10)				· /	(10	· ·						
4 -														
5 20	012/	/08/28 9:	39:24	全てのチェック	こ成功しました。									
6														
15														
16														
17			1	ID/種別		基:	本							
18		チェック					部品の関	庙		ジョブバラメータ	2		BIジョブバモ	
19		結果	ID	種別	名前			D±	圣相宝行時				論理ない	
20					2.77	先行部品	分岐ID	分岐数	間	超過警告	事前設定	BI接続先名	パッケー:	
21		-	id 🔽	tvpe 🔻	name 🔽	pre parts	branch 🔽	branch num 🔽	exptime 🔽	etimewarn 🔽	inithold 🔽	bidest 🔽	biipkgnam	
22		0	1	JNW	JI									
23		0	2	SJNW	ទា	1								
24		0	3	UJOB	JOB	2								
25		<u> </u>	4	CONDB		3		2						
26		<u> </u>	5		JOB1	4	1							
27		8	5	SUNW		5								
29		8	/ 8		JOB3	4								
30		ŏ	9	SUNIA	S.B	8								
31	ĺ	ŏ	10	JNW	OR分岐	Ľ								
32	ŀ	0	11	ORB		10		5						
33		0	12	UJOB	JOB1	11	1							
34		0	13	UJOB	JOB3	12								
35		<u>ŏ</u>	14	UJOB	JOB2	11	2						\	-
4 4 →	M	jnw / sche	ed 🗸 cal	/customjob / ii	nput 🗸 output 🗸 r	map ∕flow−v	iew 🗸 date-	view / version /	2			1 1		1
コマンド											100	¥ 🕞 — – Ū	. 🕀	÷

図2.60 jnwシート

以下に説明する各部品パラメータの定義条件は下記表の通りです。

定義条件	説明
フォーマット	指定された入力形式に従って定義してください。
設定範囲	範囲内のパラメータを選択して定義してください。
文字制限	この文字列を定義することはできません。
互換性	定義編集ツールの動作モードと部品パラメータの定義互換性を示します。動作 モードが互換性より前のバージョンである場合、パラメータを定義することはで きません。

定義条件	説明	
	「動作モードの変更」機能に関しては「2.6.12.1 ください。	動作モードの変更」を参照して

2.6.1.1. IDと種別

ジョブネットワークを作成するためにはジョブネットワーク、およびジョブネットワーク中に配置する部品を 一意に識別するためのIDと部品の種別を決定する必要があります。IDと種別で設定できる値は次の通りです。

∎ID

シートで一意な部品のIDを指定します。

■ 設定範囲

0-999999

■種別

項目名	説明
ЯИГ	ジョブネットワーク
UJOB	単位ジョブ
CALB	カレンダ分岐
CONDB	条件分岐
PARAB	並列分岐
ORB	OR分岐
DIA	ダイアログ
CONT	コンティニュー
SJNW	サブジョブネットワーク
WJOB	ジョブ待ち
WSJNW	サブジョブ待ち
WTIME	時刻待ち
WFILE	ファイル待ち
EVTSND	イベント送信
EVTRCV	イベント受信
CUSTOMJOB	カスタムジョブ
JNWGRP	グループ

2.6.1.2. 部品共通設定

部品の種別に関わらず共通で設定する項目として「名前」と「部品の関連」があります。

「名前」は各部品の名前を決定するために使用します。「部品の関連」はジョブネットワーク内での順序関 係、分岐部品を利用した分岐を決定するために使用し、「先行部品」「分岐ID」「分岐数」の三種類の設定を 行います。

それぞれの設定可能なパラメータは次の通りです。

■名前

部品の名前を指定します。

■ 設定可能な部品種別

- ・ジョブネットワーク
- 単位ジョブ部品
- サブジョブネットワーク部品
- ・ダイアログ部品
- ・イベント送信部品
- イベント受信部品
- カスタムジョブ部品
- ・グループ
- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。
 - + ! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~ |
 - サブジョブネットワーク名にエイリアス名を使用する場合は、以下のフォーマットで指定してください。

エイリアス名(ジョブネットワーク名)

(例)alias1(subjobnetwork1)

■部品の関連-先行部品

先行部品のIDを指定します。JNWの先頭の部品は先行部品としてJNWを指定します。JNWは先行部品を指定 しません。

■ 設定範囲

0-999999

■部品の関連-分岐ID

先行部品が分岐部品の場合に、どの枝に接続するか指定します。空欄の場合は分岐IDは0とみなされ、先行の 分岐部品自体を先行部品とみなします。先行部品が分岐部品でない場合は空欄にしてください。

■ 設定範囲

0-999999

■部品の関連-分岐数

分岐部品の場合に、分岐数を設定します。分岐部品(CONDB,ORB,CALB,PARAB)以外は空欄になります。

■ 設定範囲

0-999999

2.6.1.3. ジョブネットワーク

種別に「JNW」(ジョブネットワーク)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■所属グループ

ジョブネットワークの所属グループを指定します。グループに所属していない場合は空欄になります。 フォーマットは以下のように「.」で始めてグループ階層を「.」で区切って並べます。

■ フォーマット

.<group1>.<group2>.<group3>

- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■コメント

ジョブネットワークにつけるコメントを指定します。トラッカー覧に表示されます。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^ # \$; () [] { } \ | < > " & '

■デフォルト投入キュー

このジョブネットワークに属する各ジョブを投入するキューを指定します。

■ フォーマット

フォーマットは以下のとおりです。マシン名は必ず入れるようにしてください。

<キュー名>@<マシン名>

- 文字制限
 - キュー名

半角英数字、アンダーラインのみ入力可能です。また、最初の文字を数字にすることはできません。

・マシン名

1. 数値のみの名前は使用できません。

2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = +> ? @ [\] ^ ` { | } ~

■エラー時の自動停止

ジョブネットワークを実行中にエラーが発生したときのジョブネットワークの動作を指定します。

■ 設定範囲

"def" - 「規定」 サブジョブネットワークとして実行されている場合は、その親ジョブネットワークのパラ メータに従います。それ以外は、ユーザ環境設定での設定に従います。

"stop" - 「停止」 エラー発生時にジョブネット ワークを停止します。

"thru" - 「停止しない」 エラー発生時にジョブネットワークを停止しません。

"quit" - 「中断」 エラー発生時にジョブネットワークの実行を中断します。(後続のジョブをスキップ状 態にします。)

■自動停止後リカバリJNWを実行

「エラー時の自動停止」がstopまたはquitの場合に、リカバリジョブネットワークとして実行するジョブ ネットワークを指定します。

■ 文字制限

1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。

2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

3. リカバリジョブネットワークの名前は40バイト以内で指定してください。

■スケジュール

ジョブネットワークを関連付けるスケジュールを指定します。

■ 文字制限

- 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
- 2. 空白、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■同時実行状態-排他種別

ジョブネットワークの同時実行状態の排他種別を設定します。

また、この設定はサブジョブネットワークには適用されません。

■ 設定範囲

"single" - 「ジョブネットワーク単独の排他」 ジョブネットワーク単独での同時実行制御を行います。この値を設定した場合、「同時実行状態-同時起動可能数-起動数」と「同時実行状態-同時起動可能数-待ち 状態」の設定が行えます。

"multiple" - 「ジョブネットワーク同士の排他」 複数のジョブネットワーク間での同時実行制御を行いま す。この値を設定した場合、「同時実行状態-排他JNW名」の設定が行えます。この設定の場合、同時起動 可能数の起動数は1で、待ち状態は「wait(予定)」のみの動作になります。

■ 互換性

Definition 8.0以降

■同時実行状態-同時起動可能数-起動数

排他種別が「single(ジョブネットワーク単独の排他)」の時に設定できます。

このジョブネットワークを同時に起動できる数を設定します。ここが空欄の場合には制限はありません。

また、この設定はサブジョブネットワークには適用されません。

■ 設定範囲

1-9999

■同時実行状態-同時起動可能数-待ち状態

排他種別が「single(ジョブネットワーク単独の排他)」の時に設定できます。

起動可能数を超えた場合の処理を設定します。

また、この設定はサブジョブネットワークには適用されません。

■ 設定範囲

"wait" - 「予定」 制限数を超えた場合には実行中のジョブネットワークが終了するのを待って実行します。複数のジョブネットワークが待ち合わせる場合は予定開始時刻の早いジョブネットワークが優先されます。この場合、トラッカの状態は「予定」になります。

"skip" - 「スキップ」 制限数を超えた場合にはその後に投入されるジョブネットワークの実行は全てスキップされます。この場合、トラッカの状態は「スキップ」になります。

■同時実行状態-排他JNW名

排他種別が「multiple(ジョブネットワーク同士の排他)」の時に設定できます。

このジョブネットワークと同時実行制御を行うジョブネットワークの名前を記述します。

このジョブネットワークも同時に実行できない様にする場合には、このジョブネットワークの名前も排他 JNW名に記述する必要があります。

また、この設定はサブジョブネットワークには適用されません。



■ フォーマット

複数のジョブネットワークを設定したい場合、以下のようにジョブネットワーク名を改行で区切って並べます。

NewJnw1
NewJnw2
NewJnw3

■ 文字制限

1. ジョブネットワークの名前は40バイト以内で指定してください。

2. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。

3. スペース、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

+ ! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■ 互換性

Definition 8.0以降

■シミュレーション実行

この属性が設定されていた場合には、そのジョブネットワークは全てのジョブの実行時、予定されている ジョブスクリプトの代わりに、空のジョブ(スクリプト)を実行します。このパラメータが"on"に設定され ている間は、全ての即時実行、カレンダ実行がシミュレーション実行になります。

■ 設定範囲

"on"

"off"

■事前設定

ジョブネットワークを実行した時のジョブネットワークの状態を設定します。

■ 設定範囲

"hold" - 「保留」

"skip" - 「スキップ」

"off" - 「オフ」

■予想実行時間-指定方法

予想実行時間の指定方法を設定します。

■ 設定範囲

"set" - 「直接指定」 ジョブネットワークのパラメータの値("時間"パラメータ)をジョブネットワークの 予想実行時間とします。

"res" - 「前回実績」 正常終了した最近のジョブネットワークの実行実績から、ジョブネットワーク全体の 予想実行時間を算出します。

"cal" - 「下位累積」 正常終了した最近のジョブネットワーク内部のジョブあるいはサブジョブネットワー ク単位の予想実行時間から、ジョブネットワーク全体の予想実行時間を算出します。ジョブネットワーク 内部のジョブあるいはサブジョブネットワークの予想実行時間は、それぞれの予想実行時間の設定方法に 依存します。

■予想実行時間-時間

指定方法で直接指定(set)を選択した場合に、時間を入力します。単位によって値の設定範囲が異なります。

■ 設定範囲

0-31536000 "second" - 「秒」

- 0-525600 "minute" 「分」
- 0-8760 "hour" 「時間」
- 0-365 "day" -「日」

■超過警告

予想実行時間を過ぎてもジョブネットワークが終了しない場合に、統合監視サービスやWindows イベントロ グに警告メッセージを出力するかどうか設定します。

■ 設定範囲

"on" - 警告メッセージを出力します。

"off" - 警告メッセージを出力しません

■終了予定時刻超過時

超過警告onの場合に、予想実行時間を過ぎてもジョブネットワークが終了しない時の動作を設定します。

- 設定範囲
 - "def" 「規定」
 - "cont" 「停止しない」
 - "stop" 「停止する」
 - "skip" 「スキップ」
- ■クリティカルポイント警告-警告動作の有無

onの場合、クリティカルポイント警告機能が有効になります。

- 設定範囲
 - "on"
 - "off"
- ■クリティカルポイント警告-検査箇所

検査の実行点を指定します。

- 設定範囲
 - "start" 「実行開始点」
 - "end" 「実行終了点」
 - "both" 「すべて」
- ■クリティカルポイント警告-実行開始点-警告時刻

検査時刻を24時間制の時刻か、相対時刻で指定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

- ②相対時間
- $+00:00 \sim +23:59$
- $+000:00 \sim +999:59$
- ■クリティカルポイント警告-実行開始点-自動操作

警告発生時の動作を指定します。

■ 設定範囲

- "off" 「なし」
- "skip" 「スキップ」
- "hold" 「保留」
- ■クリティカルポイント警告-実行終了点-警告時刻

検査時刻を24時間制の時刻か、相対時刻指定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

- +00:00~+23:59
- +000:00~+999:59
- ■クリティカルポイント警告-実行終了点-自動操作

警告発生時の動作を指定します。

■ 設定範囲

```
"off" - 「なし」
```

```
"skip" - 「スキップ」
```

```
"forcestop" - 「強制停止」
```

```
"hold" - 「保留」
```

■環境変数

単位ジョブ実行時に付与される環境変数を設定することができます。環境変数は下記フォーマットで「変数」「値」「コメント」を1行で記述します。複数の変数を設定したい場合は改行(エスケープシーケンスの"\n"ではなく、Excelの改行)を入れて複数行同じフォーマットで記述します。

■ フォーマット

"'変数','値','コメント'"

■ エスケープシーケンス

コメントに改行を入れたい場合は以下のエスケープシーケンスを使用します。

\n - 改行 -(コメントのみ)

■ 文字制限

タブ、スペース、改行および以下の文字は使用できません。

= # " '

■メール設定-エラー時のメール送信

このジョブネットワークでエラー発生時にメールを送信するかどうかを設定します。

■ 設定範囲

"on" - 「する」

"off" - 「しない」

■メール設定-TO

メールの宛先アドレスを設定します。カンマ","で区切って、複数のアドレスを指定することができます。 「エラー時のメール送信」で「する」を選択している場合、必ず入力してください。

- 文字制限
 - 1.1024バイトまで設定可能です。
 - 2.ひとつのメールアドレスの最大長は250バイトです。
 - 3. 複数のメールアドレスを設定する場合、64個以内で設定可能です。
 - 4.2バイト文字、スペース、および以下の文字は使用できません。

()+:;"<>'

■メール設定-CC

- メールの宛先アドレスを設定します。カンマ","で区切って、複数のアドレスを指定することができます。
- 文字制限
 - 1.1024バイトまで設定可能です。
 - 2. ひとつのメールアドレスの最大長は250バイトです。
 - 3. 複数のメールアドレスを設定する場合、64個以内で設定可能です。
 - 4.2バイト文字、スペース、改行および以下の文字は使用できません。

()+:;"<>'

■メール設定-FROM

メールの送信元アドレスを設定します。「エラー時のメール送信」で「する」を選択している場合、必ず入 力してください。

■ 文字制限

1.250バイトまで設定可能です。

2.2バイト文字、空白、および以下の文字は使用できません。

()+:"<>',

■メール設定-件名

送信するメールの件名を入力します。

- 文字制限
 - 1.1024バイトまで設定可能です。
 - 2. 件名の末尾にカンマ", "を使用することは出来ません。

3.以下の文字は使用できません。

1.11

■メール設定-本文

送信するメールの本文を入力します。

■ エスケープシーケンス

以下のエスケープシーケンスを認識します。

改行 -> \n

\ -> \b

- 文字制限
 - 1.1024バイトまで設定可能です。
 - 2. エスケープ対象文字および以下の文字は使用できません。

1.11

■メール設定-SMTPサーバ

SMTP サーバを指定します。SMTP サーバのホスト名、またはIPアドレスを入力してください。「エラー時の メール送信」で「する」を選択している場合、必ず入力してください。システム環境設定「SMTPサーバ」に おいて共通SMTPサーバを設定した場合には、本欄は無効です。

■ 文字制限

1.256バイトまで設定可能です。

2. スペース、タブ、半角カタカナ、全角文字、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , / ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■補正時刻

JNW個別の補正時刻を設定します。本項目はシステム環境設定で「ジョブネットワーク個別の設定を行う」 を設定した場合にのみ有効です。

■ 設定範囲

①絶対時刻

00:00 ~ 23:59

②相対時刻

-23:59 ~ -00:00

2.6.1.4. 単位ジョブ

種別に「UJOB」(単位ジョブ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■スクリプト

単位ジョブのスクリプトを記述します。

■ 文字制限

改行、(")ダブルクォート、(\)円マーク(バックスラッシュ)を直接記述することはできません。これらを記述する際には下記のエスケープシーケンスを使用します。

- エスケープシーケンス
 - 改行 -> ∖n
 - " -> \W
 - \ -> \b

■投入キュー

ジョブを投入するキューを指定します。

■ フォーマット

フォーマットは以下のとおりです。マシン名は必ず入れるようにしてください。

<キュー名>@<マシン名>

・キュー名

半角英数字、アンダーラインのみ入力可能です。また、最初の文字を数字にすることはできません。

- ・マシン名
 - 1. 数値のみの名前は使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = +> ? @ [\] ^ ` { | } ~

■キュー内優先度

キュー内でのジョブの優先度を指定できます。値が大きいほど優先されます。空欄とした場合は、31が適用 されます。

■ 設定範囲

0-63

■ジョブ実行ユーザ

ジョブを実行するユーザを指定します。空欄にした場合は、ジョブネットワークの所有者が実行するユーザ になります。

■ 文字制限

スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■コメント

単位ジョブに設定するコメントを指定します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

- ■Linuxパラメータ(プロセス単位)-ナイス値
 - Linuxのナイス値を設定します。
 - 設定範囲

-127-+127

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-CPU時間

利用できるCPU時間を設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

- 0-9999 "second"
- 0-9999 "minute"
- 0-9999 "hour"
- 0-9999 "day"

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-メモリサイズ

利用できるメモリサイズを設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

0-99999999 "byte"

0-99999999 "kb"

0-9999999 "mb"

0-99999999 "gb"

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-永久ファイルサイズ

利用できる永久ファイルサイズを設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

0-99999999 "byte"

0-99999999 "kb"

0-99999999 "mb"

0-99999999 "gb"

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-データセグメントサイズ

利用できるデータセグメントサイズを設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

0-99999999 "byte"

0-99999999 "kb"

0-99999999 "mb"

0-99999999 "gb"

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-スタックサイズ

利用できるスタックサイズを設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

0-99999999 "byte"

0-99999999 "kb"

0-9999999 "mb"

0-99999999 "gb"

■Linuxパラメータ(プロセス単位)-コアファイルサイズ

出力可能なコアファイルサイズを設定します。

■ 設定範囲

"no" - 「無指定」

"unlimited" - 「無制限」

0-99999999 "byte"

0-99999999 "kb"

0-99999999 "mb"

0-99999999 "gb"

■標準出力先

標準出力の出力先ファイル名です。

■ 文字制限

以下の文字は使用できません。

!\"#\$&'()*,;<>?[]^`{|}~

■標準エラー出力先

標準エラー出力の出力先ファイル名です。

■ 文字制限

以下の文字は使用できません。

!\"#\$&'()*,;<>?[]^`{|}~

■変数継承

このジョブで指定した環境変数を次のジョブにどのように引き継ぐかを指定します。

- 設定範囲
 - "n" 「OFF」
 - "o" 「標準出力」
 - "e" 「標準エラー出力」
- ■クリティカルポイント警告-警告動作の有無
 - onの場合、クリティカルポイント警告機能が有効になります。
 - 設定範囲

"on"

"off"

■クリティカルポイント警告-検査箇所

検査の実行点を指定します。

■ 設定範囲

"start" - 「実行開始点」

"end" - 「実行終了点」

```
"both" - 「すべて」
```

■クリティカルポイント警告-実行開始点-警告時刻

検査時刻を24時間制の時刻か、相対時刻で指定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+23:59

 $+000:00 \sim +999:59$

■クリティカルポイント警告-実行開始点-警告時刻

警告発生時の動作を指定します。

■ 設定範囲

"off" - 「なし」

"skip" - 「スキップ」

"hold" - 「保留」

■クリティカルポイント警告-実行終了点-警告時刻

検査時刻を24時間制の時刻か、相対時刻で指定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+23:59

 $+000:00 \sim +999:59$

■クリティカルポイント警告-実行終了点-自動操作

警告発生時の動作を指定します。

■ 設定範囲

"off" - 「なし」

"skip" - 「スキップ」

"forcestop" - 「強制停止」

"hold" - 「保留」

■スクリプト実行用シェルコマンド

バッチリクエストを実行するシェルを絶対パスで指定します。

■ 文字制限

以下の文字は使用できません。

!\"#\$%&'()*,;<=>?@[]^`{|}~

■リスタート

システム再起動時にジョブが自動的に再実行されるかどうかを指定します。

■ 設定範囲

"on" - 「ENABLE」

"off" - 「DISABLE」

■終了コード-正常終了コード値

正常終了とみなす終了コードの範囲を指定します。この指定に従い、ジョブの実行結果を判定します。正常 終了コードにも警告終了コードにもマッチしない終了コードは異常終了となります。終了コードの指定には 複数値(,区切り)や範囲値(-つなぎ)を記述できます。

■ 設定範囲

0-255

■ 互換性

Definition 2.0以降

■終了コード-警告終了コード値

警告終了とみなす終了コードの範囲を指定します。この指定に従い、ジョブの実行結果を判定します。正常 終了コードにも警告終了コードにもマッチしない終了コードは異常終了となります。終了コードの指定には 複数値(,区切り)や範囲値(-つなぎ)を記述できます。

■ 設定範囲

0-255

■ 互換性

Definition 2.0以降

■終了コード-警告終了コード開始値

警告終了の有無と、警告終了とみなす終了コードの開始値を指定します。この値より小さい数値が正常終了 とみなされます。この値は「エラー終了コード開始値」より、小さい値を設定する必要があります。警告終 了を指定しない場合は空欄にします。

■ 設定範囲

1-254

■終了コード-エラー終了コード開始値

エラー終了とみなす終了コードの開始値を指定します。「警告終了コード開始値」を設定している場合は、 その値より大きい値を指定します。

■ 設定範囲

0-254

■予想実行時間-指定方法

予想実行時間の指定方法を設定します。

■ 設定範囲

"set" - 「直接指定」予想実行時間を直接指定します。

"res" - 「前回実績」 正常終了した最近の単位ジョブの実行実績を予想実行時間とします。

■予想実行時間-時間

指定方法で直接指定(set)を選択した場合に、時間を入力します。単位によって値の設定範囲が異なります。

■ 設定範囲

0-31536000 "second" - 「秒」

0-525600 "minute" - 「分」

0-8760 "hour" - 「時間」

0-365 "day" - 「日」

■ジョブステップリスタート

マシンダウン時等にスクリプト内のチェックポイントで最後に通過した箇所からジョブを再実行するかどう かを設定します。Linux版のみ有効な機能です。

■ 設定範囲

"on" - 「ENABLE」

"off" - 「DISABLE」

■超過警告

予想実行時間を過ぎても単位ジョブが終了しない場合に、統合監視サービスやWindows イベントログに警告 メッセージを出力するかどうか設定します。

■ 設定範囲

"on" - 警告メッセージを出力します。

"off" - 警告メッセージを出力しません

■終了予定時刻超過時

超過警告onの場合に、予想実行時間を過ぎても単位ジョブが終了しない時の動作を設定します。

■ 設定範囲

- "def" 「既定」
- "cont" 「停止しない」
- "stop" 「停止する」

"skip" - 「スキップ」

■事前設定

ジョブをあらかじめ保留状態またはスキップ状態としておきます。ジョブネットワークの開始後に保留解除 またはスキップ解除操作を行う必要があります。

■ 設定範囲

"on" - 「保留」

"skip" - 「スキップ」

"off" - 「オフ」

2.6.1.5. カレンダ分岐

種別に「CALB」(カレンダ分岐)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■カレンダ名

分岐に使用するカレンダ名を設定します。

■ 文字制限

- 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
- 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,./:;<=>?@[\]^`{|}~

2.6.1.6. 条件分歧

種別に「CONDB」(条件分岐)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■条件

条件分岐の各枝の条件値を設定します。条件は以下のフォーマットで分岐の数だけ記述します。最後は必ず'other'で終わります。

■ フォーマット

"'条件1','条件2','other'"

■ 例

"'1','2','3-4','other'"

2.6.1.7. 並列分岐

種別に「PARAB」(並列分岐)を選択した時に設定できるパラメータはありません。

2.6.1.8. OR分岐

種別に「ORB」(OR分岐)を選択した時に設定できるパラメータはありません。

2.6.1.9. ダイアログ

種別に「DIA」(ダイアログ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■メッセージ

ユーザに問い合わせるメッセージを指定します。

■ 文字制限(Definition 9.0以降)

複数行のメッセージを記述する場合、改行は、エスケープシーケンスは使用せず、Excelの改行を使用しま す。

```
タブおよび以下の文字は使用できません。
```

"#\$();[\]{}

■ 文字制限(Definition 8.0以前)

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

"#\$();[\]{}

■予想実行時間-指定方法

予想実行時間の指定方法を設定します。

■ 設定範囲

"set" - 「直接指定」 ジョブネットワークのパラメータの値("時間"パラメータ)をジョブネットワークの 予想実行時間とします。

"res" - 「前回実績」 正常終了した最近のジョブネットワークの実行実績から、ジョブネットワーク全体の 予想実行時間を算出します。

■予想実行時間-時間

指定方法で直接指定(set)を選択した場合に、時間を入力します。単位によって値の設定範囲が異なります。

■ 設定範囲

```
0-31536000 "second" - 「秒」
```

0-525600 "minute" - 「分」

0-8760 "hour" -「時間」

0-365 "day" - 「日」

2.6.1.10. コンティニュー

種別に「CONT」(コンティニュー)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■飛び先部品

ジョブネットワークのフロー上の飛び先部品を指定します。飛び先部品には、単位ジョブ/ダイアログ/カ スタムジョブの名前を指定します。

■ 文字制限

1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。

2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

■繰り返し設定

■ 回数設定

繰り返し回数まで繰り返します。

・設定範囲

1-99999

■ 時刻指定

指定時刻まで繰り返します。

- ・フォーマット
 - ・絶対時刻

00:00~35:59

・相対時刻

+000:00~+999:59

■ 無制限

無限に繰り返します。

・設定値

0

■ 互換性

時刻指定、または無制限を指定する場合は、Definition 5.0以降である必要があります。

■終了ステータス

繰り返し設定の設定値を超えた場合のステータスを指定します。

■ 設定範囲

"estop" - 「エラー停止」

"error" - 「エラー終了」

"done" - 「正常終了」

2.6.1.11. サブジョブネットワーク

種別に「SJNW」(サブジョブネットワーク)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■環境変数

単位ジョブ実行時に付与される環境変数を設定することができます。環境変数は下記フォーマットで「変数」「値」「コメント」を1行で記述します。複数の変数を設定したい場合は改行(エスケープシーケンスの"\n"ではなく、Excelの改行)を入れて複数行同じフォーマットで記述します。

■ フォーマット

"'変数','値','コメント'"

■ エスケープシーケンス

コメントに改行を入れたい場合は以下のエスケープシーケンスを使用します。

\n - 改行 -(コメントのみ)

■ 文字制限

タブ、スペース、改行および以下の文字は使用できません。

= # " '

2.6.1.12. ジョブ待ち合わせ

種別に「WJOB」(ジョブ待ち合わせ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■待ち合わせ対象

ジョブ待ち合わせ対象部品の部品名を記述します。

- フォーマット
 - 1. 同じ階層構造上のジョブネットワーク中の単位ジョブを待ち合わせる場合

最上位ジョブネットワーク名:サブジョブネットワーク名:...:対象単位ジョブ名

- 2. 他のジョブネットワークおよび他のユーザのジョブネットワーク中の単位ジョブを待ち合わせる場合 :ユーザ名:最上位ジョブネットワーク名:サブジョブネットワーク名:...:対象単位ジョブ名
- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. 空白、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/;<=>?@[\]^`{|}~

サブジョブネットワーク名にエイリアス名を使用する場合は、以下のフォーマットで指定してください。

エイリアス名(ジョブネットワーク名)

(例)alias1(subjobnetwork1)

2.6.1.13. ジョブネットワーク待ち合わせ

種別に「WSJNW」(ジョブネットワーク待ち合わせ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■待ち合わせ対象

待ち合わせるサブジョブネットワークの名前を記述します。

- フォーマット
 - 1. 同じ階層構造上のサブジョブネットワーク部品を待ち合わせる場合

最上位ジョブネットワーク名:サブジョブネットワーク名:...:対象サブジョブネットワーク名

2. 他のジョブネットワークや他ユーザのジョブネットワークを待ち合わせる場合

:ユーザ名:最上位ジョブネットワーク名:サブジョブネットワーク名:...:対象サブジョブネットワーク名

- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

サブジョブネットワーク名にエイリアス名を使用する場合は、以下のフォーマットで指定してください。

エイリアス名(ジョブネットワーク名)

(例)alias1(subjobnetwork1)

2.6.1.14. 時刻待ち合わせ

種別に「WTIME」(時刻待ち合わせ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■日付(何日後)

待ち合わせる時刻の日付を設定します。0日後から9日後まで選択することができます。

■ 設定範囲

0-9

■時刻

待ち合わせる時刻を設定します。実行を開始する時刻はジョブネットワークの開始予定時刻から設定された 日付の該当する時刻となります。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+23:59

■未到達警報

時刻待ち合わせ部品で指定した時刻を過ぎても、その時刻待ち合わせ部品の実行が開始されていなかった場合に、警報メッセージをイベントログに出力します。

■ 設定範囲

"on" - 「有効」

"off" - 「無効」

■コメント

時刻待ち合わせ部品に設定するコメントを指定します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

2.6.1.15. ファイル待ち合わせ

種別に「WFILE」(ファイル待ち合わせ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■他のサーバファイルを待つ-有効/無効

リモートサーバ上のファイルを待ち合わせるかを指定します。

- 設定範囲
 - "on" 「有効」
 - "off" 「無効」
- ■他のサーバファイルを待つ-ホスト名

リモートサーバのホスト名を指定します。

■ 文字制限

スペース、タブ、半角カタカナ、全角文字、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/;=<>?@[\]^`{|}~

■ディレクトリ名

待ち合わせ対象が存在するディレクトリの絶対パス名を入力します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,;=<>?[]^`{|}~

■待ち合わせ対象ファイル名またはディレクトリ名

待ち合わせ対象のファイル名またはディレクトリ名を入力します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?[\]^`{|}~

■一致条件

待ち合わせ対象ファイルに対する一致条件を指定します。待ち合わせ条件を満たすファイルが複数存在する 場合、待ち合わせ処理は更新時刻が最も新しいファイルに対して行います。

- 設定範囲
 - "match" 「一致する」
 - "contain" 「を含む」
 - "begin" 「から始まる」

■通過条件

待ち合わせを終了する条件を指定します。

■ 設定範囲

"e" - 「存在する」

- "n" 「存在しない」
- "u" 「更新」

■更新基準時刻

通過条件で更新を指定した場合に有効となります。ここで指定した当日の時間以降にファイルの更新があった場合に通過します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+99:59

■タイムアウト

ファイル待ち合わせタイムアウト時間を設定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+99:59

■予想実行時間-指定方法

予想実行時間の指定方法を設定します。

■ 設定範囲

"set" - 予想実行時間を直接指定します。

"res" - 「前回実績」 正常終了した最近のファイル待ちの実行実績を予想実行時間とします。

■予想実行時間-時間

指定方法で直接指定(set)を選択した場合に、時間を入力します。単位によって値の設定範囲が異なります。

■ 設定範囲

0-31536000 "second" - 「秒」

0-525600 "minute" - 「分」

0-8760 "hour" - 「時間」

0-365 "day" - 「日」

■コメント

ファイル待ち合わせ部品に設定するコメントを指定します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

2.6.1.16. イベント送信

種別に「EVTSND」(イベント送信)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■送信先ホスト名

■ 文字制限

1.最大バイト数は255バイトです。

2. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字、および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'(),/;<=>?@[\]^`{|}~

■イベントID

任意の送信するイベント識別子(ID)を入力します。

- 文字制限
 - 1.最大バイト数は100バイトです。
 - 2. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 3. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字、および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'(),/:;<=>?@[\]^`{|}~

■メッセージ

送信先に送るメッセージを入力します。

- 文字制限
 - 1. 最大バイト数は100バイトです。
 - 2. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 3. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'(),/:;<=>?@[\]^`{|}~

■イベント送信範囲指定

単一:同じイベントIDでイベント待ち状態となった部品の内、最初に起動したものに対してイベントを通知 します。 すべて:同じイベントIDでイベント待ち状態となっている部品すべてにイベントを通知します。

■ 設定範囲
"only" - 「単一」

"all" - 「すべて」

■受信確認-確認の有無

onの場合、送信先でイベント受信が行われるまで待ち合わせを行います。指定した期間中に受信されない場合、タイムアウトしエラー終了状態になります。 offの場合、送信先でのイベント受信の有無にかかわらず、待ち合わせを行いません。

■ 設定範囲

"on" - 「確認を行う」

- "off" 「確認を行わない」
- ■受信確認-タイムアウト

受信の待ち合わせタイムアウト時間を設定します。 設定なし(空白)の場合は、無限に待ち合わせます。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+99:59

■イベント有効期間-期間の設定

onの場合、イベントは送信先が起動するまで待ち合わせをします。送信先に該当するイベント受信部品が起 動していない場合、指定した時間までイベントの保持を行います。指定してある時間内に該当するイベント 受信部品が起動された場合、その時点でイベントの保持を終了します。 offの場合、送信先が起動するまで 待ち合わせをせず、送信先でイベントの保持を行いません。

■ 設定範囲

"on"

"off"

■イベント有効期間-タイムアウト

受信の待ち合わせタイムアウト時間を設定します。

■ フォーマット

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+99:59

■コメント

イベント送信部品に設定するコメントを指定します。

- 文字制限
 - タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

2.6.1.17. イベント受信

種別に「EVTRCV」(イベント受信)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■正常終了-終了コード

正常終了コードを設定します。

■ 設定範囲

0-255

■正常終了-条件

正常終了する条件を設定します。

■ フォーマット

フォーマットは以下の通りです。条件全体を囲む(")ダブルクォーテーションも入力する必要があります。 イベントIDと一致条件は任意の回数、最大5回まで繰り返すことができます。

ひとつの条件はかならず1行で書いてください。複数の条件を入力したい場合は、改行(エスケープシーケンスの"\n"ではなくExcelの改行)を入れて、下記のフォーマットを記述します。条件は最大10件まで記述可能です。

"'<条件名>','<送信元ホスト名>','<イベントID 1>','<一致条件 1>','<イベントID 2>','<一致条件 2>', …"

- 設定項目
 - 1.条件名

条件の名前です。文字制限は次のとおりです。

- a. 最大40バイトです。
- b. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

2. 送信元ホスト名

イベント送信元のホスト名を入力します。文字制限は以下のとおりです。

- a. 最大バイト数は255バイトです。
- b. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/;<=>?@[\]^`{|}~

3. イベントID

任意の受信するイベントの識別子 (ID) を入力します。文字制限は以下のとおりです。

a. 最大バイト数は100バイトです。

b. 最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。

c. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字、および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'(),/:;<=>?@[\]^`{|}~

4. 一致条件

IDの合致条件としては"0"「から始まる」, "1"「を含む」, "2"「一致する」を選択することができます。

■ 条件の例

条件名が「condition1」、送信元ホスト名が「test_host」でイベントIDが「id_01」でその一致条件が 「から始まる」、もう一つのイベントIDが「id_02」でその一致条件が「を含む」の場合。

"'condition1','test_host','id_01','0',,'id_02','1'"

■異常終了-終了コード

異常終了コードを設定します。

■ 設定範囲

0-255

■異常終了-条件

異常終了する条件を設定します。

■ フォーマット

フォーマットは以下の通りです。条件全体を囲む(")ダブルクォーテーションも入力する必要があります。 イベントIDと一致条件は任意の回数、最大5回まで繰り返すことができます。ひとつの条件はかならず1行 で書いてください。複数の条件を入力したい場合は、改行(エスケープシーケンスの"\n"ではなく、Excel の改行)を入れて、下記のフォーマットを記述します。条件は最大10件まで記述可能です。

"'<条件名>','<送信元ホスト名>','<イベントID 1>','<一致条件 1>','<イベントID 2>','<一致条件 2>', …"

- 設定項目
 - 1.条件名

条件の名前です。文字制限は次のとおりです。

- a. 最大40バイトです。
- b. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

2.送信元ホスト名

イベント送信元のホスト名を入力します。文字制限は以下のとおりです。

a. 最大バイト数は255バイトです。

b. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/;<=>?@[\]^`{|}~

3. イベントID

任意の受信するイベントの識別子 (ID) を入力します。文字制限は以下のとおりです。

a. 最大バイト数は100バイトです。

b. 最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。

c. スペース、タブ、改行、半角カタカナ、全角文字、および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'(),/:;<=>?@[\]^`{|}~

4. 一致条件

IDの合致条件としては"0"「から始まる」, "1"「を含む」, "2"「一致する」を選択することができます。

■ 条件の例

条件名が「condition1」、送信元ホスト名が「test_host」でイベントIDが「id_01」でその一致条件が 「から始まる」、もう一つのイベントIDが「id_02」でその一致条件が「を含む」の場合。

"'condition1','test_host','id_01','0',,'id_02','1"

■コメント

イベント受信部品に設定するコメントを指定します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

■受信タイムアウト-タイムアウトの有無

onの場合、イベントを受け付けるまでの待ち合わせをします。設定してある期間受信待ち合わせを行い受信 できた場合には、正常終了状態になります。指定した期間中にイベントが受信できない場合、タイムアウト しエラー終了状態になります。

offの場合、イベントの即時受信を行います。受信できた場合も受信できなかった場合も正常終了状態になります。

■ 設定範囲

"on"

"off"

■受信タイムアウト-タイムアウト

待ち合わせするときのタイムアウト時間を設定します。設定なし(空白)の場合は、無限に待ち合わせま す。

■ 設定範囲

①絶対時刻

00:00~23:59

②相対時間

+00:00~+23:59

2.6.1.18. カスタムジョブ

種別に「CUSTOMJOB」(カスタムジョブ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■スクリプト変数

カスタムジョブ実行時に付与されるスクリプト変数を設定することができます。

複数の変数を設定したい場合は、各パラメータごとに改行(エスケープシーケンスの"\n"ではなく、Excelの 改行)を入れて複数行記述します。

■スクリプト変数-変数

スクリプト変数の変数名を設定することができます。

■ 文字制限

空白、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

<=>#'"

■スクリプト変数-値

スクリプト変数の値を設定することができます。

■ エスケープシーケンス(Definition 9.0以降)

' -> \q

" -> \w

\ -> \b

■ 文字制限(Definition 9.0以降)

タブおよび特殊文字は使用できません。

■ 文字制限(Definition 8.0以前)

タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

#'"



「値」について、JD Assistでは拡張カスタムジョブ部品のカスタムパラメータ固有の制限値の チェックは行われません。制限値以外の値を設定した拡張カスタムジョブ部品をアップロードし た場合は、JD AssistでJPFファイルを修正し再度アップロードするか、CL/Winのカスタムパラ メータ設定画面で値を修正してください。

拡張カスタムジョブ部品のカスタムパラメータの詳細は<拡張カスタムジョブ部品利用の手引き> を参照してください。

■スクリプト変数-コメント

スクリプト変数のコメントを設定することができます。

- エスケープシーケンス
 - 改行 -> ∖n
 - \ -> \b
- 文字制限

以下の文字は使用できません。

- #'"
- ■スクリプト

カスタムジョブのスクリプトが表示されます。

■定義名

カスタムジョブのテンプレート名が表示されます。

プルダウンメニューより作成済みのカスタムジョブのテンプレートを選択できます。

■バージョン

カスタムジョブのテンプレートのバージョン情報(スクリプトまたはパラメータを修正したGMT時間)が表示 されます。

■アイコン

カスタムジョブのテンプレートのアイコンが表示されます。

- 指定範囲
 - "Triangle" -「三角」
 - "Hexagon" -「六角」
 - "Pentagon" -「五画」
 - "Diamond" -「菱形」
 - "Ellipse" -「楕円」
 - "Wave" -「波」
 - "Star" -「星」
 - "Cloud" -「雲」
 - "Cube" -「立方」
 - "Cylinder" 「円柱」
- 2.6.1.19. グループ

種別に「JNWGRP」(グループ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■所属グループ

グループの所属グループを指定します。フォーマットは以下のように「.」で始めてグループ階層を「.」で区 切って並べます。

■ フォーマット

.<group1>.<group2>.<group3>

- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!"#\$%&'()*,/:;<=>?@[\]^`{|}~

■ 互換性

Definition 5.0以降

■コメント

グループに設定するコメントを指定します。

■ 文字制限

タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 5.0以降

2.6.2. スケジュールの作成(schedシート)

JD Assist を用いてスケジュールを作成する機能について説明します。「schedシート」を使用することでスケ ジュールを作成することができます。

定義編集ツールは、1つの部品を1行に定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセル を部品毎に選択して編集を行います。入力値が範囲的なパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定さ れていますので、ルールに従ってパラメータを設定してください。

シートのボタン機能およびファンクションキーについては「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動 トリガ・監視対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

	19 - CI	•) =			jc_definition	[互換モード] - M	icrosoft Excel			_	= x
3	ホーム 打	■入	ページレイ	アウト 数式 データ ;	校閲 表示					0) _ = x
	B22		- (9	fx O							¥
A	B	С	D	F	F	G	Н	I	, I	К	
1		1	-					-	-		
2	全体のチェック		参昭 モード/								
3	(F5)		解除(F6)	(F7)	(F8)						
4 5 201	11/00/10 0:00:17		し チェックに ロ	titu ±1 t-							
0 201	12/00/20 9.39.27	±υ	クテェックにの	14/JUまし/こ。							
6											
7											
8	10-11-15	II)/種別	基本		スケジュール	設定	[
9	チェック結果	ID	種別	名前	関連ID	適用カレンダ	所属グループ	有効/無効	750	登録/除	ルール種
11			12.01		17G/LIC	10010000	111112570 5			<u>9</u> 1	70 70 <u>1</u>
12	•	id 💌	type 💌	name 💌	relation 💽	apply_cal 💽	group 🔽	enable 💌	comment 💌	regist 💌	rule_type 📃
13	<u>e</u>	1	SCHED	毎週土曜日	1			on		1	and the
14	K I	- 2	RULE		1					1	thmonthly
16	ŏ	4	SCHED	日次スケジュール				on			
17	0	5	RULE		4					1	daily
18	<u>o</u>	6	SCHED	NewSch1			NewGroup	on	スケジュールの	コメント設定	
19	8	- /	SCHED	NewSob 2	b		NewGroup	on		1	special
21	K I	9	RULE	New Joinz	8		:Newcroup			1	weekly
22	ſŌ ,	10	SCHED	月初週末				off	運用開始日		
23	Q I	11	SCHED	週次(週末)				on			
24	8	12	SCHED	月次(月末)				on			
20	K I	14	BULE		13			on		1	daily
27	ř l	14	I GEL		10					<u> </u>	aany
28											
29											
30											
32											
33											
14 4 >	N jnw sch	ned / d	cal / custor	mjob / input / output / map	/flow-view / da	ate-view / ver	sion 🖄		 ∏ ∢		•
コマンド									85% 😑		+ .:

図2.61 schedシート

以下に説明する各部品パラメータの定義条件は下記表の通りです。

定義条件	説明
フォーマット	指定された入力形式に従って定義してください。
設定範囲	範囲内のパラメータを選択して定義してください。
文字制限	この文字列を定義することはできません。
互換性	定義編集ツールの動作モードと部品パラメータの定義互換性を示します。動作 モードが互換性より前のバージョンである場合、パラメータを定義することはで きません。
	「動作モードの変更」機能に関しては「2.6.12.1 動作モードの変更」を参照して ください。

2.6.2.1. IDと種別

スケジュールを作成するためにはスケジュールとルールを一意に識別するためのIDとスケジュールかルールを 表す種別を決定する必要があります。IDと種別で設定できる値は次の通りです。

∎ID

シート内で一意なIDを指定します。

■ 設定範囲

0-999999

■種別

スケジュールかルールを表す種別を指定します。

項目名	説明
SCHED	スケジュール
RULE	ルール

2.6.2.2. 基本設定

設定の基本項目として「名前」と「関連ID」があります。「名前」はスケジュールの名前を決定するために使 用します。「関連ID」は、ルールがどのスケジュールに所属するかを決定するために使用します。それぞれの 設定可能なパラメータは次の通りです。

■基本-名前

スケジュールの名前を設定します。

- 文字制限
 - ・名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - ・スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

■基本-関連ID

種別がルールの場合、関係付けるスケジュールのIDを指定します。

■ 設定範囲

0-999999

2.6.2.3. スケジュールの設定

種別に「SCHED」(スケジュール)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■スケジュール-適用カレンダ

適用する稼働日カレンダの名前を指定します。

- 文字制限
 - ・名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - ・スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。
 - ! " # \$ % & ' () * , / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~
- ■設定-所属グループ

スケジュールグループを指定します。

■ フォーマット

グループ階層の区切り文字は「.」となります。グループ階層は最大で五階層まで指定可能です。

(例).group01.group02.group03

■ 文字制限

- ・名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、2バイト文字しか使用できません。
- ・スペース、タブ、改行、特殊文字および以下の文字は使用できません。
- !" # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~
- 互換性

Definition 2.0以降

■設定-有効/無効

スケジュールの有効/無効を指定します。

■ 設定範囲

"on" - 有効

"off" - 無効

■ 互換性

Definition 2.0以降

■設定-コメント

スケジュールのコメントを指定します。

- 文字制限
 - ・名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、2バイト文字しか使用できません。
 - ・スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

^#\$;()[]{}\|<>"&'

■ 互換性

Definition 2.0以降

2.6.2.4. ルールの作成

種別に「RULE」(ルール)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■登録/除外

登録:指定したルールの日時をジョブ実行予定日としてスケジュールに追加することを意味します。

除外:指定したルールの日時をジョブ実行しない日としてスケジュールから削除することを意味します。

- 設定範囲
 - 1 「登録」
 - 0 「除外」
- ■ルール種別

ルールの種別を設定します。

■ 種別

毎日 - 毎日実行するルールです。

毎週 - 毎週実行するルールです。

毎月(日付) - 毎月、日付指定で実行するルールです。

毎月(曜日) - 毎月、曜日指定で実行するルールです。

毎年(日付) - 毎年、日付指定で実行するルールです。

毎年(曜日) - 毎年、曜日指定で実行するルールです。

特定日 - 指定した日付に実行するルールです。

特殊 - 月初週末に実行するルールです。

指定日間隔 - 指定日の周期で実行するルールです。

- 設定範囲
 - "daily" 「毎日」
 - "weekly" 「毎週」
 - "monthly" 「毎月(日付)」
 - "thmonthly" 「毎月(曜日)」
 - "yearly" 「毎年(日付)」
 - "thyearly" 「毎年(曜日)」
 - "special " 「特定日」
 - "extra" 「特殊」
 - "xday" 「指定日間隔」

■日付-年

年を指定します。

■ 設定範囲

1997-2037

■日付-月

月を指定します。

■ 設定範囲

1-12

■日付-日

日を指定します。毎月(日付) ルールと、毎年(日付)ルールの場合は月末を指定する"LAST"が有効です。

- 設定範囲
 - 1-31

"LAST" - (monthlyとyearlyのみ)

■曜日-序数

第n(1,2,3,4,5,最後)週かを指定します。

- 設定範囲
 - 1-5

"LAST"

■曜日-曜日

曜日を指定します。

- 設定範囲
 - 0 日曜日
 - 1 月曜日
 - 2 火曜日
 - 3 水曜日
 - 4 木曜日
 - 5 金曜日
 - 6 土曜日

■時刻-開始時刻-時

開始時間を指定します

■ 設定範囲

0-35

```
■時刻-開始時刻-分
```

開始分を指定します

■ 設定範囲

0-59

■時刻-周期

実行する周期を指定します。

■ 設定範囲

1-1440 -「分」

■時刻-終了時刻-時

終了時間を指定します

■ 設定範囲

0-35

■時刻-終了時刻-分

終了分を指定します

■ 設定範囲

0-59

■休止日

指定された実行日が稼働日カレンダで定義されている休止日にあたる場合に、実行予定日を自動的にシフト するかどうかを指定します。

■ 設定範囲

```
"BEFORE" - 「前シフト」
```

"AFTER" - 「後シフト」

"NONE" - 「対象外」

■相対

もとの日から稼働日だけを数えて指定日数分ずらした日を指定します。もとの日から未来方向にずらすには +(プラス)、過去方向にずらすには-(マイナス)の日数を指定します。

■ 設定範囲

```
-31 - 31
```

```
■周期(日)
```

指定日間隔の「周期」を設定します。

- 設定範囲
 - 1 365
- 互換性

Definition 3.0以降

■特殊

「特殊ルール」を指定した場合、月初週末を選択する必要があります。

■ 設定範囲

"firstwe"

■適用期間-開始日-年

適用開始「年」を指定します。

■ 設定範囲

1997-2037

■適用期間-開始日-月

適用開始「月」を指定します。

■ 設定範囲

1-12

■適用期間-開始日-日

適用開始「日」を指定します。

■ 設定範囲

1-31

■適用期間-終了日-年

適用終了「年」を指定します。

■ 設定範囲

1997-2037

■適用期間-終了日-月

適用終了「月」を指定します。

- 設定範囲
 - 1-12
- ■適用期間-終了日-日

適用終了「日」を指定します。

- 設定範囲
 - 1-31

2.6.3. 起動トリガ・監視対象テキストログの作成(trgシート)

JD Assistを用いて起動トリガ定義および監視対象テキストログを作成する機能について説明します。「trg シート」を使用することで起動トリガ定義および監視対象テキストログを作成することができます。

定義編集ツールは、1つの部品を1行に定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセル を部品毎に選択して編集を行います。入力値が範囲的なパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定さ れていますので、ルールに従ってパラメータを設定してください。

シートのボタン機能およびファンクションキーについては「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動 トリガ・監視対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

<u>ک در ا</u>	¢ ÷		jc_def	inition.xlsm -	Excel			? 📧 — 🗆
レホーム	挿入 ページ	レイアウト 数式 デー	タ 校閲 表示	開発 その他	b			
Ŧ	: X 🗸	$f_x \circ$						
В	D	E	F	н	I	J	К	L
全体のチェック (F5)		除 部品コントロール シ (F7)	'−トプロパティ (F8)					
17/05/23 15:55		成功しました。						
				J	-1			
バラメータ		種別	基本		設定			•
チェック結果	種別	起動トリガ種別	名前	有効/無効		関連JNW	定義名	監視キーワー
-	type ~ TRG	trg_type ~ TEXTLOG	name <u>~</u> エラーログ監視-maillog	enable ~ on	comment ~ maillogのerrorを監視	launch ~ maillog-リカバリー処理	filename 📑 maillog	keyword error
0	TRG	TEXTLOG	エラーログ監視-messages	on	messagesのerrorを監視	messages-リカバリー処理 共通リカバリー処理	messages	(¥d+:¥d+:¥d+) ¥S+ (¥S+):
0	TRG	TEXTLOG	エラーログ監視-secure	on	secureのerrorを監視	secure-リカバリー処理 共通リカバリー処理	secure	(¥d+:¥d+:¥d+) ¥S+ (¥S+):
	TARGET_TEXTLOG		secure					
ŏ	TARGET_TEXTLOG		maillog					
1								
			1		1		1	1

図2.62 trgシート

以下に説明する各部品パラメータの定義条件は下記表の通りです。

定義条件	説明
フォーマット	指定された入力形式に従って定義してください。
設定範囲	範囲内のパラメータを選択して定義してください。
文字制限	この文字列を定義することはできません。
互換性	定義編集ツールの動作モードと部品パラメータの定義互換性を示します。動作 モードが互換性より前のバージョンである場合、パラメータを定義することはで きません。
	「動作モードの変更」機能に関しては「2.6.12.1 動作モードの変更」を参照して ください。

2.6.3.1. 種別

起動トリガ定義および監視対象テキストログを作成するためには部品の「種別」を決定する必要があります。 また部品の「種別」が起動トリガ定義の場合、さらに「起動トリガ種別」を決定する必要があります。

それぞれで設定できる値は次の通りです。

■種別

項目名	説明
TRG	起動トリガ定義
TARGET_TEXTLOG	監視対象テキストログ

■起動トリガ種別

項目名	説明
TEXTLOG	テキストログ監視

2.6.3.2. 基本設定

部品の種別に関わらず共通で設定する基本項目として「名前」があります。「名前」は各部品の名前を決定す るために使用します。

「名前」に設定可能なパラメータは、部品の種別によって異なります。部品の種別毎の「名前」に設定可能な パラメータは次の通りです。

■部品の種別が「TRG」の場合

起動トリガ定義の名前を指定します。

- 文字制限
 - ・128バイト以内で指定してください。
 - ・既に存在している起動トリガと重複した名前は使用できません。
 - ・最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - ・スペース、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

- ・名前は必ず指定してください。
- ■部品の種別が「TARGET_TEXTLOG」の場合

監視対象テキストログの名前を指定します。

- 文字制限
 - ・128バイト以内で指定してください。
 - ・既に存在している監視対象テキストログと重複した名前は使用できません。
 - ・スペース、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。
 - + ! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~
 - 名前は必ず指定してください。

2.6.3.3. 起動トリガ定義の設定

種別に「TRG」(起動トリガ定義)を選択した時に起動トリガ種別に関わらず共通で設定できる項目として「有効/無効」、「コメント」、「関連JNW」があります。

それぞれ設定できるパラメータは次の通りです。

■設定-有効/無効

起動トリガ定義の有効/無効を指定します。

- 設定範囲
 - "on" 「有効」
 - "off" 「無効」

■設定-コメント

起動トリガ定義のコメントを指定します。

- 文字制限
 - ・256バイト以内で指定してください。
 - ・タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。
 - ^ # \$; () [] { } \ | < > " & '
- ■設定-関連JNW

起動トリガ定義に関連付けるジョブネットワークの名前を指定します。

■ フォーマット

複数のジョブネットワークを関連付ける場合、以下のようにジョブネットワークの名前を改行で区切って 並べます。

NewJnw1 NewJnw2 NewJnw3

- 文字制限
 - ・ジョブネットワークの名前は40バイト以内で指定してください。
 - ・ 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - ・スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

+ ! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

2.6.3.4. 起動トリガ(テキストログ監視)

起動トリガ種別に「TEXTLOG」(テキストログ監視)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■定義名

監視したい監視対象テキストログの名前を設定します。

- 文字制限
 - ・128バイト以内で入力してください。
 - ・スペース、タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

+ ! " # \$ % & ' () * , . / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

- ・監視キーワードを指定している場合、定義名は必ず指定する必要があります。
- ■監視キーワード

監視したいキーワードを指定します。

- 文字制限
 - ・256バイト以内で入力してください。
 - ・定義名を指定している場合、監視キーワードは必ず指定する必要があります。

■一致した行を環境変数に設定する

監視キーワードに一致したログの内容を投入するジョブネットワークの環境変数に格納するかを指定しま す。

■ 設定範囲

"on" - 「設定します」

"off" - 「設定しません」

■正規表現を利用する

監視キーワードに正規表現を利用するかを指定します。

■ 設定範囲

"on" - 「正規表現として処理します」

"off" - 「正規表現として処理しません」

■部分一致した文字列を環境変数に設定する

監視キーワードに正規表現を利用している場合、正規表現に一致した文字列を投入するジョブネットワーク の環境変数に格納するかを指定します。

■ 設定範囲

"on" - 「設定します」

"off" - 「設定しません」

正規表現を利用するに「off」を指定している場合、部分一致した文字列を環境変数に設定するに「on」 を指定することは出来ません。

2.6.3.5. 監視対象テキストログ

部品の種別に「TARGET_TEXTLOG」(監視対象テキストログ)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。

■ファイルパス

監視したいテキストログファイルのファイルパスをフルパスで指定します。

■ 文字制限

- ・254バイト以内で入力してください。
- ・既に存在している監視対象テキストログと重複したファイルパスは使用できません。
- ・タブ、特殊文字および以下の文字は使用できません。

! " # \$ % & ' () * , ; < = > ? [] ^ ` { | } ~

ファイルパスは必ず指定してください。

■エンコーディング

ファイルパスで指定したファイルのファイルエンコーディングを指定します。

■ 設定範囲

"ASCII"

"SHIFT-JIS"

"EUC"

"UTF-8"

"GB18030"

定義情報のアップロード先で使用するCL/Winの環境によって、使用できるファイルエンコーディングが異なります。

そのため、アップロード先で使用するCL/Winの環境に対応したファイルエンコーディングを選択 するようにしてください。

CL/Winの環境毎に使用できるファイルエンコーディングは、<基本操作ガイド>の「7.2.1.3 監視 するテキストログファイルの情報を定義する」を参照してください。

■ローテーションルール

ファイルパスで指定したファイルがローテーションされるファイルの場合、監視したいテキストログファイルおよびローテーションされたテキストログファイルを表した正規表現を指定します。

■ 文字制限

- ・254バイト以内で入力してください。
- ・「-」のみを指定することは出来ません。

2.6.4. カレンダの作成(calシート)

JD Assist を用いてカレンダを作成する機能について説明します。「calシート」を使用することでカレンダを 作成することができます。

定義編集ツールは、1つの部品を1行に定義するフォーマットとなります。設定・変更を行うパラメータのセル を部品毎に選択して編集を行います。入力値が範囲的なパラメータには入力制限やプルダウンリストが設定さ れていますので、ルールに従ってパラメータを設定してください。

シートのボタン機能およびファンクションキーについては「2.6.5 ジョブネットワーク・スケジュール・起動 トリガ・監視対象テキストログ・カレンダのシート共通操作」を参照してください。

jc_definition 互換モード] - Microsoft Excel _										x					
<u> </u>	ホーム 打	重入 ペ・	ージ レイアウト	数式 データ	校閲	表示								0 -	∣
	A1	- (f _x												¥
A	В	С	D	E		F	G	Н	I	J	K	L	М	N	0 🔺
1 2 3 4	全体のチェック (F5)	参照	鼠モードの 罕除(F6)	部品コントロール (F7)	シート:	プロパティ (F8)									
5 201	2/08/28 9:39:3) 全てのチュ	ックに成功し	ました。											
6															
8		ID/	種別	基2	本										
9 10	バラメータ チェック結果	ID	種別	名前		関連ID	登録/除 外	ルール種別		日付			曜日	休止日	相:
11	-					alatian 💌	21 namiat =	uula tuna 🖉	年	月 www.setta		序数	曜日		un la tiu
13	0	1	WKCAL	mame multi03-cal	<u> </u>		regist (*	ruie_type	year 💽	montri (*	uay 💌	orumai 💽	Week [*	pause 💌	relativi
14	ŏ	2	RULE			1	1	weekly					5	NONE	
15	<u>0</u>	3	WKCAL	multi01-cal	_										
16	<u>0</u>	4	RULE	multi00 and		3	1	thmonthly				1	5	NONE	
12	8	6 8	RULE	multiu2-cai	_	5	1	cnecial	2012	8	24				
19	P		NULL		_	0		special	2012	0	24				
20															
21															
22															
23															
24															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
33															_
34				t, , , , ,				l							
H + F	▶ jnw _ scl	ned <u>cal</u>	customjob	/input/output/m	nap / flo	w-view 🗸 da	ate-view ₂	/version / 🐔	1					Ш	•
コマンド													85% 🕞 —		-+ .::

図2.63 calシート

以下に説明する各部品パラメータの定義条件は下記表の通りです。

定義条件	説明
フォーマット	指定された入力形式に従って定義してください。
設定範囲	範囲内のパラメータを選択して定義してください。
文字制限	この文字列を定義することはできません。
互换性	定義編集ツールの動作モードと部品パラメータの定義互換性を示します。動作 モードが互換性より前のバージョンである場合、パラメータを定義することはで きません。
	「動作モードの変更」機能に関しては「2.6.12.1 動作モードの変更」を参照して ください。

2.6.4.1. IDと種別

カレンダを作成するためにはカレンダとルールを一意に識別するためのIDとカレンダかルールを表す種別を決 定する必要があります。IDと種別で設定できる値は次の通りです。

∎ID

シート内で一意なIDを指定します。

■ 設定範囲

0-999999

■種別

カレンダかルールを表す種別を指定します。

項目名	説明					
WKCAL	稼動日カレンダ					
RULE	ルール					

2.6.4.2. 基本設定

設定の基本項目として「名前」と「関連ID」があります。「名前」はカレンダの名前を決定するために使用し ます。「関連ID」は、ルールがどのカレンダに所属するかを決定するために使用します。それぞれの設定可能 なパラメータは次の通りです。

■基本-名前

カレンダの名前を設定します。

- 文字制限
 - 1. 名前の最初の文字はアルファベット、アンダーライン、数字、2バイト文字しか使用できません。
 - 2. スペース、タブ、改行および以下の文字は使用できません。

!" # \$ % & ' () * , / : ; < = > ? @ [\] ^ ` { | } ~

- 3. "SScalendar"はカレンダの名前として使用できません。
- ■基本-関連ID

種別がルールの場合、関係付ける稼動日カレンダのIDを指定します。

■ 設定範囲

0-999999

- 2.6.4.3. ルールの作成
 - 種別に「RULE」(ルール)を選択した時に設定できるパラメータは次の通りです。
 - ■登録/除外
 - 登録:指定したルールの日時をジョブ稼働日としてカレンダに追加することを意味します。

除外:指定したルールの日時を非稼働日としてカレンダから削除することを意味します。

- 設定範囲
 - 1 「登録」
 - 0 「除外」
- ■ルール種別

ルールの種別を設定します。

- 種別
 - 毎日 毎日実行するルールです。
 - 毎週 毎週実行するルールです。

- 毎月(日付) 毎月、日付指定で実行するルールです。
- 毎月(曜日) 毎月、曜日指定で実行するルールです。
- 毎年(日付) 毎年、日付指定で実行するルールです。
- 毎年(曜日) 毎年、曜日指定で実行するルールです。
- 特定日 指定した日付に実行するルールです。
- 特殊 月初週末に実行するルールです。
- 設定範囲
 - "daily" 「毎日」
 - "weekly" 「毎週」
 - "monthly" 「毎月(日付)」
 - "thmonthly" 「毎月(曜日)」
 - "yearly" 「毎年(日付)」
 - "thyearly" 「毎年(曜日)」
 - "special " 「特定日」
 - "extra" 「特殊」
- ■日付-年
 - 年を指定します。
 - 設定範囲

1997-2037

■日付-月

月を指定します。

■ 設定範囲

1-12

■日付-日

日を指定します。毎月(日付) ルールと、毎年(日付)ルールの場合は月末を指定する"LAST"が有効です。

- 設定範囲
 - 1-31

```
"LAST" - (monthlyとyearlyのみ)
```

■曜日-序数

```
第n(1,2,3,4,5,最後)週かを指定します。
```

■ 設定範囲

1-5

"LAST"

■曜日-曜日

曜日を指定します。

- 設定範囲
 - 0-日曜日
 - 1 月曜日
 - 2 火曜日
 - 3 水曜日
 - 4 木曜日
 - 5 金曜日
 - 6 土曜日

```
■休止日
```

指定された実行日が稼働日カレンダで定義されている休止日にあたる場合に、実行予定日を自動的にシフト するかどうかを指定します。

■ 設定範囲

"BEFORE" - 「前シフト」

"AFTER" - 「後シフト」

"NONE" - 「対象外」

■相対

もとの日から稼働日だけを数えて指定日数分ずらした日を指定します。もとの日から未来方向にずらすには +(プラス)、過去方向にずらすには-(マイナス)の日数を指定します。

■ 設定範囲

-31 - 31

■特殊

「特殊ルール」を指定した場合、月初週末を選択する必要があります。

■ 設定範囲

"firstwe"

■適用期間-開始日-年

適用開始「年」を指定します。

■ 設定範囲

1997-2037

■適用期間-開始日-月

適用開始「月」を指定します。

■ 設定範囲

1-12

■適用期間-開始日-日

適用開始「日」を指定します。

■ 設定範囲

1-31

■適用期間-終了日-年

適用終了「年」を指定します。

■ 設定範囲

1997-2037

■適用期間-終了日-月

適用終了「月」を指定します。

■ 設定範囲

1-12

■適用期間-終了日-日

適用終了「日」を指定します。

■ 設定範囲

1-31

2.6.4.4. タイムゾーン設定

種別に「WKCAL」(カレンダ)を選択した場合、カレンダに対してタイムゾーンを設定することができます。タ イムゾーンとして設定できるパラメータは次の通りです。

■タイムゾーン設定-設定

カレンダへの設定機能を有効/無効にします。

- 設定範囲
 - 1 有効
 - 0 無効
- 互換性

Definition 2.0以降

■タイムゾーン設定-GMTからのオフセット-時

GMTからのオフセットを指定します。

■ 設定範囲

-12 - 12

■ 互換性

Definition 2.0以降

■タイムゾーン設定-GMTからのオフセット-分

GMTからのオフセットを指定します。

- 設定範囲
 - 0 59
- 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-設定

カレンダに夏時間を設定します。

- 設定範囲
 - 1 設定する
 - 0 設定しない
- 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-開始日-月

夏時間開始月を設定します。

■ 設定範囲

1 - 12

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-開始日-序数

夏時間開始週を設定します。

- 設定範囲
 - 1 第一週
 - 2 第二週
 - 3 第三週
 - 4 第四週
 - LAST 最終週

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-開始日-曜日

夏時間開始曜日を設定します。

- 設定範囲
 - 0 日曜日
 - 1 月曜日
 - 2 火曜日
 - 3 水曜日
 - 4 木曜日
 - 5 金曜日
 - 6 土曜日
- 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-開始日-時

夏時間開始時間を設定します。

■ 設定範囲

0 - 23

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-開始日-分

夏時間開始分を設定します。

■ 設定範囲

0 - 59

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-終了日-月

夏時間終了月を設定します。

■ 設定範囲

1 - 12

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-終了日-序数

夏時間終了週を設定します。

- 設定範囲
 - 1 第一週
 - 2 第二週
 - 3 第三週
 - 4 第四週

LAST - 最終週

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-終了日-曜日

夏時間終了曜日を設定します。

- 設定範囲
 - 0-日曜日
 - 1 月曜日
 - 2 火曜日
 - 3 水曜日
 - 4 木曜日
 - 5 金曜日
 - 6 土曜日

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-終了日-時

夏時間終了時間を設定します。

■ 設定範囲

0 - 23

■ 互換性

Definition 2.0以降

```
■夏時間-終了日-分
```

夏時間終了分を設定します。

■ 設定範囲

0 - 59

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-オフセット-時

夏時間期間中にオフセット値を設定します。

夏時間期間中は「夏時間オフセット」で指定した時間分、時刻の調整が行われます。

■ 設定範囲

-12 - 12

■ 互換性

Definition 2.0以降

■夏時間-オフセット-分

夏時間期間中にオフセット値を設定します。

夏時間期間中は「夏時間オフセット」で指定した時間分、時刻の調整が行われます。

- 設定範囲
 - 0 59
- 互換性

Definition 2.0以降

2.6.5. ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストロ グ・カレンダのシート共通操作

「jnwシート」・「schedシート」・「trgシート」・「calシート」では、共通に使用可能な操作として次の4 種類のボタンおよびショートカットが用意されています。下記ボタンをマウスでクリックする、または該当す るファンクションキーを押下することで操作を実行します。

	ΑB	C	D	E	F	G	Н	I
1								
2		(ホ	ا جن	毎昭エニドク		n ik Ei ei i	Su-h-	
3	±	1年のテエュ (F5)		1999.1111 (F6)		4ノドロール (F7)		(F8)
		(, ,)		(1 0)		(, , ,		
4								

図2.64 シートボタン

■「jnwシート」・「schedシート」・「trgシート」・「calシート」では、JD Assist の各機能を下記ファン クションキーに割り当てています。ファンクションキーを押下することで、ボタンをクリックした場合と同 様の動作を行います。なお、対象外のシートではファンクションキーは機能しません。

ファンクションキー	動作	対象シート
F5	全体のチェックを実行する	jnw,sched,trg,cal

ファンクションキー	動作	対象シート
F6	参照モードの解除を行う	jnw,sched,trg,cal
F7	部品コントロールを表示する	jnw,sched,trg,cal
F8	シートプロパティを表示する	jnw,sched,trg,cal
F9	部品の初期値代入	jnw,sched,trg,cal
F10	JNWのコピー	jnw
	スケジュールのコピー	sched
	部品のコピー	trg
	カレンダのコピー	cal
F11	JNWの削除	jnw
	スケジュールの削除	sched
	部品の削除	trg
	カレンダの削除	cal



上記ファンクションキーにExcel固有で割り当てられていた機能は利用できません。

上記ファンクションキーに該当しないキー([F1]~[F4]および[F12])については、Excel固有で割 り当てられていた機能を利用することが可能です。

2.6.5.1. 全体のチェック

全体チェックでは「パラメータチェック」および「依存関係チェック」という二種類のチェックを行い、定義 情報が正しく設定されているか判定します。定義情報をJPFファイルに出力する場合などシート上の定義情報 に整合性が求められる際は、必ず全体チェックを実行します。

1. パラメータチェック

シート上に定義されたすべての部品に対して適切なパラメータが設定されているかチェックを行います。

パラメータチェックでは、各行毎(部品種別毎)のチェック結果が「パラメータチェック結果」に表示されます。

パラメータが適切に設定されている場合には「パラメータチェック結果」セルに〇が表示されます。必須項 目にパラメータが設定されていない場合や設定したパラメータが不適切な値である場合はチェックエラーと なり、エラー該当セルが赤く表示されるとともに「パラメータチェック結果」に×が表示されます。なお、 選択された部品種別のパラメータとして不要となるセルはグレーアウトします。

パラメータチェックの結果として一つ以上のエラーが発生した場合は、ボタン下のウィンドウ内にエラーと なった部品数が表示されます。パラメータチェックでエラーとなった場合は依存関係チェックは行われませ ん。×となった部品は適切な値に修正する必要があります。

2.依存関係チェック

依存関係チェックでは、シート上に定義された各部品の順序関係や分岐関係が正しいこと、およびジョブ ネットワークやジョブネットワーク内の部品に同名定義が複数存在しないことをチェックします。

以下のような場合に依存関係チェックではエラーとなります。

■存在しないIDを先行部品に指定した場合

■フローがループする場合

■複数の部品から先行部品として分岐部品以外の部品が指定された場合

■分岐IDに分岐数を超える数を指定した場合

■分岐部品以外の部品を先行部品に指定しているにもかかわらず、分岐IDを指定した場合

■同名のジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ・カスタム ジョブが存在する場合

■同じジョブネットワーク内に複数の同名の部品が存在する場合

■起動トリガ(テキストログ監視)の定義名を設定しているが、監視キーワードが空欄の場合

■起動トリガ(テキストログ監視)の監視キーワードを設定しているが、定義名が空欄の場合

依存関係チェックでエラーとなった場合は、ボタン下のウィンドウ内にエラー理由が表示されます。表示さ れた理由を見て部品の関連や名前を修正する必要があります。

パラメータチェックと依存関係チェックが正常終了すると、参照モードに移行することができます。参照モードとは定義を参照するためのモードであり、定義を変更することはできません。参照モードに移行することで、outputシートでの「JPFファイルの出力」やdate-viewシートでの「スケジュール・カレンダ稼働日の確認」が可能となります。

参照モードを解除する場合は、「2.6.5.2 参照モードの解除」を実行してください。



2.6.5.2. 参照モードの解除

参照モードから編集モードに移行するための機能です。現在のモードが参照モードである時のみ使用することができます。また、参照モードである時にのみボタンおよびファンクションキーが有効となります。



図2.65 参照モードの解除ボタン

2.6.5.3. 部品コントロール

部品コントロールは、jnwシート・schedシート・trgシート・calシートにおいて、部品の初期値代入や定義の コピー・削除などの機能を実行するためのモードレスダイアログです。Excelシート上のアクティブセルに対し て部品コントロール内のボタンをクリックすることで、ボタンに対応する機能を実行します。部品コントロー ル内の機能はそれぞれシートで機能が異なります。なお、部品コントロール上の機能は部品ダイアログの表示/ 非表示にかかわらず、対応するファンクションキーから実行することができます。



部品コントロールはマクロ機能を呼び出しますので、実行後に「元に戻す([Ctrl] + z)」操作を行う ことができません。

2.6.5.3.1. jnwシートの部品コントロール

jnwシートの部品コントロールは「部品の初期値代入」「JNWのコピー」および「JNWの削除」を実行するこ とができます。

部品:	コントロール		×		
	部品の初期値の	代入 (F9)			
			-		
	JN₩Თ⊐ピー	(F10)			
			1		
	JNWの削除	(F11)			
		381	1		
		第Uる	1		

図2.66 jnwシートの部品コントロール

Excelシート上でアクティブとなっている行(部品定義)に対して部品パラメータの初期値を入力します。部品 パラメータの初期値は、Job Director CL/Winが新規部品を作成した際に自動設定されるデフォルト値となり ます。本機能は新規に部品定義を作成する際の入力補助機能として用いることができます。



■JNWのコピー

対象となるJNWを関連する部品定義を含めてコピーし、シートの最下行に出力します。Excelシート上でアクティブとなっている行において、部品種別が「JNW」である場合のみコピー機能は実行されます。

コピー実行後のコピー先JNW名は「<コピー前のJNW名>_copy<コピー回数>」となります。

(例)日次処理 → 日次処理_copy1、日次処理_copy2、...

コピー実行後のコピー先部品IDは、シート上のID最大値を一の位で繰り上げた数値から自動採番します。



■JNWの削除

対象となるJNWを関連する部品定義を含めて削除します。Excelシート上でアクティブとなっている行において、部品種別が「JNW」である場合のみ削除機能は実行されます。



削除実行時には、シートにおける部品全体の依存関係が正しく設定されている必要があります。 依存関係にエラーがある場合、削除処理は実行されません。

削除実行後に「元に戻す([Ctrl] + z)」操作を行うことができませんので注意してください。

2.6.5.3.2. schedシートの部品コントロール

schedシートの部品コントロールは「部品の初期値代入」「スケジュールのコピー」および「スケジュールの削 除」を実行することができます。

部品:	コントロール	×
	部品の初期値代入	(F9)
	スケジュールのコピー	(F10)
	スケジュールの削除	(F11)
		3

図2.67 schedシートの部品コントロール

Excelシート上でアクティブとなっている行(部品定義)に対して部品パラメータの初期値を入力します。部品 パラメータの初期値は、Job Director CL/Winが新規部品を作成した際に自動設定されるデフォルト値となり ます。本機能は新規に部品定義を作成する際の入力補助機能として用いることができます。



■スケジュールのコピー

対象となるスケジュールを関連ルール定義を含めてコピーし、シートの最下行に出力します。Excelシート上 でアクティブとなっている行において、部品種別が「SCHED」である場合のみコピー機能は実行されます。

コピー実行後のコピー先スケジュール名は「<コピー前のスケジュール名>_copy<コピー回数>」となります。

(例)日次スケジュール → 日次スケジュール_copy1、日次スケジュール_copy2、...

コピー実行後のコピー先部品IDは、シート上のID最大値を一の位で繰り上げた数値から自動採番します。

コピー実行時には、シートにおける部品全体の依存関係が正しく設定されている必要がありま す。依存関係にエラーがある場合、コピー処理は実行されません。

■スケジュールの削除

対象となるスケジュールを関連ルール定義を含めて削除します。Excelシート上でアクティブとなっている行 において、部品種別が「SCHED」である場合のみ削除機能は実行されます。



削除実行時には、シートにおける部品全体の依存関係が正しく設定されている必要があります。 依存関係にエラーがある場合、削除処理は実行されません。

削除実行後に「元に戻す([Ctrl] + z)」操作を行うことができませんので注意してください。

2.6.5.3.3. trgシートの部品コントロール

trgシートの部品コントロールは「部品の初期値代入」「部品のコピー」および「部品の削除」を実行すること ができます。



図2.68 trgシートの部品コントロール

Excelシート上でアクティブとなっている行(部品定義)に対して部品パラメータの初期値を入力します。部品 パラメータの初期値は、Job Director CL/Winが新規部品を作成した際に自動設定されるデフォルト値となり ます。本機能は新規に部品定義を作成する際の入力補助機能として用いることができます。



■部品のコピー

対象となる起動トリガまたは監視対象テキストログをコピーし、シートの最下行に出力します。Excelシート 上でアクティブとなっている行において、種別が「TRG」「TARGET_TEXTLOG」である場合のみコピー機 能は実行されます。

コピー実行後のコピー先部品名は「<コピー前の部品名>_copy<コピー回数>」となります。

(例)エラーログ監視 → エラーログ監視_copy1、エラーログ監視_copy2、...



コピー実行時には、シートにおける部品全体の依存関係が正しく設定されている必要がありま す。依存関係にエラーがある場合、コピー処理は実行されません。

■部品の削除

対象となる起動トリガまたは監視対象テキストログを削除します。Excelシート上でアクティブとなっている 行において、種別が「TRG」「TARGET_TEXTLOG」である場合のみ削除機能は実行されます。



削除実行後に「元に戻す([Ctrl] + z)」操作を行うことができませんので注意してください。

2.6.5.3.4. calシートの部品コントロール

calシートの部品コントロールは「部品の初期値代入」「カレンダのコピー」および「カレンダの削除」を実行 することができます。

部品:	コントロール		x
	部品の初期値代	入 (F9)	
			4
	カレンダのコピー	(F10)	
			1
	カレンダの削除	(F11)	
	(31	1
		10a j	

図2.69 calシートの部品コントロール

Excelシート上でアクティブとなっている行(部品定義)に対して部品パラメータの初期値を入力します。部品 パラメータの初期値は、Job Director CL/Winが新規部品を作成した際に自動設定されるデフォルト値となり ます。本機能は新規に部品定義を作成する際の入力補助機能として用いることができます。



■カレンダのコピー

対象となるカレンダを関連ルール定義を含めてコピーし、シートの最下行に出力します。Excelシート上でア クティブとなっている行において、部品種別が「WKCAL」である場合のみコピー機能は実行されます。

コピー実行後のコピー先カレンダ名は「<コピー前のカレンダ名>_copy<コピー回数>」となります。

(例)日次カレンダ → 日次カレンダ_copy1、日次カレンダ_copy2、...

コピー実行後のコピー先部品IDは、シート上のID最大値を一の位で繰り上げた数値から自動採番します。



コピー実行時には、シートにおける部品全体の依存関係が正しく設定されている必要がありま す。依存関係にエラーがある場合、コピー処理は実行されません。

■カレンダの削除

対象となるカレンダを関連ルール定義を含めて削除します。Excelシート上でアクティブとなっている行において、部品種別が「WKCAL」である場合のみ削除機能は実行されます。



削除実行後に「元に戻す([Ctrl] + z)」操作を行うことができませんので注意してください。

2.6.5.4. シートのプロパティ

シートのプロパティは、jnwシート・schedシート・trgシート・calシートそれぞれのシート関連プロパティを 設定します。

シートプロパティ	—
□ ダイナミックチェックを有	育効にする
▶ 保護モードを有効にす	# 3
ОК	キャンセル

図2.70 シートのプロパティ

2.6.5.4.1. ダイナミックチェックを有効にする

ダイナミックチェックとは、Excelのセルに部品パラメータを入力した際に、自動でパラメータチェックを実行 する機能です。新規に部品定義を作成する際には、入力補助機能として用いることができます。

ダイナミックチェックで実行するパラメータチェックでは、必須項目にパラメータが設定されていない場合や 設定したパラメータが不適切な値である場合はチェックエラーとなり、エラー該当セルが赤く表示されます。 また、選択された部品種別のパラメータとして不要となるセルはグレーアウトします。

ダイナミックチェックを実行開始する条件は以下の通りです。

■IDと種別が設定が設定されていること。(trgシートの場合には種別のみ)

■セルに対して、入力・編集・削除等の操作を行うこと。

ダイナミックチェックを有効にしている場合、「元に戻す([Ctrl+z])」操作を行うことができません。

2.6.5.4.2. 保護モードを有効にする

保護モードとは、編集不可の領域に対してユーザが誤入力または誤削除することを防ぐために、Excelの機能を 用いて編集範囲以外のセルの保護を有効にした状態です。

通常、定義編集ツールを利用する際には保護モードを有効状態にしますが、必要に応じて一時的にシートの保 護を解除する場合にのみ「保護モードを有効にする」のチェックボックスをOFFにします。

保護モード解除する必要のある操作例としては、文字列の置換が挙げられます。保護モードのままでは文字列の置換を行うことができません。文字列置換を行う場合は「保護モードを有効にする」チェックを外してシートの保護を解除してください。なお、置換操作など保護モード解除中の操作が終わりましたら誤入力を防ぐために保護モードに戻してください。



■列の削除・挿入・移動

■ボタンの削除

■インストール時に記入されていた文字列やコメントの編集

■パラメータチェック結果の編集

■セルの書式設定の変更

2.6.6. カスタムジョブの参照

「customjob」シートを使用することでカスタムジョブの定義を参照することができます。

											~
ファイル	*-7	挿入 ページ	レイアウト 数式	に データ 校	間表示ア	Kイン ∓−ム V	実行したい	い作業を入力してください		サインイン	Άŧ
A1	÷	1 × 🗸	f _x								
		с	D	E	F	G	1	J	L	м	
2											
·	_										_
5				1			1]	1
/ =	16#				スクリント変動	x					24 10
」) 王 (1) 里	140	タイプ	定義名				スクリプト	バージョン	アイコン		1713
-75				察教	估	- SA					
1					12						
2	▼ tvc	e 🔹	name	scriptVAR key	scriptVAR value -	scriptVAR commen *	script -	template version 💌	icon 💌	comment *	grou
3	CL	STOMGRP	User								1
4	CL	STOMJOB_TEMPL	AProcessB				exit 0	2022-01-24 16:55:48	Ellipse		Use.
5	CL	STOMJOB_TEMPL	ASLEEP	'sleep_time'	'30'	'Sleep time (second)'	sleep < <s< td=""><td>2022-01-24 16:57 23</td><td>Star</td><td></td><td>.Use</td></s<>	2022-01-24 16:57 23	Star		.Use
6	CL	STOMJOB_TEMPL	AECHO				echo star	2022-01-24 17:00:25	Wave		.Use
7	CL	STOMJOB_TEMPL	AProcessC				exit 0	2022-01-24 17:01:00	Cloud		.Use
8	CL	STOMJOB_TEMPL	AProcessE				exit 0	2022-01-24 17:01 52	Cylinder		.Use
9											+
0											+
1	-										+
2			-								+
4	-			1			-				+
5											+
6	_										<u> </u>
7	_										<u> </u>
8											
9											
0					1			1			1

図2.71 customjobシート



「customjob」シートを使用してカスタムジョブの定義を編集することはできませんので注意して ください。

2.6.7. 定義情報の読み込み(inputシート)

定義編集ツールでJob Director定義を編集するために、定義情報を読み込む機能について説明します。「input シート」を使用することでJPFファイルを読み込み、定義情報をExcelシートへ反映することができます。
(□→) → (□→) =	jc_definit	ion [互換モード] - Microsoft Excel	_ = X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式	データ 校閲 :	表示	@ _ = ×
A1 • 5x			*
AB	C		D
2 2 3 3 4 2 定義ファイルの読み込み	シートに反映		Π
15 種別 名前			
7		表示するナータはありません	
8			
9 10			
11			
12			
14			
15			
17			
18			
20			
21			
22 23			
24			
25			
27			
28			
30			
31			
Image: Second secon	output / map / flow-v	iew / date-view / version / 🞾 /	
אעקב			■ □ □ 85% ⊝ — ↓:

図2.72 inputシート

2.6.7.1. 定義ファイルの読み込み

「定義ファイルの読み込み」ボタンをクリックすると図2.73「JPFファイルの選択ダイアログ」が開きます。 ダイアログから読み込み対象となるJPFファイルを選択して「開く」をクリックします。

尾 ファイルを開く		•
Solve Websel & SPF-DATA	▶ mapp001	mapp001の検索 👂
整理 ▼ 新しいフォルタ	ī—	· · · ·
📴 最近表示した場所 ^	名前	·
 ⇒ イブラリ ▷ ドキュメント □ ピクチャ ■ ピデオ ♪ ミュージック ■ コンピューター 	 JDH_20100601163120.jpf JNWの確認.BaseTime_2010060116 JNWの確認.Basic.criticalpoint_2010 JNWの確認.Basic.etime_20100601 JNWの確認.Basic_20100601163120. JNWの確認.Mail_2010601163120.jpf LEVSEREACEEEE20100601163120.jpf 	53120.jpf 00601163120.jpf 163120.jpf 0.jpf jpf
🕌 ローカル ディス	 アップロード・ダウンロード機能の アップロード・ダウンロード機能の アップロード・ダウンロード機能の 	・Jpr 権認.work_20100601163120.jpf 権認_20100601163120.jpf
📬 ネットワーク 🚽	(III	•
ファイ	ル名(N): .UCXS部品の確認_201006(-	JobCenterPortableFormat -
	ツール(L) ▼	開く(0) ▼ キャンセル

図2.73 JPFファイルの選択ダイアログ

複数のJPFを同時に読み込む場合には、対象のファイルを複数選択(ShiftキーやCtrlキーを押下してください) した上で「開く」をクリックします。



定義編集ツールに保持する定義情報の数は「10000部品」程度とすることを推奨しています。定義 編集ツールでは、「JPFファイルの読込」処理や「全体のチェック」を実施する際の処理時間は定義 情報の部品数に比例して増加します。編集対象となる個々のJPFファイルにおいて部品定義数を調整 することで快適なパフォーマンスを得ることができます。



同時に読み込むことができるファイル数は「255」です。

異なるフォルダ階層に存在するJPFファイルを同時に読み込むことはできません。

定義編集ツールで定義できる最大部品数は「60000」部品となります。この範囲に収まるように JPFファイルの同時読み込み数を決定してください。

定義ファイルの読み込みに成功すると、inputシートの表が更新されて「シートに反映」ボタンが有効となります。表に表示される内容は次の通りです。

C)		+ (° ¹ +) ∓		je_o	definition	[互換モード] - Microsoft Excel	_ = X
	ホーム	挿入 ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示		🕜 🗕 🗖 🗙
	J87	▼ () f _x					¥
	A	B		}		D	
1		5	1	, 	1	5	<u> </u>
2		定義ファイルの読み込み	-√-ŀ	IC反映			
	l.	種別	名前			ファイル名	
6		WAL	OR分岐			C¥JobCenter-ipf-data¥def icserver.icg.local 20120823172442.jpf	
7		JNW	sub001			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
8		JNW	sub002			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
9		JNW	TEST01			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
10		JNW	SAMPLE			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
11		JNW	TEST02			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
12		JNW	ERROR_RECOVERY_	copy 1		C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
13	Ŀ	JNW	continue			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
14	Ŀ	JNW	日次業務1			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
15	-	JNW	SEND_EVENT			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
16	Ŀ	JNW	sub11			C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
17	Ŀ	JNW	sub12			C#JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
18	ŀ	JNW	sub13			C#JobCenter-jpt-data¥det_icserver.jcg.local_201208231/2442.jpt	
19	ŀ		月/天耒扮			C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_20120823172442.jpt	
20	ŀ		SUD 14			C#JobCenter-jpt-data#det_icserver.jcg.local_20120823172442.jpt	
21	ŀ		月/天未務2			CV Job Conter-jpt-data#det_icserver.jcg.iocal_20120823172442.jpt	
22	ŀ		TEST001			CX Job Center - jpt-data#det_icserver.jcg.iocal_20120823172442.jpt	
20	ŀ		SAMPLE1			CV Job Center - jpi-data#det_jcserver.jcg.jocal_20120020172442.jpt	
24	ŀ		Deet INW			CX JobCenter-jpt-data#det_Cserver.jcg.jocal_20120626172442.jpt	
20	ŀ	INDU	motonw			CX JobCenter-jpi-data#def_jcserver.jcg.jocal_20120020172442.jpi	
20	ŀ	INDW	TEST02 coput coput			CX JobCenter-jpi-data#def_cserver.jcg.local_20120020172442.jpi	
27	Ë	INNW	EBBOB BECOVERY			C#JobCenter_ipf_data#def_cserver.jcg.local_20120020172442.jpf	
29	Ë	JNW	カレンダ分岐			C¥-lobCenter-ipf-data¥def_icserver.jog.local_20120020112442.jpf	
30	Ë	JNW	New Inwill3			C¥-lobCenter-ipf-data¥def_icserver.jcg.local_20120020112442.jpf	
31	E.	JNW	NewJnw04			C#JobCenter-ipf-data¥def icserver.icg.local 20120823172442.ipf	
32	Ľ.	JNW	inw1			C:¥JobCenter-ipf-data¥def icserver.icg.local 20120823172442.ipf	
33	Ľ.	JNW	ファイル集配信連携			C#JobCenter-ipf-data¥def icserver.icg.local 20120823172442.ipf	
34	Ľ.	JNW	エラーリカバリ ダイア	ログ		C:¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
35	5	JNW	jnw2			C¥JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
36		JNW	jnw3			C#JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
37		JNW	jnw4			C#JobCenter-jpf-data¥def_jcserver.jcg.local_20120823172442.jpf	
28	F	INDAY	ipus5	10		C# lobCenter-inf-data#def_incerver.ing.local_20120828172442.inf	
	PI JNW	sched / cal / customjob		nap / flow-	view 🖉	date-view / version / 🖏 👘 🗍 🚺	
אעדב							

図2.74 JPFファイルの選択ダイアログ

列名	説明
種別	JNW、SCHED、TRG、TARGET_TEXTLOG、WKCAL、CUSTOMJOB_TEMPLATE のいずれか
名前	ジョブネットワーク名、スケジュール名、起動トリガ名、監視対象テキストログ 名、カレンダ名またはカスタムジョブ名
ファイル名	読み込み対象JPFファイルの絶対パス名



Job Directorでは、ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ名・カスタムジョブ名は一意に決まっている必要があります。複数のJPFファイルを読み込んだ際に、同名のジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ・カスタムジョブが存在していると、警告メッセージの表示が表示されるとともに表の該当項目

の名前セルが赤く表示されます。名前の重複が検知された場合は、「シートに反映」を行った後に 名前変更を実施してください。

2.6.7.2. シートに反映

「定義ファイルの読み込み」で読み込んだJPFファイルの定義情報を「jnwシート」「schedシート」「trgシート」「calシート」、「customjobシート」それぞれに反映します。反映動作には「シートをクリアして新規反映する」と「編集中のシートへ追加反映する」の2つのモードがあります。

シートへの反映	—				
┌─ 反映モード ────					
◎ シートをクリアして新規に反映する					
○ 編集中のシートへ追加反映する					
OK	キャンセル				

図2.75 シートに反映ダイアログ

2.6.7.2.1. シートをクリアして新規反映する

jnwシート・schedシート・trgシート・calシート・customjobシート上に存在する全定義情報をクリアして、 読み込んだJPFファイルの定義情報を反映します。反映を行うとそれまでにシートに入力していた定義内容が 破棄されます。



図2.76 新規反映モード確認ダイアログ

定義情報の新規反映を実行させた後に、クリア前の定義情報を復元させることはできません。

2.6.7.2.2. 編集中のシートへ追加反映する

jnwシート・schedシート・trgシート・calシート・customjobシート上に定義情報が存在する場合に、読み込んだJPFの定義情報を各シート最後行に追加します。追加した定義情報の部品IDは、既存シート上のID最大値に 自動採番して反映します。



図2.77 追加反映モード確認ダイアログ

 \triangle

追加反映の実行には、jnwシート・schedシート・trgシート・calシート・customjobシートにおける部品IDの依存関係が正常である必要があります。依存関係にエラーがある場合、エラーメッセージが表示されて反映処理は実行されません。

読み込んだJPFの定義情報と反映先シート上に同名の定義情報(同名のジョブネットワーク名・スケ ジュール名・起動トリガ名・監視対象テキストログ名・カレンダ名・カスタムジョブ名)がある場合 は、反映を実行することはできません。反映を行う際には、定義情報名が一意となるように確認・ 変更を実施してください。

2.6.8. 定義情報を出力する(outputシート)

「outputシート」では定義情報をJPFファイルに出力する機能を提供します。またJPFファイルに出力する定 義情報を一覧表形式で表示します。



図2.78 outputシート

2.6.8.1. シートからの取り込み

開発・編集したジョブネットワーク、スケジュール、起動トリガ、監視対象テキストログ、カレンダ、カスタ ムジョブ定義情報をJPFファイルに出力するために「outputシート」に取り込むことができます。

	, 1) -	(™ -) =	jc_defir	ition [互換モー	- [4] - Microsoft Excel		_ = X
B	ホーム	挿入 ページ レイアウト 巻	女式 データ 校閲 表	π			🕜 _ 🖛 🗙
	E1.0	- fr und	ata				*
			ate	-	r		
1	H	B	D	E	F	G H	
2		S. Lts C of Bull 1 7.					
3		シートからの取り込み	定義ノアイルの出力				
4	_						
5	ID	名前	種別	操作	分割単位		
6		1 OR分岐	JNW	update			
7		13 sub001	JNW	update			
8		14 sub002	JNW	update			
9		15 TESTUT	JNW	lupdate			
11	-	21 SAMPLE	JNW INW	update			
10		29 EPPOP PECOVERY convut	INW INW	create			
12		38 continue	-INW	delete			
14		39 日次業務1	.INW	undate			
15		48 SEND EVENT	JINW	undate			
16		50 sub11	JNW	update			
17		51 sub12	JNW	update			
18		52 sub13	JNW	update			
19		54 月次業務1	JNW	update			
20		56 sub14	JNW	update			
21		57 月次業務2	JNW	update			
22		58 RECV_Event	JNW	update			
23		63 TEST001	JNW	update			
24		65 SAMPLE1	JNW	update			
25		68 RootJNW	JNW	update			
26		92 waitfile	JNW	update			
27	-	98 TESTU2_copy1_copy1	JNW INU	update			
28	- H		JNW INW	update			
29		116 Now Inve02	INW INW	update			
31		117 New Inw03	INW	update			
32		120 inw 1	-INW	undate			
33		120 Jpイル集配信連携	INW	undate			
34		130 エラーリカバリ ダイアログ	JNW	update			
35		137 jnw2	JNW	update			
36		139 jnw3	JNW	update			
37		141 jnw4	JNW	update			
2.9	L here	149 10005	INSW	lundate			
	i jnw _z	scrieu / cai / customjób / inpi	utoutput / map / now=viev	w / date-vie	w / version / 🖏		
コマンド							-V

図2.79 シートからの取り込みボタン



「シートからの取り込み」を実行するためには「jnwシート」「schedシート」「trgシート」「cal シート」を参照モードにしておく必要があります。

「シートからの取り込み」ボタンをクリックすると、出力対象を選択するダイアログが表示されます。JPF ファイルに出力する定義情報を指定します。

シートからの取り込み	—
出力対象	
☑ ジョブネットワーク	
☑ MAP分割出力	出力対象の選択
🔽 スケジュール	
☑ カレンダ	
▶ カスタムジョブ定義	
▶ 起動トリガ	
▶ 監視対象テキストログ	
ОК	キャンセル

図2.80 シートからの取り込みダイアログ

ダイアログの出力対象チェックボックス選択時の動作は下記の通りです。

■ジョブネットワーク

ジョブネットワーク定義情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力 したJPFファイルにジョブネットワークの定義情報は含まれません。

本項目にチェックしない場合、「MAP分割出力」チェックボックスは無効となり選択できません。

■MAP分割出力

分散開発を実施する際にチェックします。本機能を利用する場合は必ず「mapシート」の「最新情報に更 新」ボタンを実行して分割単位を設定してください。「mapシート」の利用は「2.6.9 分割出力情報を設定す る(mapシート)」を参照してください。

分散開発については 「2.5.1 分散開発の概要」を参照してください。

本項目にチェックすることで「出力対象の選択」ボタンが有効となります。また、本項目へのチェック有無 により「定義ファイルの出力」ボタンをクリックした際の動作が変更します。

「出力対象の選択」ボタンをクリックすると、「出力対象の選択ダイアログ」が表示されて「mapシート」 で定義した「分割単位」がリストアップされます。

「MAP分割出力」にチェックした上で「シートからの取り込みダイアログ」の「OK」ボタンをクリックする と、出力対象の選択ダイアログでチェックした分割単位に該当するジョブネットワーク定義が抽出されて 「outputシート」の表に表示されます。

出力対象	象の選択	×
		全てOFF
N N N N	月次処理開発 日次処理開発1 日次処理開発2 週末処理定義	
	ОК	キャンセル

図2.81 出力対象の選択ダイアログ



スケジュール定義情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力したJPF ファイルにスケジュールの定義情報は含まれません。

■カレンダ

カレンダ定義情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力したJPFファ イルにカレンダの定義情報は含まれません。

■カスタムジョブ定義

カスタムジョブ定義情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力した JPFファイルにカスタムジョブの定義情報は含まれません。

■起動トリガ

起動トリガ定義情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力したJPF ファイルに起動トリガの定義情報は含まれません。 本項目をチェックしない場合、「監視対象テキストログ」チェックボックスは無効となり選択できません。

■監視対象テキストログ

監視対象テキストログの情報をJPFファイルに出力するか選択します。本項目にチェックしない場合、出力 したJPFファイルに監視対象テキストログの情報は含まれません。

「シートからの取り込み」に成功すると「outputシート」の表が更新されます。この表には、「定義ファイル への出力」ボタンをクリックした時にJPFファイルに出力する定義情報が一覧出力されます。

	9	- (** -) =	;			jc,	definitio	on [互換モ	- [4] -	Microsoft Exc	el					-		x
	ホーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示									0	_ ¢	∍ x
	E9		▼ () f _x	update														×
	A	В	C			D		E			F	G		Н		Ι		J 😑
1 2 3 4		シート	からの取り込み		定義ファー	イルの出力												
5	1	ID 名	前	種別				操作	分割	単位								
6		1 01	R分岐	JN₩				update										
7	L	13 su	ь001	JNW				update				1						
8	L	14 su	ib002	JNW				pdate				4						
9	Ļ	15 TE	EST01	JN₩				update				4						
10	Ļ	21 S/	AMPLE	JNW				update create				4						
11	F	31 11	ES102	JNW				delete	- F			4						
12	ŀ	33 EF	RRUR_RECOVERY_co	opyi JN₩				in the				4						
13	H	38 00	ontinue	JNW				update	_			4						=
14	H	39 日	次乗務	JNW				update	_			4						
10	H	48 51	END_EVENT	JNW				update	_			4						
10	H	50 SU	4D 	JNW				update	_			-						
10	ŀ	51 SU	4D12	JNW				update				-						
10	F	52 SU	1010					upuate	_			-						
20	F	56 00	17人末1カリ よ14	INW				update	-			1						
20	ŀ	57 日	1014 1.左業務9	LINW				undate				1						
22	F	58 BI	EGV Event	JNW				undate				1						
23	F	63 TE	ESTODI	JNW				undate				1						
24	F	65 54	AMPLE1	JNW				undate				1						
25	F	68 Rc	ootJNW	JNW				update				1						
26	Ē	92 wa	aitfile	JNW				update				1						
27		98 TE	EST02_copy1_copy1	JNW				update				1						
28		100 EF	RROR_RECOVERY	JN₩				update				1						
29		106 力	レンダ分岐	JNW				update				1						
30		116 Ne	ewJnw03	JN₩				update										
31		117 Ne	ewJnw04	JN₩				update										
32		120 jni	w1	JNW				update										
33		122 フ	アイル集配信連携	JN₩				update										
34		130 I	<u>:ラーリカバリ ダイアロ</u>	Iグ JNW				update										
35	Ļ	137 jni	w2	JN₩				update				4						
36		139 jni	w3	JN₩				update	_			4						
37	Ļ	141 jn	w4	JNW				update	_			4						-
22	M inw	149 lini / sched	cal customich	innut ou	tout m	en /flow	-view	undate ∕date⇒vie		ersion / 🎾	7	 1	_	Л	4			
	- Cjelwy			input 00	uput (11	ap <u>row</u>	1014	Caate Vie	M X VI									
														0.00		-01	(U .::

図2.82 シートからの取り込み実行後のoutputシート

また、「outputシート」ではJPFファイルをJob Director MG/SVにアップロードした際に、個々の定義情報の 動作を指定します。「操作」パラメータがプルダウンリストとなっているので選択してください。

「outputシート」の表に表示される内容は次の通りです。

列名		説明						
ID	各シート上で定義	轰したID						
名前	IDに対応するジョ テキストログ名、	Dに対応するジョブネットワーク名、スケジュール名、起動トリガ名、監視対象 テキストログ名、カレンダ名またはカスタムジョブ名						
種別	JNW、SCHED、 のいずれか	JNW、SCHED、TRG、TARGET_TEXTLOG、WKCAL、CUSTOMJOB_TEMPLATE のいずれか						
操作	update, create, delete, ignoreのいずれかから選択します。デフォルトは になっています。それぞれの操作の意味は次の通りです。							
	update	アップロード時に定義をExcelで定義した内容に更新します。						
	create アップロード時にExcelで定義した内容を新規作成します。すで に定義が存在する場合は失敗します。							

列名		説明			
	delete	アップロード時にサーバ側に存在する定義を削除します。サーバ 上に定義が存在しない場合は失敗します。			
	ignore	アップロード時に本定義に対して何も操作を行いません。確認の ためにダウンロードしたジョブネットワークで更新などの操作を 行いたくない場合に有用です。			
分割単位	「シートからの取り込み」を実行時に「MAP分割出力」を指定した場合、「m シート」の情報に基づいて分割単位を出力します。また、分割単位は定義情報 JPFファイル出力する際のファイル名になります。				

2.6.8.2. 定義ファイルの出力

定義編集ツール上の定義情報をJPFファイルに出力します。なお「定義ファイルの出力」ボタンは「シートからの取り込み」ボタンを実行し、JPFファイルの出力準備が完了した後に有効となります。

定義ファイルの出力は、「シートからの取り込み」ボタン実行時の「出力対象の選択ダイアログ」における 「MAP分割出力」のチェック有無により動作を変更します。

■「MAP分割出力」にチェックしない場合

定義情報を単一のJPFファイルを出力する動作となります。出力するJPFファイルのデフォルトファイル名は 以下のルールによって生成されます。

JobDirector_<YYYYMMDDhhmmss形式の実行日時>.jpf

「定義ファイルの出力」をクリックすると下記ダイアログが開きます。JPFファイルを出力するフォルダお よびファイル名を指定して「保存」をクリックしてください。

💽 JPFファイルの作成			×
○○	リ・ドキュメント・ • •	ドキュメントの検索	م
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	:==	• 🕡
🔊 Microsoft Office E	ドキュメント ライブラリ _{対象フォルダー} : 2か所	並べ替え: フォル	ター 🗸
🚖 お気に入り 💡	名前	更新日時	種類
▶ ダウンロード ■ デスクトップ 図 最近表示した場所	DobCenter.jpf	2009/12/16 17:55	JPF ファイル
ライブラリ ○ ドキュメント			
ピクチャ -	<		Þ
ファイル名(<u>N</u>): JobCe	enter_20091201010101		•
ファイルの種類(<u>T</u>): JobCe	enterPortableFormat		•
作成者: Admin	istrator タグ: タグの追	bп	,
🍙 フォルダーの非表示	ツール(L) ・	保存(<u>S</u>) キ	ヤンセル

図2.83 JPFファイルの作成

■「MAP分割出力」にチェックした場合

MAP分割単位に基づいて複数JPFファイルを出力する動作となります。

「定義ファイルの出力」をクリックすると下記ダイアログが表示されます。JPFファイルを出力するフォル ダを指定して「OK」をクリックしてください。

フォルダーの参照	×
JobCenterPortableFormat	
📃 デスクトップ	<u>^</u>
▶ 🚔 ライブラリ	
De Administrator	E
▶ 🖳 コンピューター	
▷ 🗣 ネットワーク	
▷ 👰 コントロール パネル	
🗑 ごみ箱	Ŧ
新しいフォルダーの作成(N) OK キャンセ	1

図2.84 JPFファイルの作成

指定フォルダ配下に出力されるJPFファイルの名前は下記ルールによって生成されます。

<分割単位>_<YYYYMMDDhhmmss形式の実行日時>.jpf

					×
🔾 🗢 📕 🕨 Job Directo	r-jpf-data 🖡 20100624map	• 4 ₂	20100624mapの検索	索	م
整理 ▼ ライブラリに追	訕 ▼ 共有 ▼ 新しいフォルダー				0
🔶 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ	
🚺 ダウンロード	sched_20100624091555.jpf	2010/06/24 9:15	JPF ファイル	3 KB	
■ デスクトップ	wkcal_20100624091555.jpf 〕月次処理問発_20100624091555.ipf	2010/06/24 9:15 2010/06/24 9:15	JPF ファイル IPF ファイル	3 KB 3 KB	
🔄 厳近衣示した場点	□ 週末処理定義_20100624091555.jpf	2010/06/24 9:15	JPF ファイル	4 KB	
🍃 ライブラリ	□ 日次処理開発1_20100624091555.jpf	2010/06/24 9:15	JPF ファイル	4 KB	
►	日次処理開発2_20100624091555.jpr	2010/06/24 9:15	JPF ファイル	4 KB	
📔 ピクチャ					
ビデオ					
₀) ミュージック					
№ コンピューター					
🏭 ローカル ディス					
-					
6 個の項目					



2.6.9. 分割出力情報を設定する(mapシート)

「mapシート」ではExcel上の定義情報を複数のJPFファイルに分割して出力するための設定を行います。 「outputシート」でMAP分割出力を実行する場合、事前にmapシートで分割出力情報を設定する必要がありま す。

	9	- (21 -) -	Ŧ			j	c_definitio	n [互換モー	ド] - Microsoft	Excel				-	= x
	ホーム	挿入	ページ レイアウト	先过姜	データ	校閲	表示							0	- • ×
	L37		▼ () f _x												×
	A	В	С	D		E		F			G		Н	Ι	J 🗖
2		最新	所情報に更新		行の	削除									
5		存在 🛃 ID	■名前		• 種別	I] 🔽	JNWグル	/ーブ名		▶ 分割単位		•			
7															
8															
10															
11															
13															
15															
16															
18															=
20															
21															
23															
24															
26															
28															
30															
31															
33															
35															
36															
2 <u>2</u> 4		/ sched /	cal / customjob /	input / out;	out	ap flov	<i>w</i> -view /	date-view	version /*				14		
אעקב					~	_						85	× 😑	U I	.::

図2.86 mapシート

2.6.9.1. 最新情報に更新

「最新情報に更新」ボタンをクリックすると、jnwシートに定義されているジョブネットワーク情報をmapシートに反映します。

反映の際、当該ジョブネットワークの情報がmapシートに存在しない場合には情報を新規行として出力します。当該ジョブネットワーク情報が既にmapシートに存在していた場合にはIDパラメータやJNWグループ名パラメータを更新します。

) 🖬 🧐	- (21 -	,				jo	c_definition [Z	[換モード] - Mi	crosoft Exce	el					-	-	x
9	ホーム	、 挿2	入 ページ	レイアウト	数式 ラ	一友	校閲	表示								0	_ =	x
	L36	3	- (0	f _x														×
	A	В	C		D		F		F			G		Н		I	, L	
1		_	-		1		-	1				-	_				-	
2			最新情報に更	新		行の間	训除											
3																		
5		存在 🔹	ID 💌	名前		▼ 種別		JNWグループ	名	-	分割単位							
6		Ö	1	OR分岐		JNV	i i	.case300			開発定義01							
7		0	13	sub001		JNV	/	.case300			開発定義01							
8		0	14	sub002		JNV	1	.case300			開発定義01							
9		<u>o</u>	15	TEST01		JNV	/				開発定義01							
10		<u> </u>	21	SAMPLE		JNV	/	.case300			開発定義01							
11		<u>o</u>	31	TEST02		JNV	/				開発定義01							
12		<u> </u>	33	ERROR R	ECOVERY_copy	/1 JNV	<u>v</u>	_case300			開発定義11							
13		8	38	Continue			γ 	LCase300			開発定義UI							=
14		K I	39				v ./	0.00200			開発定義UI 開発完美01							
16		X	40	loub11	_1111		v	Laseouu			開発定義01							
17		ŏ	51	sub 12		JINV	v d				開発定業01							
18		ŏ	52	sub13		JNV	, V				間発定義01							
19		ŏ	54	月次業務1		JNV	/	月次			開発定義01							
20		õ	56	sub14		JNV	/				開発定義01							
21		0	57	月次業務2	2	JNV	V	月次			開発定義01							
22		0	58	RECV_Eve	ent	JN∀	1	.case300			開発定義01							
23		0	63	TEST001		JNV	V	.case300			開発定義01							
24		<u>o</u>	65	SAMPLE1		JNV	4	.case300			開発定義01							
25		<u>o</u>	68	RootJNW		JNV	/	.case300			開発定義01							
26		<u>v</u>	92	waitfile		JNV	<u>v</u>	_case300			開発定義11							
27		8	98	FDDOD D		JNV	¥ 	.case300			開発定義UI							
20		K I	100		ILE COVERT		/				開発定義01							
29		X I	100	New 1900		JINM	, ,	Case 300			開充定義01 関密定差01							
31		ŏ	110	New Inwill	, 1	JINY	v d	case300			開発完美(1)							
32		ŏ	120	linw1	·	JNV	, /	GROUP1			開発定義01							
33		õ	122	ファイル集	配信連携	JNV	/	case300			開発定義01							
34		ō l	130	エラーリカ	バリ ダイアログ	JNV	/	.case300			開発定義01							
35		0	137	jnw2		JNV	/	GROUP1.Sub	Group 1		開発定義01							
36		0	139	jnw3		JNV	/	GROUP1.Sub	Group 1		開発定義01							
37		0	141	jnw4		JNV	/	GROUP2			開発定義01							-
20		v sche	d / cal / cu	stominb -/	innut /outo		n flow	LGBOUP1Sub	Proup? Proup?	sion 🖉 🗌	四米完美01		_	ī	4		b	
עיקר	- <u>-</u>			aton goo <u>7</u>	mpor yourp	ac into	101 L 101	, tion a det		and the car		ma				-	G	
- TKAL													00			V	e e	9 .::

図2.87 最新情報に更新後のmapシート

列名	説明
存在	当該ジョブネットワークがjnwシートに存在する場合は「〇」が出力されます。存 在しない場合は空白セルとなります。
ID	jnwシート上で定義したジョブネットワークのID
名前	ジョブネットワーク名
種別	JNWと表示されます。
JNWグループ名	ジョブネットワークの所属グループ
分割単位	分割出力を実行する際の出力ファイル名を定義します。

2.6.9.2. 行の削除

「行の削除」ボタンをクリックすると、mapシートのアクティブセルに該当する行を削除します。複数行を選択した状態でボタンをクリックすると、該当する行を複数削除することが可能です。

タイトルのある行より上に対しては、削除操作を行うことはできません。



mapシートではパラメータの書き換えや不要に行や列を削除することを防止するため、「分割単 位」列以外の全てのセルでExcelの保護機能を有効化しています。

削除した行を復元することはできません。

2.6.10. ジョブネットワークのフローを確認する(flow-viewシート)

「flow-viewシート」では「jnwシート」で定義したジョブネットワークのフローを確認することができます。

	or ¢r	÷						jc_defi	nition - I	Excel					1	1 – I		×
ファイル	ホーム 挿		ジレイアウ	ト 数	式 データ	校閱	表示	₽≢								サイン	ini> A	共有
A1	• :	× v	$f_{\rm X}$															*
A A	в	o I	D	E	E	G	н	I	I J	к	L	м	N	0	Р	0	R	
1	-		-	-														
3	一括更新			一书	朝期余		#	5プレビュー	-									
4				_			_											
5																		
6																		
8																		_
10																		
12																		
14																		
16																		
18 19																		
20 21																		
22 23																		
24 25																		
26 27																		
28 29																		
30 31																		
32 33																		
34 35																		
36 37																		
38 39																		
< >	jnw	sched	trg	cal	customjob	inpu	t ou	itput	map	flow-view	date	e-view	version)	÷ •		
準備完了											_			=	▣	1.	+	80%

図2.88 flow-viewシート

2.6.10.1. 一括プレビュー

「一括プレビュー」ボタンをクリックすると、「プレビューするJNWの選択」ダイアログが表示されます。 「プレビューするJNWの選択」ダイアログには「jnw」シートに定義されているジョブネットワークが一覧表 示されます。一覧からジョブネットワークフローを確認したいジョブネットワークを選択し「OK」ボタンをク リックすると、「flow-view」シートと「date-view」シートの間に選択したジョブネットワーク名のフロー シートが作成され、ジョブネットワークフローを確認することができます。フローを描画するためには「jnw シート」の部品依存関係が正しく設定されている必要があります。

2.6.10.2. 一括更新

「一括プレビュー」ボタンでプレビュー中の全てのフローシートのジョブネットワークフローを「jnw」シートの内容で再描画します。「jnw」シートで変更したJNWのみを更新したい場合、変更されたJNWのフローシートで「更新」ボタンをクリックしてください。

2.6.10.3. 一括削除

描画した全てのフローシートを削除します。

2.6.10.4. フローシート

「プレビューするJNWの選択」ダイアログで選択したジョブネットワークのジョブネットワークフローを描画 します。描画された「サブジョブネットワーク」アイコンをクリックすると、サブジョブネットワーク名の シートが作成され、サブジョブネットワークのフローを確認することができます。また、「親JNW参照」ボタ ンをクリックして親ジョブネットワークを参照することや、「更新」ボタンをクリックしてジョブネットワー クフローの更新を行うこともできます。



図2.89 フローシート

■親JNW参照

「親JNW参照」ボタンをクリックすると、「親JNWの選択」ダイアログが表示されます。「親JNWの選択」ダ イアログにはフローシートに描画されているジョブネットワークの親ジョブネットワークが一覧表示されま す。一覧からジョブネットワークフローを確認したい親ジョブネットワークを選択し「OK」ボタンをクリック すると、「flow-view」シートと「date-view」シートの間に選択したジョブネットワーク名のフローシートが 作成され、ジョブネットワークフローを確認することができます。フローを描画するためには「jnwシート」 の部品依存関係が正しく設定されている必要があります。

■更新

ジョブネットワークフローを更新します。

■アイコン

フローで使用されるアイコンは次の表の通りです。アイコンの上には部品名が表示されます。

アイコン	説明
Start	ジョブネットワークの開始点
End	ジョブネットワークの終了点
1	部品のID
JOB	単位ジョブ
CUSTOM JOB	カスタムジョブ
SubJNW	サブジョブネットワーク

アイコン	説明
RecJNW	リカバリジョブネットワーク
•••	ダイアログ
c	条件分岐
C	カレンダ分岐
Р	並列分岐
•	OR分岐
-	コンティニュー
s	ジョブネットワーク待ち合わせ
L	単位ジョブ待ち合わせ
F	ファイル待ち合わせ
т	時刻待ち合わせ
EVTSND	イベント送信
EVTRCV	イベント受信

2.6.11. 稼働日を確認する(date-viewシート)

「date-viewシート」では「schedシート」や「calシート」で定義したスケジュール、稼動日を確認すること ができます。

	🔒 L ⁽¹⁾ -	(°I -) =					je	_definition	[互換モー	5] - Mic	rosoft	Excel								-		x
<u> </u>	ホーム	挿入	ページレ	ሳアウト	选强	データ	校閲	表示												0	- 6	x e
	A1		• (f_{x}																		*
1 A	В	С		D			E		F			G	H	Ι	J		K		L		М	
2	•																					
4		更新				动免力	(左の)」 — (L.		表示其	膶]									
5	ī	軍新対象の	恋雨			× 158K.2	1	~	開	<u>倍</u> 111/7/15		<u>終了</u> 2012/7/15										
7		C#17/154(0)	~~																			
8		日付		曜日			時刻]													
10			表	転するデ	-タはあり:	ません]													
12																						
13																						
15																						
17																						_
19																						
20																						
22																						
23																						
25																						
27																						
29																						
30																						
32																						
33																						
35																						
37																						-
	▶ jnw ∠	sched /	cal / cust	tomjob 🦯	input 🗸 o	utput / m	ap / flow	-view 🤇	date-viev) versi	ion /	2					0.544					
1726																3 2	85%	0	(<u>0</u> +	(ŧ

図2.90 date-viewシート

2.6.11.1. 「更新対象の変更」

スケジュールまたはカレンダの対象の選択と表示期間の設定を行います。「更新対象の変更」ボタンを押すと 次のダイアログが開きます。

更新対象の設定		x
表示選択	対象スケジュール 💌 対象ID 丨	
表示開始日		
表示終了日	2010 1 年 12 1 月 15 1 日	
	OK キャンセル	

図2.91 更新対象の設定ダイアログ

更新対象の設定ダイアログでは次の設定ができます。

■表示選択

表示する対象を選択します。スケジュールを表示する場合は「対象スケジュール」を選択し、カレンダを表示する場合は「対象カレンダ」を選択します。

■対象ID

対象となるスケジュールまたはカレンダのIDを入力します。

■表示開始日

表示するスケジュールの開始日を入力します。

■表示終了日

表示するスケジュールの終了日を入力します。

2.6.11.2. 更新

対象のスケジュールまたは稼動日を表示期間に従って表示します。更新を行うためには「schedシート」と 「calシート」共に「全体のチェック」を行って参照モードに移行しておく必要があります。

2.6.12. 動作モードの変更(versionシート)

「versionシート」ではJob Director JD Assist 製品情報の確認、および動作モードの変更を行うことができます。

ت 🖬	• 🗢 • •					jc_defir	ition.xlsm	- Excel					囨	-		×
ファイル	ホーム 挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	アドイン	ፓ -ፊ	♀ 実行	したい作業を	えカしてくけ	ぎさい		サイ	>1> X	+ 共有
A1	• : × •	f _x														~
A		В			С			D	Е	F	G	н		1	J	1
1 2 3 4																
5	製品名		Job	Directo	r Defini	tion He	lper									
6	バージョン		R9.0)												
7	サポートJob	Centerバージョ	ン R12	.10 – R1	16.1											
8	動作モード		Defi	nition 9	.0											
9	Copyright(C	:)	1994 All r 2012 All r	4,2022 ights re 2,2022 { ights re	NEC Co served. SAY Teo served.	rporatio chnolog	on jies, Inc.									
10 11 12 13 14 15	動作モー	ドの変更														
▲ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	input out	put map flow	/-view	date-vie	w ver	sion	(+)				#		─ -	-	+	100%

図2.92 versionシート

製品情報表の各項目は、以下の説明の通りです。

項目名	説明
バージョン	Job Director JD Assist 定義編集ツールのバージョンが記載されます。
	Job Director JD Assistに対応するJob Director MG/SVのバージョンが記載され ます。
サポートバージョン	Job Director MG/SVからダウンロードしたJPFファイルを定義編集ツールに読み 込む動作、および定義編集ツール・編集したJPFファイルをJob Director MG/SV にアップロードする動作をサポートするバージョン情報となります。
	定義編集ツールの動作モードを表示します。
動作モード	定義編集ツールでは「動作モードの変更」ボタンから動作モードを設定すること で、Job Director MG/SVにバージョン互換性対応したJPFファイルを読込・出力 することができます。

項目名	説明
	「動作モードの変更」機能に関しては「2.6.12.1 動作モードの変更」を参照して ください。
Copyright(C)	Job Director JD Assistの著作権について表示されます。

2.6.12.1. 動作モードの変更

動作モードを切り替えることにより、過去のJob Director MG/SVのバージョンに対応したJPFファイルの読 込・出力を行うことができます。

「versionシート」の「動作モードの変更」ボタンをクリックすることで、定義編集ツールの動作モードを変更 することができます。



図2.93 動作モードの変更

動作モードとJob Directorのバージョンとの対応は以下の通りです。

表2.1 動作モードの対応関係

動作モード	対応Job Director MG/SVバージョン
Definition 3.0	Job Director MG/SV R12.10
Definition 5.0	Job Director MG/SV R13.2
Definition 7.0	Job Director MG/SV R15.1
Definition 9.0	Job Director MG/SV R16.1以降

■「対応Job Director MG/SVバージョン」欄のJob Directorから定義をダウンロードすると、「動作モード」 欄のJPFファイルができます。

■下位のJPFファイル (動作モードの番号が小さい) は、上位のJPFファイル (動作モードの番号が大きい) に 対応したJob Directorヘもアップロードできます。逆に、上位のJPFファイルを、下位のJPFファイルに対応 したJob Directorへはアップロードできません。 ■上位バージョンのJob Directorにしか存在しないパラメータが設定されていた場合、「全体のチェック」実 行時にエラーとなります。

2.7. 注意事項·制限事項

本章ではJob Director JD Assistの注意・制限事項について説明します。

2.7.1. 注意事項

- ■Excel上で行のコピーを行う場合は保護のかかっていない部分のみを選択してコピーするようにしてくださ い。ただし「JNWシート」の拡張カスタムジョブ部品をコピーする場合は保護解除したうえで、行全体をコ ピーする必要があります。
- ■以下の作業を行う際にはシートの保護を解除する必要があります。詳細については「2.6.5.4.2 保護モードを 有効にする」を参照してください。

■ Excelで置換を行う場合

- ■「JNWシート」の拡張カスタムジョブ部品をコピー、移動、挿入、削除する場合
 - 「JNWシート」の拡張カスタムジョブ部品をコピー、移動、挿入、削除のいずれかの作業する場合は以下に示す手順で行ってください
 - シートプロパティの「保護モードを有効にする」のチェックボックスをOFFにし、保護解除を 行ってください。
 - コピーしたい拡張カスタムジョブの表示されている行番号をクリックし行全体を選択して作業 を実施してください。
 - 保護モード解除中の操作が終わりましたら誤入力を防ぐために保護モードに戻してください。
- ■定義編集ツールで機能を実行した(マクロ処理を呼び出した)場合、「元に戻す(Ctrl+Z)」の操作を行うこと はできません。同様に「ダイナミックチェック」機能を有効化した場合には、パラメータ入力後に「元に戻 す(Ctrl+Z)」の操作を行うことはできません。
- ■定義編集ツールで1シート当たりに定義できる最大部品数(Excel行)は「60000」部品となります。
 - 「60000」部品数を超えるJPFファイルを読み込んだ場合、定義情報をExcelシートに反映することはできません。
- ■Excelファイルとbinディレクトリは同じ場所におく必要があります。binディレクトリが無い場合は、input/ outputシートが正常に動作しません。
- ■jnw,sched,trg,calの各シートの「全体のチェック」を行っている間に残像が残る場合がありますが動作には 影響ありません。
- ■稼動日カレンダはJob Director管理者のみアップロードすることができます。
- ■定義編集ツールにおいて、複数のJPFファイルを読み込む場合に別々のJPFファイルに同じ名前やIDのJNWが 存在していると、プレビュー機能が正しく動作しない可能性があります。別のJPFファイルを読み込む前に 作成したJNWのフローシートを「一括削除」操作で削除しておいてください。
- ■Excel 2013以前では、拡張カスタムジョブテンプレートまたは拡張カスタムジョブ部品を含むJPFファイル のシートへの反映に時間がかかる場合があります。

Excel 2016以降では改善されているため、拡張カスタムジョブ部品を利用する場合はExcel 2016以降の利用 を推奨します。

2.7.2. 制限事項

■Excelでは、セルの先頭に「@」「=」「+」「-」の文字が存在すると1024文字の入力制限が自動的に設け られます。定義情報にこれらの文字が先頭存在して1024文字を超えるパラメータが存在する場合、「定義 ファイルの読み込み」操作時にパラメータの書き込みに失敗します。



単位ジョブ部品において、Windows用バッチスクリプトの先頭に「@echo off」と記載した場合 には、単位ジョブのスクリプトパラメータはバッチファイルを実行するためのファイルパスのみ 記載するなどの対処を行ってください。

- ■定義編集ツールにおいて、単位ジョブのスクリプトは1行1023バイトまでです。
- ■定義編集ツールにおいて、セルの書式を変更することはできません。
- ■定義編集ツールにおいて、「シートの移動」、「シートの名前変更」、「シートのコピー」操作を実行する ことはできません。
- ■定義編集ツールで編集した定義の依存関係に間違いがあると、CL/Winでのアップロードに失敗します。カレ ンダ分岐ジョブやサブジョブネットワークの依存関係に不足が無いようご注意ください。例えば、カレンダ 分岐ジョブで定義するスケジュールがアップロード先のMG/SVに存在しない場合はCL/Winでのアップロー ド時にエラーになります。
- ■定義編集ツールの部品の名前において、半角と全角は区別されませんのでご注意ください。
- ■一括プレビュー機能利用時、対象JNW数が多いと時間がかかりExcelが無応答になる可能性があります。プレビュー可能なJNW数の目安は1000です。
- ■ジョブネットワーク名やジョブネットワークに含まれる部品に大文字小文字のみ異なる名前または、全角半 角のみ異なる名前を定義しないでください。
- ■定義編集ツールを操作中に別のExcelファイルに対して同時操作(複数のExcelファイルの多重操作)を行わな いでください。各種マクロが正常に動作せずエラーになる場合があります。
- ■非常に長い名前の部品をフロー描画すると、名前の文字列が他の部品に重なってしまうことがあります。この場合、名前を表示しているアイコンをクリックし文字列を全て選択後、テキストエディタなどに貼り付けて確認してください。

3. Report Helper

本章ではReport Helperの機能について説明します。

3.1. 概要

本章ではJob Director Report Helperの概要について説明します。

3.1.1. 機能概要

Job Director Report HelperはExcelの機能を活用して効率的にJob Director定義情報、構成情報の帳票を作成 する機能を提供します。従来のJob Director CL/Winで行っていた定義情報(ジョブネットワーク、スケジュー ル、起動トリガ、監視対象テキストログ、稼働日カレンダ)、構成情報(キュー、マシン一覧、パーミッショ ン、ユーザ環境設定、システム環境設定等の環境を構成する設定情報)のパラメータの確認や帳票作成のための データコピーを一括してExcelで行うことができます。

Job Director Report Helperの基本機能は以下4つのフェーズに分けられます。

■ダウンロード

ダウンロードとは、Job Director MG/SV上にある定義情報、構成情報をJob Director Report Helperで扱う ことができるファイル形式で取得することを指します。ダウンロードを行うと、Job Director定義情報およ び構成情報をJPF(Job Director Portable Format)というファイル単位で保存します。このファイルを本製品 から読み込むことにより、様々な帳票を作成することができます。この「JPFファイル」は通常ファイルと して扱えますので、定義情報、構成情報の複製・保存が容易となり、バックアップや版管理を目的に利用す ることも可能です。また、定義情報のJPFはJD Assistの定義情報のJPFと共通の形式であり、構成情報のJPF はバックアップ・復元機能と共通の形式となっているので、それぞれ帳票印刷以外の目的でも共通してJPF ファイルをお使いいただけます。JD Assistおよびバックアップを復元機能については、2章 「JD Assist」お よび<環境構築ガイド>の16章 「Job Director環境のバックアップ・復元」をご覧ください。

■JPFファイルの読み込み

ダウンロードしたJPFファイルを印刷帳票ツール(Excel)に読み込みます。

■帳票の作成

読み込んだJPFファイルの種類に応じて作成可能な帳票が決まります。帳票印刷ツールで作成したい帳票の 種類を選択して、帳票印刷ツールの「帳票シートの作成」ボタンを押すことで、「帳票シート」を作成する ことができます。作成可能な帳票シートに関しては、「3.5 帳票シート」をご確認ください。

■帳票の印刷

作成された帳票シートはExcelの印刷機能を用いて印刷が可能です。また、作成された帳票シートの一括印刷 を行うこともです。

3.1.2. 導入の効果

Job Director Report Helperは従来、手動で行うしかなかったJob Director定義情報、構成情報の印刷用の帳票 作成を、効率的に行うことができます。サーバ上の定義情報または構成情報をダウンロードして、Excelに取り 込むだけで必要な印刷帳票が簡単に作成できます。

■従来のようなJob Director CL/Winでサーバ上のJob Director定義情報、構成情報を個別に確認する手間を省 き、使い慣れた帳票印刷ツール(Excel)に取り込むだけで必要な帳票シートを作成できます。帳票シートは、 そのままExcelの印刷機能を用いて印刷したり、Excelのコピーや編集機能等を用いて別の帳票の作成のため の雛形にするなどのご利用ができます。



図3.1 導入の効果 例1

■Job Director Report Helperはサーバ上のJob Director定義情報、構成情報をダウンロードして保存できま すので、定義情報、構成情報のバックアップや版管理として利用することもできます。



図3.2 導入の効果 例2

3.1.3. 用語一覧

Helper機能に共通の用語に関しては「1.5 用語一覧」をご確認ください。ここではReport Helperに特有の用語 について一覧を記載します。

用語	説明
versionシート	Job Director Report Helperのバージョン情報の確認を行うExcelシート を指します。
inputシート	Job Director Report Helperの定義情報、構成情報のJPFファイルを読み 込むためのExcelシートを指します。
reportシート	Job Director Report Helperの帳票を作成するためのExcelシートを指し ます。
制御シート	上記のversionシート、inputシート、reportシートをまとめて呼ぶとき の通称です。
帳票シート	実際に作成される帳票のExcelシートを指します。作成可能な帳票シート は印刷帳票ツールに読み込ませたJPFファイルの内容によって異なりま す。帳票シートの詳細については、「3.5 帳票シート」をご確認くださ い。

3.2. インストール・アンインストール

本章ではJob Director Report Helperのインストール・アンインストール手順について説明します。

3.2.1. インストール

Job Director Report Helperのインストール方法について説明します。

3.2.1.1. 新規インストール

- 1. Job Directorのメディアから、「NECJDpkg-jrh.zip」をローカルディスク上の任意の場所にコピーします。
- 2.「NECJDpkg-jrh.zip」を解凍してください。解凍先・フォルダ名は任意に決定することができます。なお、 フォルダ名称の変更やフォルダの移動は後で随時可能です。
- 3. 解凍したフォルダが以下の構成であることを確認してください。。なお、解凍した直後はworkフォルダは存在しません。Excelを利用する過程で自動的に作成されます。

└──NECJDpkg-jrh │ jc_report.xlsm ├──bin/ ├──doc/ ├──work/	: インストールフォルダ : 帳票印刷ツール(Excel) : 帳票印刷ツール各機能の実行環境 : ドキュメント : Excelの一時作業フォルダ
├──work/	: Excelの一時作業フォルダ
└──sample_jpf/	: サンプルJPFファイル格納フォルダ

Report Helperは、OS言語環境に合わせて言語別フォルダを選択して利用します。言語別フォルダの対応は 下記の通りとなります。

フォルダ名	説明
јр	日本語OS環境向けReport Helper

以上でJob Director Report Helperのインストール作業は完了です。

▲本製品を使用時には最低一つのプリンタがインストールされている必要があります。Windowsの プリンターの設定画面を開き、最低一台のプリンタがインストールされていることをご確認くだ さい。

■以下のような操作は誤動作の原因になりますので、決して行わないでください。

- bin/,work/等のサブフォルダの削除・リネーム、またその中に存在するdllやexeの削除・リネーム
- work/等のサブフォルダへの不要ファイルの作成

■製品のご使用に際しては、Excelのセキュリティレベル設定についてもご確認ください。

3.2.2. アンインストール

Job Director Report Helperのアンインストール方法について説明します。

3.2.2.1. アンインストール方法

1. Job Director Report Helperを格納したフォルダを削除してください。



Report Helperはレジストリを使用しませんので、作業フォルダを削除することで関連ファイルす べてをシステムから削除することができます。

以上でJob Director Report Helperのアンインストール作業は完了です。

3.3. 帳票印刷の流れ

定義情報または構成情報をサーバからダウンロードして、印刷帳票ツール(Excel)を利用して、帳票シートを作成して、Excelの印刷機能で印刷を行います。



図3.3 帳票印刷の基本的な流れ

- 1. サーバから帳票作成対象の定義情報または構成情報をダウンロードします。
- 2.ダウンロードした定義情報または構成情報の「JPFファイル」を印刷帳票ツール(Excelファイル)で読み込みます。
- 3. 印刷帳票ツールを用いて必要な帳票シートを作成します。
- 4. Excelの印刷機能を用いて、帳票シートを印刷します。

3.4. 基本操作

この章では、Job Director Report Helperの基本機能に対する操作方法について説明します。

3.4.1. サーバからJPFファイルをダウンロードする

Report Helperを利用して印刷帳票を作成するために、サーバ上の定義情報(ジョブネットワーク・スケジュール・起動トリガ・監視対象テキストログ・カレンダ)または構成情報(キュー設定、NQS設定、システム環境設定、ユーザ環境設定、マシン一覧、マシングループ、パーミッション等の環境を構成する設定情報)をローカルマシンにダウンロードします。ダウンロードした定義情報、構成情報はJPFファイルという形式で保存されます。

定義情報、または構成情報のダウンロード手順は、「2.4.1 サーバから定義情報をダウンロードする」 を参照 して下さい。

ダウンロード機能の詳細については <基本操作ガイド>の「12.1 定義情報/構成情報/トラッカアーカイブ情報 (JPFファイル)ダウンロード」 を参照してください。

3.4.2. JPFファイルを印刷帳票ツールに読み込む

Job Director定義情報、構成情報の印刷帳票を作成するために、JPFファイルを印刷帳票ツール(Excel)で読み 込みます。

1. 印刷帳票ツール(Excel)を起動して「inputシート」を表示します。

C		jc_report	- Microso	ft Excel				-		x
🔍 ホーム 挿入 ペー	ジレイアウト 数	式 データ	校閲	表示				0) _ =	x
A1 - ()	f _x									¥
AB		С			D	E	F	G	Н	=
1 2 3 4 5	り込み									Î
6 JPFファイルの種類	指定されていま	せん								
JPFバージョン	指定されていま	せん								
作成可能帳票	指定されていま	せん								
9										
<u>10</u> <u>種別</u>	値 あってするデーター	ありません								=
$ \begin{array}{c} 12\\ 13\\ 14\\ 15\\ 16\\ 17\\ 18\\ 19\\ 20\\ 21\\ 22\\ 23\\ 22\\ 23\\ 24\\ 25\\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5$										
20 27 28	ort /									-
עיקר version input rep				_	_	m			(÷

図3.4 inputシート

2.「JPFファイルの読み込み」ボタンをクリックすると読み込むJPFファイルを選択するためのダイアログが表示されます。対象となるJPFファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

	jc_report - Microsoft Excel	_ = ×
💴 ホーム 挿入	-ジレイアウト 数式 データ 校閲 表示	@ _ = ×
A1 -	fx	×
A B	C D E F	G H
2 3 4 5	анда	
JPFファイルの積	指定されていません	
7 JPFバージョン	指 🕟 ファイルを開く	×
	 ・ デスクトップ ・ jc-jpf ・ ・ ・	jc-jpfの検索 🔎
作成可能 帳票	# 整理 ▼ 新しいフォルダー	i≡ - □ 0
9	▲ 名前 ~	更新日時 種類
10 11 11	値 ↓ する し 」 jc_def_sample.jpf	7/16/2011 4:48 JPF ファ・
12		
14		
16	L CHARON	
17		
19 20		
21	FWBUILDER	
23	H-KURASHIRO-	
24 25	JCGFS1	
26	JOBMANAGER 👻 🖌 👘	•
28 00 H ← H version innut ∠	ファイル名(N): jc_def_sample.jpf -	JobCenterPortableFormat 🔹
אעדב אינאנאנין אונאנאנין אינאבע	ツール(L) ・	開く(0) ▼ キャンセル

図3.5 JPFファイルの読み込み

3. JPFファイルの読み込みに成功すると「inputシート」に、「JPFファイルの種類」、「JPFバージョン」、 「作成可能帳票」が表示されます。「JPFファイルの種類」は定義情報の場合は「Definition」、構成情報 の場合「Configure」と表示されます。inputシートの下部には定義情報の場合、JPFファイルに含まれる定 義の種別と名前が表示され、構成情報の場合はサーバのホスト名とプラットホームが表示されます。

x - <i>j</i> - <i>j</i> -	• •	je_report - Mic	rosoft Excel							-
末一 <u>た</u> 井	#入 ページ レイアウト	数式 データ 权関 表示								
P31	- (a fe									
0		C	D	c	F	0	Ц	1		
n	0	0	U	C	r.	u	1 1	1	0	
	JPFファイルの読み込み									
JPF:	ファイルの種類	Definition	1							
			-							
JPF	パージョン	4.D								
116.65	河油橋寨	ジョブネットワーク一覧(簡易)/ジョブネットワーク 一覧/フロー出力								
			_							
種別	1	10t								
JNA	¥.	OR分岐								
JNA	ų.	sub001								
JNW	ý.	sub002								
JNA	ų.	TESTO								
JNA	v v	SAMPLE	-							
UNN UNN	ų V	TESTOI SAMPLE TESTO2								
JNM JNM JNM	V V V	TEST01 SAMPLE TEST02 ERROR_REDOVERY_copy 1	-							
JNM JNM JNM JNM	V V V	TEST01 SAMPLE TEST02 ERROR_REDOVERY_copy 1 continue								
UNM UNM UNM UNM UNM	V V V V	TEST01 SAMPLE TEST02 ERADR, REDOVERY, copy 1 conthus 日次実務1								
UNU UNU UNU UNU UNU UNU	4 4 4 4 4 4 4	TEST01 SAMPLE TEST02 ERROR.REGOVERY_copy1 continue H_X2_R01 SEND_EVENT								
JNM JNM JNM JNM JNM JNM JNM	V V V V V V V	TEST01 SAMPLE TEST02 ER400F REOVERY copy I Continue H :XE/RBI GEND EVENT und I1								
JNW JNW JNW JNW JNW JNW JNW	9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	TEST01 5AMPLE TEST02 ERROR_REDOVERY_popy1 contrue H //mc/mi SeND_EVENT sub11 sub11 sub12								
NAL NAL UNA UNA UNA NAL NAL NAL NAL NAL	9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	TEST01 SoAMPLE FEST02 ERRADE, RECOVERY_copy I continue 月/法律符1 SEND_KVNT web 11 web 12 web 12 web 12 web 12								
WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL	V V V V V V V V V V V	TEST01 5AMPLE FEST02 ERRADR, RECOVERY (Loopy 1 Continue Altagan SEMD EVENT Indi 1 SEMD EVENT Indi 1 codi 1 codi 2 codi 8 Altagan Altagan								
WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL WAL	V V V V V V V V V V V V V	TEST01 ScAMPLE ERADOR, RECOVERY_copy I continue 日/次度第01 SEND_EVENT web11 seb12 seb12 月/次度第01 aeb12 月/次度第01 aeb14								
MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL	V V V V V V V V V V V V V V V	TEST01 SAMFLE FRST01, RECOVERY_copy 1 Gent20, RECOVERY_COPY 1 Gent								
MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL	۷ ۷	TEST01 ScAMPLE ERADOR, REDOVERY_copy I cont nue 日/次度第01 SEND_EVENT web 11 sek 12 sek 12 sek 13 月/次度第01 auk 14 月/次度第02 ほんしていたいたいたいたいたい ほんしていたいたいたいたいたい ほんしたいたいたいたいたいたいたい ほんしたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい ほんしたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい ほんしたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい またしたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいた								
MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	TEST01 Scharf LE TEST01 ERROR, RECOVERY (sopy 1 contrue) ERROR, RECOVERY (sopy 1 Set 20 VERT Set 20 VERT Set 20 VERT Set 20 VERT Set 20 VERT Set 20 VERT ERV (VERT ERV (VERT) ERV (VERT) TEST01 Set 20 VERT EV (VERT) ERV (VERT) ER								
MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL MAL		TEST01 ScAMPLE ERADOR, RECOVERY_copy I continue 日本語名 SEND EVENT web 11 auk 12 SexD EVENT auk 12 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 月水震霧1 日本記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日								
MIL MIL MIL MIL MIL MIL MIL MIL MIL MIL	W W	TEST01 SAMPLE ERROR, RECOVERY (copy 1 Continue ERROR, RECOVERY (copy 1 ERROR, RECOVERY) ERROR, ERROR ERROR, ERROR ERROR, ERROR ERROR, ERROR ERROR, ERROR ERR								
MILL MILL MILL MILL MILL MILL MILL MILL		TEST01 Scharf-LE ERROR, ROOVERY_copy 1 cont nue 日本演算1 SEND EVENT web 11 sub 12 sub 12 sub 13 日本演算2 日本演算2 日本演算2 日本演算2 SEND EVENT SEND								

図3.6 JPFファイル読み込み後の状態

3.4.3. 帳票シートを作成する

読み込んだJPFファイルから、印刷帳票シートを作成します。

1.印刷帳票ツール(Excel)の「reportシート」を表示します。

) - (≅ -) =		jc,	report - 1	Microsoft E>	cel			- 5	×
💌 🖈 –.	ム 挿入 /	ページ レイアウト	数式 ラ		校閲 表	হন			0 -	- x
A	1 🕶									×
A	В	C		D	E	F	G	Н	I	J 🚍
2 3 4	帳票の選択	帳票シー	トの作成	全帳票 肖	シートの 『除	全帳票: 印刷ブ	シートの レビュー	ブック保護の 解除		-
5 6 7 8	作成帳票 指派	言されていません								
9 10 11	種別名調	<u>前</u> 示するデータはあ	いません	出力						
12 13		10.90 2100	/J&C/U							
14 15 16										
17 18										
19 20 21										
22 23										
24 25 26										
27 28										
29 30										
31 32 33										
34	ersion / input	report 92					1.4			► 11
אעדב	and a start of the							85% 😑	Q+	•

図3.7 reportシート

2.「帳票の選択」ボタンを押して、帳票の選択ダイアログのリストボックスから作成したい帳票の種類を選択 します。

) -	jo	:_report -	Microsoft	Excel				- 1	×
👛 ホーム 挿入	、 ページ レイアウ	- 数式	データ	校閲	表示					. = x
A1	- (•	r -								×
A B		>	D		E	F	G	Н	Ι	J
1			全帳	票シートの		全帳票シートの		ブック保護の		-
3 帳票0)	「選択」「限票	シートの11655		削除		印刷プレビュー		解耶余		_
4									_	_
<u>6</u> 作成帳票	指定されています	۲ <i>6</i> ,								_
7										_
8		出力対象の選択				×				_
9 10 種別	名前									_
11	表示するデー	帳票出力対象	19az	「ネットワーク	一覧(簡易	易)(一)				_
12	\longrightarrow		,							_
14										_
15				<u>ж</u>	Can	icei				_
17										_
18										_
20										_
21										_
22										_
24										_
25										_
27										_
28										_
30										_
31										_
33										
34										-
H + + H version / in	iputreport 🦯 💱	/								
אלאב						H	3 🛄 85%	Θ(ÿ+	.,:

図3.8 帳票の選択

3.「帳票シートの作成」ボタンを押して、帳票を作成します。

C		jojreport - Microsoft Excel		- = ×
💴 ホーム 損	■入 ページ レイアウト 数式	データ 校閲 表示		0 _ = X
A1	- (* f _x			¥
AB	C C	DE	F G H	I J
1 2 3	夏の選択 帳票シートの作成	全帳票シートの 削除	全帳票シートの ブック保護 印刷プレビュー 解除	o -
4 5 6 作成吨	票 ジョブネットワーク一覧(簡易)			
7 8 9	2 2	lut 1		
11 12 13 JNW JNW				
14 15 16				
17 18 19				
20 21 22				
23 24 25				
26 27 28				
29 30 31				
32 33 34				•
	input report 🕲			

図3.9 帳票シートの作成

定義情報関連の帳票では、reportシート下部のインデックス表示の表の「出力」の列で出力する/しないを切り替えることができます。デフォルトは「1」に設定されており全て出力されますが、「0」にすることで必要ない定義の出力を抑制できます。出力の制御ができる帳票は「ジョブネットワークー覧」、「フロー出力」、「スケジュールー覧」、「カレンダー覧」、「起動トリガー覧」になります。

4. 帳票シートの作成に成功すると、成功のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押してダイアログを 閉じます。図ではreportシートの右側に「JNW一覧(簡易)」という選択した種類の帳票シートが作成されて います。

Image: A set of the	jc_report - Microsoft Excel	_ 🗆 X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式	データ 校閲 表示	🕜 – 🗖 X
A1 🗸 f 🖈		×
A B C	D E F G H I J K L	M
	全帳票シートの 育切除 日期ブレビュー 第75 第75 年代期ブレビュー 第75 第75 第75 第75 第75 第75 第75 第75	
5	-	
6 (作成帳票 ジョブネットワーク一覧(簡易) 7		
8		
3 10 種別 名前	出力	
11 JNW 月次業務1 12 JNW 月次業務2		
13 JNW 日次業務1		
14		
16	Information	
18		
20	(1) 帳票は正常に出力されました。	
21		
23		
24	ок	
26 27		
28		
30		
31 32		
33		
35		
36 37		
38		
□ ● ● _ version / input _ report _ JNW一覧(間易).		

図3.10 帳票シートの作成成功



3.4.4. 帳票シートを印刷する

3.4.4.1. 全ての帳票シートを印刷する

作成済みの全ての帳票シートを印刷します。

1.「reportシート」の「全帳票シートの印刷プレビュー」ボタンを押します。

ic_report - Microsoft Excel		_ = X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示		🕜 🗕 🗖 🗙
A1 • (<i>f</i> x		*
A B C D E F G H I J K	L	M
2 全帳票シートの 全帳票シートの ブック保護の 3		
6 作成帳票 スケジュール一覧 7		
8 9		_
10 種別 名前 出力		_
11 SCHED 日水スクジュール 1 12 SCHED 特殊処理 1		_
13 14 SOHED 月次スケジュール 1		_
15		_
16		_
18		_
10 20		_
21		_
23		_
24 25		_
26		_
28		_
29 30		_
31		_
32 33		_
34		_
36		_
<u>37</u> 38		
39		-
40 IF ← → M [version / input] report / JNW一覧(簡易) / JNW一覧 / スケジュール一覧 / ?コ / / / / / / / / / / / / / / / / /		→ ī
	3 85% 🕞) - 01 - (+)

図3.11 reportシートの全帳票シートの印刷プレビューボタン

2. 印刷プレビュー画面が表示されるので、印刷イメージを確認してから印刷してください。

C	jc_report [作業グループ] - Microsoft Excel	_ = ×
印刷 ベージ ズーム 一 余白の表示 印刷プレビー 数定 数定 本明にる	L-	
	クコプタットワーク塔(JAL)~7度(JAL)~7度(JAL) 下文集計 下文集計 下文集計 「方文集】 「方文 「方文 「方文 「方文 「方文 「方文 「方文 「方文	
	-1NV-18(ALB) 1/3	
印刷ブレビュー:1 / 8 ページ		拉大 85% 🕤 🛛 (于)

図3.12 全帳票シートの印刷プレビュー



■印刷プレビューの機能はExcel標準のものです。印刷プレビューの機能詳細はExcelのヘルプを ご確認ください。

- ■帳票シートの印刷時には右下にフッターが印刷されるように初期設定してあります。フッター のフォーマットは「(シート名)(現在のページ数)/(全ページ数)」になります。フッターはExcel の設定で変更可能なので、必要に応じて変更してください。(フッターの変更方法については Excelのヘルプをご確認ください)
 - ■帳票シートがひとつもない状態で「全帳票シートの印刷プレビュー」ボタンを押した場合は下 図のようなダイアログが表示されます。本ボタンはひとつ以上の帳票シートを作成してからご 利用ください。

Infomatio	n	×
<u>^</u>	印刷対象の帳票シートがありません。	
	ОК	

3.4.4.2. 特定の帳票シートを印刷する

特定の帳票シートを印刷します。

1. 印刷したい帳票シートを選択してします。

🗴 🖯 🖉	b × ♂ · ≠ jc_report.xlsm - Excel ? 🗈 🗕 🗆 🗙											
ファイル ホー	ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン チーム											
A1 *	- : 🗙 🗸 fi	r										~
A	В	С	D		E	F	G	Н	I	J	К	-
1												
2	ジョブネットワーク名	グルーブ名	コメント	-75 - 0								
3	日次未務日	日次	日次業務一組化	項日								
5	日次業務1	日次	定型処理	240								
6												
7												
8												
9												
10												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
20												
30												-
< >	version input	report J	NW一覧(簡易)	JNW一覧	スケジュ	ュール一覧	+			: •		
準備完了								⊞			+	100%

図3.13 特定の帳票シートの印刷

2. メニューバーのファイルから印刷を選択して、印刷を行います。

Ê	jc_report.xlsm - Excel	? – 🗆	×
情報	印刷	۲ ^۰	
新規	部数: 1 4		
開く	白刷	- 75-75(172)- - 月之 日北美化学の道面 - 月之 日北美化学の道面 - 日文 日北美化学の道面 - 日文 王文教授	
上書き保存 名前を付けて	プリンター		
保存	₩ 準備完了 ▼		
単同	カルターのカルパティ 設定		
エクスポート	作業中のシートを印刷 作業中のシートを印刷 作業中のシートのみを印刷します		
閉じる	ページ指定: ↓ から ↓		
アカウント	■■ 部単位で印刷 1,2,3 1,2,3 1,2,3 ▼		
オプション	₩方向 •		
	A4 21 cm x 29.7 cm		
	標準の余白 左: 1.78 cm 右: 1.78 cm ▼		
	● すべての列を1ページに印刷 ■ 幅が1ページに収まるように印刷…	1998年一篇論章	
	ページ設定		<u>ò</u>

図3.14 メニューバーのファイルから印刷

■印刷前に印刷プレビューで印刷イメージの確認および必要な調整を行うことをお勧めします。
 ■図のメニューはExcel 2013のものです。他のExcelのバージョンではメニューの位置および表示が異なりますので、Excelのヘルプで実際の位置をご確認ください。

3.4.5. 帳票シートを削除する

作成した帳票シートを削除します。

1. 印刷帳票ツール(Excel)の「reportシート」を表示して、「全帳票の削除」ボタンを押します。

jc_report - Microsoft Excel	-			x
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示	(0 -	۵	×
				≽
A B C D E F G H I J K L		М		
2 帳票の違択 帳票シートの作成 全帳票シートの ブック保護の 3 印刷ブレビュー 第除余				
。 6 作成帳票 スケジュール一覧 7 8				
9 推測 名前 出力 10 推測 名前 出力 11 SCHED 日次スケジュール 1 12 SCHED 特殊処理 1 13 SCHED 月次スケジュール 1				
14 15 16 17				
18 19 20 21				
22 23 24 25				
26 27 28 29				
30 31 32 33				
34 35 36				
37 88 39 40				•
		J	•	•

図3.15 reportシートの「全帳票の削除」ボタン

2.「全ての帳票シートを削除します。よろしいですか?」というダイアログが表示されるので、帳票シートを 全て削除してもよい場合は「OK」を押します。

Infomation	
🋕 全ての帳票シートを削	除します。よろしいですか?
	OK キャンセル

図3.16 帳票シートの削除の警告

3.「report」シートの右隣から帳票シートが全て削除されます。
	• (° ¹ •) ₹				jc_report	- Microso	oft Excel					-		x
	挿入	ページレ	イアウト	数式	データ	校閲	表示					(- 0	⇒ x
A1		- ()	f_{x}											¥
A	В		С		D		E		F	G	Н	i	[J
2 3 4	帳票の選択	2	帳票シー	トの作成	全 ¹	帳票シート 削除	o	全帳票 印刷:	裏シートの ルビュー		ブック保護 解除	護の		
5 6 7	作成帳票	指定されて	いません											
8 9 10 11	種別 :	<u>名前</u> 表示する:	データはあ	りません	出力									
12 13 14														
16 17 18														
19 20 21 22														
23 24 25														
26 27 28														
23 30 31 32														
	sion / input	report	1							II 4 .■				• T
7725	oroni 2 mipue	- opore	, <u> </u>								85%			.

図3.17 帳票シートの削除後

3.4.6. ブック保護の解除をする

ブックは基本的に各種制御シート(version/input/report)を保護するために、シート構成の保護をかけている ので、帳票シートの名前の変更や移動やコピー、個別削除を行いたい場合は、ブックの保護を一旦解除する必 要があります。

1. 印刷帳票ツール(Excel)の「reportシート」を表示して、「ブック保護の解除」ボタンを押します。

jc_report - Microsoft Excel		_ = X
ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校開 表示		🔞 🗕 🖷 🗙
A1 • 🤄 🏂		×
A B C D E F G H I	J K L	M 두
1 2 帳票の違択 帳票シートの作成 全帳票シートの 育削除 全帳票シートの 印刷ブレビュー ブック保護の 解除 3		-
5 作成帳票 スケジュール一覧 7 8 0		
- 10 福朗 名前 出力 11 SOHED 日次2万ジュール 1 12 SOHED 日次2万ジュール 1		
18 SOHED 月次スクジュール 1 19 SOHED 月次スクジュール 1		
16 17 17		
22 23 24		
25 25 26		
28 29 29		
30 31 32		
333 34 36		
36 37 38		
<u>39</u> 40		-
■ ◆ ◆ ● [version / input] report / JNW一覧(簡易) / JNW一覧 / スケジュール一覧 / ② / コマンド		

図3.18 reportシートの「ブック保護の解除」ボタン

2. ブック保護解除の警告ダイアログが表示されるので、このままブック保護の解除を続行する場合は「OK」を 押します。

Infomatio	n
	ブックの保護を解除します。よろしいですか? 警告: 制御シート(「version」、「input」、「report」)の削除、名前の変 更等はしないでください。 必要な操作が終わったらブックを保護状態に戻してください。
	OK キャンセル

図3.19 ブック保護の解除の警告

3. ブックの保護が解除され、ボタンの表示が「ブック保護の解除」から「ブック保護」に変わります。

jc_report - Microsoft Excel		_ = ×
ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示		🕡 _ 🗆 X
A1 - fx		*
A B C D E F G H :	I J K	L N
1 全 金属原ントの 全体原シートの 全体原シートの 全体原シートの 子ックの保護 3 修原 6 6 6 7ックの保護		â
3 6 7 7		
		_
10 推測 名前 出力 11 SOHED 日次スケジュール 1 12 SOHED 日次スケジュール 1		_
18 SOHED 月本2ケジュール 1 14		
15 16 17		
18 19		
20 21 22		
23 24		
25 26 27		
28 29		
30 31 ~~		
32 33 34		
35 35 37		_
www.internation.com/mput/com/m		

図3.20 ボタンが「ブック保護の解除」から「ブック保護」に変化

4. 帳票シートの右クリックメニューからコピーや移動などの必要な操作を終えた後に、速やかにreportシートの「ブックの保護」ボタンを押して、ブックの保護をしてください。

株式 株式 ポーム 株式 ポーム 株式 ポーム 株式 ポーム 株式 ポーム 株式 ボーム 株式 ボーム 株式 ボーム ボーム 株式 ボーム <		, 19 ~	(?⊨ -) ∓		jc_report -	- Microsoft Exci	el					x
Al B C D E F G H I J K 2 ジョブネッパワーク名 グループ名 コンハー コンハー コンハー ロ		ホーム	挿入 ページ レイアウ	大 熨式	データ 校閲 表示							σx
A B C D E F G H I J K 2 ジョオシャリーク名 ガルーブ名 ゴン/ト コン/ト コン/ト <td></td> <td>A1</td> <td>• (• f</td> <td>e l</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>*</td>		A1	• (• f	e l								*
1 ジョブネットワーク名 グルーブ名 コメント 3 月次素粉: 月次 月次素粉: 月次素粉: 月次素粉: 月次、用、月次素粉: 月次素粉: 日次 5 日次素粉: 日次 定型処理 6 日次 定型処理 7 日次 第 8 日次 二 9 日次 二 10 日次 1 11 日 1 12 日 日 13 日 1 14 日 1 15 日 1 16 日 1 17 日 1 18 日 1 20 日 単称(0) 23 日 日 24 日 日 25 日 日 26 日 1 31 日 1 31 日 1		A	В	С	D	E	F	G	н	Ι	J	K
2	1]									
3 月次東稿2 月次 月次 月次 月次 月次 月2 月次 月2	2		ジョブネットワーク名	グルーブ名	コメント							_
	3		月次業務1	月次	月次業務一強化項目	_						
5 日水果坊1 日次 正型処理 6	4		月次業務2	月次	月次業務-短期項目	-						
0 7 8 8 9 10 10 11 12 13 14 15 15 15 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 24 25 27 27 27 28 28 29 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	5		日//(莱榜)	.日次	定望処理	_						_
月 月 月 日 日	7											
	8											_
10 11 12 13 14 15 16 17 18 20 21 22 23 24 24 23 24 25 27 27 27 27 28 29 28 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29	9											
11 12 13 14 15 15 16 17 18 18 20 21 22 23 24 23 24 25 25 27 25 27 26 27 28 29 29 20 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	10											
12 13 14 15 15 16 17 18 19 20 21 20 21 22 23 24 25 26 27 25 27 28 29 29 29 29 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	11											
13 14 15 15 16 17 17 18 20 20 20 21 22 23 24 25 25 25 27 25 27 28 27 28 29 27 29 30 31 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12											
14 15 16 17 18 20 21 22 23 24 4 5 26 27 27 28 29 20 27 29 20 20 20 20 21 10 22 23 24 4 5 5 20 21 5 5 20 21 5 5 20 21 5 5 20 21 5 5 20 21 5 5 5 20 21 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	13											
15 16 17 17 18 19 20 21 22 23 24 23 24 25 26 27 27 28 27 28 29 27 29 30 31 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14											
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 27 27 28 28 29 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	15											=
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 27 28 27 28 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	16											
18 19 20 21 21 22 23 24 25 25 26 26 27 28 27 28 29 30 31 1 version_input, report_J.M/-覧(語家、マロマー型、パクフィアの一覧、/なり、 1 ロートを選択(S) 1 ロートを受けたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい	17											
19 20 21 22 23 24 24 25 26 27 27 28 29 20 27 29 20 20 20 20 20 21 25 20 25 20 26 27 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	18											_
20 21 22 23 24 25 25 27 26 27 28 29 30 31 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	19				477.7 (0)							_
22 日本	20]≢∧(µ							
	22				前IB除(<u>D</u>)							
24 25 25 26 27 27 28 28 29 30 30 31 4 + > H version_input_/report_JLMJ=貨(語家、 マロマーターー見上しの色① ト 非表示(出) 再表示(出) 本(クリートを選択(S) マロマークターー見上しの色① ト 第表示(出) 日本(ロターー見上しの色① ト 第表示(出) 日本(ロターー見上しの色① ト 第表示(出) 日本(ロターー見上しの色① ト 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの色① ト 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー見上しの一) 日本(ロターー) 日本(ロター) 日本(ロ) 日本(ロター) 日本(ロター) 日本(ロター)	23				名前の変更(<u>R</u>)							
25 0 0 0 - FOR美行(V) 26 0 0 - FOR美行(V) 27 2 - FOR美行(V) 28 2 - FOR美行(V) 29 - FOR美行(V) 30 0 - FOR美行(V) 4 * * * Version_input_/report_O//Milestrations / Cov+K道訳(S) * * * * Version_input_/report_O//Milestrations / Cov+K道訳(S)	24				移動またはコピー(M)							
26. 27. 28. 29. 30. 31. * * * * H. version, input, report, J.W/-覧(語家、スケッシューア・覧、/キッノー)	25			ä	↓ コードの表示(い)							
27 28 29 30 31 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26			6	a シートの(保護(P)							
28 7 FALLOREU 7 29 1 非表示化サ 30 31 1 すべのサードを選択的 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27				 シート日山しの色(T) 							
29 おおホビリ 高の 30 あんし、 31 かんし、 4 4 * * * version / input / report] JNW-覧(語る、 - いや・毎、 パリンエーリー覧 / やコ / ・ ・ ・ 「 1 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	28				> 176000E(j)	-						
30 再表示(U). 31 すべてのシートを選択(S) 4 4 - > > / version / input / report / J.N/一覧(語写、	29				非表示(目)							
31 4 4 + M (version / input / report) JNW- 覧簡易 (JNW- 見) - N超訳S)	30				再表示(山)							
H 4 ト H version、input report JNW L(開身、 Jnw 見、 スリンエル 見、 ター	31			The second	すべてのシートを選択(S)	-						
		Nersi	on / input / report _ JN	W一覧(簡易	/ JINW- 見 / スケンエーノ	-11/9/						

図3.21 帳票シートの移動/コピー/削除等の操作



「帳票の作成」ボタンを押して、帳票を作成をするとき

- 「全帳票シートの削除」ボタンを押して、全て帳票の削除をするとき
- ■ブックの保護解除したあとは、必要な操作を終えた後に必ずにブックの保護状態に戻してくだ さい。

3.5. 帳票シート

この章では、Job Director Report Helperで作成可能な帳票シートの種類について説明します

3.5.1. ジョブネットワーク一覧(簡易)

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「ジョブネットワーク一覧(簡易)」を選択してください。作成されるシート名は「JNW一覧(簡易)」となります。帳票シートにはジョブネットワーク名、所属グループ、コメントが出力されます。

					ic re	port.xlsm - E	cel					æ		×
ファイル		アウト 数式	データ 校開			♀ 実行したい							サインイン	<u>入</u> 共有
						-								
A1	• I X 🗸	fx												×
A	В	С	D		E	F	G	н	I	J	K	L	M	N A
1	N + + + - +	15.0 - 2.00												
2	ショフネットリーク名	クルーフ名	<u>コメント</u>	Hora m										
3	月/火栗務2		月八来務 - 旭	川山日										
5	<u>月八未防</u> ロ次業務1	- 月八	<u>月八耒疠 - </u> 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	16項日										
6	口八乘街	.0.1	走至她挂											
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
10														
20														
21														
22														
23														
< >	version input	report JNN	₩一覧(簡易)											
進備空マ	97									m	(m) (m)	-		10096
OW INDIC J										HHH I	280 E			100.90

図3.22 ジョブネットワーク一覧(簡易)帳票シート



本帳票シートを作成するためには、定義情報のJPFファイルを読み込む必要があります。また、その 定義情報のJPFファイルには少なくとも一つ以上のジョブネットワーク定義が存在する必要がありま す。

3.5.2. ジョブネットワーク一覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「ジョブネットワーク一覧」を選択してください。作成される シート名は「JNW一覧」となります。この帳票シートでは各ジョブネットワークの全パラメータが出力されま す。パラメータや値の意味はJD Assistと同じになりますので、詳細は「2.6.1 ジョブネットワークの作成(jnw シート)」を参照してください。

-	+_1	isi n	a-21./70	⊾ straP	≓_ ⊅	t/re	*-	TRA.	jc_report.xlsm - Excel			æ	- 1		×
7110	-W	747	N-90199	F 1900V)-9	TX:08	20.7	7197	\$ x110/2011##@X710((/2201				91212	74.9	ня
A1	Ť	: ×	$\checkmark f_x$												~
1 2 3	A		в	С			D		E	F		G	н		I 🔺
	1	11 - F - E		6 / 8		100 b				1.40					
	2	ンヨフイツ	トリーク名	\$17		部品名			ハラメージ名	10					
T-	4	月八未伤		ジョブネット	ワ ーク										
17.	5			242-1-21					メール送信	off					
	6								実行開始点-警告時刻	00.00					
	7								自動停止後リカバリJNWを実行	月次業務共通後処理	£				
	8								投入キュー						
	9								エラー時の自動停止	stop					_
	10								スケジュール	-					_
	11								レオエロキカリ	5					
	12								1111111111111111111111111111111111111	-#					
	14								<u>天门师师师员员</u> 字相宝行時間。時間	0 co cond					
	15								<u>1.15天115日115日115</u> 又一儿-件名	0.580010					
	16								X-JL-FROM						
	17								クリティカルポイント-警告動作の有無	off					
	18								実行終了点-警告時刻	00:00					
	19								同時起動可能数一起動数						
1.1	20								予想実行時間-指定方法	cal					
	21								メールー本文						
	22								メールーTO						
	23								所属グループ	月次					
	24								x-11-00	~					
	25								ンミュレーンヨン実行	off					
	20								メール-SMIPサーハ 事前記空	.#					
	29								学 削高スル キロ2県 敬化	off					
	29								<u>約19月1日</u> 約了予定時刻認過時	def					
	30								同時記動可能数一待ち状態	wait					
	31									月次業務 - 強化項目	3				
1.1	32								実行終了点-自動操作	off	-				
	33								クリティカルポイントー検査箇所	start					
1.1	34								ERPジョブの自動スタート	def					
L.	35								排他種別	single					-
$\cdots \leftarrow \rightarrow$	V	ersion	input rep	ort JNV	/一覧							-			Þ.
準備完了										=	II II	-	-	+ 10	00%

図3.23 ジョブネットワーク一覧帳票シート





本帳票シートを作成するためには、定義情報のJPFファイルを読み込む必要があります。また、その 定義情報のJPFファイルには少なくとも一つ以上のジョブネットワーク定義が存在する必要がありま す。

3.5.3. フロー出力

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「フロー出力」を選択してください。帳票シートはジョブネット ワークの個数分作成され、シート名はジョブネットワーク名と同じになります。シートの左上には「親JNW参 照」ボタン、ジョブネットワーク名、グループ名、コメントが表示され、シート下部にフローが描画されま す。「親JNW参照」ボタンの操作方法および、フローの部品の意味はJD Assistと同じになりますので、詳細 は「2.6.10 ジョブネットワークのフローを確認する(flow-viewシート)」を参照してください。



図3.24 フロー帳票シート

3.5.4. スケジュール一覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「スケジュール一覧」を選択してください。作成されるシート名は「スケジュール一覧」となります。本帳票シートでは各スケジュールの全パラメータが出力されます。パラメータや値の意味はJD Assistと同じになりますので、詳細は「2.6.2 スケジュールの作成(schedシート)」を参照してください。



図3.25 スケジュール一覧帳票シート



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開

することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。

本帳票シートを作成するためには、定義情報のJPFファイルを読み込む必要があります。また、その 定義情報のJPFファイルには少なくとも一つ以上のスケジュール定義が存在する必要があります。

3.5.5. カレンダ一覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「カレンダー覧」を選択してください。作成されるシート名は「カレンダー覧」となります。本帳票シートでは各カレンダの全パラメータが出力されます。パラメータや値の意味はJD Assistと同じになりますので、詳細は「2.6.4 カレンダの作成(calシート)」を参照してください。



図3.26 カレンダー覧帳票シート



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。

本帳票シートを作成するためには、定義情報のJPFファイルを読み込む必要があります。また、その 定義情報のJPFファイルには少なくとも一つ以上のカレンダ定義が存在する必要があります。

3.5.6. 起動トリガー覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「起動トリガー覧」を選択してください。作成されるシート名は 「起動トリガー覧」となります。本帳票シートでは各起動トリガ定義と関連する監視対象テキストログの全パ ラメータが出力されます。パラメータや値の意味はJD Assistと同じになりますので、詳細は「2.6.3 起動トリ ガ・監視対象テキストログの作成(trgシート)」を参照してください。

・ マイル	ホーム 挿	* 入 ページレイフ	ウト 数式 デー	y 校開 表示 開発		1 121		p
1	• :	$\times \checkmark f_x$,
2 3	A	в	С	D	E	F	G	
	2	記動トリガ名	記動トリガ種別	パラメータ名	値			
	3	記動トリガ3		· · · · · · ·				
-	4		テキストログ監視					
Г٠	5			定義名	監視対象テキストログ3			
· ·	6			ファイルバス	/path/to/messages3			
	7			エンコーディング	UTF-8			
	8			ローテーションルール	^messages3(-¥d{8})?\$			
	9			部分一致した文字列を環境変数に設定する	off			
	10			一致した行を環境変数に設定する	on			
	11			正規表現を利用する	off			
	12			監視キーワード	ke vword3			
	13			有効/無効	on			
	14			コメント	コメント3			
· ·	15			関連JNW	日次業務1			
	16	起動トリガ1			· ·			
-	17		テキストログ監視					
	18			定義名	監視対象テキストログ1			
	19			ファイルバス	/path/to/messages1			
	20			エンコーディング	UTF-8			
	21			ローテーションルール	^messages1(-¥d{8})?\$			
	22			部分一致した文字列を環境変数に設定する	off			
	23			一致した行を環境変数に設定する	on			
	24			正規表現を利用する	off			
	25			監視キーワード	keyword1			
	26			有効/無効	on			
	27			コメント	コメント1			
	28			関連JNW	月次業務1			
	29	起動トリガ2						
_	30		テキストログ監視					
	31			定義名	監視対象テキストログ2			
					1			
4	versi	on input	report 起動刊力	- <u>H</u> (+)		E (4)		₽

図3.27 起動トリガー覧帳票シート





本帳票シートを作成するためには、定義情報のJPFファイルを読み込む必要があります。また、その 定義情報のJPFファイルには少なくとも一つ以上の起動トリガ定義が存在する必要があります。

起動トリガ定義に関連付けされていない監視対象テキストログは帳票に出力されません。

3.5.7. キュー設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「キュー設定」を選択してください。作成されるシート名は「投入キュー」となります。この帳票シートではキューの全パラメータが出力されます。本シートのパラメータおよび値の意味については、NQS関連の章を確認して頂く必要があるので、 <環境構築ガイド>の4章 「キューの作成」 および <NQS機能利用の手引き>の「6.1 キュー構成管理」を参照してください。

xB 🔒	5.	<i>∂</i> - ∓		jc_report.xlsn	n - Excel	? 5		×
ファイル	ホーム	挿入	ページ	レイアウト 数式 データ 校開 表示	開発		-	Р
				C				
A1	Ŧ	+ 2	< 🗸 ,	fx				×
1 2 3		Α	в	С	D	E	F	
	1							
	2		キュー名	バラメータ名	サブバラメータ名	値		
딘	3		guitp_1	h /-*	1			
· ·	4			947		PIPE		
	5			回時美行可能数		10		
	7			十二二间酸元度		10 August Alle August Automotion alle att		
	-/					/ usr/ lib/ hds/ pipeclient		
	0					RESTART		
	9			ゴーク毎の同時実行可能数		unimited		
	11			シルーン毎の同時美11 可能数		guilto 1 @in hmono.com		
	12			· 计能		Iganos reponnanager		
14.	13			D Cran	フリーディスティネーション	FALSE		
	14				etav wait	FALSE		
1.	15				カスタムジョブ	FALSE		
	16				pipe only	TRUE		
· ·	17				ロードバランス	FALSE		
· ·	18				実行状態	TRUE		
· ·	19				before check	FALSE		
· ·	20				透過パイプ	TRUE		
LL·	21				有効/無効	TRUE		
=	22		guibs_1					
· ·	23			タイプ		BATCH		
1 ·	24			デマンドデリバリでの最大転送待時間		30		
· · ·	25			同時実行可能数		1		
1 ·	26			キュー間優先度		10		
1.1	27			リクエスト保有数制限		0		
1 .	28			リブートモード		RESTART		
1 .	29			リクエストスケジューリング方式		T YPE0		
· ·	30			ユーザ毎の同時実行可能数		unlimited		
1 1	31			グループ毎の同時実行可能数		unlimited		
4	•	version	n input	report 投入キュー +		: •		Þ
准備完了	r 🛤					Im Im	-+ 10	0%

図3.28 キュー設定帳票シート





本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.8. NQS設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「NQS設定」を選択してください。作成されるシート名は「NQS パラメータ」となります。この帳票シートではNQSの全グローバルパラメータが出力されます。本シートのパ ラメータおよび値の意味については、NQS関連の章を確認して頂く必要があるので、 <NQS機能利用の手引き >の「6.3 Job Director環境パラメータの設定」を参照してください。

x 🗄 🕤	· ♂· ∓	jc_rep	ort.xlsm ·	- Excel				? 🛧	- 0	×
ファイル ホー	-ム 挿入 ページレイアウト 数式 ラ	タ 校開	表示	開発						
A1	$\overline{}$: $\times \checkmark f_x$									¥
٨	в	0	D	F	F	G	н	T	1	
1	8	0	0			9		1	0	٦H
2	パラメータ名	値								
3	デバイスオーブン待ち時間	5								
4	デバッグモード	0								
5	デフォルトデバイス優先度	31								
6	デフォルトバッチ優先度	31								
7	転送リトライ待ち時間	300								
8	ステージリトライ待ち時間	300								
9	ログファイルサイズ	0								
10	最大グローバルネット 制限	1000								
11	ブリントファイルの 最大バイト 数	1000000								
12	最大グローバルユーザ投入制限	0								
13	最大グローバルグループ投入制限	0								
14	最大グローバルバイブジョブ数制限	1000								
15	最大グローバルバッチジョブ数制限	1000								
16	リクエスト情報保存期間	259200								
17	エラーログのバックアップ世代数	10								
18	エラーログのファイルサイズ	1048576								
19	キュースケジューリングモード	0								
20	シェルストラテジー	free								
21	最大ブリントコピー数	2								
22	ネットワークリトライ待ち時間	0								
23	キューウォッチイベント廃棄時間	3600								
24	キューウォッチイベントスブールサイズ	2097152								
25	デフォルト oscdモード	0								
26	転送リトライ時間	16								
27	ステージリトライ時間	259200								
28	ネットワークリトライ制限時間	300								
29	最大IDC接続数	32								
30	デバイスオープンリトライ制限	2								
94										Ŧ
< →	version input report NQS/	ラメータ	+					-		
準備完了 🔠					1		<u> </u>	-	-+ 1009	6

図3.29 NQS設定帳票シート

3.5.9. ユーザ環境設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「ユーザ環境設定」を選択してください。作成されるシート名は 「ユーザ環境設定」となります。この帳票シートではJob Directorの全ユーザのユーザ環境設定のパラメータ (基本タブとアーカイブタブのみ)が出力されます。本シートのパラメータおよび値の意味については、 <環境 構築ガイド>の「6.2 ユーザ環境の設定を変更する」を参照してください。

イル ホーム	挿入 パー:	シレイアウト 数式 データ 校開 表示	開発					
Ŧ	\times	fx						
2 🖌 🗚	в	С	D	E	F	G	н	I
1	_			_				
2	ユーザ名	バラメータ名	値					
3	nsumsmgr		I					
4		制御後のトラッカー覧画面の更新を行う	on					
5		エラー時の自動停止	thru					
6		トラッカアーカイブを作成する	on					
7		アーカイブファイル名	trkarc					
8		標準出力出力	on					
9		標準エラー出力	on					
10		ログファイル	on					
11		環境変数	on					
12		フロー初期表示	off					
13		デフォルト投入キュー	guilb_def					
14		アーカイブ待ち時間(相対)(秒)	600					
15		アーカイブの自動削除	on					
16		アーカイブの保存期間(個数)	90					
17		エラー停止トラッカを削除/アーカイブする	0					
18		フローの表示倍率	100					
19		分岐スキッブ済みサブJNWを表示する	off					
20		予定JNW分岐スキップを確認する	off					
21		JNW階層表示数	0					
22		ERPジョブの 自動スタート	on					
23		トラッカ/リクエストを自動更新する	on					
24		トラッカ更新間隔	30					
25		全トラッカから最新トラッカを検索する	0					
26		表示形式	tree					
27		終了予定時刻超過時	cont					
28		表示時間形式	mid					
29		月を跨く	on					
30		アーカイブの 保存間隔	18					
91		表示条件の設定を使用する	OFF					

図3.30 ユーザ環境設定帳票シート



R12.10の構成情報のJPFファイルの場合、本シートのユーザ環境設定に「トラッカ」タブのパラ メータは出力されません。



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。



本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.10. システム環境設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「システム環境設定」を選択してください。作成されるシート名は「システム設定」となります。この帳票シートではシステム環境設定の全パラメータが出力されます。本シートのパラメータおよび値の意味については、 <環境構築ガイド>の「6.5 システム環境の設定を変更する」を参照してください。

E 21	🧭 👻 jc_report.xlsm - Excel		1	- 0	
アイルホ	ーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校開 表示 🖓 実行したい作業を	入力してください			
1	$\overline{}$: $\times \sqrt{f_x}$				
A	В	С	D	E	_
	_				
	バラメータ名	値			
	SMTPサーバー名前				
	SMTPサーバー設定	off			
	実行ログ-保存期間(日)	365			
	カレンダへのタイムゾーン設定	off			
	補正時刻の 有効/ 無効	off			
	ジョブネットワーク個別設定を行う	off			
	補正時刻	00:00			
	実行ログー作成する/しない	off			
	SMTPサーバーユーザ名				
	SMTPサーバーボート	25			
3	SMTPサーバーバスワード	*ołok			
1	SMTPサーバー認証タイプ-CRAM-MD5	off			
5	SMTPサーバー認証タイプーLOGIN	off			
5	SMTPサーバー認証タイプーPLAIN	off			
7	SMTPサーバー認証	off			
8	操作ログーバックアップファイル数	0			
9	スケジュールとカレンダへの適用期間終了日既定値	off			
0	実行ログ-バックアップファイル数	0			
	操作ログ-1ファイルの最大サイズ(KB)	1024			
2	操作ログー保存期間(日)	365			
3	実行ログ-1ファイルの最大サイズ(KB)	1024			
1	操作ログー作成する/しない	off			
5	色の設定-予定/予定(確定)	0x00ffff00			
6	色の設定-エラー停止	0x000000ff			
7	色の設定-ダイアログ	0x000080ff			
3	色の設定−応答待ち	0x000080ff			
9	色の設定-実行中異常[待合]/実行中異常[終了待ち]/実行中異常/異常終了	0x000000ff			
C	色の設定-実行中[警告][待合]/実行中[警告][終了待ち]/実行中[警告]	0x0000ffff			
1	色の設定-実行中[待合]/実行中[終了待ち]/実行中	0x0000ffff			
2	色の設定-中断	0x000000ff			
3	色の設定一分岐スキップ	0x00c0c0c0			
1	色の設定-スキップ済/中断済	0x0040ff00			
5	色の設定−警告終了	0x0000ffff			
6	色の設定-スキップ済[同時実行]	0x00919191			
7	色の設定-正常終了	0x0040ff00			
3	色の設定-待ち合わせ対象無し	0x0040ff00			
э					
	version input report \$7721.97				

図3.31 システム環境設定帳票シート

R16.1以降のバージョンでは、色の設定のパラメータも出力されます。 パスワード関連のパラメータの値は「***」と表示されます。

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.11. パーミッション設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「パーミッション設定」を選択してください。作成されるシート 名は「パーミッション設定」となります。この帳票シートではパーミッション設定の全パラメータが出力され ます。本シートのパラメータおよび値の意味については、 <環境構築ガイド>の9章 「ユーザ権限(パーミッ ション設定)」を参照してください。



図3.32 パーミッション設定帳票シート



3.5.12. マシン一覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「マシン一覧」を選択してください。作成されるシート名は「マシン一覧」となります。この帳票シートではマシン一覧の全パラメータが出力されます。本シートのパラメータおよび値の意味については、 <基本操作ガイド>の「10.1 マシン一覧へマシンを追加する」を参照してください。

たく)	レホーム	挿入 ページ	ジレイアウト 数式 データ	校開 表示	開発					
	_		C							
1	Ŧ	\times \checkmark	Ĵx							
2	A	в	С	D	E	F	G	н	I	J
	1									
	2	マシン名	バラメータ名	値						
	3	jobmanager								
	4		マシンID	1						
	5		NQSタイプ	nec						
	6		メールアドレス							
	7		デフォルトのユーザマッピン	9						
	8		デフォルトのグルーブマッピ	ング						
	9		グループマッピング							
	10		ユーザマッピング							
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	21									
	28									
	29									
	30									
		areion innu	t roport 75.0-F						: 4	

図3.33 マシン一覧帳票シート



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。



3.5.13. マシングループ

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「マシングループ」を選択してください。作成されるシート名は「マシングループ」となります。この帳票シートではマシングループに参加しているマシン名が出力されます。マシングループについては、 <環境構築ガイド>の「3.1.3 マシングループ構成 (Job Director CL/Winからの登録)」を参照してください。

	🖬 🤊 -	(°1 ~) =				jc_rep	ort - Microso	ft Excel						r x
9	ホーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データー 相	交開 表示							@ -	σx
	A1		• (• f _x											×
4	А	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	М	-
1]												
2		マシン名												
3		testserve	r											
4														
5														
6														
7														_
8														
9														
11														
12														
13														
14														
15														
16														-
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														U
31														
32														
33				141 - D - A							-			×
	N vers	on / input /	/report L マシン	<u> </u>	V					1				
コマンド												U 100% 🕞		(+)

図3.34 マシングループ帳票シート



本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.14. デフォルトパラメータ

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「デフォルトパラメータ」を選択してください。作成されるシート名は「デフォルトパラメータ」となります。この帳票シートではJob Directorの全ユーザのデフォルトパラメータに設定されているパラメータの名前と値が出力されます。本帳票シートのパラメータおよび値の意味については<環境構築ガイド>の6章 「Job Director部品パラメータおよび環境の設定変更」 を参照してください。

🚺 🖯 🏷 🗟 ·	Ŧ		jc_report.xlsm - Excel			? 💿	– 🗆 ×
ファイル ホーム 挿	入 ページレ	イアウト 数式 ラ	データ 校閲 表示 アドイン チーム				- 0
		p					
A1 * :	$\times \checkmark J$	x					
1 2 3 🖌 A	в	С	D	E	F	G	н
1	1						
2	ユーザ名	タイプ	バラメータ名	値			
- 3	nsumsmgr						
- 4		ジョブネットワーク					
· 5			スケジュール				
· 6			エラー時の自動停止	def			
· 7			メール送信	off			
· 8			予想実行時間-指定方法	cal			
· 9			予想実行時間-時間	0			
· 10			コメント				
11			デフォルト 投入キュー				
· 12			補正時刻	00:00			
· 13			メール-FROM				
· 14			メールー件名				
· 15			メール-TO				
· 16			メール-本文				
17			同時起動可能数起動数	-			
· 18			同時起動可能数-待ち状態	wait			
· 19			ERPジョブの自動スタート	def			
· 20			シミュレーション実行	off			
· 21			メール-00				
· 22			超過警告	off			
· 23			メール-SMTPサーバ				
· 24			終了予定時刻超過時	def			
· 25			実行開始点-警告時刻	00.00			
· 26			実行終了点-警告時刻	00:00			
· 27			クリティカルポイント-検査箇所	start			
· 28			クリティカルポイント-警告動作の有無	off			
· 29			実行開始点-自動操作	off			
L · 30			実行終了点自動操作	off			
- 31		単位ジョブ					
 version 	on input	report 7771	トパラメータ 🕀				Þ
准備完了					■ ■		100%

図3.35 デフォルトパラメータ帳票シート





3.5.15. キュー複合体

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「キュー複合体」を選択してください。作成されるシート名は 「キュー複合体」となります。この帳票シートではNQSのキュー複合体のパラメータが出力されます。本帳票 シートのパラメータおよび値の意味については、NQS関連の章を確認して頂く必要があるので <NQS機能利用 の手引き>の「5.4 Job Directorキュー複合体の作成」を参照してください。

アアイル	∃ 5 • ホ−∠	<i>○ * ∓</i> 」 挿入	ページ レイアウト 数式	jc_report.xlsm - Excel データ 校閲 表示 アドイン チー	A			? 🗷 – 🗆
A1	- -	: 🗙	$\sqrt{f_x}$					
1 2		Α	В	С	D	E	F	G
	1				/+			
	2		キュー復合体名	ハラメーダ名	10			
무.	3		complexI	+	-1			
	4			+	ai - 2			
	6			同時実行可能物	2			
	7			フーザ毎の同時実行可能数	unlimited			
	8			グループ毎の同時実行可能数	unlimited			
Ē.	9		complex2	270 2-2011-12CH 100AA				
T.	10			キュー名	al			
	11			_	a2			
· ·	12				b1			
1.1	13			同時実行可能数	1			
· ·	14			ユーザ毎の同時実行可能数	unlimited			
Ŀ	15			グループ毎の同時実行可能数	unlimited			
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
4	24	version	input report ‡	7-複合体 ④				
*****=	7	10.001	inport report		_	E E		130%

図3.36 キュー複合体帳票シート

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.16. 管理者リスト

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「管理者リスト」を選択してください。作成されるシート名は 「管理者リスト」となります。この帳票シートではNQSの管理者権限のパラメータが出力されます。本帳票 シートのパラメータおよび値の意味については、NQS関連の章を確認して頂く必要があるので<NQS機能利用の 手引き>の「5.8 Job Director 管理者の登録」を参照してください。

AI * :	$\times \checkmark f_x$							
A	В	С	D	E	F	G	Н	
1	_							
2	ユーザID	マシンID	特権タイプ					
3	0	3	m					
4	205	3	m					
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

図3.37 管理者リスト帳票シート

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.17. デーモン設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「デーモン設定」を選択してください。作成されるシート名は 「デーモン設定」となります。この帳票シートではデーモン設定ファイル(daemon.conf)に設定された各パ ラメータが出力されます。また、ローカルサイト専用またはクラスタサイト専用のデーモン設定ファイルが存 在する場合は、あわせて表示されます。Job Directorのデーモン設定の詳細は<環境構築ガイド>の5章 「Job Director起動時の設定を変更する」を参照してください。

8	ي د ه	> ∓	:	jc_report.xlsm - Excel	?	• -	1
۲J	レホーム	挿入 ページレイアウト	、 数式 データ 校開	表示 アドイン チーム		Ŧ	1
	*	$\times \checkmark f_x$					
2	AA	В	С	D	Е	F	
	1						
	2	デーモン設定ファイ	ル バラメータ名	値			
	3	共通					
	4		local_daemon	SITE			
	5	ローカルサイト					
	6		ipaddress	192.168.0.1			
	7		NGSDAEMON_OPT	-x errmail=OFF.ofauth=JNW,macgroup_check=600			
	8		JNWENGINE_OPT	-os			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	31						

図3.38 デーモン設定帳票シート





クラスタサイトの構成情報のJPFファイルをReportHelperに読み込ませた場合、共通およびローカ ルサイトのデーモン設定は出力されません。



クラスタサイトのデーモン設定のパラメータを出力する場合、クラスタサイトのサイト名が「デー モン設定ファイル」の項目に出力されます。

3.5.18. イベント設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「イベント設定」を選択してください。作成されるシート名は 「イベント設定」となります。

■Linuxの場合

Linux版のイベント設定ファイル(jnwcaster.conf)に設定されているパラメータを出力します。Linux版のイベント設定ファイルについての詳細は<環境構築ガイド>の「11.2.2 イベント設定ファイル」を参照してください。

	* :	× / fr								
1		B	C	D	F	F	G	н	I	
1	1		Ű.				u u			
	2	バラメータ名	値							
	3	LOGFILE	/dev/null							
	4	LOGSIZE	0							
	5	SEND MSG ESTOP	ON							
	6	NØSEVENT	OFF							
	7									
	8									
	9	バラメータ名	イベント名	MESSAGE	LOG					
	10	EVENT								
	11		jnwsv.jnw.root.start	OFF	OFF					
	12		jnwsv.jnw.root.end	OFF	OFF					
	13		jnwsv.jnw.sub.start	OFF	OFF					
	14		jnwsv.jnw.sub.end	OFF	OFF					
_	15		jnwsv.jnw.ovt	OFF	OFF					
_	16		jnwsv.jnw.cri	OFF	OFF					
2	17		jnwsv.dialog.start	OFF	OFF					
2	18		jnwsv.dialog.end	OFF	OFF					
1	19		jnwsv.eventsend.start	OFF	OFF					
4	20		jnwsv.eventsend.end	OFF	OFF					
1	21		jnwsv.eventsend.timeout	OFF	OFF					
1	22		jnwsv.eventrecv.start	OFF	OFF					
1	23		jnwsv.eventrecv.end	OFF	OFF					
1	24		jnwsv.eventrecv.timeout	OFF	OFF					
1	25		jnwsv.uj.start	OFF	OFF					
1	26		jnwsv.uj.end	OFF	OFF					
1	27		jnwsv.uj.err	OFF	OFF					
	28		inwsv uieston	IOFF	IOFE					

図3.39 イベント設定帳票シート (Linuxの場合)

帳票シートに出力されるパラメータ「EVENT」の詳細は、<環境構築ガイド>の「11.2.4 イベント一覧」を 参照してください。

■Windowsの場合

Job Directorサーバの環境設定の[イベント]タブ、[ログ]タブに設定されているパラメータを出力します。Windows版のイベント設定の詳細については、<環境構築ガイド>の「11.3 Windows版のイベント連携」を参照してください。

	5 • @• =		jc_report.xlsr	n - Excel				?	ē —
イル	ホーム 挿入	ページ レイアウト 数式	データ 校開 表示 ア	イン チーム					-
		< 🖌 fx							
2	А	В	C	D	Е	F	G	н	I
1									
2		バラメータ名	サブバラメータ名	値					
3		LOGFILE		OFF					
4		FILEPATH		NULL					
5		FILESIZE		256					
6		BACKUPNUM		1					
7		SEND_MSG_ESTOP		ON					
8		SEND_MSG_0 VO_EVT		OFF					
9		OPCMSG							
10	1		APL	JobCenter					
11			OBJ	Job					
12			GRP	JNW					
13	E								
14	k l								
15	i	バラメータ名	イベント名	MESSAGE	LOG	SEV			
16		EVENT							
17			jnwsv.jnw.root.start	OFF	OFF	0			
18	:		jnwsv.jnw.root.end	OFF	OFF	0			
19			jnwsv.jnw.sub.start	OFF	OFF	0			
20	1	1	jnwsv.jnw.sub.end	OFF	OFF	0			
21]	jnwsv.uj.start	OFF	OFF	0			
- 22]	jnwsv.uj.end	OFF	OFF	0			
23			jnwsv.dialog.start	OFF	OFF	0			
24	1	1	jnwsv.dialog.end	OFF	OFF	0			
25	i l		jnwsv.sapj.start	OFF	OFF	0			
26		1	jnwsv.sapj.end	OFF	OFF	0			
27			inwsv.inw.ovt	OFF	OFF	0			
28	3	1	jnwsv.uj.ovt	OFF	OFF	0			
	1			1					

図3.40 イベント設定帳票シート (Windowsの場合)

帳票シートに出力されるパラメータ名と、サーバの環境設定の各タブで設定できる項目名との対応表は表 3.1「帳票のパラメータ名とサイトのプロパティの項目名の対応表」になります。帳票シートに出力されるパ ラメータ「EVENT」の詳細は、Linux版と同様ですので、<環境構築ガイド>の「11.2.4 イベント一覧」を参 考にしてください。

パラメータ名	サーバの環境設定の タブ名	設定項目名
LOGFILE	ログ	ログファイルを出力する
FILE_PATH		ファイル名
FILESIZE		ファイルサイズ
BACKUPNUM		バックアップ数
SEND_MSG_ESTOP	イベント	エラー停止時のイベントを送信
APL	パラメータ - APL (アプリケー ション名)	
OBJ	パラメータ - OBJ (オブジェクト名)	
GRP	パラメータ - GRP (メッセージグ ループ)	

表3.1 帳票のパラメータ名とサイトのプロパティの項目名の対応表

表3.2 帳票のSEVとセベリティの対応表

SEV	セベリティ
0	NOMAL
1	WARNING
2	MINOR
3	MAJOR
4	CRITICAL



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。 その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.19. イベント定義

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「イベント定義」を選択してください。作成されるシート名は 「イベント定義」となります。この帳票シートでは、Job Directorのイベント連携機能を使用する場合のイベ ントログファイルに出力するイベントおよびAPIで通知するイベントのフォーマットに関する設定が出力されま す。

■Linuxの場合

Linux版のイベント定義ファイル(jobmsg.conf)に設定されているパラメータを出力します。Linux版イベント 定義ファイルについての詳細は<環境構築ガイド>の「11.2.3 イベント定義ファイル」を参照してください。

xB .	5.	¢° - ∓				jc_report.xlsm - Excel	? 🗈 – 🗆 🗙
ファイル	ホーム	ム 挿入	ページレイフ	アウト 数式 データ 校開	まます アドイン	Ŧ-Ь	- C
			0				
A1	*	×	√ fx				×
1 2 3		Α	в	с	D	E	
	1			-			
	2	1	《ラメータ名	イベント名	サブバラメータ名	値	
	3	C	DPCMSG				
	4			opomsg.default			
	5				APL	JobCenter	
· ·	6				OBJ	Job	
	7				SEV	NORMAL	
· ·	8				GRP	JNW	
L.	9				NODE	%occur%	
	10			notice.daemon.startup			
L.	11				NODE	%sitename%	
	12			notice.daemon.shutdown			
LL ·	13				NODE	%sitename%	
_	14	T	IMEFMT				
	15				starttime1	%c	
	16				starttime2	%R	
	17				endtime1	%T	
L •	18				endtime2	%R	
	19						
	20						
_	21	1	《ラメータ名	イベント名	メッセージID	メッセージ Body	
	22	E	EVENT				
	23			notice.daemon.startup	0x0151	NODE_DAEMON_START	
	24			notice.daemon.shutdown	0x0152	NODE_DAEMON_STOP	
	25			jnwsv.jnw.root.start	0x2001	JNW_START "%jnwname%"(%jnwuser%) %starttime1%	
	26			jnwsv.jnw.root.end	0x2002	JNW_END "%jnwname%"(%jnwuser%) %endtime1% %jnwstat%	
	27			jnwsv.jnw.sub.start	0x2001	JNW_START "%jnwname%"(%jnwuser%) %starttime1%	
	28			jnwsv.jnw.sub.end	0x2002	JNW_END "%jnwname%" (%jnwuser%) %endtime1 % %jnwstat%	
	29			jnwsv.jnw.ovt	0x2004	JNW_TOTAL_TIME_EXCEEDED "%jnwname%"(%jnwuser%) %starttime1%	
	30			jnwsv.jnw.cri	0x2009	JNW_CRITICAL_POINT_CHECK "%jnwname%"(%jnwuser%) %starttime1%	
	31			jnwsv.dialog.start	0x2010	JNW_DIALOG_START "%jnwname%"(%jnwuser%) DIALOG:"%ujname%".%dialog-msg%	
	32			jnwsv.dialog.end	0x2011	JNW_DIALOG_END "%jnwname%"(%jnwuser%) DIALOG:"%ujname%" %dialog=msg%	
	33			linwsveventsend start	lov2020	I. INW EVENTSEND START "%inwname%%uiname%"(%inwuser%)	
4	•	version	input	report イベント定義	+	: 4	
準備完了	ĩ					IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	+ 100%

図3.41 イベント定義帳票シート (Linuxの場合)

■Windowsの場合

Windows版のイベント定義ファイル(JNWEXEjobmsg.conf)に設定されているパラメータを出力しま す。Windows版のイベント定義ファイルについての詳細は<環境構築ガイド>の「11.3.3 イベント定義ファイ ル」を参照してください。



図3.42 イベント定義帳票シート (Windowsの場合)



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。



本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.20. エラーログファイルの設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「エラーログファイルの設定」を選択してください。作成される シート名は「エラーログファイルの設定」となります。この帳票シートでは、Job Directorに設定されている エラーログファイルのサイズやバックアップ数の値が出力されます。

■Linuxの場合

Linux版のエラーログファイルの設定ファイル(log.conf)に設定されているパラメータを出力します。Linux版のエラーログ設定ファイルについての詳細は<環境構築ガイド>の「22.2.2 Linux版」を参照してください。

71	ル ホーム	挿入 ページ レイアウト	数式 データ 校開 表	- 示 アド-	イン チーム						Ŧ
1		$\times \checkmark f_r$									
2	•	B	0	L n L	F	F	G	н	т		
-	1	-	0	0	L		u		1		-
	2	バラマーク名	サブバラメータ名	値							
	3	INMENGINE		102							
	4	of the tout te	JNWENGINE LOG SIZE	4096							
	5		JNWENGINE LOG NUM	5							
	6	INMCASTER									
	7	- Contribute rent	JNWCASTER LOG SIZE	4096							
	8		JNWCASTER LOG NUM	5							
	9	COMAGENT		-							
	10		COMAGENT LOG SIZE	4096							
	11		COMAGENT LOG NUM	5							
	12	SCLAUNCHD		-							
	13		SCLAUNCHD LOG SIZE	4096							
	14		SCLAUNCHD LOG NUM	5							
	15	JODES									
	16		JODES LOG SIZE	4096							
	17		JODES LOG NUM	5							
	18	CJCPW									
	19		CJCPW LOG SIZE	4096							
	20		CJCPW LOG NUM	5							
	21	JNWMAN									
	22		JNWMAN LOG SIZE	4096							
	23		JNWMAN LOG NUM	5							
	24	JNWLAUNCHER		-							
	25		JNWLAUNCHER LOG SIZE	4096							
	26		JNWLAUNCHER LOG NUM	5							
	27	JL SUBMIT									
	28		JL SUBMIT LOG SIZE	4096							
	29		JL SUBMIT LOG NUM	5							
	30	JL LOGMONIT OR									
	31	-	JL_LOGMONIT OR_LOG_SIZE	4096							
	32		JL LOGMONITOR LOG NUM	5							
	33										
7		orgion input rog	ant エラーログファイルの設定	(A)						La L	

図3.43 エラーログファイルの設定帳票シート (Linuxの場合)

■Windowsの場合

Job Directorサーバの環境設定の[デバックログ]タブに設定されているパラメータを出力します。Windows版のエラーログファイルの設定のパラメータの詳細については。Windows版のエラーログ設定ファイルについての詳細は<環境構築ガイド>の「22.2.1 Windows版」を参照してください。

・ 1 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<></th1<>	ÚI	ホーム	挿入 ページレ	イアウト 数式 データ 校開	表示	アドイン チ	-L					Ŧ
A B C D E F G H I J 1 1 1/5x-92 サブバラメータ名 1		· ·	$\times \checkmark f_{\lambda}$	r								
1 $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ 2 $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ 3 $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ $1/5J - 92$ 5 $1/5J - 92J$ $1/5J - 92J$ $1/5J - 92J$ 6 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 4096 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 7 $5 - 10^{-1}J + 7(X E)$ 4096 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 8 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 4096 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 9 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 4096 $1/5J - 92J + 7(X E)$ 9 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 10 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 11 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 12 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 14 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 16 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 16 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 17 $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ $000 - 00ff$ 18 $000 - 00ff$		A	в	С	D	Е	F	G	н	I	J	ł
$\begin{array}{c c c c c c c } 2 & \hline y / x / x / y / x / y / y - y / x / (x / y) & (x / y / x / y / y / y / y / x / (x / y) & (x / y / x / y / y / y / y / x / x / (x / y) & (x / y / x / y / y / y / x / x / y / x / y / y$		1										
3 サイズ設定 歳大火ウセンサイズ(E)(P) 256 5 #細口グサイズ(KB) 4066 7 アーログリズズ(KB) 4066 8 詳細口グ対索		2	バラメータ名	サブバラメータ名	値							
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $		3	サイズ設定									
		4		最大メッセージサイズ(Byte)	256							
6 $x - y - D^2 y - Z(k \oplus)$ 4066 7 $V = V - y - Z(k \oplus)$ 5 8 ###0791# calcal off 10 object off 1 11 object off 1 12 jobs off 1 13 joservice off 1 14 joservice off 1 15 jusmit off 1 16 jnwarchdif off 1 18 jmwarchdif off 1 19 marc off 1 20 marc off 1 1 21 marc off 1 1 22 gapcind off 1 1 23 qwb off 1 1 1 24 sapplent off 1 1 1 1 1 1 24 sapplent off 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		5		詳細ログサイズ(KB)	4096							
T Y=y7-y-jth S 9 \$#40-73 pt		6		エラーログサイズ(KB)	4096							
8 詳細口グ対象 0 calcal off 10 cbp////cbp//cbp///cbp///cbp//cbp///cbp///cbp///cbp//cbp///cbp//cbp//cbp///cbp		7		バックアップ数	5							
9 calcal off 10 comagent off 11 comagent off 12 jodts off 13 josenica off 14 J.gemnitor off 15 J.gumnit off 16 jnwengine off 17 jnwengine off 18 jnwengine off 19 jnwengine off 20 mkursgrp off 21 mkursgrp off 22 gabent off 23 qwb off 24 sapplent off 25 sappond off 26 solaunchd off 27 setuarpmd off 28 trkrdr off 29 umscient off 29 umscient off		8	詳細ログ対象									
0 0 ckp// off 11 consagent off 12 jodks off 13 joservice off 14 jl.ogenvice off 15 jl.ogenvice off 16 jrveragine off 17 jrveragine off 18 jrveran off 19 jrveragine off 20 mkarc off 21 mkursagra off 22 geb off 23 geb off 24 sagolient off 25 sagolient off 26 sagolient off 27 getuserpuid off 28 trkindr off 29 ursclient off 29 getuserpuid off 20 ursclient off 21 mkursagra off 33 getuserpuid		9		calcal	off							
11 consigent off 12 jotks off 13 josevice off 14 J.bugmnitor off 15 Jaukmit off 16 jwwargine off 17 jwwatchdf off 18 jwwatchdf off 19 jwwatchdf off 20 mkrc off 21 mkursgro off 23 qwb off 24 sacplent off 25 sappmd off 26 solaunchd off 27 setuserpwd off 28 trkarch off 29 trkarch off 29 umsclient off		10		cjcpw	off							
12 jodes off 13 joservice off 14 j.logmonitor off 15 j.logmonitor off 16 jivergine off 17 jivergine off 18 jivergine off 19 jivewatchdif off 20 mkarc off 21 mkurszgro off 23 qeb off 24 sapoint off 25 sapoint off 26 sapoint off 27 getuerpud off 28 trkard off 29 ursclent off 29 getuerpud off		11		comagent	off							
13 joservice off 14 J. Jogmonitor off 15 J. submit off 16 inversigne off 17 invlauncher off 18 jnvman off 19 inversigne off 20 mkarc off 21 mktridata off 23 qwb off 24 sapplent off 25 sapplent off 26 sclaunchd off 27 setuerpwd off 28 trkraft off 29 trkraft off 29 umsclient off		12		jodbs	off							
14 ILegronitor off 15 ILeutomit off 16 Invergine off 17 Invelsancher off 18 Inverson off 19 Inverson off 20 mkarc off 21 mkarca off 22 mkursgro off 23 avb off 25 sapclint off 26 sclaunchd off 27 setuerpud off 28 trivar, off off 29 unsclient off 20 unsclient off		13		jcservice	off							
J_sumit off 6 jnwengine off 77 jnwlaunober off 18 jnwwatchdif off 19 jnwatchdif off 20 miarc off 21 mktridata off 22 mkunsgrp off 23 qxb off 25 sapclint off 26 colaunobd off 27 setuerprod off 28 trkord off 29 trkord off 29 unsclent off		14		jl_logmonitor	off							
Invergine off 17 jmwarcher off 18 jmwarch off 19 jmwarch off 20 mkarc off 21 mkursgrp off 23 qeb off 24 sapclint off 25 sapclint off 26 sclaunchd off 27 setuarprwd off 28 tfradr off 29 umsclient off 29 off off 29 umsclient off		15		jl_submit	off							
Invitation Invitation 18 Invitation 19 Invitation 19 Invitation 20 mkarc 21 mktridata 23 qxb 24 sapplient 25 sapplient 26 solaurohd 27 satuserpad 28 thriver 17 off 29 thriver 18 off 29 unsclient 29 unsclient		16		jnwengine	off							
Imman off 19 jnwwatchdf off 20 mkarc off 21 mkrtdata off 22 mkursgrp off 23 geb off 25 sapclent off 26 sokunchd off 27 setusrpwd off 28 trivar off 29 trivar off 29 umsclent off		17		jnwlauncher	off							
19 inwatchdif off 20 mkarc off 21 mkridata off 22 mkridata off 23 qvb off 24 sacclient off 25 sacclient off 26 colaurabd off 27 setuerpwd off 28 trkdr off 29 trkdr off 29 umsclient off 30 umsclient off		18		jnwman	off							
20 mkarc off 21 mktridata off 22 mkumsgrp off 23 op/b off 24 sapolient off 25 sapcend off 26 sclaunchd off 27 setuserpud off 28 trivafr off 29 trivafr off 29 umsclient off		19		jnwwatchdif	off							
1 mktridata off 2 mkumsgro off 23 gvb off 24 Sapclient off 25 Sapcond off 26 sckunchd off 27 setuerpwd off 28 trkdr off 29 trksrch off 30 jumsclient off		20		mkarc	off							
22 mkumsgrp off 23 qvb off 24 sapplent off 25 sappend off 26 solaunohd off 27 setuerpred off 28 triver off 29 triver off 29 umsclient off		21		mktrkdata	off							
gab off 24 sapclent off 25 sapcmd off 26 scluenchd off 27 setuerpwd off 28 thrkdr off 29 thrkorh off 30 umsclient off		22		mkumsgrp	off							
24 sacellent off 25 sacend off 26 sclaunchd off 27 sstuaerpxd off 28 trivar off 29 trivar off 0 umsclent off		23		qwb	off							
25 sapond off 26 solaunchd off 27 setuserpxd off 28 trkdr off 29 trksrch off 30 umsclient off		24		sapclient	off							
26 colaunchd off 27 satuarpwd off 28 trkwr off 29 trkwr off 30 umsclient off		25		sapcmd	off							
27 setuserpwd off 28 trfwdr off 29 trfwsrch off 30 umsclient off		26		sclaunchd	off							
28 trkndr off 29 trksrch off 30 jumsclient off		27		setuserpwd	off							
29 trksrch off 30 umsclient off		28		trkrdr	off							
30 umsclient off		29		trksrch	off							
24		30		umsclient	off							
31		31										

図3.44 エラーログファイルの設定帳票シート (Windowsの場合)

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.21. jcdbs設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「jcdbs設定」を選択してください。作成されるシート名は 「jcdbs設定」となります。この帳票シートではjcdbs設定ファイル(Linux:jcdbs.conf, Windows:jcdb.conf)に 設定されている各パラメータが出力されます。jcdbs設定ファイルについては製品部門から指定された場合を除 き既定値で運用してください。

💵 🔒 ファイル	5 • С ホ-д	· 挿入 ペー	ジレイアウト 蜀	式 データー	jc_report.xlsm - Excel 校開 表示 アドイン チーム		? 🖭 -	× = - - P
A1		XV	fx					~
1 2		Α		В	С	D	Е	F
	1							
	2		jcdbs設定	ミファイル	パラメータ名	値		
Ļ.	3		共通					
- · .	4				daemonize	yes		
	5				unixsocketperm	777		
· .	6				timeout	0		
- ·	7				loglevel	notice		
1.1	8				databases	16		
	9				rdbcompression	yes		
1.1	10				dbfilename	dump.rdb		
	11				slave-serve-stale-data	yes		
· ·	12				appendonly	yes		
	13				appendfilename	jcdbs.aof		
	14				appendfsync	everysec		
1.1	15				no-appendfsync-on-rewrite	no		
	16				auto-aof-rewrite-percentage	100		
.	17				auto-aof-rewrite-min-size	64mb		
· ·	18				slowlog-log-slower-than	-1		
.	19				slowlog-max-len	1024		
	20				hash-max-ziplist-entries	512		
•]	21				hash-max-ziplist-value	64		
	22				list-max-ziplist-entries	512		
	23				list-max-ziplist-value	64		
	0.4		1	a II. 80.ch	L	TE 10		
4 1	V	ersion inp	ut report	JCODS設定	•		: •	

図3.45



本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.22. jnwschprtコンフィグレーション

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「jnwschprtコンフィグレーション」を選択してください。作成 されるシート名は「jnwschprtコンフィグレーション」となります。この帳票シートではjnwschprtコマンドの コンフィグレーションファイル(jnwschprt.f)の内容がユーザごとに出力されます。jnwschprtコマンドのコン フィグレーションファイル(jnwschprt.f)の詳細については、<コマンドリファレンス>の「3.2.2.1 コンフィグ レーションファイル」を参照してください。

XII 🔒	ち ・ ご・ 。 ホーム 挿入 ペ	ージレイアウト 数式 テ	jc_report.xism - Excel データ 校闘 表示 アドイン チーム		? 💌 —	× • P
A1	• • • × •	f_x				~
	Α	В	С	D	Е	^
1						
2		ユーザ名	jnwschprt.f			
3		共通	-p 8:00 -a -C +c			
4		nsumsmgr	-s -p 7:00			
5		jcuser1	-s -p 8:00			
6		jcuser2	-s -p 9:00			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
	input repo	ort jnwschprtコンフィグ	->=> (+)		: •	V V
準備完了				# B #	+ :	205%

図3.46 jnwschprtコンフィグレーション帳票シート

本帳票シートを作成するためには、構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。



サイト共通のjnwschprt.fファイルについては、「共通」というユーザ名でパラメータと値が出力されます。

3.5.23. ユーザー覧

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「ユーザー覧」を選択してください。作成されるシート名は 「ユーザー覧」となります。

■Linuxの場合

Job Directorに登録されているユーザのユーザ名とユーザIDを出力します。

12目 日 ち ・ c ³ ・ ≠ jc_report.xism - Excel ? □ - □ X ア/1/ ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校園 表示 アドイン チーム · □												
A1	• • • × •	fx			~							
	Α	В	С	D	E							
1												
2		ユーザ名	ユーザID									
3		root	0									
4		user1	1									
5		user2	2									
6		user3	3									
7		user4	4									
8		nsumsmgr	1001									
9		jcuser_1	1002									
10												
11												
12												
13												
14												
15	input roport											
準備完了	, i input i report				+ 220%							

図3.47 ユーザー覧帳票シート (Linuxの場合)

■Windowsの場合

Job Directorに登録されているドメイン名、ユーザ名、ユーザIDを出力します。

XI .	5 • ∂• ∓		jc_report.xlsm - Excel		?	s – s ×
ファイル	ホーム 挿入	ページレイアウト 数式 データ	校開 表示 アドイン ヨ	F-L		- [4]
A1	▼ : × .	$\checkmark f_x$				v
	Α	В	С	D	E	F
1						
2		ドメイン名	ユーザ名	ユーザID		
3		CORP	Administrator	0		
4		CORP	win_user1	1		
5		CORP	win_user2	2		
6		CORP	win_user3	1001		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
•	→ input re	eport ユーザー覧 🕂			: •	•
準備完了					+	

図3.48 ユーザー覧帳票シート (Windowsの場合)



3.5.24. jcres設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「jcres設定」を選択してください。作成されるシート名は「jcres 設定」となります。この帳票シートではjcresの動作の設定ファイル(jcres.conf)のパラメータ名と値が出力さ れます。jcresの動作の設定ファイル(jcres.conf)の詳細については、<コマンドリファレンス>の「3.30.3 設定 ファイル」を参照してください。

xI 🔒	5 °		jc_	report.xls	m - Exo	el			? 🖸	• <u> </u>		×
ファイル	ホーム 挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	アドイン	チーム			-	0
A1	• : X	$\checkmark f_x$										¥
A	В	С		D		E	F	G		Н		
1		夕储									_	-
3		Lusr/smol/r	nns/ln.o	_							_	-
4	PORT	50080		_								
5	IPADDRES	S 192.168.0.1										
6												
7												
8												_
9												-
10												-
11												-
12												-
14												
15											-	
16												
17												
18												
19												
	version	input repo	ort jo	res設定	9	Ð				4		•
準備完了						III			-	-+	1009	%

図3.49 jcres設定帳票シート



3.5.25. 言語環境

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「言語環境」を選択してください。作成されるシート名は「言語 環境」となります。この帳票シートではLinux版のJob Directorのnssetup時に選択した言語環境の環境変数 LANGの内容が出力されます。

XI 🔒	ن ک	⊘		jc_	report.xls	m - Exc	el		?		□ ×
ファイル	木	ム 挿入	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	表示	アドイン	チーム		
A1		- : 🗙	$\sqrt{f_x}$								¥
	A	В	С	D	E		F	G	Н	I	
1		<u> </u>									
2		バラメータ	名値								
3		Lang	ja_JP.SJIS								
4											
5											
0											
0											
0											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
•	·	input	report 言語	環境	+					:	
準備完了							E			+	100%

図3.50 言語環境帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Linux版のローカルサイトの構成情報のJPFファイルを読み込む 必要があります。

3.5.26. 文字コード変換の設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「文字コード変換の設定」を選択してください。作成されるシー ト名は「文字コード変換の設定」となります。この帳票シートではLinux版のJob Directorの文字コード変換 (EUC ← → SJIS)の設定ファイル(codecnv.cnf)に設定した通信相手のホスト名が出力されます。Linux版のJob Directorの文字コード変換(EUC ← → SJIS)の設定ファイル(codecnv.cnf)の詳細については、 <環境構築ガイド >の「8.2.1.1 SJIS側のLinux版Job Directorの文字コード変換を設定する」を参照してください。

XI .	5-∂			jc_report.xlsr	n - Excel			? 🗹	– 🗆 ×
ファイル	ホーム 挿入	ページ レイブ	까가 数式	式 データ	校閲	表示 アト	ドイン チーム		- 0
A1	×	$\checkmark f_x$							~
	АВ	С	D	E	F	G	Н	Ι	J 🔺
1									
2	マシン名								
3	svserver1								
4	svserver2								
5	svserver3								
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
10									
10									
10									
10									
20									
20									
22									
23									
	version	input	report	文字コード変換	の設定	+		: •	
準備完了] 🔳	-	— + 100%

図3.51 文字コード変換の設定帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Linux版のローカルサイトの構成情報のJPFファイルを読み込む 必要があります。

3.5.27. .nsifrc

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「.nsifrc」を選択してください。作成されるシート名は 「.nsifrc」となります。この帳票シートではJob Directorの全ユーザの.nsifrcファイルの内容が出力されま す。.nsifrcファイルの詳細については<環境構築ガイド>の「14.1 Linux版Job Directorの環境変数」を参照し てください。

XI .	5 -∂-∓	jc_report.xlsm -	Excel			? 🗹 –	- ×
ファイル	ホーム 挿入	ページレイアウト 数式 データ 校閲	表示 アドイン	ン チーム			0
A1		A fr					5. 4
AI		✓ Jx					•
	A B	С	D	E	F	G	H 🔺
1		and the					
Z	<u>エーリる</u>						
		PARAM2=VAL					
	nsumsmgr	PARAM3=VAL3					
		export PARAM1 PARAM2 PARAM3					
3							
		PARAM1=VAL1					
		PARAM2=VAL2					
	testuser1	PARAM3=VAL3					
		export PARAM1 PARAM2 PARAM3					
4							
	testuser2	PARAMZ-VALZ					
5							
Ŭ		PARAM1 =VAL1					
	testuser3	export PARAM1					
6							
7							
8							
9							
10							
10							
121	version	input report nsifrc (+)				: .	
**	-				ı		100%
凖偏元」						+	100%

図3.52 .nsifrc帳票シート



3.5.28. 名前解決設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「名前解決設定」を選択してください。作成されるシート名は 「名前解決設定」となります。この帳票シートではresolv.defファイルに設定されているIPアドレスとホスト 名が出力されます。resolv.defファイルについては、<環境構築ガイド>の「2.3.2 resolv.defを利用した名前解 決」を参照してください。

XI .	Image: 1 5 × c² × ≠ jc_report.xlsm - Excel ? Image: 1 Image: 2 Im												
ファイル	木-	ム 挿入	ページ レイアウト	数式 データ	7 校閲 表	示 アドイン	チーム					- 0	
A1		• : X	✓ fx									*	
1 2		А	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J		
	1		<u> </u>										
	2		IPアドレス	ホスト名									
L	3		192.168.1.1										
Ľ,	4			mgsite									
L-1 .	5		192.168.1.2										
L ·	6			s∨site									
	/												
	8												
	9												
	10												
-	10												
	10												
	1/1												
	15												
	16												
-	17												
	18												
	19												
	20												
	21												
	22												
	23												
	•	version	input repor	t 名前解決語	定						•		
準備完了	7								III (II	+	130%	

図3.53 名前解決設定帳票シート

本帳票シートを作成するためには、Windows版のローカルサイトの構成情報のJPFファイルを読み 込む必要があります。

3.5.29. サイトリスト

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「サイトリスト」を選択してください。作成されるシート名は 「サイトリスト」となります。この帳票シートでは作成したクラスタサイトのサイト名とサイトデータベース のパスが出力されます。

XI 🔒	5 -∂	- -		jc_rep	ort.xlsm - Excel			?	困 – ■ ×
ファイル	ホーム	挿入 ページレ	イアウト 数式	データ 校閲	表示 アド	ミイン チーム			- 0
A1		$\times \checkmark f$							~
7.4									¥
	A	В	C	D	E	F	G	Н	I
1									
2		サ小名	DBバス						
3		clustersite	C:¥cluster						
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
	ve	rsion input	report サイ	HJZH (†				: [•
準備完了							₩ 🗉 💾	J+	

図3.54 サイトリスト帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Windows版のローカルサイトの構成情報のJPFファイルを読み 込む必要があります。

3.5.30. サイト設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「サイト設定」を選択してください。作成されるシート名は「サイト設定」となります。この帳票シートではsite.confファイルに設定されているパラメータ名と値が出力されます。site.confファイルについては、<環境構築ガイド>の「5.6.3 サイト設定ファイル(site.conf)を作成する」を参照してください。

X 🛛 📮	5 - ∂	-			jc_repo	rt.xlsm - Excel			?	不 — □	×
ファイル	ホーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ 校閲	表示 アドイ	ン チーム			-	D
A1	*	\times	√ fx								v
	A		В	С	D	Е	F	G	Н	I	
1]									
2		パラン	(一夕名	値							
3		BOOT	I_TIMEOUT	180							
4		STOF	<u>_TIMEOUT</u>	180							_
5		FORC	EKILL <u>TIME</u>	10							_
6											
7											_
8											_
9											_
11											-
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											-
	Ve	ersion	input repor	t サイト	設定				÷ •		Þ
準備完了								₩ 🗉 💾		+ 13	0%

図3.55 サイト設定帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Windows版の構成情報のJPFファイルを読み込む必要がありま す。

3.5.31. LDAPサーバ設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「LDAPサーバ設定」を選択してください。作成されるシート名は「LDAPサーバ設定」となります。この帳票シートではWindows版Job Directorの「サーバの環境設定」の「LDAPサーバ設定」タブの全パラメータが出力されます。本帳票シートのパラメータおよび値の意味については、<環境構築ガイド>の「10.1.1.1 Job Director側のLDAPサーバ設定」を参照してください。

📓 🔒 5 × C² × ∓ jc_report.xlsm - Excel ? 🛛											
ファイル ホーム	挿入 ページ レイアウト	数式 データ 校開	表示 アド・	イン チーム	4				*	0	
Δ1	× 1 fr										
74	∕	_				_	-				
1 A	В	C		D	E	F	G	Н	1	⊢≜	
2 15	メータ名	値									
3 LDA	Pサーバを利用する	on									
4 サー	-バ名	ldap.domain.co.jp									
5 ボー		389									
6 プレ	フィックス	JCPG									
7 DN	文字列	CN=Users,DC=domain,D	C=co,DC=jp								
8 2-	·ザ名	Administrator									
9 パス	ワード	жжж									
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
20											
20											
28										ΗU	
29										Η_	
	rsion input ren	ort LDAPサーバ設定	(+)					: 1		⊢▼ ▶	
準備完了	in the little		\odot	_	_		ب ا		-+ 100)%	

図3.56 LDAPサーバ設定帳票シート

パスワード関連のパラメータの値は「***」と表示されます。

本帳票シートを作成するためには、Windows版の構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

3.5.32. ジョブ実行環境設定

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「ジョブ実行環境設定」を選択してください。作成されるシート 名は「ジョブ実行環境設定」となります。この帳票シートではjobexe.confファイルに設定されているパラメー 夕名と値が出力されます。jobexe.confファイルについては、<環境構築ガイド>の「12.3.3 ジョブの実行設 定」を参照してください。

XII .	5	- @ - =					jc_report.xlsm -	Excel			?	<u> </u>	×
ファイル	木	ーム 挿入	ページ レイア	ウト 娄	対式 データ 校	肥兄	表示 アドイン	チーム					- 0
A1		• : X	√ fx										¥
1 2		Α	B		C	D	F	F	G	Н	I	J	
	1		1								*		
	2		ユーザネ	5	パラメータ名	値							
-	3		サ小共	 通									
· ·	4				user_profile	0							
L .	5				user_env	1							
_	6		user1										
•	7				user_profile	1							
Ŀ	8				user_env	1							
	9		user2										
	10				user_profile	1							
	11				user_env	1							
	12												
	13												
	14												
	15												
	16												
	17												
	18												_
	19												
	20					_							
4	F.	version	input	report	ジョブ実行環境設定		+				: •		Þ
準備完了	r									₩ 8	<u> </u>	+ 1	30%

図3.57 ジョブ実行環境設定帳票シート



サーバの環境設定の実行設定タブで、ジョブ実行環境の設定を変更している場合、「サイト共通」 というユーザ名でパラメータと値が出力されます。

本帳票シートはExcelのアウトラインのグループ化機能を用いて、行をグループ化してあります。グ ループしてある行はシートの左側の「+」や「-」の箇所をクリックすることで、折り畳んだり展開 することができます。その他のExcelのアウトラインのグループ化の機能についてはExcelのヘルプ を参照してください。



本帳票シートを作成するためには、Windows版の構成情報のJPFファイルを読み込む必要がありま す。

3.5.33. サーバ環境のマッピング情報

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「サーバ環境のマッピング情報」を選択してください。作成されるシート名は「サーバ環境のマッピング情報」となります。この帳票シートではサーバ環境のマッピング情報ファイル(HOSTS.NQS)の全パラメータが出力されます。本シートのパラメータおよび値の意味については、サーバ環境のマッピング情報ファイル(HOSTS.NQS)のコメントを参照してください。

	5.0	- -				? 🖻 — 🗆							
イル	木一ム	挿入 ペー	ージ レイアウト	数式 🗧	データ 校開	表示	アドイン	チーム					*
	* :	$\times \checkmark$	f_x										
2	A	в	С	D	E	F	G	н	I	J	К	L	М
1													
2		マシン名	ユーザ名										
3		svserver1											
4			<u>全て</u>										
5		svserver2											
6			user1	-									
7		svserver3		-									
8			user1										
9			user2	-									
10			user3										
11													
12													
13													
14													
15													
10													
17													
18													
19													
20													
- 21													
22	-												
2.3	-												
25	-												
26													
27													
28													
29													
30													
31													
	1/01	sion in	nut repor	+ ++-10	言语のマッピンパ	青報						: 4	
	Vei	alon m	par liebo	5-74	#940779L77	HHR	U						

図3.58 サーバ環境のマッピング情報帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Windows版の構成情報のJPFファイルを読み込む必要があります。

サーバ環境のマッピング情報ファイル(HOSTS.NQS)のファイルパスは以下になります。

サイト	パス
ローカルサイト	%InstallDirectory%\etc\HOSTS.NQS
クラスタサイト	%Job DirectorDatabaseDirectory%\etc\HOSTS.NQS

%InstallDirectory% は Job Director のインストールディレクトリです。デフォルトは C:\Job Director\SV になります。

%Job DirectorDatabaseDirectory% は、クラスタサイトを構築する際に指定したデータベースディ レクトリです。

3.5.34. envvars

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「envvars」を選択してください。作成されるシート名は 「envvars」となります。この帳票シートではenvvarsファイルに設定されている環境変数名と値が出力されま す。envvarsファイルについては、<環境構築ガイド>の「14.2.3.2 Job Director SV側で設定する場合の対処 (envvarsファイル)」を参照してください。

x∎	⊟ 5 • ∂			jc_re	port.xlsm - Exce	2		?	▲ - □	×
ファイル	ルホーム	挿入 ページレイ	(アウト 数式	データ 校園	問 表示	アドイン チーム			- 1	
A1	-	$\times \checkmark fr$								v
	•	<i>j</i> *		D	_	F	0		т	
1	A	В	0	U	E	F	G	П	I	F
2		理培亦粉々	估							
2										
4		ENV2								
5		21472	W) (LOLZ							
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
1/										
18										
19										ш
20										-
4	► Ve	ersion input	report	nvvars	Ð			:	•]
准備等	-7						III III III	1		

図3.59 envvars帳票シート



本帳票シートを作成するためには、Windows版の構成情報のJPFファイルを読み込む必要がありま す。

3.5.35. レジストリ情報

本帳票シートを作成するには、帳票の選択で「レジストリ情報」を選択してください。作成されるシート名は 「レジストリ情報」となります。この帳票シートではWindows版Job Directorのレジストリ情報(インストール 情報、サーバの環境設定の総合設定)が出力されます。

XI 🔒	ا ج -	⊘			jc_re	port.xls	m - Exc	cel			?	*	_		×
ファイル	木-1	、挿入 ^	ページ レイアウト	、 数式	データ	校閲	表示	アドイン	ロード テスト	チーム				-	
E35		· : 🗙	$\checkmark f_x$												¥
- 24	A		в				С				D		E		
1															
2		バラメータ名	3	値											
3		NSOpGrou	р	Job D	inector										
4		License_Re	tryInterval	5											
5		NSLanguag	jeld	2											
6		NS Base Din	ectory	C:¥Jb	b Direct	tor¥S∨									
7		NSVersion		R16.1	MG/SV	/ EM641	T/AMD	64 Editio	on 日本語版	i					
8		MultiLangC	onnect	0	0										
9		NSUnicode	ID	0	0										
10		NSCodeCo	nv	on	on										
11		License_Re	trytimes	36	36										
12		NSProgram	Folder	Job D	Job Director¥SV										
13		NSReqNCo	nv	off	off										
14		NSMgrAcco	ount	Admin	Administrator										
15		NSsecLeve	el	0	0										_
16															_
17															
18															_
19															_
20															_
21															-
		version	input	report	レジス	いけ情報		(+)				: 4			•
準備完了								Ħ	8 4		- 1-		-+	1009	%

図3.60 レジストリ情報シート



本帳票シートを作成するためには、Windows版Job Directorの構成情報のJPFファイルを読み込む 必要があります。

3.6. 注意事項·制限事項

本章ではJob Director Report Helperの注意・制限事項について説明します。

3.6.1. 注意事項

■Excelファイルとbinディレクトリは同じ場所におく必要があります。

- ■本製品を使用時には最低一つのプリンタがインストールされている必要があります。Windowsのプリンターの設定画面を開き、最低一台のプリンタがインストールされていることをご確認ください。
- ■ブック保護の解除中に制御シート(version/input/reportシート)の名前変更、移動、コピー等を行わないで ください。各種マクロが正常に動作しなくなる可能性があります。万が一誤って削除してしまった場合に は、Excelを保存せずに再起動するか、インストール直後のjc_report.xlsmファイルをリストアしてくださ い。

■帳票印刷ツールにおいて、複数のJPFファイルを読み込む場合に別々のJPFファイルに同じ名前やIDのJNWが 存在していると、プレビュー機能が正しく動作しない可能性があります。別のJPFファイルを読み込む前に 作成したJNWのフローシートを「一括削除」操作で削除しておいてください。

3.6.2. 制限事項

- ■Analysis Helperのjdh_trkgetコマンドで作成したTracker形式のJPFファイルはJob Director Report Helper では使用できません。
- ■フロー出力では、Excelの描画の限界により縦や横に非常に長いフローが描画でエラーになる場合があります。
- ■アウトラインのグループ化機能で折りたたんだまま印刷した場合、ページ下部の最後の枠線が引かれない場 合があります。
- ■帳票印刷ツールを操作中に別のExcelファイルに対して同時操作(複数のExcelファイルの多重操作)を行わな いでください。各種マクロが正常に動作せずエラーになる場合があります。
- ■非常に長い名前の部品をフロー描画すると、名前の文字列が他の部品に重なってしまうことがあります。この場合、名前を表示しているアイコンをクリックし文字列を全て選択後、テキストエディタなどに貼り付けて確認してください。
4. Analysis Helper

本章ではAnalysis Helperの機能について説明します。

4.1. 概要

本章ではJob Director Analysis Helperの概要について説明します。

4.1.1. 機能概要

Job Director Analysis HelperはExcelの機能を利用して、Job Directorの実行記録(トラッカ)を集計・分析する 機能を提供します。サーバ上ではトラッカデータの収集のみ行い、実際の集計・分析作業はローカルコン ピュータ上で行うため、サーバに余計な負荷をかけることはほとんどありません。またExcelのピボットテーブ ル・グラフ作成の機能を利用することで、日々の実行状況を直感的に把握し、かつ、多角的に分析することが できます。

Job Director Analysis Helperの基本機能は以下3つのフェーズに分けられます

■トラッカデータの収集

日々の運用で蓄積されるトラッカデータは、サーバ(MG/SV)上ではアーカイブされたファイル単位で管理さ れおり、これらのファイルをMG/SVに添付されている専用コマンドを実行して収集します。収集したアーカ イブファイルはJPF(Job Director Portable Format)という形式でひとまとめにされて保存され、このJPF ファイルを分析を行いたいローカルコンピュータ上にコピーします。

■必要データの抽出・更新

JPFファイルの中には収集したトラッカアーカイブファイルが含まれていますが、その中には分析等には利用しないジョブの標準出力等のデータも含まれています。そのため、その中から必要なデータだけを抽出し、Analysis Helperのインストールディレクトリにあるトラッカデータ管理フォルダ(dataフォルダ)に格納します。この作業はAnalysis Helperに添付されているコマンドを用いて行います。

■Excelを用いた集計・分析

Excelでdataフォルダ内のデータを読み込み、対象システムの実行状況の確認や分析を行います。本機能では、実行されたジョブネットワーク数、ジョブ数、およびジョブネットワークの起動時刻の予定・実績の差異という3つのメトリックに注目し、それらに関するピボットテーブルとグラフをマクロ機能により作成します。また、データはCSV形式で外部ファイルへも出力可能となっているので、他のツール等を利用することも可能です。

4.1.2. 導入の効果

Job Director Analysis Helperでは、対象システムで実行された「ジョブネットワーク数」「ジョブ数」「ジョ ブネットワーク起動時刻の予定・実績の差異」という3つのメトリックに注目し、それらをExcelの機能を利用 して集計・分析することができます。

以下でAnalysis Helperを利用する主なメリットについて説明します。

- ■対象システムで実行されたジョブネットワーク数やジョブ数を集計し、現状把握や日々の推移を確認することができます。またユーザ別、実行サーバ別に確認することもできるため、どの時間帯にどのサーバにジョブが偏っているかといった分析を行うことで、システムメンテナンスやサーバ新設時の指針とすることが可能です。
- ■日々実行されるジョブネットワークの予定・実績の差異を集計し、時間通りに開始しているかどうかの確認 を簡単に行うことができます。例えば、0:00や12:00などの切りの良い時間にはスケジュール起動がされる ジョブネットワークが集中しがちですが、そのような場合、フローの実行開始が遅れる場合があります。こ のような開始時刻の予定・実績の差異を把握し、時間毎や日毎に確認して傾向分析することで、今後のスケ ジューリングの指針とすることが可能です。



ここで言うジョブは「単位ジョブ」を意味しています。その他の部品については対象外となってい るので注意してください。 Analysis Helperではサーバから収集したトラッカデータを集計・分析しますが、前述の通り「ジョ ブネットワーク数」「ジョブ数」「ジョブネットワーク起動時刻の予定・実績の差異」という3つの メトリックに注目し、代表的と思われるピボットテーブルおよびグラフを作成するマクロを提供し ています。これ以外のメトリックや分析の仕方については、本マニュアルにおいても少しフォロー はしていますが、基本的にはお客様のほうで自由にピボットテーブルをカスタマイズして確認した り、または、Analysis Helperの機能範囲においては行えないような分析については、データをCSV 形式で出力して他の方法で確認していただくことになります。

このようにカスタマイズしたピボットテーブルやグラフについての見方や分析、またはCSV形式で 出力したデータの分析方法等については、お問い合わせいただいてもお答えしかねますので、あら かじめご了承ください。

また、Analysis Helperでの分析結果を受けてのシステムの見直しやサイジング方法についても同様 にお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

4.1.3. 用語一覧

Helper機能の共通に用語に関しては「1.5 用語一覧」をご確認ください。ここではAnalysis Helperのに特有の 用語について一覧を記載します。

用語	説明
トラッカ(トラッカデータ)	ジョブネットワークおよびジョブの実行情報です。サーバ上ではアーカ イブされてファイル単位で管理されています。
versionシート	Job Director Analysis Helperのバージョン情報の確認を行うExcelシートを指します。
inputシート	Job Director Analysis Helperで、ローカルコンピュータ上に格納したト ラッカデータを読み込む際に利用するExcelシートを指します。
jnwdataシート	ジョブネットワーク単位の実行記録を集計・分析するためのExcelシート を指します。
jobdataシート	ジョブ(単位ジョブ)の実行記録を集計・分析するためのExcelシートを指 します。
DATAシート	jnwdataシートとjobdataシートの総称です。
制御シート	Excel起動時に最初から存在する、versionシート、inputシー ト、jnwdataシート、jobdataシートの総称です。
dataフォルダ	Job Director Analysis Helperのインストールディレクトリに作成され る、トラッカデータを蓄積するためのフォルダです。サーバから採取し たJPFファイルから必要な情報を抜き出し、ここに格納されます。

4.2. インストール・アンインストール

Job Director Analysis Helperのインストール・アンインストール手順について説明します。

4.2.1. インストール

Job Director Analysis Helperをインストールには、以下の手順で実施してください。

- 1. Job Directorのメディアから、「NECJDpkg-jah.zip」をローカルディスク上の任意の場所にコピーします。
- 2.「NECJDpkg-jah.zip」を解凍してください。解凍先・フォルダ名は任意に決定することができます。なお、 フォルダ名称の変更やフォルダの移動は後で随時可能です。
- 3. 解凍したフォルダが以下の構成であることを確認してください。なお、解凍した直後はdataフォルダと workフォルダは存在しません。付属のコマンドを実行したり、Excelを利用する過程で自動的に作成されま す。

└──NECJDpkg-jah	: インストールフォルダ
jc_analysis.xlsm	: Excelファイル
├──bin/	:バイナリ格納フォルダ
├──data/	: トラッカデータ格納フォルダ(dataフォルダ)
├──doc/	: ドキュメント格納フォルダ(ライセンス情報等)
└──work/	: コマンド,Excelの一時作業フォルダ

Analysis Helperは、OS言語環境に合わせて言語別フォルダを選択して利用します。言語別フォルダの対応 は下記の通りとなります。

フォルダ名	説明
јр	日本語OS環境向けAnalysis Helper

以上でJob Director Analysis Helperのインストール作業は完了です。

■以下のような操作は誤動作の原因になりますので、決して行わないでください。

- data/,work/等のサブフォルダの削除・リネーム、またその中に存在するdllやexeの削除・リ ネーム
- data/,work/等のサブフォルダへの不要ファイルの作成
- ■Excelを起動する際には、Excelのセキュリティレベル設定について最初にご確認ください。

4.2.2. アンインストール

Job Director Analysis Helperを格納したフォルダを削除してください。

Analysis Helperはレジストリを使用しませんので、作業フォルダを削除することで関連ファイルす べてをシステムから削除することができます。

以上でJob Director Analysis Helperのアンインストール作業は完了です。

4.2.3. バージョンアップ

AnalysisHelperではdataフォルダを直接移行するような引き継ぎはサポートしていません。

そのため、新しいバージョンのAnalysisHelperを利用する場合には、必ず、対象サーバからトラッカデータを 収集し直してください。

4.3. 基本操作

この章では、Job Director Analysis Helperの基本機能に対する操作方法について説明します。

4.3.1. 操作の流れ

Job Director Analysis Helperでトラッカデータを集計・分析するための一連の作業の流れは以下の図4.1「作業の流れ」のようになります。



図4.1 作業の流れ

- 1.サーバから期間を指定してトラッカデータを収集します。収集したトラッカデータはJPFファイルとして保存されます。
- 2. JPFファイルをExcelで分析を行いたいローカルコンピュータにコピーします。(この作業は手動で行う必要 があります)
- 3. JPFファイルから必要データを抽出して、dataフォルダを更新します。
- 4. Excelを利用してトラッカデータの集計・分析を行います。

各操作の具体的な説明については、以降の章(または各リンク先)を参照してください。

4.3.2. サーバからトラッカデータを収集する(jdh_trkget)

サーバ上ではトラッカデータはアーカイされたファイル単位で管理されていますが、これらを収集するにはJob Director MG/SVのjdh_trkgetコマンドを利用します。jdh_trkgetは必ずrootユーザ(Windowsサーバの場合は Job Director管理者ユーザ)で実行してください。その他のユーザでは実行できません。

以下に簡単な実行例を記載します。コマンドの詳細については <コマンドリファレンス>の「3.16 jdh_trkget トラッカ情報の取得」 を合わせて参照してください。

■コマンド

Linux: /usr/lib/nqs/gui/bin/jdh_trkget [-u \$user] [-o \$output] \$YYYYMMDD-YYYYMMDD

Windows: %InstallDir%\bin\jdh_trkget [-u \$user] [-o \$output] \$YYYYMMDD-YYYYMMDD

(注)InstallDirはJob Director MG/SV(Windows版)のインストール先を意味します。

■実行例

例えば、Linuxサーバで、2011/7/30~2011/8/5までのトラッカアーカイブファイルを収集するには、以下のように実行します。

/usr/lib/nqs/gui/bin/jdh_trkget 20110730-20110805

コマンドが正常に終了すると、カレントディレクトリにtrkget_YYYYMMDDhhmmss.jpfというファイルが 作成されます。YYYYMMDDhhmmssはコマンド実行時の時刻です。



- 解析する上ではそのサーバ上の全てのユーザのトラッカが揃っていないと意味がありません。 そのため通常の運用では-uオプションは使用しないでください。逆に-uオプションを利用する 場面としては、アーカイブファイルがかなり巨大でユーザ数も多いため、1度にまとめては収集 できない場合などが考えられます。
- -oオプションを指定すると出力先ファイルを指定できます。

■JPFファイルの中身の確認

jdh_trkgetで収集したJPFファイルにどのようなトラッカが含まれているかを確認するにはjpf_statコマン ドを利用します。

Linux: /usr/lib/nqs/gui/bin/jpf_stat [-v] \$jpf_file

Windows: %InstallDir%\bin\jpf_stat [-v] \$jpf_file

(注)InstallDirはJob Director MG/SV(Windows版)のインストール先を意味します。

実行すると、以下のように標準出力に、JPFファイルの生成時刻や含まれるデータ(トラッカ)の一覧が表示さ れます。

```
=== JPF file status ===
Format type: Tracker 3.0
Created Job Director version: 13.1.2
Creation time: 2012:12:21 19:46:28
Created platform: Linux
=== Each type of information ===
** Tracker Status **
====== User (npxjc) =====
-- Tracker [archive] --
trkarc20121113-20111113
trkarc20121119-20121119
trkarc20121219-20121219
trkarc20121220-20121220
trkarc20121221-20121221
```

-- Tracker [active] -count : 3
====== User (nsumsmgr) ======
-- Tracker [archive] -trkarc20121221-20121221
-- Tracker [active] -count : 1
===== User (root) ======
-- Tracker [archive] -trkarc20121221-20121221
-- Tracker [active] -count : 1

4.3.3. ローカルのdataフォルダを更新する(jdh_trkupdate)

サーバから取得したJPFファイルは、そのままExcelでの分析に利用できるわけではありません。ここから必要 なデータを抽出してExcelで読み込むことができる形式に変換する必要があります。抽出したデータはAnalysis Helperインストールフォルダにあるdataフォルダに蓄積されるので、一度変換を行っておけば、その後は Excelでいつでも確認することが可能になります。この操作にはAnalysis Helperに添付されている jdh_trkupdateコマンドを利用します。

以下にjdh_trkupdateコマンドの簡単な実行例を記載します。コマンドの詳しい使い方については <コマンド リファレンス>の「7.1 jdh_trkupdate ローカルのAnalysis Helperのdataフォルダの内容を更新する」 を合わ せて参照してください。

■コマンド

bin\jdh_trkupdate [-f] [-u \$user] \$jpf_file

■実行例

例えば、Analysis Helperインストールフォルダ直下に置かれたサーバから収集したJPFファイル (trkget_20110805140000.jpf)をAnalysis Helperのインストールフォルダ直下に配置してる場合、以下の ように実行します。

bin\jdh_trkupdate trkget_20110805140000.jpf

実行が開始されると、以下のように更新を行っているファイル名が順次表示されていきます。最後に「All tracker data update successfully!」と表示されれば、更新は全て正常に完了したことになります。

```
extracting...
checking...
(1/14) user=root file=trkarc20110730-20110730 updating...
(2/14) user=root file=trkarc20110731-20110731 updating...
(3/14) user=root file=trkarc20110801-20110801 updating...
(4/14) user=root file=trkarc20110802-20110802 updating...
(5/14) user=root file=trkarc20110803-20110803 updating...
(6/14) user=root file=trkarc20110804-20110804 updating...
(7/14) user=root file=trkarc20110805-20110805 updating...
(8/14) user=user1 file=trkarc20110730-20110730 updating...
(9/14) user=user1 file=trkarc20110731-20110731 updating...
(10/14) user=user1 file=trkarc20110801-20110801 updating...
(11/14) user=user1 file=trkarc20110802-20110802 updating...
```

```
(12/14) user=user1 file=trkarc20110803-20110803 updating...
(13/14) user=user1 file=trkarc20110804-20110804 updating...
(14/14) user=user1 file=trkarc20110805-20110805 updating...
All tracker data update successfully!
```



JPFファイルは中にトラッカのアーカイブファイルを圧縮して保持しており、jdh_trkupdate実行時、最初にその解凍作業を行います。解凍先の一時的な領域にはインストールフォルダ直下のworkフォルダが利用されますが、この際、サーバから取得したアーカイブファイルのサイズ分だけ一時的にローカルコンピュータのディスクを消費することになりますので、あらかじめ十分な空き容量を確保した上で実行してください。

4.3.4. Excelを利用してトラッカデータを分析する

本章ではExcelの基本的な使い方について説明します。

4.3.4.1. トラッカデータを読み込む

まず最初にdataフォルダに蓄積されたトラッカデータをExcelに読み込む必要があります。以下の手順で実施し てください。

1. Excelを起動し、「inputシート」を表示します。

	🚽 19 = (21 =)	Ŧ			jc_a	nalysis - Microsoft Excel				_ =	x
	ホーム 挿入	ページレイ	アウト 数	対式 データ	校閲	表示				0 -	⇒ x
	A1	- ()	f_{x}								×
A	E	3		C		D	E		F		
2 3 4 5 6 7	トラッカデータの 読み込み	検:	索期間の 変更	DATA	ジート 支映	DATAシートを クリアする		ブック 無効	の保護を Iにする		
8	ホス	卜名		8854.0	検索期		1) III (#k	累計データ数、	:		
10				開始日		松丁日	JNWEX	>	白ブ剱		
11											
13	ユーザ名		トラッカコ	ファイル	最	終更新日	JNW傲	ジョブ数			
14											
16											_
17											
19											
21											
22											
24											
25											
27											
29											
30											
32											
33											
35		_									-
	Version inp	ut / jnwdata	_jobdata _	2							
- ACAE									» 🕘 – V		•

図4.2 inputシート

2. 「トラッカデータの読み込み」ボタンをクリックすると「ホスト名の選択」ダイアログが表示されます。分析を行いたいホスト名を選択して「OK」をクリックしてください。

対象ホストの	 握択		×
ホスト名	jobmanager		•
	ОК	Cancel	

図4.3 ホスト名の選択



「ホスト名の選択」ダイアログは、dataフォルダ内に、異なるサーバから取得したトラッカデー タが存在する場合に表示されます。1サーバ分のデータしか存在しない場合には表示されず、直 接inputシートが更新されます。

3. トラッカデータの読み込みに成功すると「inputシート」が更新されます。

	📕 li) = (21 =) Ŧ				jo_a	analysis -	Microsoft Excel					- 1	- x
	ホーム 挿入	ページ レイアウト	、数式	データ	校閲	表示						0.	
	A1	▼ () fs	c										1
A	В			С			D		E		F		
1 2 3 4 5 6 7	トラッカデータの 読み込み	検索期変更	間の E		Yシート 反映		DATAシートを クリアする				ブックの保護を 無効にする		
8	ホストダ	ς.			検索期	18) 18)				累計:	データ数		
9	iohmanager			開始日			終了日		JNW街	0	ジョブ数	0	
11	Uoomanager				I			- 1		0]		U	
12													
13	ユーザ名		トラッカファイ	()V	最	終更新日		JNW		52≡	ブ数	0.05	
14	root		trkarc20110	730-2011073	0		011/08/05 14:04	:43		91		225	
10	root		trkarc20110 trkarc20110	201-2011023 201-2011020	1		011/08/05 14:04	43		78		221	
17	root		trkarc201100	801-2011080	2		011/08/05 14:04	.40		91		221	
18	root		trkarc20110	803-2011080	2		011/08/05 14:04	43		32		04	
19	root		trkarc20110	804-2011080	4		011/08/05 14:04	43		74		188	
20	root		trkarc20110	805-2011080	5		011/08/05 14:04	:43		128		286	
21	user1		trkarc20110	730-2011073	0	-	011/08/05 14:04	43		19		107	
22	user1		trkarc20110	731-2011073	1	-	011/08/05 14:04	43		44		228	
23	user1		trkarc20110	801-2011080	1	1	011/08/05 14:04	:43		40		216	
24	user1		trkarc20110	802-2011080	2	2	011/08/05 14:04	:43		20		97	
25	user1		trkarc20110	803-2011080	3	2	011/08/05 14:04	:43		42		222	
26	user1		trkarc20110	804-2011080	4	1	011/08/05 14:04	:43		28		168	
27	user1		trkarc20110	805-2011080	5		011/08/05 14:04	:43		71		309	
28													
29													
30													
31													
32													
33													
04													
		A											_
	Version input	_jnwdata /jo	bdata 🖉 🐔										
コマンド											<u>ош</u> 85% — —		+

図4.4 更新されたinputシート

4. 「検索期間の変更」ボタンをクリックすると、「検索期間の変更」ダイアログが表示されます。分析を行いたいデータの期間を指定して「OK」をクリックしてください。

検索期間の変更		×
表示開始日	2011:年	8 * 月 5 * 日
表示終了日	2011 : 年	8 * 月 5 * 日
	ОК	キャンセル

図4.5 検索期間の変更

5. 検索期間を変更すると、その期間内のデータ数として「累積データ数」の「JNW数」と「ジョブ数」の値が 更新されます。これらの値を確認後、問題なければ「DATAシートへ反映」ボタンをクリックします。 「jnwdataシート」および「jobdataシート」へ指定したデータの反映処理が始まりますが、この際、それ ぞれのシートにある既存データは削除されますので注意してください。

	🛃 li) - (21 -) =	jc	_analysis - Microsoft Excel		- = ×
	ホーム 挿入 ページ レイアウ	フト 数式 データ 校開	表示		🙆 _ 🗖 🗙
	A1	fx			×
A	В	С	D	E	F
1 2 3 4 5 6 7	トラッカデータの 検索! 読み込み 変	期間の 更 DATAシート へ反映	DATAシートを クリアする		ブックの保護を 無効にする
8	ホフトタ	検索	湖間	累計デ	一夕数
9		開始日	終了日	JNW街	ジョブ数
10	ljobmanager	2011/7/30	2011/8/5	/90	2632
12					
13	ユーザ名	トラッカファイル	最終更新日	JNW敏 ジョ	ブ数
14	root	trkarc20110730-20110730	2011/08/05 14:04:43	91	225
15	root	trkarc20110731-20110731	2011/08/05 14:04:43	78	177
17	root	trkarc20110801-20110801	2011/08/05 14:04:48	91	221
10	root	trkarc20110802-20110802	2011/08/05 14:04:43	02	94
10	root	trkarc20110804-20110803	2011/08/05 14:04:43	74	188
20	root	trkarc20110805-20110805	2011/08/05 14:04:43	128	286
21	user1	trkarc20110730-20110730	2011/08/05 14:04:43	19	107
22	user1	trkarc20110731-20110731	2011/08/05 14:04:43	44	228
23	user1	trkarc20110801-20110801	2011/08/05 14:04:43	40	216
24	user1	trkarc20110802-20110802	2011/08/05 14:04:43	20	97
25	user1	trkarc20110803-20110803	2011/08/05 14:04:43	42	222
26	user1	trkarc20110804-20110804	2011/08/05 14:04:43	28	168
27	user1	trkarc20110805-20110805	2011/08/05 14:04:43	71	309
28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 38 39	₩ version input /jrwdata /	jobdata / 🏷			
コマンド					₩ 85% (=) ····· (+) .,;

図4.6 累積データ数



「jnwdataシート」および「jobdataシート」へ反映できるデータはそれぞれ最大1,000,000件で す。それを超えて反映しようとするとエラーが表示されますので、検索期間を変更しデータの絞 込みを行ってください。

6. DATAシートへのデータ反映中は以下のようにプログレスバーが表示され、「キャンセル」以外の操作は行 えません。データ件数が多い場合時間がかかりますので注意してください。

(□→) ↓ (□ →) ↓	jc_analysis - Micr	osoft Excel	_ = X
🍱 ホーム 挿入 ページレイアグ	ト 数式 データ 校閲 表示		(i) _ = >
A1 -	fx		3
АВ	C	DE	F .
1 2 3 4 5 5 6 7	開設の DATAシート DA 更 へ反映 2	TAシートを リノアする	ブックの保護を 無効にする
8 +71.4	検索期間		累計データ数
9 11×1 40	開始日終日	7日 JNW数	ジョブ数
10 Jobmanager	2011/7/30	2011/8/5]	/90] 2682
12 13 2-4% 14 root 15 root 16 root 17 root 18 root 20 root 21 user1 22 user1 23 user1 24 user1 25 user1 26 user1 27 user1 28 user1 29 30 31 32 32 34 36 36 38 34	トランガンプ tháre2011 tháre	本やンセル 7/08/05 14:04:43 /08/05 14:04:45 /08/05 14:05 /08/05 14:04:45 /08/05 14:04:45 /08/05 14:04:4	3/2 √2%1 91 225 78 177 91 221 32 94 74 188 28 286 19 107 44 228 40 216 20 97 42 222 28 168 71 309
Versioninputjnwdata	obdata 🖉 🍤		
コイント 申計員			

図4.7 DATAシートへのデータ反映

7. 以下のようにメッセージが表示されれば完了です。「jnwdataシート」「jobdataシート」をそれぞれ確認 し、正しくデータが読み込まれていることを確認してください。

	📮 12) = (24 =) =		jc	analysis - Microsoft Excel					x
	ホーム 挿入 ページレ	イアウト 数式	データ 校開	表示				 Image: Image: Ima	x
	A1 🗸 💿	f_x							\$
A	В		C	D	E		F		
2 3 4 5 6 7	トラッカデータの れ 読み込み	検索期間の 変更	DATAシート へ反映	DATAシートを クリアする			ブックの保護を 無効にする		
8			検索	期間		累計データ	数		
9	iobmanager		開始日 2011/7/30	終了日 2011/8/	JNW樹	790	ジョブ数	2632	
11	Dopulariager		2011/7/00	2011/0/	0]	730		2002	
13	ユーザ名	トラッカファイ	(JL	島絵軍新日	.INM确实	ジョブ数			
14	root	trkarc20110	730-20110730 Info	ormation	X	91		225	
15	root	trkarc20110	/31-20110/31			/8		1//	
17	root	trkarc:20110	802-20110802	-		32		94	
18	root	trkarc20110	803-20110803	(1) 更新が成功しました。		32		94	
19	root	trkarc20110	804-20110804			74		188	
20	root	trkarc20110	805-20110805			128		286	
21	user 1	trkarc20110	730-20110730			19		228	
23	user 1	trkarc20110	801-20110801	OK		40		216	
24	user 1	trkarc20110	802-20110802			20		97	
25	user1	trkarc20110	803-20110803			42		222	
26	user 1	trkarc20110	804-20110804	2011/08/05 14:04:4	3	28		168	
28	useri	ItrKarc20110	005-20110805	2011/08/08 14:04:4	0			203	
29									
30									
31									
32									
34									
35									
36									
37									
30									-
4 4 ≯	N version input inwdat	a 🖉 jobdata 🖉 🕈]/						ł.
אעדב							85% 😑 ——	Ū) .:

図4.8 完了メッセージ

4.3.4.2. データの分析とグラフ作成を行う

「jnwdataシート」または「jobdataシート」に読み込んだデータを集計し、ピボットテーブルとグラフを作成 します。以下の手順で実施してください。(「jnwdataシート」「jobdataシート」どちらも操作は共通のた め、以下では「jnwdataシート」を例に説明します。)

1.「jnwdataシート」を表示し、「データ分析とグラフ作成」ボタンをクリックします。



図4.9 jnwdataシート

2. 「作成するグラフの選択」ダイアログが表示されるので、分析したい種類のグラフを選択して「OK」をクリックします。

作成するグラフの選択	×
▶ トラッカ数	
✔ 開始時刻差	
▶ トラッカ数・開始時刻週	差(2軸)
or	العلم شريع

図4.10 作成するグラフの選択

3. 処理が正常に完了すると以下のようなメッセージが表示され、選択した種類のピボットテーブルとグラフが 別シートに作成されます。



図4.11 完了メッセージ

以上の操作でピボットテーブルとグラフの作成は完了です。各グラフの詳細については「4.4 機能詳細」を参照してください。

4.3.4.3. データをCSVファイルに出力する

「jnwdataシート」または「jobdataシート」に読み込んだデータをCSVファイルに出力します。

Analysis Helperは制御シートには保護がかかっているため、DATAシート上でデータを加工するような操作は 禁止されています。そのような操作を行いたい場合に本機能によりCSVファイルにデータを出力し、それを Excel等のツールで読み込んで加工を行ってください。

出力したCSVファイルを他環境のAnalysis Helperに読み込ませるといったような、データのエクス ポート的な使い方はできませんので注意してください。

CSVファイルの出力は以下の手順で実施します。(「jnwdataシート」「jobdataシート」どちらも操作は共通のため、以下では「jnwdataシート」を例に説明します。)

1.「jnwdataシート」を表示し、「CSV形式で出力」ボタンをクリックします。



図4.12 jnwdataシート

2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、任意の出力先を指定して「保存」ボタンをクリックします。

💽 名前を付けて保存			×
	リ・ドキュメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ドキュメントの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォルタ	J —	:==	• 🕡
↓ ダウンロード ▲ ■ デスクトップ	ドキュメント ライブラリ _{対象フォルダー} : 2か所	並べ替え: フォル	ダー 🗸
3 最近表示した場所	名前	更新日時	種類
 ⇒イブラリ ドキュメント ピクチャ ビデオ 	₩ Notes	2009/10/19 9:05 2011/08/05 15:43	ファイル フ: Microsoft O
🎝 ミュージック 🔻	< [Þ
ファイル名(N): JNWD	ATA20110805154520		-
ファイルの種類(T): CSV fi	le		•
作成者: Admin	istrator タグ: タグの追	宣力口	
● フォルダーの非表示	ツ−ル(L) ▼	保存(S) キ・	マンセル at

図4.13 名前を付けて保存

3. ファイルへの出力中は以下のようにプログレスバーが表示され、「キャンセル」以外の操作は行えません。 データ件数が多い場合時間がかかりますので注意してください。



図4.14 CSVファイルへの出力

4. 処理が正常に完了すると以下のようなメッセージが表示されます。指定したフォルダを確認し、CSVファイルが作成されていることを確認してください。



図4.15 完了メッセージ

4.4. 機能詳細

本章ではExcelの各シートの見方と詳細について説明します。

4.4.1. inputシート

「inputシート」は、dataフォルダに格納しているトラッカデータのサマリー情報の表示と、各DATAシートへ 実データを反映する際の検索期間の指定を行うことができます。各DATAシートは1,000,000件を超えるデータ は扱えないため、ここでデータを絞り込んでおく必要があります。

	, ⊔) = (⊔ =) ∓				jc_analysis	- Microsoft Excel					x
	ホーム 挿入	ページ レイアウ	た残る	データ 杉	调 表:	T.				0 -	■ x
	A1	▼ () f.	e l								×
A	В			С		D	E		F		
1 2 3 4 5 6 7	トラッカデータの 読み込み	検索期変	間の 更	DATAシー へ反映	- ŀ	DATAシートを クリアする			ブックの保護を 無効にする		
8	ホフトイ	2		検	索期間			累計デー	- 夕数		
9		-	開	始日		終了日	JNW街	<u></u>	ジョブ数		
10	jobmanager			2011/7/	30]	2011/8/	(5)	790		2632	
12											
13	ユーザ名		トラッカファイル	,	最終更新	i8	JNW街	ジョブ	姜攵		
14	root		trkarc2011073	0-20110730		2011/08/05 14:04:4	3	91		225	
15	root		trkarc2011073	1-20110731		2011/08/05 14:04:4	3	78		177	
16	root		trkarc2011080	1-20110801	_	2011/08/05 14:04:4	3	91		221	
10	root		trkarc2011080.	2-20110802	_	2011/08/05 14:04:4	10	02 01		94	
10	root		trk.arc.2011080	-20110808		2011/08/05 14:04:4	12	74		194	
20	root		trkarc2011080	5-20110805		2011/08/05 14:04:4	13	128		286	
21	user1		trkarc2011073	0-20110730		2011/08/05 14:04:4	13	19		107	
22	user1		trkarc2011073	1-20110731		2011/08/05 14:04:4	3	44		228	
23	user1		trkarc2011080	1-20110801		2011/08/05 14:04:4	13	40		216	
24	user1		trkarc2011080;	2-20110802		2011/08/05 14:04:4	13	20		97	
25	user1		trkarc2011080:	3-20110803		2011/08/05 14:04:4	3	42		222	
26	user1		trkarc2011080	4-20110804		2011/08/05 14:04:4	13	28		168	
27	user1		trkarc2011080	5-20110805		2011/08/05 14:04:4	3	71		309	
28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39	N version input	irwdata / ir	obdata 🦯 🍋 J	7							·
איקר		principal (ma	II 85% 🕞		.
1421										V.	

図4.16 inputシート

4.4.1.1. 各セルの詳細

「inputシート」は大きく2つのエリアに分かれています。8~10行目には現在読み込んでいるデータ全体に対 する情報が表示され、13行目(実データは14行目)以降には各トラッカデータ(トラッカアーカイブファイル)1 つ1つの個別の情報が表示されます。以下にそれぞれの詳細についてまとめます。

■ホスト名

現在表示しているデータのホスト名が表示されます。「トラッカデータの読み込み」ボタンを押して変更す ることができます。

■検索期間-開始日

抽出するデータの開始日が表示されます。「検索期間の変更」ボタンを押して変更することができます。この検索期間内に含まれるJNW数とジョブ数の合計が「累積データ数」に表示されます。

■検索期間-終了日

抽出するデータの終了日が表示されます。「検索期間の変更」ボタンを押して変更することができます。この検索期間内に含まれるJNW数とジョブ数のそれぞれの合計値が「累積データ数」に表示されます。

■累積データ数-JNW数

14行以降に表示されているトラッカデータのうち、検索期間に含まれるJNW数の合計が表示されます。

■累積データ数-ジョブ数

14行以降に表示されているトラッカデータのうち、検索期間に含まれるジョブ数の合計が表示されます。

■ユーザ名

トラッカデータのユーザ名が表示されます。

■トラッカファイル

トラッカデータのアーカイブファイル名が表示されます。

■最終更新日

対象アーカイブファイルの最終更新時刻が表示されます。

■JNW数

対象アーカイブファイルに含まれるJNW数が表示されます。

■ジョブ数

対象アーカイブファイルに含まれるジョブ数が表示されます。



アーカイブファイル名はユーザ環境設定で各ユーザ毎に変更可能ですが、本機能では必ず trkarcYYYYMMDD-YYYYMMDDとして表示されます。



アーカイブファイル名のYYYYMMDD-YYYYMMDDはアーカイブ期間を意味しており、デフォルトは 1日ですがそれ以上にも変更が可能です。その場合、検索期間のいずれかにアーカイブ期間が重なっ ていれば対象と見なされ、そのアーカイブファイルのJNW数とジョブ数は全て累計データ数に計上 されます。

DATAシートへの反映はinputシート上に表示されている1行、すなわちアーカイブファイル単位で 行われます。アーカイブファイルは最小1日単位(デフォルト設定)で切り替わりますが、ファイルが 切り替わるタイミングはGMTの00:00で固定であり、例えばタイムゾーンがJST-9の場合は09:00に ファイルが切り替わることになります。

そのため、例えばtrkark20110803-20110803というファイルに含まれる情報としては、おおよそ2011/8/3 9:00~2011/8/4 9:00の間に実行完了したデータが含まれることになります(2011/8/3 0:00~9:00までのデータは前日分のアーカイブファイルに含まれます)。検索期間で指定した期間と、最終的にDATAシートに反映したジョブネットワークおよびジョブの時刻は完全には一致しませんので注意してください。集計・分析したい目的の期間が決まっている場合は前日分のアーカイブデータを含めるようにしてください。

4.4.1.2. ボタンコントロール詳細

以下に各ボタンの機能についてまとめます。

■トラッカデータの読み込み

dataフォルダに格納しているデータを読み込んで、サマリー情報を一覧表示します。異なる複数のホストから読み込んだデータが存在する場合には、「対象ホストの選択」ダイアログが表示され、本Excelで集計・分析を行いたい対象のホスト名を選択することができます。

対象ホストの	選択		-X
ホスト名	iobmanager	•	
	1, ,		
	ок	Cancel	
-			

図4.17 対象ホストの選択

■検索期間の変更

「inputシート」に表示されている各トラッカデータのうち、実際にDATAシートへ反映するデータの検索期 間を変更します。

■DATAシートへ反映

「jnwdataシート」および「jobdataシート」へ指定された期間分のトラッカデータの読み込みを行います。 この際、後述する「DATAシートをクリアする」ボタンを押したのと同じ処理が事前に行われて既存データの 削除が行われますので注意してください。また、データの読み込み中はプログレスバーが表示され、キャン セル以外の操作は行えません。

■DATAシートをクリアする

「jnwdataシート」および「jobdataシート」に読み込まれた既存データを削除します。この際、以下のデータが削除されます。

- 「jnwdataシート」および「jobdataシート」に読み込まれたトラッカデータ
- 各DATAシートの「データ分析とグラフ作成」によって作成されたピボットテーブルとグラフ
- ■後述する「ブックの保護を無効にする」ボタンを押して保護を無効化した状態で作成されたその他のシート

■ブックの保護を無効にする

Excelには初期状態ではブック全体に保護がかかっており、シートを新規作成したり既存シートを削除・リ ネームするような操作は禁止されています。このブックの保護を解除したい場合に本ボタンを押してくださ い。利用用途については「4.5.9 ピボットテーブルの詳細データを確認する」参照してください。

また、必要な作業が終了したら再度本ボタンを押して有効化してください。



ブックの保護が無効化されている場合、シートの削除やリネームが可能になりますが、「version シート」「inputシート」「jnwdataシート」「jobdataシート」の各制御シートは絶対に削除や リネームを行わないようにしてください。万が一誤って削除してしまった場合には、Excelを保存 せずに再起動するか、インストール直後のjc_analysis.xlsmファイルをリストアしてください。

4.4.2. jnwdataシート

「jnwdataシート」は、「inputシート」で読み込んだトラッカデータをジョブネットワーク単位で一覧表示し ます。

	19 -	(°1 -) =						jc_analysis -	Microsoft Exce						-	= x
	ホーム	挿入	ページレイアウ	7ト 数式	データ	校閲	表示								۲) _ = x
	A1		• ()	f _x												×
A	4	В		С		D		E	F	G		Н		I	J	K 🔺
1 2 3 4 5 6 7	デージ	・タ分析と ラフ作成		CSV形式で 出力						•						=
8 9 10 11 12 13	予定開始	時刻	▼ 予定終了	時刻	実績開始	時刻	▼ 実績	直続了時刻 ▼	開始時間差 ▼	ユーザ名	・トラッカ名		ROOTJN	WFLAG	SCHFLAG	
14	2011	/08/05 11:0	4:04 201 4:05 2011	1/08/05 11:04:11 1/08/05 11:04:06	2011	/08/05 11:04	-05	2011/08/05 11:04:32	00:00:02	user I	週次パツ	ノアップ 1.201108 ケアップ 1:ボリュト	05020 - ハア	1		0
16	2011	/08/05 11:0	4:09 2011	/08/05 11:04:10	2011	/08/05 11:04	:20	2011/08/05 11:04:31	00:00:11	user 1	週次バッ	ファップ1ボリュー	-47	0		0
17	2011	/08/05 11:0	5:07 201	/08/05 11:05:07	2011	/08/05 11:05	:08	2011/08/05 11:05:21	00:00:01	user 1	TESTJNV	V01.20110805020	1507	1		0
18	2011	/08/05 11:0	5:11 201	1/08/05 11:05:11	2011	/08/05 11:05	12	2011/08/05 11:05:26	00:00:01	user1	TESTJNV	V02.20110805020	1511	1		0
19	2011	/08/05 11:0	5:15 201	/08/05 11:05:15	2011	/08/05 11:05	15	2011/08/05 11:05:33	00:00:00	user 1	TESTJNV	V03.20110805020	1515	1		0
20	2011	/08/05 11:0	5:21 201	/08/05 11:05:21	2011	/08/05 11:05	22	2011/08/05 11:05:37	00:00:01	user 1	TESTJN₩	V04.20110805020	1521	1		0
21	2011	/08/05 11:0	5:25 201	/08/05 11:05:25	2011	/08/05 11:05	27	2011/08/05 11:05:39	00:00:02	user1	システム	チェック.2011080	50205	1		0
22	2011	/08/05 11:0	5:29 201	/08/05 11:05:29	2011	/08/05 11:05	80	2011/08/05 11:05:41	00:00:01	user1	sample.20	110805020529		1		0
28	2011	/08/05 11:0	5:45 2011	/08/05 11:05:45	2011	/08/05 11:05	46	2011/08/05 11:05:58	00:00:01	user1	ファイル目	台言.20110805020	545	1		0
24	2011	/08/05 11:0	5:49 201 5:59 2011	/08/05 11:05:49	2011	/08/05 11:05	649	2011/08/05 11:06:02	00:00:00	user I	デージ来る	T 3.20110805020	549 549	1		0
20	2011	/08/05 11:0	5:52 201 E-EE 2011	/08/05 11:05:52	2011	/08/05 11:05 /09/0E 11:05	-02 -E6	2011/08/05 11:06:04 2011/09/0E 11:06:06	00:00:00	user	デージ来る	T2.20110805020	002 EEE	1		0
20	2011	/00/05 11:0	6.03 201	/08/05 11:08:03	2011	/08/05 11:00	202	2011/08/05 11:06:00	00.00.01	user 1	シーン来る	日1.20110805020 与歌録 20110805	000	1		0
28	2011	/08/05 11:0	6.06 2011	/08/05 11:06:02	2011	/08/05 11:06	07	2011/08/05 11:06:18	00:00:01	user1	日線防弧	理 20110805020	306	1		0
29	2011	/08/05 11:0	6:11 201	/08/05 11:06:11	2011	/08/05 11:06	211	2011/08/05 11:06:25	00:00:00	user 1	エラーリナ	1/1/120110805	02061	1		0
30	2011	/08/05 11:0	6:14 2011	/08/05 11:06:14	2011	/08/05 11:06	:14	2011/08/05 11:06:26	00:00:00	user 1	エラーリナ	リーン デノ2.20110805	02061	1		0
31	2011	/08/05 11:0	6:17 201	/08/05 11:06:17	2011	/08/05 11:06	18	2011/08/05 11:06:27	00:00:01	user 1	エラーリナ	ルデノ3,20110805	02061	1		0
32	2011	/08/05 11:0	6:30 201	/08/05 11:06:37	2011	/08/05 11:06	32	2011/08/05 11:06:54	00:00:02	user1	週次バッ	ファップ1.201108	05020	1		0
33	2011	/08/05 11:0	6:31 201	/08/05 11:06:32	2011	/08/05 11:06	32	2011/08/05 11:06:41	00:00:01	user 1	週次バッ:	フアップ1:ボリュー	-47	0		0
34	2011	/08/05 11:0	6:35 201	/08/05 11:06:36	2011	/08/05 11:06	:43	2011/08/05 11:06:53	00:00:08	user1	週次バッ:	フアップ1ボリュー	-47	0		0
35	2011	/08/05 11:0	6:40 201	/08/05 11:06:40	2011	/08/05 11:06	÷40	2011/08/05 11:06:46	00:00:00	user 1	New Jnw.	20110805020640		1		0
36	2011	/08/05 11:0	6:47 201	/08/05 11:06:50	2011	/08/05 11:06	48	2011/08/05 11:06:59	00:00:01	user 1	データ集調	H1.20110805020	647	1		0
37	2011	/08/05 11:0	6:51 201	/08/05 11:06:54	2011	/08/05 11:06	:52	2011/08/05 11:07:01	00:00:01	user 1	データ集調	+2.20110805020	651	1		0
38	2011	/08/05 11:0	6:55 201	1/08/05 11:06:58	2011	/08/05 11:06	:57	2011/08/05 11:07:02	00:00:02	user1	データ集	<u>+3.20110805020</u>	655	1		0
0	Nersi		inwdata	phdata 91	1 1011	/00/0E 11-07	-0.01	001170070E 11-07-16	00-00-00	lluser1	177- X II.8	4/= 1011000E01	1704 1	1		01
אעדב	1		- in reserved	,									= 01	85% 😑		÷ .::

図4.18 jnwdataシート

出力されるデータの条件について

jnwdataシートには、ジョブネットワークおよびサブジョブネットワークのトラッカが1つのレコー ドとして表示されます。実行完了しているものに限らず、分岐部品によりフロー上でスキップされ たものや、エラー停止によりフローが対象サブジョブネットワーク部品まで到達せずに未実行だっ たものについても出力されます。

4.4.2.1. 各セルの詳細

「jnwdataシート」の13行目(実データは14行目)以降には実行されたジョブネットワーク1つ1つの個別の情報 が表示されます。以下にそれぞれの詳細についてまとめます。

■予定開始時刻

ジョブネットワークの予定開始時刻が表示されます。

■予定終了時刻

ジョブネットワークの予定終了時刻が表示されます。

■実績開始時刻

ジョブネットワークが実際に起動した時刻が表示されます。

■実績終了時刻

ジョブネットワークが実際に終了した時刻が表示されます。

■開始時間差

ジョブネットワークの実績開始時刻と予定開始時刻の差が表示されます。

■ユーザ名

ジョブネットワークの所有ユーザ名が表示されます。

■トラッカ名

ジョブネットワークのトラッカ名が表示されます。

■ ROOTJNWFLAG

ジョブネットワークが最上位ジョブネットワークとして実行されたものであれば1、サブジョブネットワーク として実行されたものであれば0が表示されます。

■SCHFLAG

ジョブネットワークがスケジュール投入されたものであれば1、即時投入されたものであれば0が表示されます。

スケジュール投入の最小単位は分であり、その場合のトラッカIDの下2桁(秒)は必ず00、即時投入 の場合は必ず00以外になります。SCHFLAGはこれを基準とし、下2桁が00の場合は1、それ以外 の場合を0としています。

ただし例外として、即時投入の際に時刻指定を行っている場合には下2桁が00になる場合があり ます。この場合はスケジュール投入と区別がつかず、SCHFLAG=1として扱われますので注意して ください。

4.4.2.2. ボタンコントロール詳細

以下に各ボタンの機能についてまとめます。

■データ分析とグラフ作成

読み込んだジョブネットワークデータを使用して、ピボットテーブルとグラフを作成します。

作成するグラフの選択	—								
▶ ▶ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●									
▶ 開始時刻差									
▶ トラッカ数・開始時刻	差(2軸)								
or	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								

図4.19 作成するグラフの選択

作成できるグラフの種類は以下になります。

■ トラッカ数

単位時間あたりのジョブネットワーク投入数のグラフを作成します。

「トラッカ数データシート」にピボットテーブル、「トラッカ数グラフシート」にグラフが作成されます。

■ 開始時刻差

単位時間あたりのジョブネットワークの開始時間差の平均値のグラフを作成します。

「開始時刻差データシート」にピボットテーブル、「開始時刻差グラフシート」にグラフが作成されます。

■トラッカ数・開始時刻差(2軸)

トラッカ数と開始時刻差の2軸グラフを作成します。

「トラッカ数・開始時刻差シート」にピボットテーブル、「トラッカ数・開始時刻差シート」にグラフが 作成されます。

■CSV形式で出力

「jnwdataシート」に表示されているトラッカデータをCSV形式でファイルに出力します。



図4.20 トラッカデータをCSV形式で出力

オートフィルタを使用して行のフィルタリングを行った状態でも、CSVファイルの出力結果は フィルタリングの影響を受けません。

また、CSVファイルの出力を行う際に強制的にフィルタリングは解除されます。

4.4.3. jobdataシート

「jobdataシート」は、「inputシート」で読み込んだトラッカデータを単位ジョブ毎に一覧表示します。



図4.21 jobdataシート

	出力されるデータの条件について
	jobdataシートには、実行された単位ジョブが1レコードとして表示されます。異常終了や警告終了 などのステータスによらず出力されますが、キューに投入されなかったもの、より具体的には以下 のような場合は出力対象外となります。
	■分岐部品によりスキップされ実行されなかったもの
	■事前スキップにより実行されなかったもの
	■フローの中断処理により未実行のままスキップされたもの
	■フローがエラー停止し、WAIT状態のまま実行されなかったもの

4.4.3.1. 各セルの詳細

「jobdataシート」の13行目(実データは14行目)以降には実行されたジョブ1つ1つの個別の情報が表示されます。以下にそれぞれの詳細についてまとめます。

■ジョブ名

ジョブの名前が表示されます。

■トラッカ名

ジョブが所属するジョブネットワークトラッカ名が表示されます。

■MG START

MG上でフローが該当ジョブ部品に到達した(キューに投入された)時刻です。

■SV START

SV上でジョブが実際に起動した時刻です。

SV END

SV上でジョブが終了した時刻です。

■MG END

SV上で実行完了したジョブの結果情報がMG側に返却された時刻です。

■ユーザ

対象ジョブ定義の所有ユーザ名が表示されます。

(ジョブパラメータで指定している実行ユーザ名ではありません)

■実行サーバ

ジョブが実行されたサーバ(SV)名が表示されます。

MG START、SV START、SV END、MG ENDの各時刻の意味については、「4.5.8 (参考)ジョブの実行時間を確認する」にも詳しい説明がありますので、合わせて参照してください。

4.4.3.2. ボタンコントロール詳細

以下に各ボタンの機能についてまとめます。

■データ分析とグラフ作成

読み込んだジョブネットワークデータを使用してグラフを作成することができます。

作成するグラフの選択	— ———————————————————————————————————
▼ [ジョブ数]	
ОК	キャンセル

図4.22 作成するグラフの選択

作成できるグラフの種類は以下になります。

■ ジョブ数

単位時間あたりのジョブ投入数のグラフを作成します。

「ジョブ数データシート」にピボットテーブル、「ジョブ数グラフシート」にグラフが作成されます。

■CSV形式で出力

「jobdataシート」に表示されているトラッカデータをCSV形式でファイルに出力します。



図4.23 トラッカデータをCSV形式で出力



4.4.4. トラッカ数データ・グラフシート

「トラッカ数データ」および「トラッカ数グラフ」シートは、「jnwdataシート」の「データ分析とグラフ作 成」ボタンを押して「トラッカ数」を選択した場合に作成されるシートです。「トラッカ数データ」シートは 「jnwdataシート」のデータ件数を集計したピボットテーブルになっていて、それをグラフ化したものが「ト ラッカ数グラフ」シートです。

) 🖬 🤊 -	(24 =		jc.	analysis -	Micro	soft Excel		ピボットテ	ーブル ツール								- 0	x
e	*-4	挿入	ページ レイア	ウト	定戏	デ	-タ 校	閲 表示	オプショ	ン デザイ	N I							0 -	. 🗆 X
	A1		• ()	f _x	SCHFLA	G													×
	1	А			В		С	D	E	F	G	н	I	J	K	- ピボットテーブルの	7-1-1	ILK U	7 * *
1	SCHFLAG			(すべて)	-										1.00. 1(-20thort7.m	. 11 IM	3240	
2	ROOT JNW	/FLAG		(すべて)											してください	-101-6	加速机	
3	ユーザ名			(すべて)	-										一予定開始時刻			
4																一子定終了時刻			
5	データの1	固数 / 医	開始時間差	_	列ラベル	•								/m = 1		- 実績開始時刻			
6	オナラベル			•	3月1日		8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	総計		実績終了時刻			
1	0時 1.81						2283	2281	2248	2242	116	28	2283	11481		▼開始時間差			
8	1時						2249	2241	2227	2198	164	31	2318	11428		マユーザ名			
9	2時						2326	2501	2480	21/4	138	34	2468	12121		トフッカ石 〒 POOT INVELAC			
10	3時						2325	2309	2296	2255	15/	28	1834	11204		SCHELAG			
10	40寸						2593	2170	2459	2410	115	28	2016	11803		100mmenta 11分			
12	0 U-1						2200	2020	2012	2100	150	29	1020	11283		一一一一一			
1.0	0时						2320	2300	2337	2323	146	20	2037	12313					
15	7時						2031	2074	2014	2020	107	20	2283	110263					
16	0.04						2170	2014	2103	2204	146	25	1050	40.020					
17	10時						313	300	286	999	108	23	395	1774					
18	11時						250	293	200	31.0	100	30	300	1549					
19	12時					122	341	479	468	119	143	170	000	21.42		次のボックス間でフィー	ルドをド	ラッグして	ください
20	13時				-	206	320	147	182	473	45	70		1443		🛛 🍸 レポート フィルら		列ラベリ	۶.
21	14時				1	12	156	151	153	88	26	51		737		SCHFLAG -			-
22	15時					88		105	182	116	18	57		659		ROOTJNWF	j —		
23	16時					92	124	214	114	91	39	77		751		2-ザ名 🔻			
24	17時				1	79	68	72	66	167	10	40		602					
25	18時				1	57	79	75	81	59	9	40		500					
26	19時				1	52	173	65	67	44	12	40		553		── 行ラベル	Σ	値	
27	20時				11	40	1156	1164	1215	88	28	1196		5987		時 ▼] <u>.</u>	ータの個	鼓▼
28	21時				22	234	2153	2330	2205	172	31	2194		11319					
29	22時				25	543	2345	2591	2502	122	37	2440		12580					
30	23時				24	121	2425	2391	2292	170	34	2329		12062					
31	総計				97	46	31533	31498	31508	23222	1966	9043	22096	160612					
32				1 - 44 - 1									de L L M L Ree			🚬 📄 レイアウトの更新	と保	更	新
14 4) H jrw	data 🦯 jok	data /トラッ	力数亿	フラフ 1 トラ	ツ力調	१न-५ /	開始時刻差	クラフ、閉	始時刻差了	·	功数・開始	時刻差りう	ノ/トラ北(-	
(7E	ノド															100% (=)			—(+) .:

図4.24 トラッカ数データ

ピボットテーブルのフィールドリストは基本的にjnwdataシートの各フィールドに対応しています。またそれ 以外に「分」「時」「日」がありますが、これらは「予定開始時刻」をグルーピングして作成したフィールド になっています。

レイアウト初期状態で設定されるフィールドは以下の通りです。

種別	フィールド名
行ラベル	時
列ラベル	日
Σ値	データの個数/開始時刻差
レポートフィルタ	SCHFLAG ROOTJNWFLAG
	ユーザ名 初期状態ではいずれも「(全て)」になっており、フィルタはかかっていません。



図4.25 トラッカ数グラフ

グラフシートでは、「行ラベル」は「軸フィールド(項目)」、「列ラベル」は「凡例フィールド(系 列)」はとして表記されています。

4.4.5. 開始時刻差データ・グラフシート

「開始時刻差データ」および「開始時刻差グラフ」シートは、「jnwdataシート」の「データ分析とグラフ作 成」ボタンを押して「開始時刻差」を選択した場合に作成されるシートです。「開始時刻差データ」シートは 「jnwdataシート」の開始時刻差の平均を集計したピボットテーブルになっていて、それをグラフ化したもの が「開始時刻差グラフ」シートです。

0) 🖬 🔊 • (°' •)	Ŧ	jc_analysis -	Microsoft Ex	cel	ピボットテ	ーブル ツール						- = X
	ホーム挿入	ページレイ	(アウト 数式	データ	校開 表:	示 オプショ	ン デザイン	,					@ _ = ×
	A1	- (9	<i>f</i> ∗ SCHFL4	AG.									×
	۵		B	0	D	F	F	G	н	I	, I	-	
1	SCHELAG		(すべて) 🔽			La		9				â	
2	ROOT JNWFLAG		(すべて) 🔽										レボート(ご追加するフィールドを選択 引 -
3													
4	平均 / 開始時間	『差データ	列ラベル 💌										予定終了時刻
5	行ラベル	-	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	総計		実績開始時刻
6	O時			00:03:22	00:05:57	00:03:10	00:01:30	00:00:04	00:00:06	00:01:14	00:03:01		■実績終了時刻
7	1時			00:13:38	00:15:10	00:03:32	00:01:03	00:00:04	00:00:06	00:00:21	00:06:37		☑開始時間差
8	2時			00:23:45	00:16:30	00:05:21	00:06:46	00:00:03	00:00:07	00:04:00	00:11:05		- ユーザ名
9	3時			00:27:15	00:19:09	00:13:03	00:12:15	00:00:04	00:00:06	00:09:37	00:16:19		トラッカ名
10	4時			00:22:00	00:22:04	00:12:14	00:14:00	00:00:04	00:00:05	00:06:42	00:15:28		ROOTJNWFLAG
11	5時			00:20:12	00:17:07	00:16:20	00:15:45	00:00:04	00:00:05	00:10:54	00:16:03		SCHFLAG
12	6時			00:15:35	00:11:42	00:09:42	00:08:48	00:00:04	00:00:05	00:04:32	00:09:43	- 11	7
13	7時			00:13:17	00:08:11	00:05:53	00:07:13	00:06:17	00:00:05	00:04:33	00:07:42		▲ 04
14	8時			00:07:20	00:03:52	00:02:47	00:03:11	00:00:04	00:00:05	00:01:28	00:03:40		
15	9時			00:00:23	00:00:17	00:00:17	00:00:09	00:00:04	00:00:05	00:00:10	00:00:14		
16	10時			00:00:04	00:00:06	00:00:05	00:00:07	00:00:06	00:00:14	00:00:06	00:00:06	- 88	
17	11時			00:00:04	00:00:03	00:00:03	00:00:04	00:00:04	00:00:06	00:00:03	00:00:03		
18	12時		00:00:07	00:00:03	00:00:03	00:00:03	00:00:02	00:00:01	00:00:03		00:00:04	- 11	、ケのボッカフ明でつっこれにたたらッパしてください。
19	13時		00:00:04	00:00:03	00:00:04	00:00:03	00:00:03	00:00:06	00:00:06		00:00:03	-	▼ レポート フィルタ === 列ラベル
20	14時		00:00:03	00:00:03	E0:00:00	CO:00:00	00:00:02	00:00:06	00:00:05		00:00:03		
21	15時		00:00:03	00:00:03	00:00:03	00:00:02	00:00:01	00:00:04	00:00:03		00:00:03	-	
22	10時		00:00:47	00:00:03	00:00:02	00:00:03	00:00:04	00:00:01	00:00:03		00:00:08	-	
23	1005		00:00:02	00:00:03	00:00:03	00:00:03	00:00:06	00:00:01	00:00:03		00.00.04		
24 0F	10時		00:00:02	00.00.04	00.00:04	00.00.04	00.00.04	00.00.00	00.00.00		00.00.04		
20	20時		00:00:02	00.00.03	00.00.03	00.00.03	00:00:02	00:00:02	00.00.03		00:00:03		
20	2005		00:00:15	00:00:00	00:00:07	00:00:07	00:00:04	00:00:07	00:00:21		00:00:14		
28	22165		00:01:55	00:00:20	00:01:45	00:00:25	00:00:03	00:02:40	00:00:17		00:00:14		ver
29	23時		00:05:47	00:09:33	00:03:28	00:00:20	00.00.04	00.00.00	00:00:20		00:04:21		
30	総計		00:02:01	00:11:52	00:09:10	00:05:31	00:06:49	00:00:34	00:00:26	00:04:08	00:06:55		
31													
32												-	
14 4	▶ N / jnwdata /	bbdata 🖉 h 🖯	シカ数グラフィート	ラッカ数データ	/開始時刻	差グラフ」閉	始時刻差デー	タ、トラッカ	数·開始時刻	差グラフィート	>> 4 📖 🕨	I	E PTP-TPUJE#ITEI#
`	/6												

図4.26 開始時刻差データ

ピボットテーブルのフィールドリストは基本的にjnwdataシートの各フィールドに対応しています。またそれ 以外に「分」「時」「日」がありますが、これらは「予定開始時刻」をグルーピングして作成したフィールド になっています。

レイアウト初期状態で設定されるフィールドは以下の通りです。

種別	フィールド名
行ラベル	
列ラベル	В
Σ値	平均/開始時刻差(表示形式=hh:mm:ss)
	SCHFLAG
レポートフィルタ	ROOTJNWFLAG
	初期状態ではいずれも「(全て)になっており、フィルタはかかっていません。」



図4.27 開始時刻差グラフ



グラフシートでは、「行ラベル」は「軸フィールド(項目)」、「列ラベル」は「凡例フィールド(系 列)」として表記されています。

4.4.6. トラッカ数・開始時刻差(2軸)データ・グラフシート

「トラッカ数・開始時刻差データ」および「トラッカ数・開始時刻差グラフ」シートは、「jnwdataシート」の「データ分析とグラフ作成」ボタンを押して「トラッカ数・開始時刻差(2軸)」を選択した場合に作成されるシートです。「トラッカ数・開始時刻差データ」シートは前述の「4.4.4 トラッカ数データ・グラフシート」と「4.4.5 開始時刻差データ・グラフシート」の両方を同時に集計したピボットテーブルになっており、それを2軸グラフで表示したものが「トラッカ数・開始時刻差グラフ」シートです。

jc_analysis - Microsoft	Excel ピポットテー:	ブル ツール			- = X
ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ	校閲 表示 オプション	デザイン			0 _ = ×
A1 • 🗇 🏂 SCHFLAG					×
AB	0	D	F F	G H	ビボットテーブルのフィールド リフ 🖛 🗙
1 SCHFLAG (すべて)	1				
2 ROOTJNWFLAG (すべて)					レボートに3回加するフィールドを選択
3 日 (すべて) 💽					- 予定開始時刻
4					予定終了時刻
					実績開始時刻
🧴 行ラベル 💽 データの 個数 / 開始時間差	平均 / 開始時間差2			- Q	実績終了時刻
7_0時 11481	00:03:01				☑開始時間差
<u>8</u> 1時 11428	00:06:37				■ユーザ名
<u>9</u> 2時 12121	00:11:05				
10_3時 11204	00:16:19				ROOTJNWFLAG
11 4時 11803	00:15:28				Ø SCHFLAG
12 5時 11293	00:16:03				71
13 6時 12313	00:09:43				
14 /時 10383	00:07:42				V
15 8時 11026	00:03:40				
10 90 7 4902	00:00:14				
17 1000 17/19 10 11 000 17/19	00.00.08				
10 10H 10H	00.00.03				次のボックス間でフィールドをドラッグしてください
20 13時 1445	00:00:04				🍸 レポート フィルタ 🧰 列ラベル
21 14時 73	00:00:03				SCHFLAG ▼ ∑値 ▼
22 15時 655	00:00:03				ROOTJNWF
23 16時 751	00:00:08				
24 17時 602	00:00:04				
25 18時 500	00:00:04				
26 19時 553	00:00:03				行ラベル Σ値
27 20時 5985	00:00:11				時 ▼ データの個数▼
28 21時 11315	00:00:14				平均/開始▼
29 22時 12580	00:01:42				
30 23時 12062	00:04:21				
31 総計 160612	00:06:55				
32					□ レイアウトの更新を保 更新
ペ ◆ ▶ 〈トラッカ数データ / 開始時刻差グラフ / 開始時刻差	データ、トラッカ数・開始時刻差	グラフ <u>トラッ</u>	力数・開始時刻差データ		
אלדב					🔲 🛄 100% 🕞 — 🔍 🕂 🔅

図4.28 トラッカ数・開始時刻差データ

ピボットテーブルのフィールドリストは基本的にjnwdataシートの各フィールドに対応しています。またそれ 以外に「分」「時」「日」がありますが、これらは「予定開始時刻」をグルーピングして作成したフィールド になっています。

レイアウト初期状態で設定されるフィールドは以下の通りです。

種別	フィールド名							
行ラベル	ν ν B							
列ラベル	Σ值							
∑値	データの個数/開始時刻差							
	平均/開始時刻差(表示形式=hh:mm:ss)							
	SCHFLAG							
しポートフィルタ	ROOTJNWFLAG							
כעריכין אנט	日							
	初期状態ではいずれも「(全て)」になっており、フィルタはかかっていません。							



図4.29 トラッカ数・開始時刻差グラフ

グラフシートでは、「行ラベル」は「軸フィールド(項目)」、「列ラベル」は「凡例フィールド(系列)」として表記されています。

4.4.7. ジョブ数データ・グラフシート

「ジョブ数データ」および「ジョブ数グラフ」シートは、「jobdataシート」の「データ分析とグラフ作成」ボ タンを押して「ジョブ数」を選択した場合に作成されるシートです。「ジョブ数データ」シートは「jobdata シート」のデータ件数を集計したピボットテーブルになっていて、それをグラフ化したものが「ジョブ数グラ フ」シートです。

P119	
▶ ★ ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示 オブション デザイン	🔞 🗕 📼 🗙
A1 ・	*
	-ブルのフィールド U ス 💌 🗙
1 ユーザ (すべて) ▼	
2 実行サーバ (すべて) ▼	109924-ルトを選択
3	
	3
b 1万プヘル ●8月1日 8月2日 8月3日 8月4日 8月5日 8月6日 8月7日 8月8日 総計 図 MST	ART
0 004 10109 10207 10172 9032 554 112 9779 50795 SVSP	iri -
8 2 Hz 8724 1061 10610 8038 618 130 10172 48921 68921 684 68	'n
9 3BF 8897 9239 8577 8366 1058 112 7122 43371	- -
10 4時 10361 8251 9708 9698 530 112 8261 46921 又実行步	-/5
11 5時 8446 10234 8497 7977 1008 113 6857 43132 分	
12 6時 9999 10516 9797 9731 502 112 11716 52373 2時	
13 7時 9012 8293 8709 8611 978 109 10453 46165 🖉 🗹	
14 8時 10178 10028 9898 10176 499 109 10229 51117	
15 9時 5645 5294 5451 5446 992 109 6292 29229	
16 10時 1980 1708 1475 2181 500 112 1906 9862	
<u>17</u> 11時 1039 1163 1457 1762 345 114 1645 7525	
18 12時 4056 3027 4152 4258 1253 1339 1376 19461	明でつくこれにたたらふびしてください。
19 13 ¹⁶ 1388 2012 682 1167 3613 148 162 9172	トライルター あらべル
20 14#F 612 1481 94/ 1520 1014 99 123 5/96	
2 150rf 902 /40 800 1113 1183 1/0 2/8 5205 +	K 🔻
24 18時 1142 387 393 477 483 38 89 3009	
25 19時 1458 1035 296 360 344 61 117 3671	
26 20時 4460 4490 4541 4770 498 131 4592 23482 375~	ル Σ値
27 21時 9070 8733 9671 8336 1191 118 8759 45878 時	▼ データの個数▼
28 22時 10362 9342 11400 10376 613 145 10526 52764	
29 23時 9390 9508 9741 8679 1179 125 9345 47967	
30 総計 45492 135343 139226 136102 104255 11837 37641 93766 703662	
31	
	トの更新を保 更新
「ペード」/「周辺の中秋川左デージ/ドブクリルXX、「周辺の中秋川左クリフ/ドブクリルXX、「周辺の中秋川左デーダ/ションがソフノ」ンヨリがステーダ/マリ/	

図4.30 ジョブ数データ

ピボットテーブルのフィールドリストは基本的にjobdataシートの各フィールドに対応しています。またそれ以 外に「分」「時」「日」がありますが、これらは「MG START」をグルーピングして作成したフィールドに なっています。

レイアウト初期状態で設定されるフィールドは以下の通りです。

種別	フィールド名
行ラベル	時
列ラベル	8
Σ値	データの個数/MG START
レポートフィルタ	ユーザ
	実行サーバ
	初期状態ではいずれも「(全て)」になっており、フィルタはかかっていません。



図4.31 ジョブ数グラフ

グラフシートでは、「行ラベル」は「軸フィールド(項目)」、「列ラベル」は「凡例フィールド(系 列)」として表記されています。

4.5. 分析の指針

本章ではトラッカデータを集計して得られたデータやグラフの見方について説明します。また、他の分析方法 についていくつかのユースケースを挙げ、ピボットテーブルの応用的な使い方についても説明します。

4.5.1. 単位時間あたりのジョブネットワーク実行数について確認する

これは「トラッカ数データ」シートまたは「トラッカ数グラフ」シートを見ることで確認できます。



図4.32 単位時間あたりのジョブネットワーク実行数

このデータは1時間毎のジョブネットワークの実行数を集計したものですが、行ラベルには「予定開始時刻」 (正確にはそれをグルーピングした「時」)フィールドを設定しているので、厳密には「その1時間に予定開始時 刻を迎えたジョブネットワーク数」ということになります。ただし、予定・実績の差、すなわち「開始時刻 差」の値がそれほど大きくなく(1時間を超えていない)、また、大きいとしてもそのデータ数が少なければ、こ のデータは「単位時間あたりのジョブネットワーク実行数」と捉えることができます。

上の例では、20時以降急激に起動されるジョブネットワーク数が増え、それが翌日の8時頃まで続いているの がわかります。また2011/8/6,2011/8/7は土日にあたりますが、平日と土日を比較すると圧倒的に平日に実 行されるジョブネットワークの数が多いことが分かります。

4.5.2. 特定日のジョブネットワーク実行数についてユーザ別に確認する

これは「トラッカ数データ」または「トラッカ数グラフ」シートにおいて、以下のようにピボットテーブルを 変更することで確認できます。

種別	フィールド名
行ラベル	時
列ラベル	ユーザ名
Σ値	データの個数/開始時刻差
レポートフィルタ	SCHFLAG

種別	フィールド名
	ROOTJNWFLAG
	日:確認したい日のフィルタを設定

さらに、グラフの種類を「集合縦棒」から「積み上げ縦棒」に変更することで、以下のように各時間帯に実行 されたジョブネットワーク数の合計値を確認しつつ、そのユーザ別の内訳を確認することができます。



図4.33 単位時間あたりのジョブネットワーク実行数(ユーザ別積み上げ)

上の例では、システム全体としてはuser1とrootの2人がいて、夜間はおおよそ同じ程度実行され、日中は12~ 13時を除きrootユーザのほうが実行数が多いことが分かります。

また、データは特定の日のみを表示するように、レポートフィルタで「日」のフィルタ設定を行っています。 例えば土日などの休日には傾向が変わるかもしれませんが、それらについてもフィルタを切り替えて確認する ことが可能です。

4.5.3. スケジュール実行されたジョブネットワーク数について日毎の推移を確認 する

これは「トラッカ数データ」または「トラッカ数グラフ」シートにおいて、以下のようにピボットテーブルを 変更することで確認できます。

種別	フィールド名
行ラベル	日
列ラベル	ユーザ名
Σ値	データの個数/開始時刻差
レポートフィルタ	SCHFLAG:1に設定
	ROOTJNWFLAG:1に設定

さらに、グラフの種類を「集合縦棒」から「積み上げ縦棒」に変更することで、以下のようにスケジュール実 行されたジョブネットワークの日毎の合計値を確認しつつ、ユーザ別の内訳を確認することができます。



図4.34 日毎のスケジュール実行数(ユーザ別積み上げ)

上の例を確認すると、2011/8/6,2011/8/7は土日にあたり、平日に比べてスケジュール実行数はかなり少な いことがわかります。またユーザ別に見ると、スケジュール実行数はrootユーザによって実行されるのがほと んどであることがわかります。

4.5.4. 単位時間あたりのジョブネットワークの起動遅延について確認する

ジョブネットワークの起動遅延というのは、予定開始時刻に対して実績開始時刻が遅れることであり、様々な 状況によって発生する可能性があります。この時間分布を集計しているのが「開始時刻差データ」シートおよ び「開始時刻差グラフ」シートです。



図4.35 ジョブネットワークの起動遅延(平均値)の時間分布

上の例を確認すると、日中はほとんど遅延がありませんが、夜間は日毎にばらつきがあるものの5~25分程度の遅延が見られます。

また2011/8/6,2011/8/7は土日にあたり、平日に比べてると遅延が少ないことがわかります。この因果関係 は単純に考えると、ジョブネットワーク実行数との依存性があり、単位時間あたりに実行しているジョブネッ トワーク数が多い=遅延が大きい、単位時間あたりに実行しているジョブネットワーク数が少ない=遅延が少な い、と推測できます。ただし、このグラフからでは本当に因果関係があるかどうかまでは判断できません。こ の依存性を確認するには、ジョブネットワーク実行数(トラッカ数)と起動遅延の状況を同時に確認してみる必 要があります。これについては次の「4.5.5 単位時間あたりのスケジュール実行数と起動遅延の依存性につい て確認する」を参照してください。

4.5.5. 単位時間あたりのスケジュール実行数と起動遅延の依存性について確認する

「4.5.4 単位時間あたりのジョブネットワークの起動遅延について確認する」で説明したように、起動遅延が 発生する要因として様々ありますが、その1要因としてジョブネットワーク実行数、特にスケジュール実行数と の依存性があります。

Job Directorのスケジュール起動処理は、開始時刻を迎えたジョブネットワークを1つずつシリアルに処理する ので、特定の時間にスケジュール起動が集中している場合、起動遅延が発生する可能性があります。特に 12:00や21:00といったような1時間ごとのきりのいい時間にはスケジュールが集中しがちですが、そのような 場合に起動遅延が見られ、その値がシステムとして許容できない場合には、スケジューリングを見直して起動 する時間の分散を検討する必要があります。

これを確認するには、「トラッカ数・開始時刻差データ」シートまたは「トラッカ数・開始時刻差グラフ」 シートで、以下のようにピボットテーブルを変更します

種別	フィールド名
行ラベル	時
列ラベル	Σ值
Σ 値	
レポートフィルタ	平均/開始時刻差(表示形式=nn:mm:ss) SCHFLAG:1に設定
	ROOTJNWFLAG:1に設定
	日



図4.36 スケジュール実行数と起動遅延の依存性の確認

上の例では、日中は遅延がなく夜間は遅延が見られ、また、スケジュール実行しているジョブネットワーク数 についても、日中は数が少なく夜間は多いため、これらの相関が見て取れます。



4.5.6. 単位時間あたりのジョブ実行数について確認する

これは「ジョブ数データ」シートまたは「ジョブ数グラフ」シートを見ることで確認できます。


図4.37 単位時間あたりのジョブ実行数

このデータは1時間毎のジョブ実行数を集計したものですが、行ラベルには「MG START」(正確にはそれをグ ルーピングした「時」)フィールドを設定しているので、厳密に言えば「その1時間にSUBMIT(キューに投入)さ れた単位ジョブ数」ということになります。しかしながら「SV START」との差がほとんどなければ、各サーバ で起動した時間と見なせるので、本データは単純に「単位時間あたりのジョブ実行数」と捉えることができま す。

上の例では、日中のジョブ数は少なく、夜間のジョブ数が多いことがわかります。また2011/8/6、2011/8/7 は土日にあたりますが、平日と土日を比べると平日に実行しているジョブ数のほうが圧倒的に多いことがわか ります。

4.5.7. 日毎のサーバ別のジョブ実行数を確認する

これは「ジョブ数データ」シートまたは「ジョブ数グラフ」シートにおいて、以下のようにピボットテーブル を変更することで確認できます。

種別	フィールド名						
行ラベル	日						
列ラベル	サーバ名						
Σ値	データの個数/MG START						
レポートフィルタ	ユーザ						

さらに、グラフの種類を「集合縦棒」から「積み上げ縦棒」に変更することで、以下のように日毎のジョブ実 行数の合計値を確認しつつ、その実行サーバ別の内訳を確認することができます。



図4.38 日毎のジョブ実行(サーバ別積み上げ)

上の例では、jobserver10、次いでjobserver9での実行数が多いことがわかります。また 2011/8/6、2011/8/7は土日にあたりますが、平日と土日を比べると平日に実行しているジョブ数のほうが圧 倒的に多いことがわかります。

4.5.8. (参考)ジョブの実行時間を確認する

このユースケースは本Excelの機能だけでは実現できないため、考え方の参考例としての記載になり ます。

「jobdataシート」に表示されるMG START、SV START、SV END、MG ENDの各フィールド情報の関係は以下のようになっています。



図4.39 単位ジョブの各時刻の関係図

■MG START

フローが進行して単位ジョブに到達すると、そのジョブのリクエストが生成されて指定されているキューに 投入されます。そのキューに投入された時刻がMG STARTの時刻です。

CL/Winでは、対象トラッカの「ログ」タブに「JOB START」として表示される時刻に相当します。

SV START

ジョブは実行サーバ上のバッチキューで実行されますが、ジョブプロセスが実際に起動した時刻がSV START の時刻です。

CL/Winでは、トラッカフロー上で対象ジョブをダブルクリックして表示される「詳細情報」タブの、「開始時刻」に相当します。

■SV END

実行サーバ上で実際にジョブプロセスが終了した時刻です。

CL/Winでは、トラッカフロー上で対象ジョブをダブルクリックして表示される「詳細情報」タブの、「終了時刻」に相当します。

■MG END

実行サーバ側でジョブプロセスが完了した後、そのジョブの標準出力や標準エラー出力、終了コード、実行時刻などの情報がMGへ返却されます。その返却されたデータを受け取った時刻がMG ENDです。

CL/Winでは、対象トラッカの「ログ」タブに「JOB END」として表示される時刻に相当します。

以上を踏まえると、それぞれの差を確認することで、以下の情報が得られます。

■(SV START) - (MG START)

MG側でキューイングされてからSV側で実際にジョブが始まるまでの時間に相当します。この時間にはJob Directorの処理オーバヘッドや、ネットワーク上の転送時間も含まれますが、システムの極端な負荷が無い 限りはこれらの値は無視できます。したがって、この値はキュー内での待ち時間として考えることができま す。

この値が大きい場合には、対象ジョブの転送先キューで待ち合わせが発生している可能性があります。もし その値が無視できないような場合には、キューの同時実行数や該当時間帯のジョブ実行数を確認し、キュー の同時実行数を拡張したり転送先のキューやサーバを分散するなどの対処の検討が必要です。

■(SV END) - (SV START)

ジョブプロセスが起動してから終了までの時間、すなわちジョブの実行時間に相当します。目的に応じて集 計することで、実行しているプログラムやアプリケーションの実行時間の時間分布を取得できます。

■(MG END) - (SV END)

SV側でジョブが完了してからMG側に結果が返却されるまでの時間に相当します。返却元であるSV側がLinux サーバかWindowsサーバかで処理が異なります。

■ SV側がLinuxサーバの場合

結果ファイルの返却にはネットワークキューが利用されるため、もしこの値が大きい場合にはネットワー クキューでの処理待ち合わせが発生している可能性が考えられます。そのような場合には、ネットワーク キューの同時実行数を拡張する必要がありますが、その方法については<NQS機能利用の手引き>を参照し てください。

■ SV側がWindowsサーバの場合

Linuxサーバと異なり返却処理にキュー制御は利用されないため、ジョブが実行完了次第すぐに返却処理が 行われます。したがって基本的にはこの値が大きくなることはありません。もし大きくなる場合には受け 取り側であるMG側の負荷が大きい可能性が考えられます。

4.5.9. ピボットテーブルの詳細データを確認する

ピボットテーブルの各セルに表示されている数値の詳細データは、通常は該当セルをダブルクリックすること で確認できますが、本Excelにはブックの保護がかかっているためそのままでは確認できません。これを確認す るには、事前にブックの保護を解除する必要があります。

ブックの保護を解除するには、「inputシート」の「ブックの保護を無効にする」ボタンを押してください。その後、目的のピボットテーブルのセルをダブルクリックし、詳細データを確認してください。

C		(° ·)	⊋ jc_	analysis - Microsoft I	Excel	テーブル ツール						2	= x	
	ホーム	挿入	ページ レイアウト	妻式 データ	校開 表示	デザイン						最	UYL 💷 🔉	ĸ
	A1		▼ () f _x	予定開始時刻									:	¥
	A		В	С	D	E	F	G	н	I	J	К	L	
1	予定開始	時刻▼	予定終了時刻▼	実績開始時刻▼	実績終了時亥	▼ 開始時間差	ユーザ名▼	トラッカ名 🗖 R		SCHFLAC				5
2	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:00	2011/8/4 6:	16 0:00:31	7 user1	SAMPLEJNV	1	0				
3	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:00	2011/8/4 6:	0:00:0	root	TESTBATCH	1	0				
4	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:00	2011/8/4 6:	14 0:00:31	7 user1	SAMPLEJNV	1	0				
5	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	0:00:0) user1	TESTBATCH	1	0				
6	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:00	2011/8/4 6:	14 0:00:40) user1	SAMPLEJNV	1	0				
7	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:00	2011/8/4 6:	16 0:00:32	2 user1	SAMPLEJNV	1	0				
8	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	0:00:00) user1	JOBDATA4.:	1	0				
9	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	0:00:00) user1	JOBDAT A97	1	0				
10	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:	59 0:00:00) root	BACKUP15.	1	0				
11	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	0:00:0	use r1	JOBDATA11	1	0				
12	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	0:00:00) user1	JOBDATA61	1	0				
13	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:	59 0:00:00) user1	JOBDATA12	1	0				
14	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	00:00:0) user1	TEST JNW12	1	0				
15	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:	59 0:00:00) user1	JOBDATA6E	1	0				
16	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 9:20	2011/8/4 9:	21 3:21:38	Jusen	TESTBATUR	1	0				
17	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:		Juseri	TEST JINW59	1	0				
18	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6		useri	JUBDATAIL	1	0				
19	2011/8/	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:	59 0:00:0	useri	JUBDATATE	1	0				
20	2011/8/-	4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 5:59	2011/8/4 6:	17 0:00:20	Jusen 7 usen	SAMPLEJNV	1	0				
21	2011/0/	4 5:59	2011/0/4 0.09	2011/0/4 0.02	2011/0/4 0:	0.03.5 05 0.00.01	ruseri	TESTBATO	1	1				
22	2011/0/	4 5.55	2011/8/4 5.55	2011/8/4 5.59	2011/0/4 0	05 0.00.0	2 mot	TESTBATO	1					
23	2011/8/	4 5.55	2011/8/4 5.59	2011/8/4 5.59	2011/8/4 0	58 0:00:02) mot	TESTBATCH	1					
25	2011/8/	4 5 58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5	58 0:00:00) mot	TESTBATCH	1	0				
26	2011/8/	4 5 58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 9:20	2011/8/4 9	20 3:22:04	lucer1	TESTBATCH	1	0				
27	2011/8/	4 5 58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5	58 0.00.00	mot	TESTBATCH	1	Ű				
28	2011/8/	4 5 58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5 58	2011/8/4 5	58 0.00.00) mot	TESTBATCH	1	Ő				
29	2011/8/-	4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 9:20	2011/8/4 9:	20 3:22:0	3 user1	TESTBATCH	1	1				
30	2011/8/	4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5 58	2011/8/4 5	59 0:00:0*	user1	JOBDATA15	1	1				
31	2011/8/-	4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 6:	08 0:00:00) user1	TESTBATCH	1	0				
32	2011/8/-	4 5:58	2011/8/4 5:58	2011/8/4 6:11	2011/8/4 6:	20 0:12:4	7 user1	SAMPLEJNV	1	1				÷.
14 4	► H / jrwc	data /jo	obdata /ジョブ数グ:	ラフィジョブ数データ	(トラッカ数グラフ	、トラッカ数データ	/開始時刻差/	ブラフ Sheet10	開始時刻差データ	(トラッカ数・開始	時刻差グラ	フ╭トℾҹ		
コマン	8						平均: 2329	11.18568 データの1	個数: 20817 合計: 376	6944549 🔳 🔲	100% (-)	+	

図4.40 ピボットテーブルの詳細データの確認

上の例のように新規にシートが作成され、そこに該当セルの詳細データが表示されます。

また、作成された任意のシートは、「inputシート」にある「DATAシートをクリアする」ボタンを押すことで 一緒に削除されます。またその際、自動的にブックの保護がかかるようになります。



必要な作業が終了した後は速やかにブックの保護を有効にしてください。通常保護がかかっている 「inputシート」等の制御シートを削除したりすると、不具合が発生する可能性がありますので注意 してください。

4.6. トラッカデータの見積り

本章ではローカルコンピュータ上に蓄積されていくトラッカデータのサイズ見積り、および、メンテナンスとしてのデータの削除の方法について説明します。

4.6.1. jdh_trkupdate実行時に必要になるサイズ

ジョブの実行結果であるトラッカデータは、サーバ上ではアーカイブファイルという単位でユーザ毎に管理されています。これらの情報をjdh_trkgetコマンドで収集する際、JPFファイルとして圧縮されて持ち出すことができます。

しかしながら、JPFファイルをローカルコンピュータ上にコピーし、jdh_trkupdateコマンドでdataフォルダ に必要データを更新する際には、JPFファイルをいったん解凍して中のアーカイブファイルを取り出すため、 それら元のアーカイブファイルの合計サイズ分だけのディスク容量が一時的に必要になります。更新が完了す れば、解凍時に作成したアーカイブファイル等の中間ファイルは削除され、元のJPFファイルとdataフォルダ に更新した必要最小限のデータ以外は残りません。

4.6.2. dataフォルダのサイズを見積もる

JPFファイルに含まれる元のトラッカアーカイブファイルのサイズはジョブの標準出力等のデータが含まれているため比較的大きいですが、dataフォルダに格納する際には集計・分析に必要な最小限のデータのみを抽出するため、かなり小さくなります。しかしそれでも日々の運用でデータが蓄積されていくと、かなりのディスク容量を必要とするので、ある程度の見積りが必要になります。

dataフォルダの構成は以下のように、「ホスト名」と「ユーザ名」のツリー構造になっています。



「ユーザ名」フォルダの中には、1つのトラッカアーカイブファイルにき3つのファイルが作成されて格納され ています。それぞれのファイルの説明と、サイズの見積り方について合わせて以下で説明します。

■サマリ情報(trkarcYYYYMMDD-YYYYMMDD.sm)

対象トラッカアーカイブファイルから抽出したデータのサマリ情報が格納されています。このデータについ ては、含まれるジョブネットワーク数やジョブ数にあまり依存せず、約100byte程度です。以下で説明する2 つの情報と比べると圧倒的に小さく、ほとんど無視して構いません。

■jnwdata用データ(jnw_trkarcYYYYMMDD-YYYYMMDD.csv)

対象トラッカアーカイブファイルから、ジョブネットワークに関する情報のみを格納したデータです。この サイズは、中に含まれるジョブネットワーク数に依存し、1レコードにつき「4.4.2.1 各セルの詳細」で説明 したフィールドの情報が含まれています。これらデータのうち、可変長となるのは「ユーザ名」「トラッカ 名」の2つです。 従って、ユーザ名の平均サイズをu、トラッカ名の平均サイズをt、含まれるジョブネットワーク数(レコード 数)をnとすると、jnwdata用データについては、

(u+t+96)*n (byte)

として見積もることができます。(96byteは固定サイズのデータ分です)

■jobdata用データ(job_trkarcYYYYMMDD-YYYYMMDD.csv)

対象トラッカアーカイブファイルから、ジョブ(単位ジョブ)に関する情報のみを格納したデータです。この サイズは、中に含まれるジョブ数に依存し、1レコードにつき「4.4.3.1 各セルの詳細」で説明したフィール ドの情報が含まれています。これらデータのうち、可変長となるのは「ジョブ名」「トラッカ名」「ユーザ 名」「実行サーバ名」の4つです。

従って、ジョブ名の平均サイズをj、トラッカ名の平均サイズをt、ユーザ名の平均サイズをu、実行サーバ名の平均サイズをs、含まれるジョブ数(レコード数)をnとすると、jobdata用データについては、

(j+t+u+s+85)*n (byte)

として見積もることができます。(85byteは固定サイズのデータ分です)

以下に見積りの一例を記載します。

アーカイブファイルは1日で切り替わるようになっていて、1日あたりジョブネットワークが5,000、ジョブが 20,000実行されているとします。また、ユーザ名10byte、トラッカ名が平均60byte、ジョブ名が平均 20byte、実行サーバ名が25byteとします。このようなシステムで、1週間分のデータを収集してdataフォルダ に格納した場合、必要になるサイズは以下の通りです。

■jnwdata: (10+60+96)*5000*7 = 5.5Mbyte

■ jobdata: (20+60+10+25+85)*20000*7 = 26.7 Mbyte

サマリ情報は無視できるので、合計32.2MByte必要になることがわかります。

4.6.3. dataフォルダのトラッカデータを削除する

「4.6.2 dataフォルダのサイズを見積もる」で説明したように、日々、Analysis Helperを利用してトラッカ データの更新を行っていると、dataフォルダにデータが蓄積されていくことになります。その際、過去の古い データを削除してディスク容量を空けたいような場合は、以下のいずれかの方法で実施してください。

■dataフォルダごと削除する

dataフォルダごと削除することで、全てのデータを削除できます。dataフォルダは次回jdh_trkupdate実行時、またはExcel実行時に自動的に再作成されるので、手動で再作成する必要はありません。

■「ホスト名」フォルダごと削除する

複数のサーバでジョブネットワークの実行を行っており、それらのトラッカデータを1つのAnalysis Helper で集計・分析している場合、dataフォルダ内に複数の「ホスト名」フォルダが作成されます。この「ホスト 名」フォルダごと削除することで、対象ホストのトラッカデータを全て削除できます。

■ファイルを選択して削除する

過去のデータのみを選択して削除したい場合、対象ファイルを選択して削除します。この際、「4.6.2 data フォルダのサイズを見積もる」に記載されているように、1つのトラッカアーカイブにつき3つのファイルが セットになっているので、それら3つを同時に削除する必要があります。加えて、複数のユーザが存在する場 合には、同じ日のデータについて全ユーザ分を合わせて削除する必要があります。そうしないと、その日の データのうち、一部のユーザのデータだけが残ってしまい、正しい集計・分析にならないためです。 例えばrootとuser1という2ユーザでジョブネットワークの運用を行っているシステムで、2011/02/01~2011/02/03の3日分のデータを削除したい場合には、それぞれの「ユーザ名」フォルダ内にある以下のファ イルを削除する必要があります。

jnw_trkarc20110201-20110201.csv jnw_trkarc20110202-20110202.csv jnw_trkarc20110203-20110203.csv job_trkarc20110201-20110201.csv job_trkarc20110202-20110202.csv job_trkarc20110203-20110203.csv trkarc20110201-20110201.sm trkarc20110202-20110202.sm trkarc20110203-20110203.sm



いずれの方法で実行する場合でも、必ず、jdh_trkupdateコマンドおよびExcelを実行していない状態で実施してください。

4.7. 注意事項·制限事項

本章ではJob Director Analysis Helperの注意・制限事項について説明します。

4.7.1. 注意事項

- ■Excelファイルとbinディレクトリは同じ場所におく必要があります。Excelファイルをコピーして利用して場 合は、必ずインストールフォルダ直下に置くようにしてください。
- ■「jnwdataシート」および「jobdataシート」に反映できるデータ件数の最大値は1,000,000件です。
- ■制御シートにはシートの保護がかかっており、シート上のデータを直接編集するような操作は禁止されています。

逆に、各ピボットテーブル・グラフのシートには保護がかかっておらず、自由にピボットテーブルの変更、 グラフの書式変更等行えますが、誤入力・誤操作といった観点ではガードがかかっていません。もし誤った 操作を行ってしまい元に戻したいような場合には、再度DATAシートから「データの分析とグラフ作成」ボタ ンを押して、対象のピボットテーブル・グラフを再作成してください。

■Excelはデフォルトではブックの保護がかかっているため、シートの新規作成や既存シートの作成・リネーム 等の操作は禁止されています。

また、ピボットテーブル上のデータの詳細データを表示させるような操作も新規シート作成を伴うため行う ことができませんが、これを行いたい場合には、「inputシート」にある「ブックの保護を無効にする」ボタ ンを押して、ブックの保護を解除してください。これにより該当操作が行えるようになります。詳細 は「4.5.9 ピボットテーブルの詳細データを確認する」を参照してください。

4.7.2. 制限事項

- ■本機能はジョブネットワークを定義しているサーバのタイムゾーンが日本時間(JST-9)の環境のみを対象としています。JST-9以外のタイムゾーンを設定したサーバでジョブネットワークを運用されている場合、本機能は利用でません。
- ■「jnwdataシート」および「jobdataシート」ではシートの保護を行っているため、データのフィルタは行え ますが、ソート(並び替え)などのシート上のデータを更新するような処理は行えません。
- ■性能分析ツールを操作中に別のExcelファイルに対して同時操作(複数のExcelファイルの多重操作)を行わな いでください。各種マクロが正常に動作せずエラーになる場合があります。

発行年月 Nov 2022 NEC Corporation / SAY Technologies, Inc. 2022